clarion

取扱説明書

ROAD EXPLORER SA 2.0

NX713

Smart Accessリンク ワイド7型VGA
地上デジタルTV/DVD/SD AVナビゲーション

このたびはお買い求めいただき
ありがとうございます

ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

> 特に「安全にお使いいただくために」では、ご本人や他の人々への危害や損害を負うことなく安全にご使用いただくためのご注意を記述しておりますので必ずお読みください。→ P.2

※本書では、各所に保証期間内であっても保証の対象とならない内容が記載されております。特に「安全にお使いいただくために」の内容をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

お読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管してください。

●本書の内容の一部は、仕様変更等により、本機と一致しない場合があります。
　あらかじめご了承ください。

●本書の内容の一部は、予告なく変更する場合があります。
　あらかじめご了承ください。

> 本機を第三者に譲渡、転売、廃棄される場合は、お客様の個人情報 及び 著作権保護のため、本機に保存されたすべてのデータの消去（初期化）を行ってください。

■ 本書に記載されているマークの意味

 警告

指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があることを説明しています。

 注意

指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があることを説明しています。

お願い

「警告」や「注意」には該当しませんが、金銭や時間を大きく損なう危険性があることについて説明しています。

準 備

操作をするために、あらかじめ行わなければならないことを説明しています。

お知らせ

操作を行ううえでの制限事項などを説明しています。

MEMO

本機を使いこなすための補足事項を説明しています。

■ ハードボタンとタッチキーについて

本体に付いているハードボタンを操作するときは、本書では以下の例のように枠囲みで表記しています。
例：メニュー

また本機は、画面を指先で触れるだけで操作ができるタッチパネル形式を採用しています。
画面上のキーをタッチして操作をするときは、本書では以下の例のようにグレーのキーで表記しています。
例：目的地

本書の構成

安全にお使いいただくために

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を下記の表示で記載し、その危険性や回避方法を説明しています。これらは重要ですので、必ずお読みください。
本章で記載されている内容をよくお読みのうえ、本機を正しく取り扱ってください。保証期間内であっても保証の対象外となります。

表示	説明
警告	指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があることを説明しています。
注意	指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があることを説明しています。

 警告

本製品での誘導情報を救急施設などへの誘導用に使用しない

本製品にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また実際の情報と異なる場合があり、そのため予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

作業前に必ずバッテリーのマイナス端子を外す

感電やけが、機器故障の原因になります。

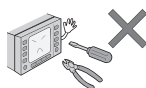
走行中、運転者は本機の注視や操作をしない

道路状況への注意が散漫になり、交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから行ってください。

実際の交通規制にしたがう

ナビゲーションの画面に表示された地図、一方通行標識、交通規制標識・標示等、またはルート案内（推奨ルートや音声案内）などの情報は、実際の道路状況と異なる場合があります。必ず実際の道路標識、交通状況にしたがって走行してください。交通事故の原因となります。

分解や改造をしない

コードの被覆を切って他の機器の電源を取ったり、ケースを開けて注油したりしないでください。事故、火災、感電、故障の原因となります。改造・分解による破損・故障は保証の対象外となります。

ヒューズ交換時は専門技術者に交換を依頼し、規定容量品を使用する

規定容量を超えたヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。これらによる破損・故障は保証の対象外となります。

故障や異常のまま使用しない

画面が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異常な音がする、変なにおいがするなどの場合は、ただちに使用を中止してください。火災、感電の原因となります。

ベンジン、シンナー、自動車用クリーナー、つや出しスプレーなどを使用しない

車内で使用すると可燃性ガスが引火するなど、火災の原因となります。
また、それらを使用して本機をお手入れすると変質したり、塗装がはがれるなどの原因になります。

SDメモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師の診断を受けてください。

注意

取り付け、取り外し、取り付け変更や配線は、専門技術者に依頼する

正しく取り付けや配線をしてください。誤った取り付けや配線をすると、運転に支障をきたし事故や故障の原因となります。また、誤った取り付け、誤った取り付け位置、落下による故障などは保証の対象外となります。

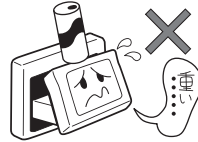
本機を車載以外の用途に使用しない

けがや感電の原因となることがあります。業務用として長時間使用した、または一般車両外（船舶、家庭用電源など）に使用した場合は保証の対象外となります。

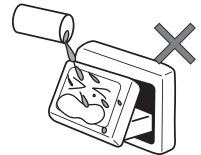
運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

操作パネルの上に物を置いたり、強い衝撃を与えない

操作パネルや液晶表示部が故障や破損・変形する原因となります。これらのような取り扱いによる操作パネルの破損・変形・故障については保証の対象外になります。

上に物を置かない

手で強く押さない

ボールペンの先端、ピン、爪の先など、硬いものでこすったりたたいたりしない

水滴やジュースなどの飲みものをかけない

操作パネルの開閉や角度の調整時に、手や指をはさまないように注意する

けがの原因になります。

お願いとお知らせ

■ 液晶表示について

- ●画面の中に小さな黒点、輝点が現われる場合がありますが、これは液晶モニター特有の現象で、故障ではありません。保証の対象外となります。
- ●タッチパネルに保護シートなどを貼らないでください。反応が遅くなったり、誤作動の原因となることがあります。保護シートなどを貼ったことによる誤動作・故障・破損は保証の対象外となります。液晶パネルが汚れた場合は、「本体のお手入れ」をお読みください。→ P.226

■ 使用環境について

●地震、風水害、落雷など天災、災害、公害、塩害、ガス害、水漏れ、異常電圧などによる故障または損害は保証の対象外となります。
●バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、車のエンジンをかけた状態で行ってください。
●本機は高速CPUを搭載していますので、ケースが熱くなることがあります。使用中やエンジンキーをOFFにした直後の取り扱いは、十分に注意してください。
●キーレスエントリーシステムが装着されている車では、キーをナビゲーション本体に近づけると、ナビゲーション本体が動作しなくなる場合があります。また、キーをナビゲーション本体やBluetoothオーディオ機器に近づけると、音飛びが発生する場合があります。キーを離してご使用ください。
●本機の近くで強力な電気的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。
●正常な使用方法でも消耗部品が自然消耗、磨耗、劣化した場合およびピックアップレンズなどの清掃などは保証の対象外となります。

■ ルートについて

●検索機能から表示される施設の位置をそのまま目的地に設定した場合、施設の裏側や、高速道路上など、不適切な場所に誘導してしまう場合があります。あらかじめご了承のうえ、目的地付近の経路をお確かめになるよう、お願いいたします。
●音声データにより聞き取りにくい名称があります。
●提供されるVICS情報は参考情報であり、最新のものではない場合もあります。
●ルート（経路）計算ができないときは、目的地を近くの主要な道路に移して計算してください。また、目的地までの距離などの条件によっては、計算できない場合があります。

■ 保証期間内の保証に関するご注意

●保証を受ける際は、お買い求めの販売店にご相談ください。
●保証の際には、付属品を回収させていただく場合がございます。
●本機の故障により保存できなかったデータ、および消失したデータに関しては、保証いたしておりません。
●次のような場合は、保証期間内でも保証は適用されません。
・お取り扱い上の不注意（取扱説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水濡れなど）
・不当な修理や改造・分解による故障および損傷
・火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障および損傷
・ご使用後の傷、変色、汚れおよび保管上の不備による損傷

■ 著作権について

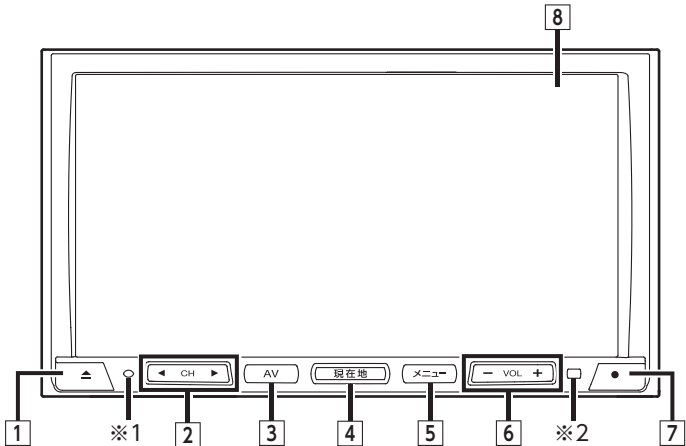
●本機は許諾契約に基づき弊社が使用許諾を受けた第三者が著作権を所有するソフトウェアおよびデータを収録しています。
取説記載内容にて明示的に許諾される場合を除き、本機からのソフトウェア（更新プログラム、データを含む）の取り出し、複製、改変等の行為は法律で固く禁じられています。

操作の前に

本機をご利用になる前に、知っておいていただきたいことを説明しています。

各部の名称とはたらき

操作パネル

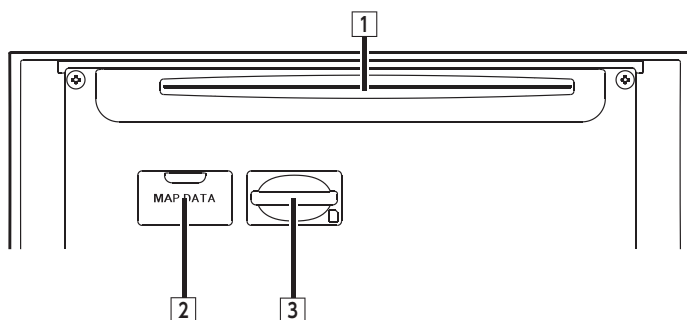
本機の操作パネルのボタン名称やはたらきについて説明しています。

※1 盗難防止ランプです。盗難防止設定を「ON」に設定している場合にランプを点滅させて、盗難を抑止します。
→ P.162
※2 リモコン受光部です。別売のリモコンからの信号を受信します。

本書では、操作パネルの各ボタンを以下のようなイラストで説明しています。

番号	イラスト		操作の説明
1	⏏	短押し	操作パネルの開閉や角度調整を行う画面を表示します。→ P.12 同じ画面からディスクも取り出せます。→ P.109
		長押し	本機に挿入されているディスクを排出します。
2	◀ ▶	短押し	オーディオ・ビジュアル機能で、プリセットチャンネルやトラック／チャプターを選択します。
		長押し	オーディオ・ビジュアル機能で、早戻し、早送りができます。 またラジオ、テレビを選択中は自動で放送局を選択できます。
3	AV	短押し	現在選択中のオーディオ画面や、ソース選択画面を表示します。 → P.110
		長押し	オーディオ・ビジュアルのON/OFFを切り替えます。

番号	イラスト	操作の説明	
4	現在地	短押し	現在地の地図画面を表示します。→ P.22
		長押し	その時点での走行状態に応じた音声ガイドを確認できます。
5	メニュー	短押し	メインメニュー画面を表示します。 この画面から各メニューを選択します。
6	+ −	短押し	オーディオ・ビジュアル機能やルート音声案内などの音量を調整します。→ P.110、P.167
		長押し	音量調整の際、連続して音量を変えます。
7	●	短押し	ボタンに割り付けたお好みの機能を実行します。オプションカメラ接続時は、カメラの表示を呼び出します。→ P.183
		長押し	ボタンに機能を割り付ける際の選択画面を表示します。→ P.171
8	—	タッチ	モニター兼タッチパネルです。画面が表示され、画面をタッチすることでタッチパネルとして機能します。

本体

本体のボタンやメディア挿入口について説明しています。本機の操作パネルを開くと確認できます。

番号	名称	機能の説明
1	ディスク挿入口	DVDビデオ、DVD-VR、CD、MP3・WMA・AACディスクを挿入する場所です。→ P.109
2	地図SDカード挿入口	地図SDカードが挿入されています。プログラム更新や地図更新を行う際に、フタを開けてカードの抜き差しを行います。 → P.190 その他の操作時は、フタを開けないでください。
3	SDカード挿入口	SDカードを挿入する場所です。→ P.109

⚠ 警告

- **ディスクをイジェクトした状態のまま走行しないでください。**
  振動によりディスクが落下し運転に支障をきたすおそれがあります。必ず完全に挿入するか、または取り出してください。

お願い

- 車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機をお使いになると、ディスクや光学部品が結露し、正常に動作しないことがあります。ディスクが曇っているときは、やわらかい布で拭いてください。光学部品が結露しているときは、1時間ほど放置しておくと結露が取り除かれます。
- ディスクをイジェクトした状態のまま走行しないでください。
  操作パネルが閉まる際に、ディスクがはさまれ本機やディスクが破損するおそれがあります。必ず完全に挿入するか、または取り出してください。
- 操作パネルの開閉中や、角度を調整した状態では、SDカードやディスクを取り出さないでください。記録したデータが破損、消滅することがあります。

本機で利用できるメディアについて

本機で使えるディスク

お願い

- 下記のディスクは、傷が付いたり、取り出せなくなるおそれがあるので使用しないでください。
  - 8cmCD
  - 異形のディスク
  - デュアルディスク（Dual Disc）
  - ラベルを貼り付けたディスク
- ディスク面にラベルを貼ったり、鉛筆やペンなどで文字を記入しないでください。
- ディスクは、表面に傷や指紋を付けないように扱ってください。
- セロハンテープやラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡があるディスクは使用しないでください。そのまま本機に挿入すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。
- ディスクは次のような場所には保管しないでください。
  - 直射日光の当たる場所
  - 湿気やホコリの多い場所
  - 暖房の熱が直接当たる場所

再生できるCD

●音楽CD
●CD-TEXTディスク
●CD-Extraディスク（ただし音楽CDとして）
●Super Audio CD（ハイブリッドディスクのCD層のみ）
●パソコンで、正しいフォーマットで記録されたディスク※1
●音楽CDレコーダーで録音した音楽用CD-R、CD-RWディスク※2
●コピーガード付きCD※3

※1 アプリケーションソフトの設定や環境によっては再生できない場合があります。詳しくはアプリケーションソフトの発売元にお問い合わせください。
※2 正常に再生できない場合があります。またCD-RWディスクは、ディスク挿入後から再生まで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。
※3 再生できない場合があります。

再生できないCD

●MIX MODE CD
●CD-DA以外のディスク（オーバーバーンCDなど）
●DTS CD
●ビデオCD
●ファイナライズしていないCD-R、CD-RWディスク

再生できるDVD

●DVD VIDEO の付いているディスク
●リージョン番号が「2」「ALL」のディスク
●DVD-VR

本機では市販のDVDビデオ、ご家庭で映像・静止画を保存されたDVD-VRを再生できます。
DVD-VRを再生するには、あらかじめお持ちのレコーダーでファイナライズしてください。

再生できないDVD

●リージョン番号が「2」「ALL」以外のディスク
●パケットライト方式で記録されたディスク
●ご家庭でハイビジョン録画したディスク
●DVD-RAM

以下のディスクは、機器の仕様や環境設定、ディスクの特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。

・ビデオモードで録画・ファイナライズしたDVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW

本機で使えるSDカード／USBメモリー

― お願い ―
- 地図SDカード挿入口に格納されている地図SDカードは、プログラム更新や地図更新時のみ、抜き差しを行います。→ P.8、P.190
  それ以外の操作では、以下に記載された市販のSDカードを使用してください。

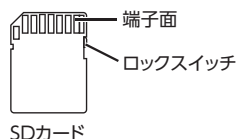
●記録メディア
　SDカード、SDHCカード（32GB以下）、miniSDカード※、microSDカード※、USBメモリー
※専用のアダプタが必要です。直接入れた場合、取り出せなくなったり、故障の原因となりますので、必ず専用アダプタをご使用ください。
●記録フォーマット
　FAT16、FAT32
●拡張子が以下のファイル
　.MP3/.WMA/.M4A/.MP4/.WMV
　該当するファイル以外には、これらの拡張子を付けないでください。雑音や故障の原因となります。
●ファイルサイズが2GB未満のファイル
※ただし、1GBを超えるファイルを再生した場合、再生時間の表示が停止することがあります。
※AACファイルは約800MBまでのファイルを再生できます。これを超えるサイズのファイルは再生できない場合があります。

詳しくは以下をご覧ください。
●本機で再生可能な音声ファイルについて
　→ P.219
●本機で再生可能な動画ファイルについて
　→ P.224

― お知らせ ―
- SDカードと互換のない記録メディアには対応していません。
- SDXCメモリーカードには対応していません。
- miniSDアダプタ、microSDアダプタを本機内に残さないでください。
- 本機では、DRM（デジタル著作権管理）で保護されたデータの再生はできません。

― MEMO ―
- SDカードをご購入の際は、規格に準拠した市販品をお選びください。

SDカード取り扱い上のご注意

●SDカードを折り曲げたり、落としたりしないでください。
●シンナー・ベンジンなどの有機溶剤で、SDカードを拭かないでください。
●書き込み、読み込みなどの使用中は操作パネルを開けたり、SDカードを本機から抜いたり、エンジンキーをOFFにしたりしないでください。
●SDカードを本機で使用する際は、パソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示もあわせてお読みください。
●SDカードは、ダッシュボードの上や直射日光の当たる場所など、高温になる場所に放置しないでください。変形、故障の原因となります。
●SDカードの端子面に、手や金属で触れないでください。
●SDカードの最適化は行わないでください。
●操作パネルの開閉動作中や、操作パネルの角度を調整した状態では、SDカードを取り出さないでください。記録したデータが破損、消滅することがあります。
●SDカード内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
●SDカードのロックスイッチを「LOCK」にすると、記録・消去ができなくなります。

シンプルメニューの使いかた

本機には、すべての機能を使うためのメインメニューと、よく使う機能をまとめたシンプルメニューがあります。シンプルメニューを利用すると、よく使う機能をすばやく呼び出せます。

1 メニュー ▶ シンプルメニュー

シンプルメニュー画面に切り替わります。

フルメニュー をタッチすると、メインメニュー画面に戻ります。

メインメニュー画面

シンプルメニュー画面

2 **目的の項目を選択**

お出かけ先を探す：

以下の方法で目的地を検索できます。

目的地の名称から目的地を探す → P.36
住所から目的地を探す→ P.37
電話番号から目的地を探す→ P.37
マップコードから目的地を探す → P.47
自車位置の周辺にある施設から探す → P.39
ルート沿いにある施設から探す → P.41
自車位置周辺の駐車場を探す → P.40
TV番組で紹介された施設を探す → P.43
自宅を目的地として設定する → P.39

ルート案内を中断する：

ルート案内を中止します。→ P.68
ルート案内を中止すると、シンプルメニュー画面のキーの表示が ルート案内を再開する に変わります。
ルート案内を中止しているときに ルート案内を再開する をタッチすると、ルート案内が継続されます。

オーディオを楽しむ：

以下からオーディオのソースを選択します。→ P.110
CD/DVD ／ USB/iPod ／ラジオ／テレビ／交通情報ラジオ

オーディオをOFFする：

視聴しているオーディオをOFFにします。→ P.111

音量・音質を調整する：

操作音やガイド音量、オーディオの音質に関する設定を行います。→ P.167、P.163

設定やデータを初期化する：

以下の項目を初期化します。
登録地／走行軌跡／ルート（目的地を含む）／入力履歴／操作音設定／ガイド音量設定／オーディオ設定

基本的な使いかた

— MEMO
- 走行中は、操作できる項目が限定されます。

電源を入れる

1 エンジンキーを「ACC」、または「ON」にする

本機に電源が入ります。
オープニング画面が表示された後、現在地地図画面、またはオーディオソース画面が表示されます。

— MEMO
- 本機購入後、初回起動時に利用開始確認画面が表示されます。GPS信号を受信している状態で、画面の指示にしたがって 利用開始 ▶ はい をタッチしてください。次回、本機を起動したときは現在地地図画面、またはオーディオ画面からはじまります。
- エンジンキーをOFFにすると、本機の電源が切れます。
- 盗難防止機能を設定すると、暗証番号入力画面が表示されます。→ P.162

操作パネルを開閉する

⚠ 警告

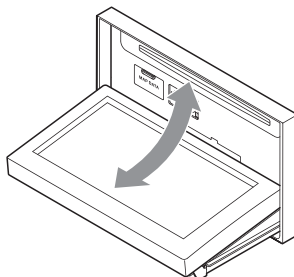
- **ディスクやSDカードをイジェクトした状態のまま走行しないでください。**
  振動によりディスクやSDカードが落下し運転に支障をきたすおそれがあります。必ず完全に挿入するか、または取り出してください。

— MEMO
- カメラの映像を表示している場合は、操作パネルを開けません。

1 [▲]

操作パネルの開閉を行う画面が表示されます。

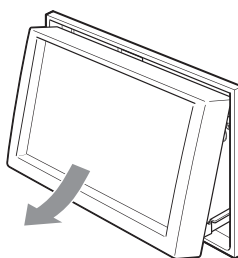
2 パネル開／閉

操作パネルが開きます。

操作パネルを閉じるには、もう一度 [▲] を押すか、パネル開／閉 をタッチします。

操作パネルの角度を調整する

操作パネルを見やすい角度に調整できます。調整できる角度は0 ～ 30度（約5度刻みの6段階）の範囲です。

1 [▲] ▶ 角度の段階を選択

▼

操作パネルが選択した角度に開きます。

— MEMO
- 「パネルをオープンしてください」と表示された場合、パネル開／閉 をタッチして操作パネルを開きます。
- 大きな角度から小さな角度に変更する場合、一度パネルが完全に閉じてから選択した角度に変更されます。

画面を非表示にする

1 メニュー

2 画面消し ▶ 画面表示オフ

時計画面表示：
画面全体に時計を表示する。

— MEMO

- 再度画面を表示させるには、以下のいずれかの操作を行います。
  - 画面をタッチする
  - メニュー、現在地、●、AV、⏏ のいずれかを押す
- 画面非表示、または時計表示の状態でエンジンキーをOFFにしても、次にエンジンキーを「ACC」、または「ON」にすると現在地地図画面、またはオーディオソース画面が表示されます。

時計画面表示（画面表示）

時計の表示を設定する

画面に表示される時計は、GPSを受信すると自動で表示されます。

1 メニュー

2 設定 ▶ その他設定 ▶ 時計

3 各キーで時計表示を設定

時計表示（地図・メニュー）：
各画面で時計を常に表示させるかどうかを設定する。

時計表示（オーディオ映像画面）：
テレビ／ DVD ／ VTR ／ iPodビデオなどの映像画面で時計を表示させるかどうかを設定する。

24時間表示：
時刻の表示形式を24時間表示／ 12時間表示で切り替える。

オフセット調整：
1分単位で時刻を調整する。
調整できる範囲は、－59分～＋59分です。

文字パネルを操作する

— お知らせ

- 登録地の名称変更など、編集時のみの機能です。

文字の種類を切り替える

文字を入力する前に、文字の種類を切り替えます。

1 入力したい文字の種類を選択

文字の種類は以下の順で切り替わります。
ひらがな→カタカナ（全角／半角）→英数（大文字／小文字／全角／半角）→記号（全角／半角）→ひらがな

文字の入力方式を切り替える

文字の入力方式を携帯電話での入力と同じ方式に切り替えられます。

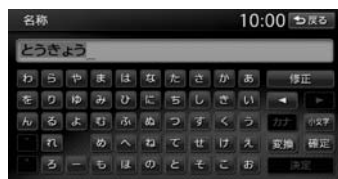
1 ▤

文字の入力方式が切り替わります。

携帯電話入力方式画面

文字を入力する

— お知らせ —
- 画面に表示されるキーは、使う機能により異なります。

1 画面上の文字を1文字ずつ選択

小文字：
ひらがな、カタカナキーのとき、文字入力後にタッチすると小さい文字を入力できる。
例：「っ」、「ょ」、「ィ」など

2 確定

文字を変換する

— お知らせ —
- 施設名称検索などは、文字の変換は必要ありません。

1 文字を入力

2 変換

変換候補が表示されます。

3 変換対象を選択

◀、▶：
変換する文字列の範囲を変更する。

前へ、次へ：
変換候補が多い場合、変換対象リストを切り替える。

文字を消去する

1 ◀、▶ で、消したい文字にカーソルを移動

2 修正

文字が1字消えます。

長押しすると、文字がすべて消えます。
カーソルが文字の間にあるときに 修正 を長押しすると、カーソル位置から右側の文字がすべて消えます。

文字を挿入する

1 ◀ 、▶ **で挿入したい位置の右にある文字にカーソルを移動**

2 **挿入する文字を入力**

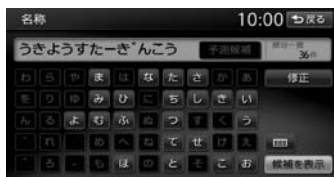
予測候補を表示する

入力した文字に該当する予測候補をリスト表示します。予測候補から文字を選ぶことで、入力をすばやく行えます。
表示される候補の例：
●すでに入力した語句
●県名・ブランド名などよく入力される語句
●有名施設名

— お知らせ —
• 予測候補機能は、目的地検索メニューでのみ使用できます。

1 **文字を入力 ▶ 予測候補**

2 **目的の項目を選択**

タッチした候補が文字入力欄に表示されます。

リストを1つ移動する

1 ▲ **または** ▼

リストのページを移動する

リストの項目が多い場合、複数のページに表示されます。

1 **リストを上下にフリック、または** ⏫ 、⏬

画面をタッチしたままで、上下にすばやくスライドしながら指を離すと、前ページ、次ページに切り替わります。これをフリック操作といいます。画面上をタッチしたまま、指を離さないでゆっくりスライドしても、画面を切り替えられます。

連続してページを移動させるには、上下方向にフリックし続けるか、 または を長押しします。リストの最後まで移動するとリストの先頭に戻ります。

インデックスを使って選ぶ

画面左部には、ひらがなのキーが表示されています。タッチしたキーやキーの行を先頭文字とする項目をリスト表示できます。ここでは、例として、リストから「と」ではじまる項目を選択する方法を説明します。

1 た

「た」、「ち」、「つ」、「て」、「と」ではじまる項目が表示されます。

2 **リストから該当する項目を選択**

— MEMO

- インデックスがすべて表示されていない場合は、上下方向にフリック、または 、 をタッチしてページを送ってください。

リストの選択／解除をする

ON/OFFのキーは、タッチするたびに、選択と解除が切り替わります。「ON」の状態が選択中を表します。

すべて選択／解除：
すべての項目の選択／解除を切り替える。

リストを並べ替える

リストの項目数が多い場合、リストの項目を並べ替えて、選びやすくできます。

1 並べ替える

2 **並べ替える方法を選択**

リストの項目が選択した方法で並べ替えられます。

— お知らせ

- 機能によって、表示されるキーが異なります。

読み順：
50音順にリストを並べ替える。

近い順：
自車位置から目的地までの距離が近い順にリストを並べ替える。

登録順：
地点登録順にリストを並べ替える。（登録地点リストのみ）

新着順：
メディアに紹介された年月日の新しい順にリストを並べ替える。（TVサーチ情報検索のみ）

アイコン順：
登録地に設定されたアイコンごとにリストを並べ替える。（登録地点リストのみ）

グループ指定：
指定したグループを先頭にしてリストを並べ替える。（登録地点リストのみ）

路線順：
各路線の上り／下り方向の順にリストを並べ替える。（ハイウェイ検索のみ）

リストの項目を絞り込む

— MEMO

- 複数の絞り込みを行うと、前の絞り込みで除かれた項目は表示されません。
  例：地域とジャンルで絞り込んだ結果、地域に「東京都」がなければ、ジャンルに「東京都」は表示されません。
- すべての絞り込みを解除するには、以下の方法があります。
  - 絞り込み指定の画面で すべての指定を解除する
  - 検索結果リスト画面で 戻る

条件を指定して絞り込む

リストの項目数が多い場合、地域や施設ジャンルなどの条件を指定して項目を絞り込めます。

1 **検索結果リスト画面で 候補を絞る**

絞り込み指定の画面が表示されます。

2 **絞り込む方法を選択**

— お知らせ

- 機能によって、表示されるキーが異なります。

地域を指定する：
都道府県や市区町村名から項目を指定する。
都道府県は5つまで選択できます。（TVサーチの場合は、都道府県をすべて選択できます。）市区町村名が不明の場合は、都道府県を選択した時点で 指定を完了 をタッチします。すると、都道府県で項目を絞り込めます。

ジャンルを指定する：
施設のジャンルから項目を指定する。
選択した分類内のすべてのジャンルが絞り込みの対象となります。

キーワードを指定する：
施設名に含まれる文字から項目を指定する。
1文字でも絞り込めます。

3 **指定を完了 または 候補を表示**

項目が絞り込まれて表示されます。再度 候補を絞る をタッチして、項目を絞り込むこともできます。

指定を解除：
絞り込みを解除する。
キーワード指定による絞り込みを解除するには、文字入力画面で 修正 を長押しして、文字を消してください。

近隣県を指定する

住所から目的地を探すときに、自車位置周辺の都道府県を指定して絞り込めます。

1 **近隣県**

地名を入力：
地名を入力して、目的地·地点を探す。

MAP：
選択した県の中心となる場所を地図に表示する。

2 **絞り込みたい県を選択**

施設情報を確認する

「ガソリンスタンド」などのジャンルから目的地を検索した場合、施設名の横に施設情報アイコンが表示されます。このアイコンから施設のサービスや設備を確認できます。

施設情報アイコン

— MEMO

- 施設情報アイコンには以下の種類があります。
  24（24時間営業）／ P（駐車場）／（トイレ）／ セルフ（セルフ給油方式）／ 洗車（洗車場）／（整備場）／（ドライブスルー）／（お酒）／（タバコ）／ 不明（不明）
- 施設情報アイコンは、ジャンル内の詳細ブランド名を選択した場合のみ表示されます。データの整備状態によっては、表示されないブランド項目もあります。

関連する地図を表示する

候補画面の施設名に MAP が表示されている場合があります。 MAP をタッチすると、その施設の検索結果画面が表示されます。
都道府県リストで MAP をタッチすると、選択した県の中心となる場所の検索結果画面が表示されます。

数値を増減する

リストの項目に ＋ 、－ が表示されている場合は、数値や音量などを増減できます。

自宅を登録する

あらかじめ自宅を登録しておくと、お出かけ先から自宅へのルートを設定できます。
本機を購入されたら、まず自宅の登録を行うことをおすすめします。
住所から自宅を登録するには、以下のように操作します。

1. メニュー
2. 目的地 ▶ 自宅へ戻る
3. はい ▶ 住所
4. **都道府県を選択**
5. **市区町村を選択**
6. **地域を選択**
7. **番地、号を選択**

   番地を入力：
   番地、号を入力する。

   — お知らせ
   - 号がない住所の場合は、番地をタッチしてください。
8. **必要に応じて、地図をスクロールして位置を修正** ▶ 決定

9. 終了

— MEMO —
- シンプルメニューからも同様の操作ができます。→ P.11

登録済みの自宅情報を編集する

1 メニュー

2 設定 ▶ ナビゲーション

3 登録データの編集・消去 ▶ 自宅

自宅（未登録）：
自宅が未登録の場合に、自宅検索画面を表示する。

4 編集

位置を修正：
地図をスクロールして自宅の位置を修正する。

消去：
登録済みの自宅情報を消去する。

終了：
手順3に戻る。

5 **編集する項目を選択**

地図上表示：
「ON」に設定すると、地図上の自宅位置に自宅アイコンを表示する。

アイコン：
自宅に割り付けるアイコンを設定する。

アラーム音：
自宅に接近したときに鳴らすアラーム音を設定する。

アラーム方向：
自宅に接近したときに、アラーム音を鳴らすための方向を設定する。
方向を設定すると、設定した方向以外の向きで自宅に接近してもアラームは鳴りません。

アラーム距離：
自宅に接近したときにアラームを鳴らすための距離を設定する。

電話番号：
電話番号を編集する。

地図画面の見かた

地図画面の表示内容や操作方法について説明しています。

現在地の地図画面

1 現在地

現在地の地図画面が表示されます。

1 **自車位置マーク**
現在いる場所の位置を示しています。
マークの種類は変更できます。→ P.32

以下のキーは、タッチして操作できます。

2 AM **AVコントロールバー表示キー**
AV（オーディオ・ビジュアル）コントロールバーが表示されます。→ P.23

3 **音声検索キー**
スマートフォンの4Carアプリケーションと連携して目的地検索ができます。→ P.107

4 **マルチインフォメーションキー**
自車位置周辺の情報が表示されます。キーの下段にお好みの追加情報を表示させることもできます。→ P.23
表示例
横浜市西区高島
CH1 531kHz

5 Navi Con **NaviConキー**
NaviConアプリケーションを利用する際にタッチします。→ P.48

6 詳細 ／ 広域 **詳細／広域キー**
地図の縮尺を拡大／縮小できます。
→ P.24

7 100 m ／ 100 m **方位マーク**
現在の地図の向きです。タッチするたびに地図の向きが切り替わります。→ P.25
キーの右側には、現在表示している地図の縮尺が表示されます。

8 表示変更 **表示変更キー**
地図表示変更メニューが表示されます。
→ P.27
このメニューでは、以下の設定が行えます。
- 地図画面の分割表示
- 地図表示モードの変更
- 地図画面上に表示する情報やアイコンの設定

9 現在地メニュー **現在地メニューキー**
現在地メニューが表示されます。→ P.24
このメニューでは、自車位置を登録リストに登録したり、自車位置周辺の検索などが行えます。

※1 受信済みのVICS情報の提供時間が表示されます。
※2 別売のETCユニット、またはDSRCユニット接続時に表示されます。
※3 Bluetooth対応携帯電話が接続状態のときに表示されます。

AVコントロールバーを表示する

オーディオ・ビジュアル機能をすばやく呼び出せるAVコントロールバーを表示できます。表示内容は、使用中のオーディオ・ビジュアルの種類によって異なります。

1 AVコントロールバー表示キー

使用中のオーディオ・ビジュアルのコントロールバーが表示されます。

— MEMO

- 非表示に戻したいときは、再度AVコントロールバー表示キーをタッチします。
- 10秒間コントロールバーの項目をタッチしないと、自動的に非表示になるように設定できます。→ P.158

マルチインフォメーションキーの使いかた

マルチインフォメーションキーの下段にお好みの機能を割り付け、情報を追加表示できます。
マルチインフォメーションキーの表示／非表示は切り替えられます。→ P.157

— お願い

- マルチメーターの速度表示は、あくまでも目安です。車両速度は、お車の実際のメーター表示で判断してください。

1 マルチインフォメーションキー

2 機能を選択

オーディオ情報：
再生中のトラック名、受信中の放送局名などの情報を表示する。
表示される情報は、ソースによって異なります。

マルチメーター情報：
以下の情報を表示する。
Spd：走行速度
Avg：平均速度
Max：最高速度
Odo：走行距離
目的地を設定したり、ルート案内を取りやめると、表示された情報はリセットされます。

エコロジー運転情報：
走行状態によって、eスタート率、アイドリング時間、急加速警告などの情報が表示されます。

GPS&自車方位情報：
GPS測位状態、GPS捕捉数、自車進行方向などの情報を表示する。
GPS測位状態には、以下の種類があります。
3次元測位：
4つ以上のGPS衛星から電波を受信し、現在地を3次元で測位しています。
2次元測位：
3つ以上のGPS衛星から電波を受信し、現在地を2次元で測位しています。
非測位：
有効なGPS衛星からの電波を受信できず、測位できない状態です。

追加表示しない：
機能を追加しない。
自車位置周辺情報のみが表示されます。

情報を追加した場合

現在地メニューを表示する

現在地メニューでは、自車位置を登録リストに登録したり、自車位置周辺の検索などを行えます。

1 現在地メニュー

2 **目的の項目を選択**

周辺施設を検索：
自車位置周辺の施設を検索する。
→ P.39

検索アイコンの消去：
地図上の検索アイコンを消去する。
→ P.42

渋滞情報取得：
Bluetooth対応携帯電話、またはUSBデータ通信モジュールが接続済みの場合、渋滞情報をダウンロードする。→ P.63

ここを登録：
自車位置を登録リストに登録する。
→ P.53

周辺駐車場：
自車位置周辺の駐車場を検索する。
→ P.40

地図を拡大／縮小する

1画面地図表示および2画面地図表示の地図を拡大、または縮小して表示します。

本機で表示される地図の尺度は以下のとおりです。

市街地図エリアの地図尺度（14段階（2D）／13段階（3D））

市街地図：
10m（2Dのみ）、25m、50m
通常地図：
50m、100m、200m、500m、1km、2km、4km、10km、16km、64km、256km

市街地図がないエリアの地図尺度（11段階）

50m、100m、200m、500m、1km、2km、4km、10km、16km、64km、256km

— お知らせ —

- 道路整備や拡張により、実際の道路状況と異なる場合があります。
- 一部地域では、市街地図の収録エリア内でも表示されない場合があります。

1 **地図画面の 詳細 または 広域**

地図が拡大／縮小されます。
詳細 または 広域 を長押しすると、地図の大きさを細かく拡大／縮小できます。ただし、市街地図50mスケールと通常地図256km表示では、細かい調整表示はできません。
2画面地図表示の右地図を拡大または縮小するときは、右地図をタッチしてから右地図側に表示されるキーを操作してください。

通常地図50m画面

市街地図50m画面

スケールコントロールバー

画面下に表示されるスケールコントロールバーの尺度をタッチしても、同様に地図が拡大／縮小されます。50m、100m、200m、500m、1km、2kmからスケールを選択できます。3秒間操作がない場合、スケールコントロールバーは非表示になります。

— MEMO

- 市街地図の表示中、市街地図のエリア外に近づくと「市街地図データがありません」と表示されます。その際は、広域 をタッチしてください。自車位置が市街地図の収録エリア外に出た場合は、50mスケールの通常地図に自動的に切り替わります。

地図の向きを変える

地図の向きを、進行方向上向き、または北方向上向きから選択できます。

1 地図画面の [100m] または [N 100m]

進行方向上向き

北方向上向き

タッチするごとに地図の表示方向が、進行方向上向き、北方向上向きの表示に切り替わります。

— お知らせ

- 立体地図では、地図の向きを変えられません。

地図をスクロールする

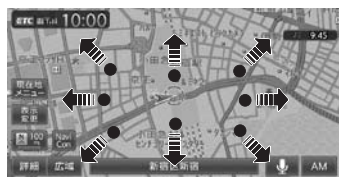
— お知らせ

- 市街地図表示で走行中のときは、スクロールはできません。
- 画面を左右に分割表示しているときの右画面は、スクロールできません。

— MEMO

- 地図画面を長くタッチし続けると、タッチした方向に地図がスクロールし続けます。
- 決定 をタッチすると、スクロール先メニューが表示され目的地や登録地に設定できます。スクロール先が登録地、目的地、経由地の場合は、スクロール先メニューから地点を消去することができます。また、Bluetooth対応携帯電話、またはUSBデータ通信モジュールを接続している場合は、オンラインを利用してスクロール先周辺の交通情報をダウンロードできます。→ P.63
- スクロール中は画面にマップコード、緯度・経度が表示されます。
- 画面上には、スクロール先の地点名称、自車位置からの距離が表示されます。
- 詳細 広域 をタッチし、地図のスケールを変えながらスクロールすると、遠い場所に移動しやすくなります。
- 現在地地図画面に戻るには、現在地 を押すか、戻る をタッチします。

平面地図のスクロール

1 見たい方向の画面の端をタッチ

地図上を移動できます。

2 位置を微調整する場合は、微調整

見たい方向の矢印をタッチすると、スクロール位置を微調整できます。

解除：
通常のスクロール地図画面に戻る。

— お知らせ

- 走行中は、平面地図の微調整はできません。
- 平面地図の場合、市街地図から通常地図へのスクロールはできません。広域 をタッチして通常地図にしてからスクロールさせてください。
- スクロール先が登録地、目的地、経由地の場合は、スクロール先メニューから地点を消去できます。

— MEMO

- 平面地図画面を短くタッチした場合は、その場所が中心となるようにスクロールします。

■ フリック操作・ドラッグ操作でスクロールする

フリック操作、またはドラッグ操作でも地図をスクロールできます。

1 画面上をタッチしたまま、すばやくスライドしながら指を離す（フリック操作）

▼

画面上をタッチしたまま、指を離さないでゆっくりスライドする（ドラッグ操作）

立体地図のスクロール

— お知らせ —
- 立体地図の場合、フリック操作、ドラッグ操作はできません。

1 地図画面をタッチ

2 見たい方向の矢印をタッチ

3 [左回転]、[右回転] で向きを調整

地図の表示方法を変える

地図をいろいろな表示方法に設定できます。また、地図表示に関する設定を変更できます。

1 地図画面の 表示変更

2 設定したい表示方法を選択

地図モードを選択します。

— MEMO —
- 現在地 を押すごとに、現在地地図画面と選択した地図モードの画面を切り替えられます。

1画面：
地図を1画面で表示する。→ P.28

2画面：
地図を分割し、2画面で表示する。→ P.28

ルート情報：
ルート情報モードに切り替える。→ P.29

ピクチャービュー：
ピクチャービューモードに切り替える。
→ P.30

＋エコロジー：
エコロジー情報モードに切り替える。
→ P.31

AV2画面：
画面を分割し、左画面に地図、右画面にオーディオ画面やソースイメージを表示する。
→ P.31

3D：
地図を立体的に表示する。→ P.28
※地図描画のため、自車位置表示が遅れる場合があります。

[N] ／ [方位]：
地図の向きを切り替える。→ P.25
立体地図を表示している場合は、平面地図に切り替わります。

上がる／下がる：
立体地図の角度を調整する。
地図表示を「3D」に設定しているときに表示されます。→ P.28

ハイウェイモード：
ルート情報モードの自動表示の設定を切り替える。
自動表示をONに設定している場合は、高速道路・有料道路走行中、自動的にルート情報モードに切り替わります。→ P.29

一方通行：
一方通行情報の表示/非表示を切り替える。
→ P.32

抜け道：
抜け道情報を表示する。→ P.32

施設アイコン：
地図上に表示する施設アイコンを選択する。

VICS表示：
地図上に表示するVICS情報を選択する。

その他：
地図表示に関するいろいろな設定を行う。
→ P.32

地図を1画面で表示する

1 **地図画面の** 表示変更

2 1画面 ▶ 戻る

画面を左右に分割して地図を表示する

1 **地図画面の** 表示変更

2 2画面 ▶ 戻る

— MEMO

- 右画面を拡大、または縮小するときは、右画面をタッチしてから操作します。その後、右画面の をタッチすると、もとの2画面表示に戻ります。
- 2画面の場合は、以下のように表示されます。
  - 地図のスケールと向きは左右別々に設定できます。→ P.24、P.25
    ただし、右地図ではスケールの細かい調整はできません。
  - 交差点拡大図などは右地図に、VICS情報などは左地図に割り込み表示されます。
  - スクロール操作は左地図で行います。

  2画面表示から1画面に切り替えた場合、左地図の表示設定が1画面に反映されます。

地図を立体的に表示する

1 **地図画面の** 表示変更

2 3D ▶ 戻る

— MEMO

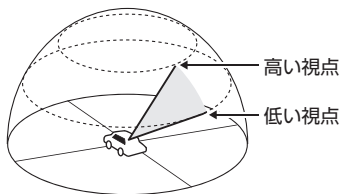
- 2画面表示の場合、立体地図を表示できるのは、左地図か右地図のどちらか一方です。このとき1画面に切り替えると、左地図の表示設定が1画面に反映されます。
- 立体地図では、視点の角度を調整できます。→ P.28
- 平面地図に戻すには、地図表示変更メニューの または をタッチします。

立体地図の角度を調整する

1 **地図画面の** 表示変更

2 上がる または 下がる

上がる をタッチして視点を高くした場合

下がる をタッチして視点を低くした場合

ルート情報モードで表示する（一般道路）

一般道路走行中に1 ～ 3つ先の交差点情報や目的地、経由地情報を表示できます。

準 備

●目的地を設定します。→ P.33

1 地図画面の 表示変更

2 ルート情報 ▶ 戻る

ルート情報リストが表示されます。

— MEMO

- 都市高速道路の入口約300m手前では、都市高速道路入口イラストが割り込み表示されます。道路形状などの条件によっては表示されない場合もあります。
- 左地図のスケールや向きを変えたり、平面や立体で表示できます。
  → P.24、P.25、P.28
- 現在地 を押すと、以下の順で画面が切り替わります。
  ルート情報モード→現在地地図→拡大図→ルート情報モード
  拡大図は表示可能な場合のみ切り替わります。
- 背景イラストはイメージ図です。実際に走行中の道路とは形状が異なります。

ルート情報モードで表示する（高速道路）

高速道路および一部の有料道路を走行中に、以下の情報を表示できます。

●インターチェンジ／ジャンクション／サービスエリア（SA）／パーキングエリア（PA）／ランプ／目的地までの合計料金など

準 備

●目的地を設定します。→ P.33

— MEMO

- 以下の条件を満たしている場合は、自動的にルート情報モードに切り替わります。
  - 地図表示変更メニューの「ハイウェイモード」が「ON」に設定されている。→ P.28
  - 高速道路、都市高速道路、一部の有料道路を走行している。

1 地図画面の 表示変更

2 ルート情報 ▶ 戻る

ルート情報リストが表示されます。

— お知らせ

- すべてのVICS規制アイコンが表示されるわけではありません。必ず現地の交通規制にしたがって走行してください。
- 高速道路の途中で目的地を設定した場合、料金表示、音声での料金案内は行いません。
- オートリルートすると、ルート情報モードが一時的に解除される場合があります。→ P.154

— MEMO

- 渋滞状況が色で表示されます。（赤：渋滞、オレンジ：混雑、水色：順調）
- 渋滞状況が灰色で表示されるのは、以下の場合です。
  - VICS渋滞情報が配信されていない
  - 本機の地図データが更新されていないため配信情報が処理できない
- SA/PAをタッチするとSA/PA情報が表示されます。
- 目的地を設定していない状態でインターチェンジをタッチすると、目的地や経由地に設定できます。同様にジャンクションをタッチすると、分岐道路名称などの情報が表示されます。
- 料金所には、料金が表示されます。料金所はタッチできません。
- 料金所では、料金所のゲート情報をデフォルメして表示します。時間帯、規制等により実際の状況と一致しない場合がありますので、必ず現地の指示にしたがって走行してください。
- 左地図のスケールや向きを変えたり、平面や立体で表示できます。
  → P.24、P.25、P.28
- 一部の有料道路や変則的な料金体系の高速道路の料金表示には対応していない場合があります。また、ETC割引や期間限定の料金体系などの変則的な料金体系には対応していません。このような場合には、料金が正しく表示されないことがあります。
- 道路の開通時期によっては、料金が表示されなかったり、実際とは異なる料金が表示されることがあります。このような場合には、実際の料金にしたがってお支払いください。
- ハイウェイモードONの場合は、現在地 を押すと、以下の順で画面が切り替わります。
  → P.27
  ルート情報モード→現在地地図→拡大図→ルート情報モード
  拡大図は表示可能な場合のみ切り替わります。
- 背景イラストはイメージ図です。実際に走行中の道路とは形状が異なります。

SA/PA図

SA/PAの施設情報です。ルート情報リストでSA/PAの名前をタッチすると表示されます。

地図を表示：
施設の地図を表示する。

ピクチャービューモードで表示する

自車位置周辺のグルメスポット、観光スポットを写真で表示します。クラリオン株式会社Webサイト「Smart Access」からMYツアーデータを取り込んでいる場合は、データ内のスポットも写真で表示できます。表示中の施設は、目的地や経由地として設定できます。
ピクチャービューモードは、1画面の平面地図で表示されます。

1 **地図画面の** 表示変更

2 ピクチャービュー ▶ 戻る

3 **写真を選択**

«、»：
写真リストをスクロールする。

|«：
写真リストの先頭に戻る。

ルート沿い：
ルート沿いの施設の写真を優先して表示する。
ルートが設定されていない、またはルートを外れて走行している場合はタッチできません。

：
スクロール地図画面を表示する。
「カーソル表示」がOFFのとき、アイコンは表示されません。→ P.159

：
表示される施設の種類をレジャーに切り替える。

：
表示される施設の種類をグルメに切り替える。

：
表示される施設の種類をMYツアーデータ内のスポットに切り替える。

4 目的の項目を選択

ここに行く：
施設へのルート探索を行い、案内を開始する。

ここをルートに追加：
施設を経由地として追加する。（ルート設定時のみ表示）

ここを登録：
施設を登録リストに登録する。

詳細情報を見る：
施設の詳細情報を表示する。

位置を修正：
地図をスクロールして、表示している位置を修正する。

— お知らせ —
- 走行中、写真はアイコンで表示されます。
- ピクチャービューモードを解除するには、他のモードに変更してください。

— MEMO —
- 目的地や経由地に設定済みのスポットには、写真の上に または が表示されます。
- 現在地 を押すと、以下の順で画面が切り替わります。
  ピクチャービューモード→現在地地図→拡大図→ピクチャービューモード
  拡大図は表示可能な場合のみ切り替わります。

エコロジー情報モードで表示する

1 地図画面の 表示変更

2 +エコロジー ▶ 戻る

— お知らせ —
- エコロジー情報モードを解除するには、他のモードに変更してください。

— MEMO —
- 現在地 を押すと、以下の順で画面が切り替わります。
  エコロジー情報モード→現在地地図→拡大図→エコロジー情報モード
  拡大図は表示可能な場合のみ切り替わります。

画面を分割してAVイメージを表示する

画面を分割し、左画面に地図、右画面に映像ソースの動画または音声ソースのイメージを同時に表示します。

1 地図画面の 表示変更

2 AV2画面 ▶ 戻る

— MEMO —
- SDカード／USBメモリー内のビデオファイルは、AV2画面で再生すると、音声の出力のみとなり、映像は表示されません。
- 現在地 を押すと、以下の順で画面が切り替わります。
  AV2画面→現在地地図→拡大図→AV2画面
  拡大図は表示可能な場合のみ切り替わります。

一方通行を表示する

⚠ 警告

- **一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも、実際にはその一部が双方通行の場合があります。**

1 **地図画面の** 表示変更

2 一方通行 ▶ 戻る

お知らせ

- 一方通行情報は、市街地図および通常地図の50m以下のスケールで表示されます。
- 立体地図では表示されません。
- 一方通行情報はスクロール地図で走行中は表示されません。

抜け道を表示する

1 **地図画面の** 表示変更

2 抜け道 ▶ 戻る

抜け道情報が、紫色の道路で表示されます。

お知らせ

- 抜け道情報は、通常地図の200m以下のスケールで表示されます。
- 市街地図では表示されません。
- 抜け道表示の設定は、地図表示のみに有効です。ルート計算には反映されません。

地図画面の設定をする

1 **地図画面の** 表示変更

2 その他

3 **設定したい項目を選択**

昼画面／夜画面の地図色：
昼画面、夜画面（車のスモールランプ点灯時）の表示色を選択する。（初期値：昼画面地図色1、夜画面地図色4）

地図文字サイズ：
地図画面に表示する文字の大きさを選択する。（初期値：中）

自車位置マーク：
地図画面に表示する自車位置のマークを選択する。（初期値：自車位置マーク1）

目的地方向表示：
地図画面に目的地の方向を直線で表示するかどうかを選択する。（初期値：ON）

目的地を探す

本機では、さまざまな方法で目的地を検索できます。

ルートガイド開始までの流れ

① 目的地の検索

いろいろな方法で目的地を探すことができます。

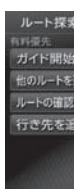
お好みの検索方法で目的地を検索します。

- 施設の名称で探す → P.36
- 電話番号で探す → P.37
- 住所で探す → P.37
- 自車位置周辺／目的地周辺から探す → P.39
- 本機に登録した地点から探す → P.37
- 目的地の履歴から探す → P.46
- 自宅に戻る → P.39
- 音声で探す → P.42
- NaviConで探す → P.48

- 施設のジャンルから探す → P.38
- 「Smart Access」を利用して探す → P.44
- TVの情報から探す → P.43
- 本機に登録したルートから探す → P.47
- 緯度・経度で探す → P.47
- 郵便番号で探す → P.47
- マップコードで探す → P.47
- SDカードに保存した登録地点から探す → P.47

② ルートの確

目的地を設定したら…

認と編集

③ ルートガイド開始

ルートガイドが開始されます。

すぐにルートガイドを開始したい

ガイド開始 をタッチ

現在のルートで案内が開始されます。

この画面からこんな操作もできます。

・位置を修正 → P.58
・ここを登録 → P.58
・ルートに追加 → P.58
・周辺駐車場 → P.58

ルートを表示 ▶▶ ルートを確認して ガイド開始 をタッチ

この画面からこんな操作もできます。

・ルートの確認・登録 → P.60
・行き先を追加 → P.60

ルートを表示 他のルートを選ぶ ガイド開始 をタッチ

異なる条件で探索された複数のルートが表示されます。
お好みのルートを選択してください。

目的地検索画面を表示する

目的地メニュー画面では、本機に収録されているデータから、効率良く目的地を探せます。また、現在地メニュー画面からも目的地を探せます。

メニュー ▶▶ 目的地 ▶▶

目的地メニュー画面

※走行中はタッチできる項目が限定されます。

現在地メニュー画面

※走行中はタッチできる項目が限定されます。

— お願い

- 検索結果として表示される施設の位置は、あくまでもその施設の位置を示しています。そのため、そのまま目的地として設定すると、まれに施設の裏側や高速道路上など、車で行くのに適さない場所に誘導されることがあります。あらかじめご了承のうえ、目的地付近の経路をお確かめいただくよう、お願いいたします。

— MEMO

- 目的地メニュー画面は、表示項目を入れ替えられます。→ P.166

基本的な使いかた

地図で探す

1 **地図をスクロールさせて目的地を表示** → P.25

2 決定

3 ここに行く

目的地までのルートが探索され、ルート探索結果画面が表示されます。→ P.59

4 ガイド開始

施設の名称で探す

— お知らせ

- 施設の名前の一部からでも目的地を探せますが、省略した名前では探せない施設もあります。できるだけ正式名称で探すことをおすすめします。
- 検索の結果、対象となる施設が膨大な数になった場合、入力した文字列と完全一致した施設のみが表示されます。入力文字を増やすことで、部分一致する施設を探せるようになります。

1 メニュー ▶ 目的地 ▶ 名称

2 **施設の名称を入力** ▶ 候補を表示

入力した施設名の候補が5件以下→手順3

3 **施設を選択**

4 ガイド開始 → P.49

— MEMO
- シンプルメニューからも同様の操作が行えます。→ P.11

住所で探す

— お知らせ
- 住所データの整備状態により、一部探せない住所があります。
- 数字以外の文字を含む番地や号は、検索できない場合があります。

1 メニュー ▶ 目的地 ▶ 住所
2 **目的地の都道府県を選択**
近隣県：
自車位置周辺の都道府県を指定する。
→ P.17
3 **市区町村を選択**
4 **地域名を選択**
5 **番地、号を選択**
番地を入力：
番地、号を入力する。
— お知らせ
- 号がない住所の場合は、番地をタッチすると検索結果画面が表示されます。

6 ガイド開始 → P.49

— MEMO
- シンプルメニューからも同様の操作が行えます。→ P.11

地名で探す

都道府県名や市町村名がわからなくても、地名から位置を検索できます。

1 メニュー ▶ 目的地 ▶ 住所
2 地名を入力
3 **地名を入力** ▶ 候補を表示
地名の途中まででも検索できます。
4 **目的の地名を選択**
5 **番地、号を選択**
6 ガイド開始 → P.49

登録した地点から探す（登録リスト）

本機に登録したよく行く場所の一覧から目的地を探せます。

— MEMO
- 本機の登録リストには、400件まで地点を登録できます。→ P.53
- 「Smart Access」サイトから、本機の登録リストに地点を取り込めます。

1 メニュー ▶ 目的地
2 登録地
3 **登録地を選択**
4 ガイド開始 → P.49

電話番号で探す

— お知らせ
- 携帯電話やPHSの電話番号からは目的地・地点を探せません。
- タウンページに掲載されていない電話番号では目的地・地点を探せません。
- データの整備状況により、探せない施設や位置が正確ではない施設があります。

1 メニュー ▶ 目的地 ▶ 電話番号
2 **電話番号を市外局番から入力（9～11桁）** ▶ 決定
— MEMO
- 複数の施設がリストに表示された場合は、リストから目的の施設を選択してください。

3 ガイド開始 → P.49

個人宅を検索する場合

入力した電話番号が個人宅の場合、プライバシー保護のため、名字入力画面が表示されます。名字を入力して 決定 をタッチしてください。
名字とデータが一致していれば、検索結果画面が表示されます。一致していない場合は、「名字が一致しません。もう一度入力してください。」と表示されます。
個人宅の名字入力において、複数の読みがある名字については、実際と異なる読みかたで登録されている場合があります。

— MEMO

- シンプルメニューからも同様の操作が行えます。→ P.11

施設のジャンルから探す

「食べる・飲む」、「遊ぶ・見る」などのジャンルを選択して、該当する施設を探します。

— お願い

- ハイウェイの施設を検索した場合、検索結果として道路の分岐点や合流点上の地点が表示されることがあります。この場合、適切なルートとならないことがありますので、地点の位置を適宜調整してください。

1 メニュー ▶ 目的地

2 他の検索方法 ▶ ジャンル

3 **ジャンルを選択**

4 **施設のジャンルを選択**

詳細：

詳細なジャンルのリストを表示する。ブランド名を指定できます。

— お知らせ

- 選択したジャンル内に詳細なジャンルがない場合は、施設リスト画面が表示されます。→手順5

5 **目的の施設を選択**

— MEMO

- 対象となる施設数が1万件を超えている間は、都道府県や市区町村を選択する画面が表示されます。目的地とする施設の都道府県、市区町村をタッチしてください。

6 ガイド開始 → P.49

ジャンル名を入力して探す

施設のジャンルに関連した言葉をキーワードとして入力し、施設を探します。

1 メニュー ▶ 目的地

2 他の検索方法 ▶ ジャンル

3 ジャンル名入力

4 **キーワードを入力** ▶ 候補を表示

予測候補：

予測変換候補リストからジャンルや施設を選択する。

— お知らせ

- キーワードの入力途中でも対象が絞られた場合は、自動的にジャンルのリストが表示されます。

5 **目的のジャンルを選択**

6 **目的の施設を選択**

— MEMO

- 似た名前の別のジャンルに目的の施設データが含まれる場合があります。目的の施設が見つからない場合は、似た名前のジャンルも探すことをおすすめします。
- 対象となる施設数が1万件を超えている間は、都道府県や市区町村を選択する画面が表示されます。目的地とする施設の都道府県、市区町村をタッチしてください。

7 ガイド開始 → P.49

自宅に戻る

自宅を登録しておくと、自宅をすぐに探し出せます。→ P.18

1 メニュー ▶ 目的地

2 自宅へ戻る

3 ガイド開始

自宅までのルートが探索され、ルート案内を開始します。

— MEMO

• シンプルメニューからも同様の操作が行えます。→ P.11

設定した目的地を消去する

— お知らせ

• 目的地を消去すると、経由地も同時に消去されます。

1 メニュー ▶ 目的地

2 目的地を消去 ▶ はい

目的地が消去され、ルート案内が中止されます。

自車位置周辺／目的地周辺から探す

— お知らせ

• 目的地までのルートが設定されていないと、目的地周辺の検索はできません。

自車位置周辺の施設のジャンルから探す

周辺100km以内にある施設を探せます。（最大100件）

1 メニュー ▶ 目的地

2 周辺検索 ▶ 自車周辺

3 **施設のジャンルを選択**

ジャンル名入力：
キーワードを入力してジャンル名から探す。→ P.38

お好みアイコンキー：
選択したアイコンのジャンルの施設を自車位置周辺から探す。

施設リストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

4 **目的の施設を選択**

— MEMO

• 施設名の横に施設までの距離が表示されます。

5 ガイド開始 → P.49

— MEMO

• シンプルメニューからも同様の操作が行えます。→ P.11

目的地を探す

よく使うジャンルから探す（お好みアイコンキー）

お好みアイコンキーに登録したジャンルから、自車位置周辺の施設を探せます。周辺100km以内の地域にある施設を探せます。（最大100件）

1 メニュー ▶ 目的地

2 周辺検索

3 **お好みアイコンキーを選択**

— MEMO

- 走行中は施設リストは表示されず、現在地地図画面に切り替わります。「検索アイコンの表示」がONの場合は、検索アイコンが地図上に表示されます。→ P.150

4 **施設を選択**

5 ガイド開始 → P.49

よく使うジャンルをお好みアイコンキーに登録する

よく使う施設のジャンルを5つまで本機に登録できます。ジャンルを登録しておくと、目的地をジャンルで探すときにすばやく呼び出せます。コンビニやガソリンスタンドなどは、ブランド名まで指定して登録できます。

1 メニュー ▶ 目的地

2 周辺検索 ▶ お好み変更

3 **登録したいお好み番号を選択**

お好み消去：
お好みアイコンキーに登録したジャンルを消去する。

— MEMO

- ジャンルが表示されているお好み番号を選択すると、ジャンルが上書きされます。

4 **ジャンルを選択**

5 **さらにジャンルを選択**

詳細：
詳細なジャンルのリストを表示する。ブランド名を指定できます。

— MEMO

- 選択したジャンル内のすべてのジャンルが登録されます。

よく使うジャンルが登録され、周辺検索メニュー画面に選択したジャンルのアイコンが表示されます。

自車位置周辺の駐車場を探す

表示先から半径800m以内にある駐車場を探します。（最大10件）

1 現在地 ▶ 現在地メニュー

2 周辺駐車場

3 **駐車場を選択**

— MEMO

- 駐車場名の横に駐車場までの距離が表示されます。

4 ガイド開始 → P.49

— MEMO

- シンプルメニューからも同様の操作が行えます。→ P.11

目的地周辺の施設のジャンルから探す

周辺100km以内にある施設を探せます。（最大100件）

1 メニュー ▶ 目的地

2 周辺検索 ▶ 目的地周辺

3 **施設のジャンルを選択**

ジャンル名入力：
キーワードを入力してジャンル名から探す。→ P.38

お好みアイコンキー：
選択したアイコンのジャンルの施設を目的地周辺から探す。→ P.40

施設リストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

4 **目的の施設を選択**

— MEMO

- 施設名の横に施設までの距離が表示されます。

5 ガイド開始 → P.49

目的地周辺の駐車場を探す

目的地の半径800m以内にある駐車場を探します。（最大10件）

1 メニュー ▶ 目的地

2 周辺検索 ▶ 目的地周辺の駐車場

3 **駐車場を選択**

— MEMO

- 駐車場名の横に駐車場までの距離が表示されます。

4 ガイド開始 → P.49

ルート沿いの施設を探す

目的地までのルート沿いの施設を、立寄地として設定できます。立寄地は目的地までのルート沿いにある施設のことで、経由地とは異なります。
ルート上から80m以内、ルートの距離で30km以内にある施設を探します。（最大100件）

1 メニュー ▶ 目的地

2 周辺検索 ▶ ルートサイド

3 **ジャンルを選択**

ジャンル名入力：
キーワードを入力してジャンル名から探す。→ P.38

お好みアイコンキー：
選択したアイコンのジャンルの施設をルート沿いで探す。→ P.40

施設リストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

4 **目的の施設を選択**

— MEMO

- 施設名の横に施設までの距離が表示されます。
- 施設名の左側に、施設がルート上の左右どちら側にあるかを表すアイコンが表示されます。

地図上の立寄地に 立寄地点 というアイコンが表示されます。

— お知らせ

- エンジンキーをOFFにしてから再度ONにしたり、ルートを再計算すると、立寄地は消去されます。

— MEMO

- シンプルメニューからも同様の操作が行えます。→ P.11

検索アイコンを消去する

周辺検索で検索すると、矢印付きのアイコンが表示されます。これを検索アイコンと呼びます。検索アイコンを消去するには、以下のようにします。

1 現在地 ▶ 現在地メニュー
2 検索アイコンの消去 ▶ はい

音声で探す

スマートフォンの4Carアプリケーションと連携することで、音声入力で目的地検索ができます。当アプリケーションはスマートフォンを経由してGoogleサーバーと連携し、検索を行います。詳細については、アプリケーションのヘルプ、または以下のホームページをご覧ください。
http://www.clarion.com/jp/ja/top.html

⚠ 警告

- **安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。**

準 備

●同梱のハンズフリー用マイクの接続が必要です。
●スマートフォンをBluetoothで本機に接続し、4Carアプリケーション連携を行います。
→ P.107

お願い

- 通信状況によっては、音声入力までに時間がかかる場合があります。あらかじめご了承ください。
- はじめてご利用になる場合は、「Smart Access」から必要なデータをダウンロードするため、通信状況に関わらず時間がかかることがあります。

1 現在地地図画面の 🎤 、または メニュー ▶ 目的地 ▶ 🎤

音声検索キー

MEMO

- はじめてスマートフォン連携を利用するときは、利用規約確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ、確認 をタッチしてください。
- スマートフォンの4Carアプリケーションと連携して、表示される一覧画面からも音声検索を行えます。→ P.107

2 マイクに発話する

検索結果リスト画面が表示されます。

キャンセル：
音声検索を中止する。

MEMO

- 音声検索例：
「東京ディズニーランド」、「○○駅周辺の駐車場」、「○○（地名）のおいしい豚骨ラーメン屋」など

発話後の詳細は、アプリケーションのヘルプをご覧ください。

TVの情報から探す

TV番組で紹介された施設を、目的地として設定できます。
TVの情報は更新できます。→ P.170

— MEMO

- TVで紹介された施設をすべて収録しているわけではありません。レジャーランドなどの有名な施設でも収録されていない場合があります。
- 収録されている番組は継続的に施設を紹介している特定のものです。今後は予告なく変更されることがあります。
- シンプルメニューからも同様の操作が行えます。→ P.11

TV番組の名前で探す

TV番組で紹介された施設を番組名から探せます。

1 メニュー ▶ 目的地

2 他の検索方法 ▶ TVサーチ ▶ 番組名

3 目的の番組を選択

4 目的の施設を選択

— MEMO

- 画面上部に、紹介された番組と放送日が表示されます。番組の放送日はキー局の放送日であるため、地域によっては実際の放送日とは異なる場合があります。
- 施設リストで施設名称の横に表示されるアイコンは、その施設のジャンルを表します。
  ：食べる・飲む　：遊ぶ・見る
  ：泊まる　：買う

5 ガイド開始 → P.49

ジャンルから探す

ジャンルは、「食べる・飲む」、「遊ぶ・見る」、「泊まる」、「買う」の4種類があります。

1 メニュー ▶ 目的地

2 他の検索方法 ▶ TVサーチ ▶ ジャンル

3 目的のジャンルを選択

4 目的の詳細ジャンルを選択

5 目的の施設を選択

6 ガイド開始 → P.49

自車位置・目的地周辺から探す

自車位置、または目的地周辺の施設をジャンルで検索できます。周辺100km以内にある施設を探せます。（最大100件）

1 メニュー ▶ 目的地

2 他の検索方法 ▶ TVサーチ ▶ 周辺検索

3 自車周辺 または 目的地周辺

4 目的のジャンルを選択

詳細：
詳細なジャンルのリストを表示する。
ブランド名を指定できます。

5 目的の施設を選択

6 ガイド開始 → P.49

「Smart Access」を利用して探す

本機からキーワードを「Smart Access」サイトに送信して、サイト内の「投稿情報」から地点を探せます。これを「WEBサーチ」と呼びます。WEBサーチのご利用には、「Smart Access」の会員登録（無料）が必要です。本機をより便利にお使いいただくために、会員登録をおすすめします。「Smart Access」について詳しくは、以下をご覧ください。
http://www.smart-acs.com/

準備

●通信機能を利用してWEBサーチを行う場合は、Bluetooth対応携帯電話、またはUSBデータ通信モジュールを本機に接続し、「WEB連携」で認証を行います。→ P.103

お知らせ

- 施設検索および情報表示にはパケット通信料金がかかります。
- リアルタイムで配信される情報コンテンツの提供については、当該権利を有する第三者に帰属します。当該権利を有する第三者の事由によりサービス内容が変更、停止される可能性があります。

日本全国・自車位置・目的地周辺から探す

キーワードを入力して目的地を検索します。

1 メニュー ▶ 目的地
2 他の検索方法 ▶ WEBサーチ
3 自分で作成したスポット 、共有しているスポット または サイトのすべてのスポット
4 日本全国から 、現在地周辺から または 目的地周辺から
5 キーワードを入力
6 候補を表示
接続が開始され、情報をダウンロードすると検索結果リスト画面が表示されます。

MEMO

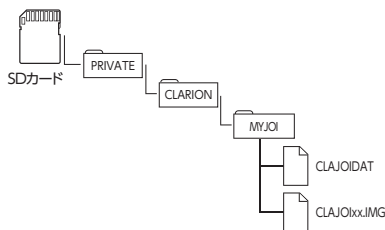
- 1回でダウンロードできる情報は20件までです。（最大40件）
- 現在地周辺から または 目的地周辺から をタッチした場合は、周辺100km以内の地域で探せます。また、検索結果リスト画面の施設名の横に、施設までの距離が表示されます。
- 検索結果は投稿された情報がもとになっています。同じ施設の情報でもレビューなどの内容が異なる場合は、同じ名称の検索結果リストが2つ以上表示される場合があります。

7 施設を選択
8 ガイド開始 → P.49

保存したスポットデータから探す

本機またはSDカードに保存された検索結果（スポットデータ）を表示し、目的地に設定できます。
本機またはSDカードに保存されるデータは、以下のとおりです。

本機
ナビゲーションのWEBサーチにより保存されたスポットデータ

SDカード
PC上のサイト「Smart Access」上で保存されたスポットデータ
あらかじめ、「Smart Access」サイトから表示したいスポットデータをSDカードに書き出してください。スポットデータを表示するには、以下のフォルダ構造でファイルが保存されている必要があります。

1 メニュー ▶ 目的地
2 他の検索方法 ▶ WEBサーチ
3 SDメモリカード・本体メモリのスポット

4 **目的のスポットデータを選択**

5 ガイド開始 → P.49

— MEMO

- スポットデータは、本機で最大100件、SDカードで最大20件の計120件まで表示できます。

場所を指定して探す

指定した場所から入力したキーワードを検索します。

1 メニュー ▶ 目的地

2 他の検索方法 ▶ WEBサーチ

3 自分で作成したスポット 、 共有しているスポット **または** サイトのすべてのスポット

4 指定場所から

5 **地点を検索**→ P.37 ▶ 決定

6 **キーワードを入力**

7 候補を表示

接続が開始され、情報をダウンロードすると検索結果リスト画面が表示されます。

— MEMO

- 1回でダウンロードできる情報は20件までです。（最大40件）
- 検索結果リスト画面の施設名の横に、施設までの距離が表示されます。
- 検索結果は投稿された情報がもとになっています。同じ施設の情報でもレビューなどの内容が異なる場合は、同じ名称の検索結果リストが2つ以上表示される場合があります。

8 **施設を選択**

9 ガイド開始 → P.49

表示画面の見かた

検索結果リスト画面の見かた

検索結果の名称を表示します。

★は、各地点の投稿情報をもとにした評価を表しています。

本機の表示は、「Smart Access」サイトの表示と対応しています。

情報表示画面の見かた

施設を選択した後の検索結果画面で 情報 をタッチすると、施設の情報が表示されます。

電話をかける：
表示している施設に電話をかける。→ P.97

レビューを見る：
ユーザーのレビューを表示する。

QRコード：
QRコードを表示する。→ P.50

スポットを保存：
WEBサーチでダウンロードした検索結果（スポットデータ）を、100件まで本機に保存する。保存したスポットデータは消去できます。
→ P.84

こんな探しかたもあります

これまでに設定した目的地から探す

1 メニュー ▶ 目的地 ▶ 履歴
2 **目的の地点を選択**
3 ガイド開始 → P.49

— MEMO
- 履歴は最新のものから順に自動で保存されます。（最大100件）
- 目的地は★で表示されます。

目的地の履歴を消去する

1 メニュー ▶ 設定
2 ナビゲーション
3 登録データの編集・消去
4 登録の消去
5 目的地履歴の消去
6 **目的の項目を選択**

最近の行き先の全件消去：
すべての目的地履歴を消去する。

最近の行き先の1件消去：
目的地履歴から1件ずつ選択して消去する。

前回出発地の消去：
前回ルート案内した際の出発地点履歴を消去する。

地図表示位置周辺から探す

地図をスクロールして表示した先の周辺にある施設を探します。周辺100km以内にある施設を探せます。（最大100件）

1 **地図をスクロール** ▶ 決定
2 周辺施設を検索
3 **施設のジャンルを選択**

ジャンル名入力：
キーワードを入力してジャンル名から探す。→ P.38

お好みアイコンキー：
選択したアイコンのジャンルの施設を表示先周辺から探す。→ P.40

施設リストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

4 **目的の施設を選択**

— MEMO
- 施設名の横に施設までの距離が表示されます。

5 ガイド開始 → P.49

— MEMO
- 周辺検索で検索すると、矢印付きのアイコンが表示されます。これを検索アイコンと呼びます。検索アイコンは消去できます。→ P.42

地図表示位置周辺の駐車場を探す

地図をスクロールした先の駐車場を目的地として設定できます。表示先から半径800m以内にある駐車場を探します。（最大10件）

1 **地図をスクロール** ▶ 決定

2 周辺駐車場

3 **駐車場を選択**

— MEMO

- 駐車場名の横に駐車場までの距離が表示されます。

4 ガイド開始 → P.49

マップコードで探す

ガイドブックなどに掲載されているマップコードから目的地を探します。本機では、標準、高精度どちらのマップコードにも対応しています。

1 メニュー ▶ 目的地
2 他の検索方法 ▶ マップコード
3 **マップコードを入力** ▶ 決定
4 ガイド開始 → P.49

— MEMO

- シンプルメニューからも同様の操作が行えます。→ P.11
- マップコードに関するお問い合わせ先は以下のとおりです。
  ホームページ：
  http://guide2.e-mapcode.com/
  (株式会社デンソーコミュニケーションズ)

SDカード内の登録地から探す

準 備

●SDカードに登録地を保存します。→ P.168

— MEMO

- SDカードに保存できる登録地点の数は、1グループにつき450件、最大10グループ4,500件です。

1 メニュー ▶ 目的地
2 他の検索方法 ▶ バックアップ登録地
3 **グループを選択**
4 **地点を選択**
5 ガイド開始 → P.49

緯度・経度で探す

1 メニュー ▶ 目的地
2 他の検索方法 ▶ 緯度・経度
3 **北緯と東経を入力** ▶ 決定
4 ガイド開始 → P.49

郵便番号で探す

1 メニュー ▶ 目的地
2 他の検索方法 ▶ 郵便番号
3 **郵便番号を入力** ▶ 決定

— MEMO

- 該当するデータが見つからない場合は、メッセージ表示後、郵便番号の入力画面に戻ります。

4 ガイド開始 → P.49

登録ルートから探す

本機に登録してあるルートから、目的地を設定します。

準 備

●ルートを登録します。→ P.55
●「Smart Access」サイトから、本機の登録ルートリストにルートを取り込めます。

1 メニュー ▶ 目的地
2 他の検索方法 ▶ 登録ルート

3 **目的の登録ルートを選択**

現在のルートを登録：
目的地が設定されている場合に、そのルートを本機のルートリストに登録する。

4 ガイド開始 → P.49

ピクチャービューから探す

自車付近のグルメスポット、観光スポットを写真で表示して目的地に設定します。→ P.30
クラリオン株式会社Webサイト「Smart Access」からMYツアーデータを取り込んでいる場合は、データ内のスポットも写真で表示できます。

1 **地図画面の** 表示変更

2 ピクチャービュー ▶ 戻る

3 **写真を選択**

4 ここに行く

目的地までのルートが探索され、案内が開始されます。

NaviConアプリケーションを利用する

スマートフォンのNaviConアプリケーションを使用して、地図の操作や、目的地の設定ができます。
NaviConの詳細については、アプリケーションのヘルプをご覧ください。

> ⚠ **警告**
>
> • **安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。**

準 備

●NaviConをお手持ちのスマートフォンにインストールします。

— お知らせ —
• 本機からNaviConの地図表示を変えることはできません。

NaviConで目的地を設定する

NaviConで登録した地点を本機に送信して目的地に設定できます。

1 **（4S以前のiPhoneの場合）**
別売のビデオ対応iPod接続ケーブルを使用し、iPhoneを本機に接続する
（iPhone 5の場合）
iPhone 5に付属のケーブルを使用し、iPhoneを本機に接続する
（Android搭載機の場合）
スマートフォンを本機にBluetooth接続する→ P.91

▶ **現在地地図画面の** Navi Con **をタッチ**
「NaviConが利用可能です」と画面に表示されることを確認します。

— MEMO —
• Android搭載機をBluetooth接続して利用する際は、目的地メニュー画面の NaviCon をタッチしても、同様の画面が表示されます。

2 **スマートフォンからNaviConを起動する**

3 **NaviConから本機に地点情報を転送する**

転送された地点が本機に表示されます。
転送方法については「NaviCon」の操作方法をご覧ください。

4 **行き先に設定してルート探索する**
→ P.36

— MEMO

- NaviCon側で地図をスクロールすると本機の地図もスクロールされ、スクロールした地点の地図を表示します。
  また、NaviCon側で地図を拡大／縮小すると、本機の地図も拡大／縮小されます。

目的地を設定したら…

目的地を設定すると、以下のような検索結果画面が表示されます。目的地を設定した後は、この画面からルートを設定します。→ P.57

⚠ 警告

- **安全のため、運転者は走行中に操作しない**
  前方不注意になり、交通事故の原因となるおそれがあります。
- **実際の交通規制にしたがって走行する**
  ナビゲーションによるルート計算では、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規制にしたがって走行してください。

1 ガイド開始

現在の条件でルート計算がはじまります。ルートに沿って走行すると、ルート案内が開始されます。目的地に到着すると、自動的にルート案内は終了します。
ルート探索結果画面を表示したまま30 秒経過すると、現在の探索条件で自動的にルート案内が開始されます。

— お知らせ

- 走行中は、表示できる項目が限定されます。
- 地図をスクロールして地点を設定した場合は、表示される画面が異なります。→ P.36

— MEMO

- 画面左上にあらかじめ設定された探索条件が表示されます。ルート案内の条件を変更することもできます。→ P.62

検索結果画面では、以下の操作を行えます。

ガイド開始：
現在の条件でルートを探索する。

ルートを表示：
5種類の条件でルートを探索し、その中からお好みのルートを選択する。→ P.57

位置を修正：
地点の位置を調整する。→ P.58

ルートに追加：
現在のルートに経由地、または目的地として追加する。→ P.58
ルート設定時に表示されます。

ここを登録：
表示している地点を本機の登録リストに登録する。→ P.58

周辺駐車場：
周辺の駐車場情報を表示する。→ P.58

情報：
施設情報を表示する。→ P.58

施設情報を見る

施設情報画面の表示

検索結果画面に 情報 が表示されている施設には、施設情報が登録されています。

情報 をタッチすると、施設情報画面が表示されます。

QRコード：
施設情報が含まれたQRコードを表示する。
携帯電話でQRコードを読み取ると、施設の詳細情報が確認できます。

電話をかける：
情報に電話番号データがある場合、表示中の施設に電話をかける。
Bluetooth対応携帯電話の接続が必要です。

レビューを見る：
ユーザーのレビューを表示する。（WEBサーチ検索時のみ）

QRコード をタッチすると、QRコードが表示されます。

縮小:
QRコードを縮小表示する。

お知らせ

- 施設によっては、目的地検索後に以下のメッセージが表示される場合があります。
  必要に応じて、目的地を「位置を修正」で移動して決定してください。→ P.58
  - 目的地としてピンポイントで表示された位置が、案内すべき道路から離れている場合
    「ピンポイントのデータではありません。周辺の地図を表示します。実際の場所とは大きく異なる場合があります。」
  - 表示されている場所が施設出入口のため、車を駐車するのには適さない場所に誘導される場合（到着地点を示す旗のほかに、実際の目的地に黄色い旗が表示されます。）
    「施設出入り口の地点を表示します。」
- 複数の出入口を持つ施設、専用駐車場や契約駐車場を併設した施設を選択すると、地図表示の前に出入口、駐車場のリスト画面が表示されることがあります。この場合、施設、または出入口、駐車場を選択すると、それぞれの場所の地図が表示されます。出入口、駐車場を選択すると到着地点を示す旗のほかに、実際の目的地に黄色い旗が表示されます。

地点メニュー画面について

地図をスクロールした先で地点メニューを呼び出して、スクロール先の地点を目的地に設定したり、ルートに追加するなどの操作を行えます。

1 **地図をスクロール**

2 決定

地点メニューが表示されます。

3 **目的の項目を選択**

ここに行く：
スクロール先の地点を目的地に設定する。→ P.49

ここをルートに追加：
ルート設定時にスクロール先の地点を目的地、または経由地に追加する。
→ P.64

周辺施設を検索：
スクロール先周辺の施設を検索する。
→ P.46

渋滞情報取得：
Bluetooth対応携帯電話、またはUSBデータ通信モジュールが接続済みの場合、渋滞情報をダウンロードする。→ P.63

消去：
スクロール先の地点が、登録地、自宅、目的地、経由地のいずれかである場合、その地点を消去する。

ここを登録：
スクロール先の地点を登録する。

地点・ルートを登録する

よく行く地点やルートを本機に登録できます。

よく行く地点を登録する

よく行く地点を400件まで登録リストに登録できます。登録した地点は登録リストから呼び出せます。

— MEMO
- 本機の登録リストに登録した地点は、1グループにつき450件、最大10グループ4,500件までSDカードに保存できます。
- 「Smart Access」サイトから、本機の登録リストに地点を取り込めます。→ P.81

登録リストに登録する

1 登録したい地点を探す→ P.33

2 ここを登録

— MEMO
- 現在地を登録する場合は、現在地メニュー ▶ ここを登録 をタッチします。
- スクロール先の地点を登録する場合は、地図をスクロール ▶ 決定 ▶ ここを登録 をタッチします。

登録リストを並べ替える

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録データの編集・消去

2 登録地

3 並べ替える

新規登録：
地点を探して登録する。

4 並べ替える種類を選択

登録順：
登録した日付の新しい順に表示する。

読み順：
50音順に表示する。

アイコン順：
登録地に設定されたアイコンの順に表示する。

グループ指定：
グループ選択画面を表示する。
並べ替えるグループを選択すると、グループ指定順に表示します。

地点のデータを編集する

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録データの編集・消去

2 登録地

3 登録地点を選択

4 編集

5 項目を選択 ▶ 登録地点の内容を編集

地図上表示：
地図上のアイコン表示（登録地番号など）をON/OFFする。

名称：
名称を設定する。
名称入力後、決定 をタッチしてください。

地点・ルートを登録する

ヨミ：
読みを設定する。
読みを入力後、決定 をタッチしてください。

アイコン：
登録地点に割り付けるアイコンを設定する。

アラーム音：
車が登録地に近づいたときに鳴るアラーム音を設定する。

アラーム方向：
車が登録地に近づいたときにアラームを鳴らすときの進入方向を設定する。
設定した方向から車が近づいたときにアラーム音が鳴ります。方向設定後、決定 をタッチしてください。

アラーム距離：
自車位置とアラームを鳴らす登録地までの距離を設定する。
車が設定した距離内まで登録地に近づいたときにアラーム音が鳴ります。

電話番号：
登録地点の電話番号を設定する。
電話番号入力後、決定 をタッチしてください。

グループ：
登録地を所属させるグループを選択する。

登録番号：
登録番号を表示、または変更する。

地点の位置を修正する

1 メニュー ▶ 設定
▶ ナビゲーション
▶ 登録データの編集・消去

2 登録地

3 **登録地点を選択**

4 位置を修正

5 **地図をスクロールして位置を修正**

微調整：
詳細な位置修正をする。→ P.25

6 決定

リストから地点を消去する

1 メニュー ▶ 設定
▶ ナビゲーション
▶ 登録データの編集・消去

2 登録の消去 ▶ 登録地の消去

3 1件消去

一括消去：
登録地点をすべて消去する。

4 **地点を選択** ▶ はい

選択した地点が登録リストから消去されます。

よく使うルートを登録する

よく使うルートを本機に登録できます。（最大5件）登録したルートは登録ルートから呼び出せます。

— MEMO

- 「Smart Access」サイトから、本機の登録ルートリストにルートを取り込めます。→ P.82
- 本機能は、探索されたルート自体を登録するものではなく、経由地・目的地・区間探索条件の組み合わせをセットで登録します。そのため、登録ルートを呼び出したときに実際に案内されるルートは、ルート登録したときのルートとは異なる場合があります。

現在のルートを登録する

1 ルートを設定→ P.56

2 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録データの編集・消去

3 登録ルート

4 現在のルートを登録 ▶ はい

登録済みのルートを編集する

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録データの編集・消去

2 登録ルート

3 編集するルートを選択

4 項目を選択 ▶ 登録ルートの内容を編集

名称変更：
登録ルートの名称を設定する。
名称入力後、決定 をタッチします。

現在ルートに入替：
現在設定しているルートを、登録済みのルートに上書きする。

消去：
登録済みのルートを消去する。

終了：
手順2に戻る。

リストからルートを消去する

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録データの編集・消去

2 登録の消去 ▶ 登録ルートの消去

3 1件消去

一括消去：
登録ルートをすべて消去する。

4 登録ルートを選択 ▶ はい

選択したルートが、登録ルートリストから消去されます。

ルートの設定と案内

目的地を探したら、ルートを設定します。ルートが設定されると案内がはじまりますので、ルート案内にしたがって走行してください。

検索した地点を確認・設定する

地点検索で地点を探したら、ルートを設定する前に位置を修正したり、地点を登録できます。また、目的地の施設情報などを確認することもできます。
この操作は、検索結果画面から行います。

地点を検索→ P.33 ▶▶

検索結果画面

※走行中はタッチできる項目が限定されます。

現在の条件でルートを探索する

ルート探索の条件は変更できます。
→ P.59、P.62

1　地点を検索→ P.33 ▶ ガイド開始
そのままの条件でルートが探索されます。

— MEMO

- 以下の場合、一般道と有料道路(または高速道路)のどちらを現在走行中であるかを確認する画面が表示されます。有料/高速 または 一般道走行 をタッチしてください。
  この確認画面は、探索条件を指定するものではありません。
  - 有料道路、または高速道路に自車位置がある場合
  - 一般道に自車位置があり、自車位置から約100m以内に有料道路や高速道路がある場合
- 探索したルートに冬季規制道路がある場合は、ルート案内がはじまる前にお知らせ画面が表示されます。
- 緊急施設（病院など）を目的地にした場合、確認画面が表示されます。
  なお、検索方法によっては緊急施設を目的地に設定できないときがあります。
- 検索した地点から最も近い道路が有料道路、または高速道路の場合は、その道路上で案内を終了するかどうか確認する画面が表示されます。
  なお、検索方法によっては、確認画面が表示されない場合があります。
- 「行き先設定時にダウンロード」が「ON」のときは、自動的にオンラインで交通情報を取得し、渋滞を考慮したルートが探索されます。
  → P.156

ルートの確認や設定をする

地点を検索してルート案内を開始する前に、ルートの確認をしたり、ほかのルートを探索して選択できます。

1　地点を検索→ P.33
▶ ルートを表示

2　目的の項目を選択

ガイド開始：
選択したルートにしたがってルート案内を開始する。→ P.59

他のルートを選ぶ：
異なる条件の5つのルートから、お好みのルートを選択する。→ P.59

ルートの確認・登録：
ルートの各種情報の確認やルートを登録する。→ P.60

行き先を追加：
ルートに行き先を追加する。→ P.60

検索した地点の位置を修正する

検索した地点の位置を、地図をスクロールして調整できます。

1 **地点を検索→ P.33** ▶ 位置を修正

2 **地図をスクロールして位置を修正**
▶ 決定
検索結果画面に戻り、調整した地点を中心とした地図が表示されます。
微調整：
詳細な位置修正をする。→ P.26

検索した地点をルート上に追加する

すでにルートが設定されている場合に、検索した地点をルート上の経由地として追加したり、目的地に再設定できます。

1 **地点を検索→ P.33**
▶ ルートに追加
行き先追加画面が表示されます。

2 ここに追加

選択した位置に地点が追加され、ルート探索結果画面が表示されます。→ P.59

検索した地点を本機に登録する

検索した地点を本機の登録リストに登録できます。（最大400件）

お知らせ
- 地点の検索方法が「登録地」の場合は、この操作は行えません。

1 **地点を検索→ P.33** ▶ ここを登録

検索した地点周辺の駐車場を探す

検索結果地点から半径800m以内にある駐車場を探します。（最大10件）

1 **地点を検索→ P.33** ▶ 周辺駐車場

2 **駐車場を選択**

駐車場キーをタッチすると、検索結果画面に戻ります。

検索した地点の施設情報を表示する

お知らせ
- 検索した施設の種類によって、表示される画面は異なります。
- 施設に情報がない場合、情報 はタッチできません。

1 **地点を検索→ P.33** ▶ 情報
施設情報画面が表示されます。→ P.50
SA/PAの場合

SA/PA以外の場合

走行するルートを設定する

目的地を設定したら、走行するルートを決めます。条件の異なるルートを比較したり、経由地を追加することもできます。
この操作はルート探索結果画面から行います。

地点を検索→ P.33 ▶▶
ルートを表示 ▶▶

ルート探索結果画面

※走行中はタッチできる項目が限定されます。

現在の条件でルートを探索する

現在設定されている条件のまま、ルートを探索して案内を開始します。

1 **地点を検索**→ P.33
▶ ルートを表示

2 ガイド開始
現在の条件でルートが探索されます。

— MEMO
- ルート探索結果画面を表示したまましばらくすると、現在の条件で自動的にルート案内を開始します。
- 探索したルートに冬季規制道路がある場合は、ルート案内がはじまる前にお知らせ画面が表示されます。

異なる条件のルートから選択する

ルート探索時には、地図上に5つのルートが表示されます。
異なる条件で探索された5つのルートから、お好みのルートを選択できます。

— お知らせ
- 探索されるルートの種類は、「省エネルートを考慮」のON/OFFによって異なります。→ P.157
- 経由地、または高速道路出入口の指定がある場合は、この操作は行えません。
- 「省エネルートを考慮」をONにすると、ルート探索にかかる時間が長くなる場合があります。→ P.157

1 **地点を検索**→ P.33
▶ ルートを表示

2 他のルートを選ぶ
ルート選択画面が表示されます。

3 **お好みのルートを選択**

「省エネルートを考慮」ONの場合

「省エネルートを考慮」OFFの場合

有料優先：
有料道路を優先的に使用する。
目的地までの所要時間が短くなるルートです。

有料（省エネ）※1**：**
有料道路を優先的に使用する。
目的地までの燃料消費量が少なくなるルートです。

有料優先（別ルート）※2**：**
「有料優先」とは異なる有料道路を優先的に使用する。
「有料優先」のルートと同じになる場合もあります。

一般優先：
一般道路を優先的に使用する。
目的地までの所要時間が短くなるルートです。

一般（省エネ）※1：
一般道路を優先的に使用する。
目的地までの燃料消費量が少なくなるルートです。

一般優先（別ルート）※2：
「一般優先」とは異なる一般道路を優先的に使用する。
「一般優先」のルートと同じになる場合もあります。

距離優先：
一般道路を優先的に使用する。
目的地までの距離が短くなるルートです。渋滞情報は考慮しませんが、規制情報は考慮します。

※1「省エネルートを考慮」ONの場合のみ表示されます。
※2「省エネルートを考慮」OFFの場合のみ表示されます。

4 ガイド開始

— MEMO

- 省エネルートを選択すると、ルート探索結果画面右側に「省エネ度」が表示されます。どの程度燃料消費量が改善されているかを確認できます。この機能はアイドリングストップ車、ハイブリッド車、電気自動車には適応していません。
- 省エネルートを選択して案内を開始した場合、「統計交通情報を考慮」の設定に関係なく、統計交通情報を考慮して探索します。→ P.157
- 省エネルートを選択した場合、以下の設定内容を使用します。
  - 乗車人数／車両重量／排気量／モード燃費／ボディタイプ

  この設定は「車両設定」から行えます。
  → P.160
  数値を設定していない場合は、本機の初期値を使用してルートの探索を行います。

ルートの確認・登録をする

1 **地点を検索**→ P.33
▶ ルートを表示

2 ルートの確認・登録

3 **目的の項目を選択**

ルート情報：
ルート上の情報を表示する。→ P.67

現在のルートを登録：
現在のルートを本機に登録する。
→ P.67

地図スクロール：
地図をスクロールしてルートを確認する。→ P.68

行き先を追加する

追加した地点は、目的地や経由地に設定できます。

— お知らせ

- 経由地が5つ設定されている場合は追加できません。

1 **地点を検索**→ P.33
▶ ルートを表示

2 行き先を追加

3 **行き先を検索**→ P.33

4 ここに決定する

位置を修正：
地図をスクロールして、検索した地点の位置調整を行う。

情報を見る：
検索した地点の施設情報を表示する。
→ P.50

ここを登録：
検索した地点を本機に登録する。

5 ここに追加

選択した位置に地点が追加されます。

有料道路の出入口を選択する

使用する有料道路の出入口をリストから選択できます。

1 **地点を検索** **→ P.33**
▶ ルートを表示

2 **入口施設名称、または出口施設名称を選択**

入口施設名称　出口施設名称

選択した出入口の前後3つまでの出入口と、その間で分岐・合流する有料道が変更対象となります。

— お知らせ —

- 「有料道入口」、または「有料道出口」と表示されている入口施設名称、出口施設名称はタッチできません。

3 **変更する出入口の名称を選択**

「分岐・合流」を表す道路名をタッチした場合は、高速出入口リストが表示されます。同様に、変更する出入口を選択してください。

入口施設名称、または出口施設名称の表示が切り替わり、ルートが探索されます。

設定済みのルートを再探索する

ルートメニュー画面では、一度設定したルートを条件を変更するなどして手動で再探索できます。また、渋滞を迂回してルートを探索することもできます。

ルートメニュー画面

※画面は「省エネルートを考慮」ON設定時のものです。
※走行中はタッチできる項目が限定されます。

— お知らせ —

- ルートが未設定の状態では、ルートメニュー画面の探索条件キーをタッチできません。探索条件を変更したい場合は、ルートメニュー画面の ガイド音声・探索設定 ▶ 探索条件 をタッチして選択してください。設定された探索条件は、次回のルート探索に引き継がれます。

設定した条件で再探索する

ルート設定時に探索された5つのルートをすべて再探索します。→ P.59

1 メニュー ▶ ルート

2 再探索

— お知らせ —

- 立寄地設定時にこの操作をすると、立寄地は消去されます。→ P.41
- 経由地、または有料道路の出入口が設定されている場合は、1ルートのみ探索します。

— MEMO —

- 有料道路の出入口設定時は、設定を継続するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

探索条件を変更して再探索する

高速道路を走行中に一般道に降りたくなった場合などに便利な機能です。

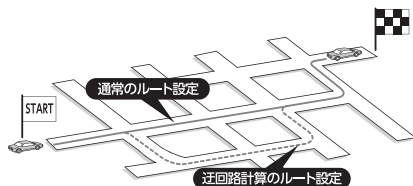
1 メニュー ▶ ルート

2 **希望の探索条件を選択**

※画面は「省エネルートを考慮」ON設定時のものです。

選択した探索条件で、ルートを再探索します。→ P.155

迂回ルートを再探索する

渋滞など、避けたい場所を迂回したルートを再探索できます。

1 メニュー ▶ ルート

2 迂回路探索

3 **迂回ルートを探索する、自車位置からの距離を選択**

迂回するルートが再探索されます。

— お知らせ —

- 迂回ルートが見つからない場合もあります。

オンラインで交通情報を受信する

本機にBluetooth対応携帯電話、またはUSBデータ通信モジュールを接続すると、渋滞・道路規制などの交通情報をリアルタイムに取得できます。→ P.101
この受信した交通情報をもとに、渋滞を考慮したルートを設定できます。

準 備

●オンラインを利用するための設定が必要です。→ P.100

1 メニュー ▶ ルート

2 オンライン探索

交通情報が受信されます。走行中のルートよりも早く到着するルートが探索された場合は、新ルートで案内を開始します。

— MEMO

• 交通情報を受信しても新しいルートが見つからない場合は、そのままのルートで案内を継続します。

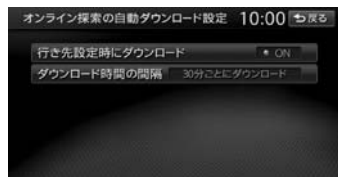
オンライン探索の条件を設定する

オンラインの情報受信時の動作や、受信した情報の利用に関する設定を行います。

1 メニュー ▶ ルート

2 ガイド音声・探索設定

ルート探索条件の設定画面が表示されます。

3 オンライン探索の自動ダウンロード設定

この後の操作は、「交通情報のダウンロード設定をする」と同様です。→ P.102

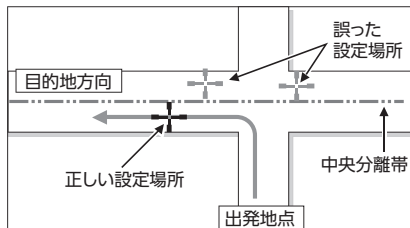
目的地・経由地を編集する

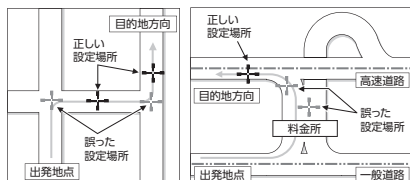
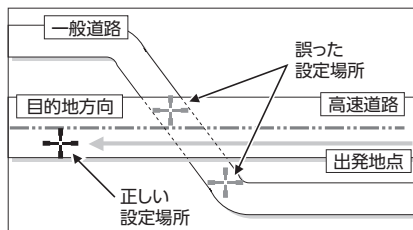
目的地・経由地設定時のご注意

ルートの途中で寄り道をしたいときなどに、ルートに経由地を設定できます。設定された順番に経由地を通り、目的地に向かうルートが計算されます。また、目的地・経由地の位置を修正することもできます。
ルートを変える際には、以下のことを考慮して目的地・経由地を設定してください。

— お知らせ

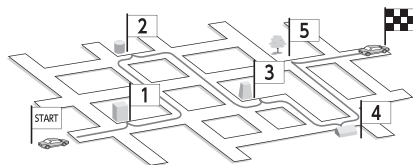
• 高速道路の本線上に目的地・経由地を設定した場合、ルートが見つからないことがあります。その場合は、目的地・経由地を本線以外へ設定し直してください。

1 上下線や一方通行路に目的地・経由地を設定するときは、車線を正確に設定してください。

2 交差点やインターチェンジなどに目的地・経由地を設定しないでください。交差点やインターチェンジ付近に目的地・経由地を設定したい場合は、目的地方向に少し離れた道路上に設定してください。

ルートの設定と案内

3 高速道路と一般道路が交差している場所や、高速道路が一般道路上に高架になっている道路には、目的地・経由地を設定しないでください。

— お知らせ —

- 設定した目的地・経由地を通過しないで先に進んだ場合、通過しなかった目的地・経由地に向かって、ルートが自動的に設定されることがあります。

経由地を追加する

経由地は最大5つまで設定できます。現在設定されている目的地よりも後ろの位置に地点を追加すると、その場所が目的地として設定されます。

1 メニュー ▶ ルート

2 ルート編集 ▶ 行き先の追加・修正

3 **経由地を追加する位置の** ここに追加

4 **地点を検索**→ P.33

5 ここに決定する

位置を修正：
地図をスクロールして、検索した地点の位置調整を行う。

情報を見る：
検索した地点の施設情報を表示する。
→ P.50

ここを登録：
検索した地点を本機に登録する。

6 探索開始

経由地が追加され、新しいルートが探索されます。

目的地・経由地の位置を修正する

ルートに設定した目的地や経由地の位置を、地図をスクロールして変えられます。

1 メニュー ▶ ルート

2 ルート編集 ▶ 行き先の追加・修正

3 **位置を調整したい地点を選択**

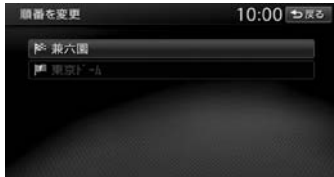
4 位置を修正

5 **位置を修正して** 決定

6 探索開始

目的地、または経由地の位置が調整され、ルートが探索されます。

目的地・経由地の順番を並べ替える

1 メニュー ▶ ルート
2 ルート編集 ▶ 行き先の追加・修正
3 **順番を変えたい地点を選択**
4 順番を変更
5 **移動する位置を選択**

6 探索開始
目的地、または経由地の順番が入れ替わり、新しいルートが探索されます。

— お知らせ
- 地点の順番を並べ替えると、指定ICは解除されます。

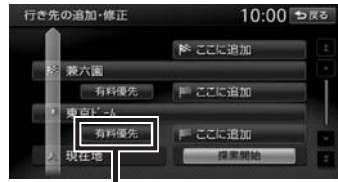
目的地・経由地を消去する

1 メニュー ▶ ルート
2 ルート編集 ▶ 行き先の追加・修正
3 **消去したい地点を選択**
4 消去 ▶ はい
5 探索開始
選択した目的地、または経由地が消去され、新しいルートが探索されます。

— お知らせ
- 目的地を消去した場合は、最後の経由地が目的地に変わります。

区間ごとに探索条件を設定する

現在地～経由地～目的地間で、区間ごとに探索条件を設定できます。

1 メニュー ▶ ルート
2 ルート編集 ▶ 行き先の追加・修正
3 **探索条件を設定したい区間の探索条件キー選択**

4 **希望の探索条件を選択**→ P.59

— MEMO
- 選択した区間の前後に指定ICがある場合は、探索条件を選択後に はい または いいえ をタッチします。
- 省エネルートを選択して案内を開始した場合、全区間において統計交通情報を考慮して探索します。「統計交通情報を考慮」の設定は自動的にONになります。
→ P.157

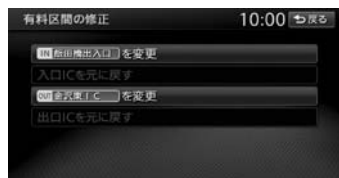
5 探索開始
選択した探索条件で、ルートが探索されます。

— お知らせ
- 探索条件を変更して再探索を行うと、区間ごとに設定した探索条件は解除されます。

有料道路の出入口を変更する

設定したルート上の有料道路の出入口を、リストから選択して変更できます。

1 メニュー ▶ ルート
2 ルート編集 ▶ 有料区間の修正

3 入口を変更 または 出口を変更

入口ICを元に戻す／出口ICを元に戻す：
指定したICを解除する。

4 変更する出入口の名称を選択

「分岐・合流」を表す道路名をタッチした場合は、高速出入口リストが表示されます。同様に、変更する出入口を選択してください。

ルート探索結果画面に戻り、入口施設名称、または出口施設名称の表示が切り替わります。

5 ガイド開始

— MEMO

- 選択した出入口がスマートICの場合は、確認画面が表示されます。はい をタッチすると、スマートICを考慮したルートが設定され、いいえ をタッチすると、選択が取り消されます。

スマートICとは

スマートICとは、高速道路のサービスエリアやパーキングエリアなどから一般道路に出入りできるETC専用のインターチェンジです。
本機では、利用できるスマートICを考慮してルート探索を行います。

— お知らせ

- スマートICは、ETCユニット、またはDSRCユニットを搭載した車両のみご利用できます。
- スマートICの中には、社会実験として実施されている箇所があります。そのようなスマートICでは、対象車種に制約がありますが、それを考慮したルート探索は行いません。実際の道路状況にしたがって走行してください。

設定したルートを確認する

走行する前に設定したルートを確認したり、音声を設定できます。

⚠ 注意

- **走行中にルートの確認はできません。必ず車を安全なところに停車して操作してください。**

ルート上の情報を見る

ルート上の道路の種類や走行距離、通行料金、目的地への到着予想時刻などを確認できます。

1 メニュー ▶ ルート

2 ルート確認・登録

3 ルート情報

ルート情報画面が表示されます。

お知らせ

- 現在走行中の道路の情報は表示されません。そのため、各道路の走行距離の合計と、目的地までの走行距離とは一致しません。

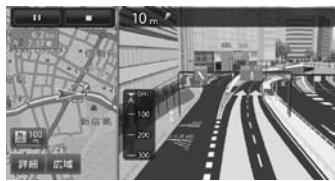
ルートをシミュレーション走行する

画面上で、ルートを走行する様子をシミュレーションして確認できます。

1 メニュー ▶ ルート

2 ルート確認・登録

3 ルートシミュレーション

ルートシミュレーションが開始されます。

シミュレーション中は、以下のキーを操作できます。

▶：
ルートシミュレーションを再生する。

II：
ルートシミュレーションを一時停止する。

■：
ルートシミュレーションを中止する。

詳細／広域：
地図の縮尺を変更する。

お知らせ

- ルートシミュレーション中に、以下の操作を行うと、シミュレーションは停止します。
  - ハードボタンの操作
  - 電話を着信
  - カメラ画面を表示
  - 走行を開始
- ルート探索結果画面から ルートの確認・登録 をタッチした場合は、ルートシミュレーションは操作できません。

現在のルートを登録する

現在のルートを本機に登録します。（最大5件）

お知らせ

- 本機能は、探索されたルート自体を登録するものではなく、経由地・目的地・区間探索条件の組み合わせをセットで登録します。そのため、登録ルートを呼び出したときに実際に案内されるルートは、ルート登録したときのルートとは異なる場合があります。

1 メニュー ▶ ルート

2 ルート確認・登録

3 現在のルートを登録 ▶ はい

ルート上の地図をスクロールする

地図をスクロールしてルートを確認します。

1 メニュー ▶ ルート
2 ルート確認・登録
3 地図スクロール
カーソルの位置を中心にして、全画面地図が表示されます。

ルート案内の音量を確認・設定する

ルート案内時の音量や、音声出力のON/OFFを切り替えられます。

1 メニュー ▶ ルート
2 ガイド音声・探索設定
3 ガイド音量
4 ＋ － で音量を調整

通常走行時と高速走行時とに分けて設定できます。

— MEMO
- この設定は、「ガイド音量」と連動しています。→ P.151
- シンプルメニューからも同様の操作が行えます。→ P.11

ルート案内時の音声出力を切り替える

音声案内などのナビゲーション音声を出力するかどうかを選択できます。

1 メニュー ▶ ルート
2 ガイド音声・探索設定
3 ガイド・メッセージ音声

— MEMO
- この設定は、「ガイド・メッセージ音声」と連動しています。→ P.151

ルート案内を中止する

1 メニュー ▶ ルート
2 ガイド中断

— お知らせ
- ルート案内中止中に、「省エネルートを考慮」の設定を切り替えると、ルート案内を再開できません。→ P.157
再開したい場合は、目的地メニュー画面から目的地を再設定してください。

— MEMO
- ルート案内を再開したい場合は、メニュー ▶ ルート ▶ ガイド再開 をタッチしてください。
- シンプルメニューからも同様の操作が行えます。→ P.11

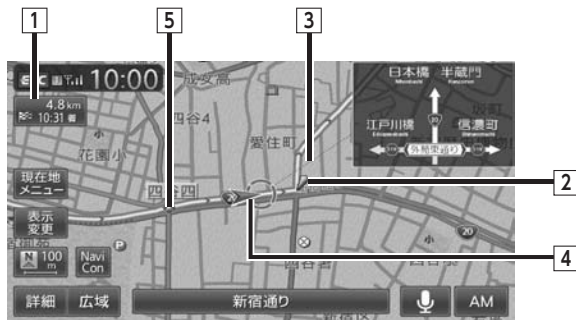
ルートを消去する

1 メニュー ▶ ルート
2 ルート消去 ▶ はい
ルートが消去され、ルート案内が中止されます。

ルート案内中の地図画面

ルート案内中は、地図上に渋滞情報や案内地点、案内ルートなどの情報が表示されます。

⚠ 警告

- **安全のため、運転者は走行中に操作しない**
  前方不注意になり、交通事故の原因となるおそれがあります。
- **実際の交通規制にしたがって走行する**
  ナビゲーションによるルート計算では、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規制にしたがって走行してください。

1 目的地情報キー
自車位置から目的地までのルート距離と到着予想時間※1が表示されます。
ルートを外れて走行している場合は、目的地までの直線距離が表示されます。
タッチすると目的地周辺の地図が表示されます。目的地の位置が正確でない場合は微調整ができます。

2 音声案内地点
音声で案内される地点です。
通常道路・細街路での右左折を案内します。

3 目的地方向表示
目的地までの方向を直線で示しています。目的地方向表示は「目的地方向表示」で表示／非表示を切り替えられます。→ P.32

4 誘導ルート
目的地までの走行道路です。
経路色：黄色（一般道路）、黄緑色（有料道路）、暗い黄色（細街路）

5 軌跡
車が走行した軌跡を軌跡マークで表示します。軌跡マークは「軌跡の表示」で表示／非表示を切り替えられます。→ P.151

※1「自動計算」が「OFF」の場合、到着予想時刻は「到着予想時刻の速度設定」で定めた平均速度で計算されます。→ P.153
渋滞情報は考慮されません。

ルート案内中の案内表示

交差点手前で出る案内表示

交差点や都市高速道路入口の約300m手前で、交差点が拡大して表示されます。
交差点の直前では、レーンの進行方向を示すレーンガイドが表示されます。交差点名とともに、進入すべきレーンが黄色で表示されます。

— MEMO

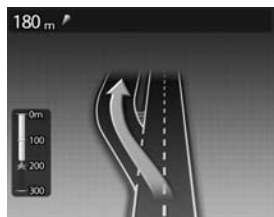
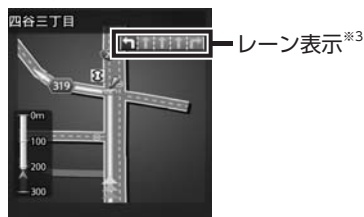
• 一部の交差点では、実際の景色に似たイラストが表示されます。

都市高速道路の手前※1

複雑交差点の手前

側道分岐点の手前※2

交差点の手前

レーン表示※3

※1 「高速入口の画像表示」がONの場合に表示されます。→ P.152
※2 表示される拡大図はイメージです。実際の道路とは車線数や分岐形状などが異なる場合があります。
※3 交差点の直前では、レーンの進行方向を示すレーンガイドが表示されます。交差点名とともに、進入すべきレーンが黄色で表示されます。

高速道路での案内表示

都市高速道路の入口※1

入口の名称と通行車線が表示されます。

都市高速道路の出口※2

出口の名称と通行車線が表示されます。

高速道路の分岐点※2

分岐点名、分岐点までの距離、通行車線が表示されます。

高速道路走行中

高速道路内の情報や到着予想時刻、料金が表示されます。

※1「高速入口の画像表示」がONの場合に表示されます。→ P.152
※2「高速分岐の画像表示」がONの場合に表示されます。→ P.152

■ デフォルメ図

以下の分岐点の手前では、道路形状をデフォルメ化した拡大図が表示されます。

●側道分岐点
●高速道路・有料道路の3分岐以内の分岐点
●画像がない場合の高速道路の分岐点

デフォルメ図には、通行車線が表示されます。

※表示される拡大図はイメージです。実際の道路とは車線数や分岐形状などが異なる場合があります。

ETCレーンガイドでの案内表示

本機と連動する別売のETCユニットが接続状態であり、さらにETCカードが挿入されているとき「黄色矢印」がETCレーン側に表示されます。それ以外の場合は、矢印が一般側に表示されます。

	ETC利用不可時	ETC利用可能時※
料金所付近		
ハイウェイモード		
拡大図		

※ETCユニット接続中で、ETCカードが挿入されているとき

— お知らせ —

• ETCレーンの整備上実際のレーンと異なる場合があります。実際のレーン状況を確認のうえ走行･通過してください。

ルートの設定と案内

細街路での表示

出発ポイントや目的地周辺の道幅が5.5m以下の細街路でも、目的地までルート案内されます。

⚠ 警告

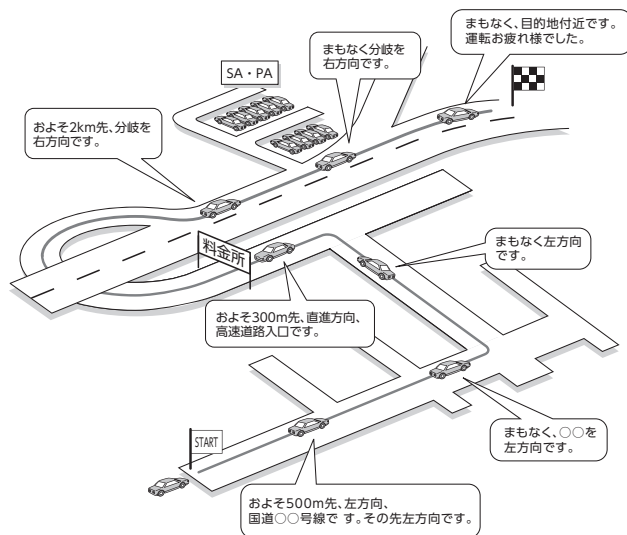
- **出発地、目的地周辺では細街路や地図データ上の幅3.3 ～ 5.5mの一般道路が暗い黄色の線でルート表示されます。また、これらのルートは交通規制（一方通行や右左折禁止など）の情報がない道路が含まれます。必ず実際の交通規制や道路標識などにしたがって走行してください。**

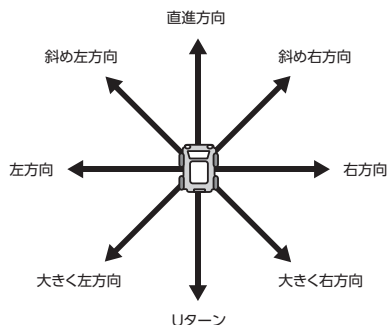
お知らせ

- 200mおよび100mスケールで停止中、細街路走行中は細街路を表示します。200mスケールで表示されるのは一部の細街路のみです。50mスケールでは、細街路以外の道路走行中も細街路が表示されます。走行中に地図をスクロールしているときは、細街路は表示されません。

ルート案内中の音声案内

案内地点が近づくと、音声で案内されます。

運転中の音声案内例

進行方向の案内について

進行方向の音声案内は、8方向で案内されます。

情報を利用する

FM VICS情報やビーコンVICS情報など、さまざまな交通情報を受信してドライブに役立てられます。車のメンテナンス情報や本体情報（バージョン情報）、ETC履歴の情報などもご活用ください。

情報メニュー画面を表示する

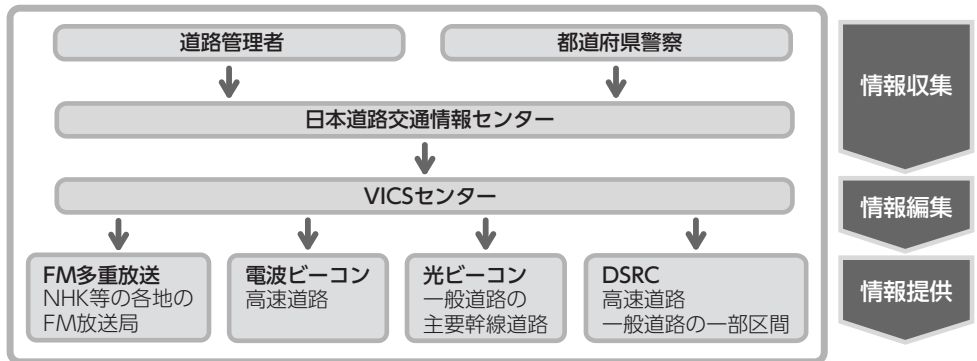
情報メニュー画面では、FM VICS情報やビーコンVICS情報を受信して、交通情報などを見られます。また、車のメンテナンスに関する情報や本機の情報、ETC履歴などの情報も見られます。

※走行中はタッチできる項目が限定されます。

VICS情報を利用する

VICSとは

VICS（Vehicle Information and Communication System）とは、渋滞や事故などの影響による規制情報や、目的地までの所要時間などの道路交通情報をナビゲーションに送信するシステムです。

■ VICS情報の流れ

交通情報の表示について

文字表示（レベル1）

簡易図形表示（レベル2）

地図表示（レベル3）

地図上に表示されるVICS情報（レベル3）

VICS情報を受信すると自動的に地図上に表示され、内容が更新されるごとに情報が書き換わります。
また、ルート情報リストでも、渋滞情報を色で確認できます。→ P.29
ルート上に渋滞・規制情報が存在する場合は、それぞれについて音声案内を行います。

受信マーク表示
VICS情報が提供された時刻を表示します。
※受信した時刻ではありません。
※メンテナンス等で休止している時間以外は、24時間VICS情報を提供しています。

VICSアイコン表示（1km以下のスケールで表示）
以下の情報をアイコンで表示します。→ P.256

交通障害情報：
事故、故障車、路上障害物、工事、作業など

交通規制情報：
通行止め、速度規制、車線規制などの臨時規制

駐車場情報：
駐車場、SA/PAの満車・空車情報
「地図上のVICS表示設定」で表示／非表示を設定できます。→ P.154

カーソルをVICS情報のランドマークに合わせると、VICSアイコン情報が表示されます。（2D地図のみ）

東池袋 事故 接触事故
車線規制
3月18日 13時36分 ～

VICSアイコン情報は、「スクロール地点情報表示」で表示／非表示を設定できます。→ P.158

渋滞情報を線で表示
（1km以下のスケールで表示）

赤色	：渋滞
オレンジ色	：混雑
黄色	：規制
水色	：順調

200m以下のスケールでは、渋滞の方向を示す矢印も表示されます。
「地図上のVICS表示設定」で表示／非表示を設定できます。→ P.154

⚠ 警告

- **安全のため、運転者は走行中に操作しない**
  前方不注意になり、交通事故の原因となるおそれがあります。

FM多重のVICS情報を利用する

本機は、内蔵のFM多重受信機でFM文字多重放送を受信し、広域の交通情報を表示します。
渋滞情報、所要時間、事故情報、道路工事情報などが数分ごとに更新されます。

緊急情報以外のレベル1情報、およびレベル2情報は、受信しても自動的に表示されません。手動で情報を選択し、表示させてください。
レベル3情報を受信すると、自動的に地図画面上に表示されます。

— お願い —
- 表示されるFM VICS情報は、あくまでも参考です。実際の交通規制や道路状況を確認してください。

— お知らせ —
- 地図の大きさを詳細に変えているときは、各FM VICS情報が表示されない場合があります。

— MEMO —
- FM VICS情報が更新されていない場合は、更新前に受信した情報が表示されます。
- FM多重放送の受信地域は変更できます。
  → P.154

FM多重 VICS情報を見る

1 メニュー ▶ 情報 ▶ FM VICS

2 見たい情報を選択

図形情報：
渋滞情報を図形表示で確認する。

文字情報：
渋滞情報などを表示する。
※地域によっては、情報が発信されない場合があります。

所要時間：
各地への所要時間を表示する。

緊急情報：
FM VICS情報から受信した緊急情報を表示する。

3 見たい項目の番号を選択

FM VICS情報が表示されます。

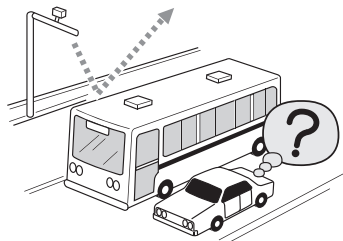
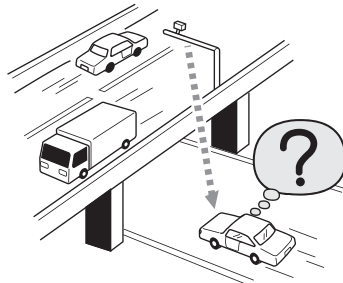
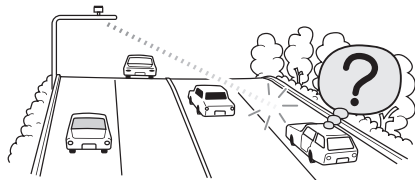
光・電波ビーコンのVICS情報を利用する

別売のVICS光・電波ビーコンユニット、またはDSRCユニット接続時に受信できる情報です。自車位置周辺の交通情報を表示できます。

緊急／注意警戒情報以外のレベル1情報は、受信しても自動的に表示されません。手動で情報を選択し、表示させてください。
レベル2情報を受信すると、自動的にビーコンVICS情報画面に切り替わり、情報が割り込み表示されます。
レベル3情報を受信すると、自動的に地図画面上に表示されます。

ビーコン情報受信時のご注意

ビーコンVICS情報は、車の走行状態や状況により、受信できなかったり、誤受信したりすることがあります。

●道路に設置されているVICS光・電波ビーコン、またはDSRC発信機との間に大型車両などがいる場合には、VICS情報を受信できない場合があります。

●高速道路と交差する一般道路や、近くを並行して走る一般道路などでは、高速道路のVICS情報を受信することがあります。

●一般道路走行中、VICS光・電波ビーコン、またはDSRC受信状況により、VICS情報が受信しにくかったり、対向車線のVICS情報を受信したりすることがあります。
●高速道路走行中、トンネル内や幅の広い道路では、VICS情報を受信できない場合があります。

●高速道路走行中、豪雪や豪雨時などには、VICS情報を受信しにくいことがあります。
●別売のVICS光・電波ビーコンアンテナの表面に、シールなどを貼らないでください。

ビーコンVICS情報を見る

1 メニュー ▶ 情報 ▶ ビーコン情報

2 **見たい情報を選択**

図形情報：
渋滞情報を図形表示で確認する。

文字情報：
渋滞情報などを表示する。

所要時間：
各地への所要時間を表示する。

緊急、注意警戒情報：
ビーコン情報から受信した緊急情報／注意警戒情報を表示する。

3 **見たい項目の番号を選択**

ビーコンVICS情報が表示されます。

— MEMO

• 図形情報を受信すると、自動的に割り込み表示されます。→ P.154

DSRC情報を利用する

別売のDSRCユニット接続時に受信できる情報です。
高速道路に設置されたDSRC路側アンテナと、DSRC車載器間での双方向通信により、道路上の渋滞や、事故、合流などの情報を、リアルタイムに画像と音声で案内します。
DSRC情報を受信すると、自動的に割り込み表示されます。→ P.154
緊急／注意警戒情報以外のレベル1情報は、受信しても自動的に表示されません。手動で情報を選択し、表示させてください。
レベル2情報を受信すると、自動的にDSRC情報画面に切り替わり、情報が割り込み表示されます。
レベル3情報を受信すると、自動的に地図画面上に表示されます。

DSRC情報を見る

1 メニュー ▶ 情報 ▶ DSRC情報

2 **見たい情報を選択**

以下の情報を確認できます。
図形情報
文字情報
緊急・注意警戒情報
多目的情報
電子標識情報
安全運転支援情報
長文読み上げ情報

3 **見たい項目を選択**

— MEMO

• 音声データがある場合は、自動的に音声で情報を読み上げます。→ P.155
• 図形情報を受信すると、自動的に割り込み表示されます。→ P.154

ETC情報を利用する

ETC情報とは

ETC情報とは、ETCの料金情報や予告案内、警告情報などです。本機と連動する別売のETCユニットを接続すると表示されます。料金所ゲートを通過するときに、ETC情報を受信し、画面表示と音声で案内されます。

準備

●料金情報の案内や履歴の表示を行うには、ETCユニットにETCカードをセットします。ETCユニットについて詳しくは、ETCユニット付属の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 別売のDSRCユニットを接続しても、ETC情報を利用できます。
- 走行中は、操作できる項目が限定されます。

MEMO

- 表示料金は目安です。
- ETCの車載器管理番号などを表示させることもできます。→ P.80

ETC情報の画面表示と案内

予告案内

料金所に予告アンテナ／ETCカード未挿入お知らせアンテナが設置されている場合のみ案内されます。同時に「○○にお進みください」など、車線の誘導が表示されることがあります。

●「ETCは利用できません」
●「ETCがご利用可能です」
●「ETC車線を通行できます」

警告表示

●「ETCカードを確認してください」
ETCカードが故障しているときや、ETCカードでないときに表示されます。

●「ETCに異常が検出されました。販売店に連絡してください」
ETCユニットの異常により、本機との接続ができないときに表示されます。

●「ETCカードを挿入してください」
ETCカードの入れ忘れ警告を「ON」に設定した場合、本機起動時に表示されます。→ P.81
また、ETCカード未挿入で「履歴」「最新利用日履歴」「精算」をタッチしたときにも表示されます。

●「ETCユニットがセットアップされていません」
ETCユニット本体がセットアップされていないときに表示されます。

●「ETCとDSRCがセットアップされていません」
DSRCユニット本体がセットアップされていないときに表示されます。

●「ETCユニットのセットアップは行われませんでした。カードを確認して下さい」
ETCユニットのセットアップが正常に行われなかったときに表示されます。

●「ETCカードの有効期限が切れています。ETCカードを確認してください」
ETCカードの有効期限が切れているとき、起動時とETCカード挿入時に表示されます。

●「ETCカードの有効期限が近づいています」
ETCカードの有効期限切れ14日前から、起動時とETCカード挿入時に表示されます。

料金案内

ETCユニット、またはDSRCユニットからの料金情報を受信すると、料金案内が表示されます。表示内容はナビゲーション画面、オーディオ画面とも同様です。
※表示料金は目安です。

ETC 利用料金は、 700円です

ETCゲート通過時に料金が徴収された場合、または料金の払い戻しがあった場合に案内されます。

●利用料金は、xxxx円です
●払い戻し料金は、xxxx円です

最新の利用履歴を読み上げる

1 メニュー ▶ 情報 ▶ ETC情報

2 最新利用履歴の読上げ
最後に課金されたETCの金額が音声で案内されます。

ETC情報の履歴を見る

1 メニュー ▶ 情報 ▶ ETC情報

2 利用履歴 **または** 最新利用日履歴

ETCカードが差し込まれている場合にETC情報が表示されます。

利用履歴：
最新の履歴より、最大100件のETC情報を表示する。

最新利用日履歴：
最新日に利用したETC情報のみ表示する。

— MEMO

- 履歴読み出し中にカード排出などを行うと、読み出しが正常に行われません。このとき「すべての情報を取得できませんでした。一部の情報が表示できません」と表示されることがあります。
- 一度も使用したことのない新しいカードの場合は、「情報がありません」と表示されます。
- ITSスポット付近では、ETC情報の履歴の読み出しが正常に行えない場合があります。

ETC/DSRCのセットアップ情報を表示する

1 メニュー ▶ 情報 ▶ ETC情報

2 セットアップ情報

ETCの場合は、車載器管理番号、型式登録番号、車載器型式が表示されます。
DSRCの場合は、車載器管理番号、型式登録番号が表示されます。

ETC料金を割り勘にする

ETC情報の履歴の中から履歴を指定して、希望の人数で割った金額を算出できます。また、駐車料金などの調整金額を含めて算出することもできます。

1 メニュー ▶ 情報 ▶ ETC情報

2 精算

3 **精算したい履歴を選択** ▶ 決定

日＋：
精算する履歴を、1日分ずつさかのぼって追加する。

日－：
精算する履歴を、1日分ずつ解除する。

4 ＋ **または** － **で人数を調整**

1人あたりの支払い金額が表示されます。

5 **ETC以外にかかった料金がある場合は、** 駐車料金などを入力

6 **金額を入力** ▶ 決定

1人あたりの支払い金額が表示されます。

— お知らせ

- 計算可能な金額は100万円未満です。100万円以上になると「料金計算の範囲を超えています」と表示されます。

— MEMO

- ETC履歴のICランプ情報が不明の場合、または料金所が新規追加され情報が不足している場合は、「情報なし」と表示されます。

ETCの設定をする

別売のETCユニット、またはDSRCユニット接続時の設定です。

1 メニュー ▶ 情報 ▶ ETC情報

2 ETC設定

音声ガイド：
本機からの音声案内を出力させるかどうかを選択する。（初期値：ON）

カード入れ忘れ警告：
ETCカードを入れ忘れたときに警告させるかどうかを選択する。（初期値：ON）

本体ブザー音（ETCユニット接続時のみ）：
ブザータイプのETCユニットのブザー音を鳴らすかどうかを設定する。（初期値：ON）
ブザー音が鳴るのは以下の場合です。
・ゲート通過時
・カード挿入時／排出時
・エンジンキー「ACC」または「ON」時にカード未挿入

アイコン表示：
地図上にETCアイコンの情報を表示させるかどうかを選択する。（初期値：ON）

お知らせ
- ETCユニットが「有効期限通知機能」に対応していないモデルでは、ETCカードの有効期限に関する警告は表示されません。

「Smart Access」を利用する

「Smart Access」サイトと連携することで、サイト上のお気に入り地点やルートのデータなどを本機に取り込めます。また、本機から「Smart Access」サイトへデータを送信することもできます。データの送信や本機への取り込みは、オンライン経由またはSDカードを使用して行います。
「Smart Access」のご利用には、会員登録（無料）が必要です。本機をより便利にお使いいただくために、会員登録をおすすめします。「Smart Access」について詳しくは、以下をご覧ください。
http://www.smart-acs.com/

準備

●オンライン経由で行う場合
Bluetooth対応携帯電話、またはUSBデータ通信モジュールを本機に接続し、「WEB連携」で認証を行います。→ P.103

●SDカードを使用する場合
SDカードを本機にセットする→ P.109

お気に入り地点を本機に登録する

「Smart Access」サイト内の登録地（お気に入りスポット）を、本機の登録地へ追加します。
本機では400件のお気に入りスポット（地点登録を含む）を保存できます。
本機に取り込める地点情報は、名称、位置、住所、電話番号です。

オンライン経由で本機に登録する

準備

●「Smart Access」サイトの「お気に入り」内で登録する地点を選択します。（最大20件）

1 メニュー ▶ 情報 ▶ WEB連携

2 お気に入りスポットを登録地へ追加

3 オンライン
接続が開始されます。

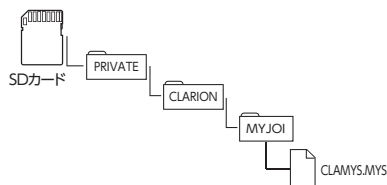
4 OK

情報を利用する

SDカードから本機に登録する

準 備

●「Smart Access」サイトから登録する地点をSDカードに書き出します。

「Smart Access」から地点を取り込むには、以下のフォルダ構造でファイルが保存されている必要があります。

1 メニュー ▶ 情報 ▶ WEB連携
2 お気に入りスポットを登録地へ追加
3 SDメモリーカード
4 **本機に登録する地点を選択** ▶ 決定
5 OK

お気に入りコースを本機に登録する

「Smart Access」サイト内のお気に入りコースを、本機の登録ルートへ追加します。（最大5件）

オンライン経由で本機に登録する

準 備

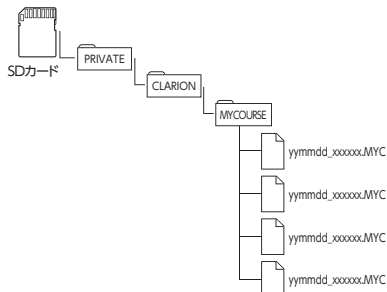
●「Smart Access」サイトの「お気に入り」内で登録するコースを選択します。1回で登録できる件数は1件のみです。

1 メニュー ▶ 情報 ▶ WEB連携
2 お気に入りコース
3 お気に入りコースを登録ルートへ追加
4 オンライン
接続が開始されます。
5 OK

SDカードから本機に登録する

準 備

●「Smart Access」サイトから登録するコースをSDカードに書き出します。

「Smart Access」からコースを取り込むには、以下のフォルダ構造でファイルが保存されている必要があります。

※ファイル名は、半角28文字以内、全角14文字以内にしてください。

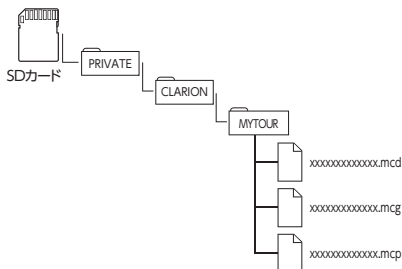
1 メニュー ▶ 情報 ▶ WEB連携
2 お気に入りコース
3 お気に入りコースを登録ルートへ追加
4 SDメモリーカード
5 **本機に登録する地点を選択** ▶ 決定
6 OK

お気に入りコースの情報を表示する

「Smart Access」サイト内のお気に入りコースがSDカードに保存されている場合、コースの情報を表示できます。

1 メニュー ▶ 情報 ▶ WEB連携
2 お気に入りコース
3 おでかけ計画
4 **目的のお気に入りコースを選択**
お気に入りコースの情報が表示されます。

MYツアーデータを本機に取り込む

「Smart Access」サイトでは、お客様から投稿されたスポット（位置情報）からお好みのものを探し、SDカードに保存できます。これを「MYツアー」と呼びます。
本機に取り込めるMYツアーデータは1件のみです。取り込んだMYツアーデータは、ピクチャービュー画面から目的地・経由地として設定できます。→ P.30
「Smart Access」からMYツアーを取り込むには、以下のフォルダ構造でファイルが保存されている必要があります。

※ファイル名は、半角31文字以内、全角15文字以内にしてください。

1. メニュー ▶ 情報 ▶ WEB連携
2. MYツアーデータの取り込み
3. **本機に取り込むMYツアーを選択** ▶ 決定

登録地の送信／書き出しをする

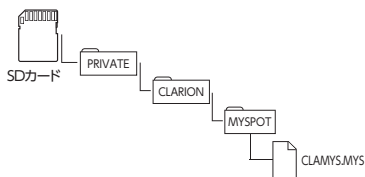
本機の登録地を、お気に入りスポットとして「Smart Access」サイトに送信、またはSDカードに書き出せます。
送信／書き出しができる地点情報は、アイコン、名称、電話番号、位置、読み仮名、住所です。
スクロール画面で登録された地点は、お気に入りスポットとして書き出せます。各種検索から登録した地点の情報は送信／書き出しができません。

オンライン経由で送信する

選択できるお気に入りスポットは最大20件です。

1. メニュー ▶ 情報 ▶ WEB連携
2. 登録地を「Smart Access」サイトへ送信
3. オンライン
4. **送信する登録地を選択** ▶ 決定
   接続が開始されます。
5. OK

SDカードに書き出す

SDカードに書き出したお気に入りスポットは、「Smart Access」サイトで利用できます。
SDカードには最大400件お気に入りスポットを書き出せます。
「Smart Access」でお気に入りスポットを利用するには、以下のフォルダ構造でファイルが保存されている必要があります。

1. メニュー ▶ 情報 ▶ WEB連携
2. 登録地を「Smart Access」サイトへ送信
3. SDメモリーカード
4. **書き出す地点を選択** ▶ 決定

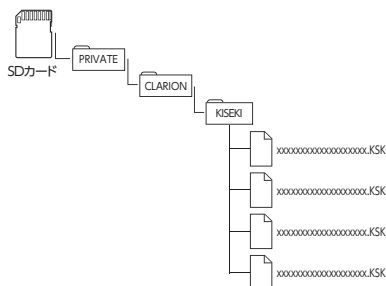
走行軌跡の送信／書き出しをする

本機の軌跡情報を「Smart Access」サイトに送信、またはSDカードに書き出せます。

オンライン経由で送信する

1 メニュー ▶ 情報 ▶ WEB連携
2 走行軌跡を「Smart Access」サイトへ送信
3 オンライン

SDカードに書き出す

SDカードに書き出した走行軌跡は、「Smart Access」サイトで利用できます。
「Smart Access」で走行軌跡を利用するには、以下のフォルダ構造でファイルが保存されている必要があります。

1 メニュー ▶ 情報 ▶ WEB連携
2 走行軌跡を「Smart Access」サイトへ送信
3 SDメモリーカード

WEBサーチで取得したスポットデータを消去する

WEBサーチから取得した検索結果（スポットデータ）を、本機から消去します。

1 メニュー ▶ 情報 ▶ WEB連携
2 WEBサーチで取得したスポットの消去
3 スポットを選択 ▶ 決定
4 はい

エコロジー情報を利用する

エコロジー情報を表示する

1 メニュー ▶ エコロジー情報

瞬間エコロジー度メーター画面が表示されます。

瞬間エコロジー度メーター画面

「瞬間エコロジー度」が表示されます。

エコロジードライブを続けることで、画面の木が成長していきます。最大まで木を成長させると、その木は背景に移動して、新しい木が育ちます。木は9本まで育てられます。

エコロジー履歴を表示する

1 メニュー ▶ エコロジー情報
2 履歴

エコロジー情報履歴画面が表示されます。(最大10日分)
1日あたりの平均エコロジー度が棒グラフで表示されます。

エコロジーデータをSDカードに書き出す

エコロジーデータをSDカードに書き出すことで、クラリオン株式会社Webサイト「Smart Access」に送信してエコロジーデータを管理、保存できます。
「Smart Access」のご利用には、会員登録（無料）が必要です。本機をより便利にお使いいただくために、会員登録をおすすめします。
「Smart Access」について詳しくは、以下をご覧ください。
http://www.smart-acs.com/

準備

●本機にSDカードをセットします。

1 メニュー ▶ エコロジー情報

2 履歴

3 データの書き出し
データの書き出しがはじまります。終了するとエコロジー情報履歴画面に戻ります。

— MEMO
• SDカードに書き出したデータは以下のフォルダ内に保存されます。
ROOT/PRIVATE/CLARION/MYECO/
ファイル名には年月日と、.ECOの拡張子が付きます。
例：20130423.ECO

エコロジー機能の設定をする

1 メニュー ▶ エコロジー情報

2 設定
車両設定画面が表示されます。→ P.160

その他の情報を利用する

ラジオの交通情報を受信する

1 **ソース選択画面で** 交通情報
交通情報を受信します。

1620kHz/1629kHz：
周波数を切り替える。

解除：
交通情報を聞く前に視聴していたオーディオソースに戻る。

— MEMO
• シンプルメニューからも同様の操作が行えます。→ P.11

GPSから現在地の情報を取得する

1 メニュー ▶ 情報

2 GPS現在地情報
GPSの測位状態、自車位置の緯度・経度、測位衛星・待機衛星の数が表示されます。

本機の情報(確認コード)を見る

1 メニュー ▶ 情報 ▶ 本体情報
バージョン情報（メモリー情報）画面が表示されます。

2 情報を選択

バージョン情報：
以下の情報を表示する。
地図更新のバージョン情報、ナビゲーションアプリケーションのバージョン情報、スキン（スクリーンデータ）のバージョン情報、オーディオアプリケーションのバージョン情報、TVサーチ情報データの最終更新日、更新データのバージョンなど

製品情報：
地図更新や会員登録などの際に使用する確認コードなどを表示する。

— MEMO —
- 製品情報は、クラリオン株式会社Webサイト「Smart Access」（http://www.smart-acs.com/）で会員登録する際に必要となります。あらかじめ、製品コード、シリアル番号、確認コードをお控えになるか、QRコード から2次元バーコード（QRコード）を携帯電話に読み取ってご登録ください。コードの読み取り操作については、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

地図更新情報：
本機の利用開始日、無料地図更新の実施可能期限日を表示する。

プログラム更新：
本機のソフトウェアをオンラインで更新できます。→ P.190

メンテナンス情報を利用する

あらかじめ日付や距離を設定しておくことで、消耗品の交換、点検、免許更新などの時期を通知できます。
設定できるメンテナンス項目は、以下のとおりです。各項目に対して、日付、距離、お知らせ設定、交換間隔設定／更新機能を設定できます。

オイル関連：
エンジンオイル、オイルフィルタ、ミッションオイル、ブレーキオイル

タイヤ関連：
空気圧チェック、タイヤローテーション、タイヤ交換

消耗品：
ワイパーブレード、エアクリーナー、クーラント、バッテリー、ブレーキパッド

点検・車検：
車検、定期点検（日付とお知らせ設定のみ、設定できます）

免許証・保険：
免許証更新、自動車保険更新（日付とお知らせ設定のみ、設定できます）

オリジナル1 ～ 3：
任意の項目を設定できます。（日付とお知らせ設定のみ、設定できます）

— MEMO —
- お車の使用状況により、お知らせするメンテナンス時期と、実際に必要なメンテナンス時期に誤差が生じる場合があります。

お知らせ設定をする

ここでは、エンジンオイル交換のメンテナンス時期を設定する方法を例として説明します。

1 メニュー ▶ 情報 ▶ メンテナンス情報

2 オイル関連

— MEMO —
- オリジナル1 ～ オリジナル3 をタッチした場合→手順4

3 エンジンオイル

4 各項目を設定

設定できる項目は以下のとおりです。
設定項目の内容は、メンテナンス項目によって異なります。

お知らせ表示：
メンテナンス時期をお知らせ表示するかどうかを設定する。

お知らせ日：
お知らせする日を設定する。

交換間隔：
1ヶ月単位でお知らせする交換間隔を設定する。
例：「交換間隔」を24ヶ月に設定し 交換完了 をタッチすると、現在の日付から24ヶ月後がお知らせ日に設定されます。お知らせ日に、再度同じ間隔で案内させる場合は、交換完了 をタッチすると、さらに24ヶ月後がお知らせ日に設定されます。

お知らせ距離：
お知らせする走行距離を設定する。
計測される走行距離と実際の走行距離では誤差が生じる場合があります。

名称：
メンテナンス項目の名前を設定する。
手順2で オリジナル1 ～ オリジナル3 をタッチしたときのみ表示されます。

交換完了：
走行距離を0にリセットする。
設定した交換間隔でお知らせ日が更新されます。

リセット：
選択した項目のお知らせ設定を初期化する。

お知らせメッセージを確認する

メンテナンス項目が設定された年月日や走行距離に達すると、次に本機を起動したときにお知らせのメッセージが表示されます。

1 確認

後で見る：
後からメンテナンス項目を確認する。
「お知らせ設定をする」の手順2、3で ! が表示されている項目がお知らせされた項目です。→ P.86
交換完了 をタッチすると、! は消えます。

2 **お知らせ項目を選択**

次のメンテナンス時期を設定します。

お店へ行く：
登録した販売店までのルートを探索する。

販売店情報を登録する

販売店の情報を登録しておくと、メンテナンス情報お知らせ時に販売店へルート案内できます。

1 メニュー ▶ 情報 ▶ メンテナンス情報

2 販売店情報

3 販売店登録

4 **販売店の地点を探す**

5 決定

6 はい

販売店が登録されます。設定した販売店の名称、電話番号、位置は自動で入力されます。

販売店を登録したら

販売店情報を登録した後の販売店情報画面およびお知らせ項目確認画面には、お店へ行く が表示されます。タッチすると、販売店までの地図とルート選択メニューが表示されます。
ルート選択メニューの ガイド開始 をタッチすると、販売店までのルートが探索されます。

MEMO

- 販売店情報を編集したい場合は、販売店情報画面で各項目をタッチしてください。

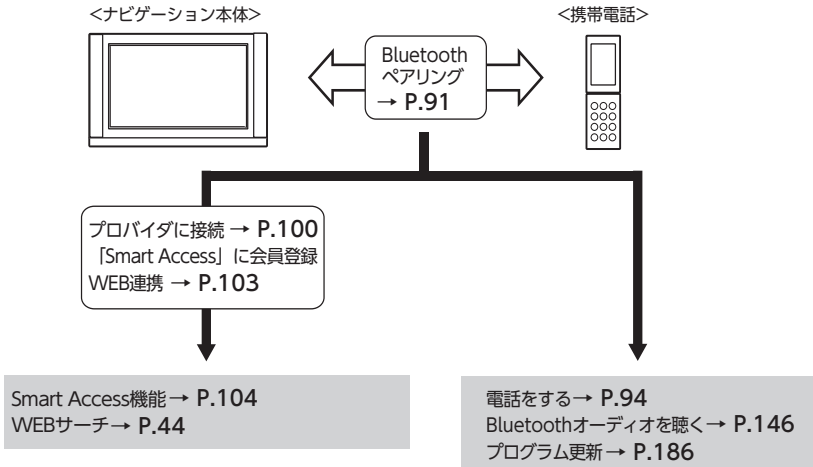
通信機能を利用する

本機に携帯電話などのBluetooth対応機器やUSBデータ通信モジュールを接続すると、本機から電話をかけたり、交通情報を受信できます。

通信を利用してできること

Bluetooth対応携帯電話を利用すると、ハンズフリーで通話したり、「Smart Access」の各機能など、便利な機能を利用できます。

準 備

●以下の設定を行います。
- 携帯電話を本機に登録（ペアリング）→ P.91
- プロバイダ接続の設定→ P.100
- 「Smart Access」に会員登録
- WEB連携→ P.103
  WEB連携の詳細については、各機能のページをご覧ください。
  - WEB連携を行うには、Bluetooth機能およびDUN機能対応の携帯電話、またはUSBデータ通信モジュールが必要です。→ P.90、P.177
  - ご利用可能な携帯電話の種類については、以下のホームページをご覧ください。
    http://www.clarion.com/jp/ja/support/index.html

USBデータ通信モジュールを利用する

別売のUSBデータ通信モジュールを使うと、定額制通信サービスをご利用になれます。
詳しくは、「USBデータ通信モジュールを使う」をご覧ください。→ P.177

パケット通信量を表示する

通信機能を利用すると、パケット通信料金がかかります。
1パケットあたりの金額を設定すると、1日分のパケット通信量と通信料金を確認できます。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ 電話・オンライン

2 本日のパケット通信量

1日分のパケット通信量と通信料金が表示されます。データは午前0時にリセットされます。

1パケットあたりの金額：
通信料金表示の基準となる金額を設定する。

Bluetooth対応機器を登録する

準 備

●本機のBluetooth機能をONにします。
→ P.99

携帯電話などのBluetooth対応機器を登録して、本機から電話の発着信やオーディオを再生できます。
Bluetooth対応携帯電話を用いるとケーブルを接続することなく、Bluetoothを利用したハンズフリー機能を使用できます。
この操作は、電話メニュー画面およびBluetooth設定画面から行います。
接続可能な携帯電話の情報については、以下のホームページをご覧ください。
http://www.clarion.com/jp/ja/support/index.html

電話メニュー画面

Bluetooth設定画面

※走行中はタッチできる項目が限定されます。

Bluetooth（ブルートゥース）とは

Bluetoothとは、産業団体Bluetooth SIGにより提唱されている携帯情報機器向けの短距離無線通信技術です。2.4GHz帯の電波を利用してBluetooth対応機器どうしで通信を行います。
本機では、Bluetoothに対応した携帯電話およびオーディオ機器を接続して利用できます。
Bluetooth対応機器を利用するには、本機に登録（ペアリング）する必要があります。→ P.91

本機は、以下のBluetoothプロファイルに対応しています。

ハンズフリー通話
HFP（Hands-Free Profile：ハンズフリープロファイル）

電話帳転送
OPP（Object Push Profile：オブジェクトプッシュプロファイル）

電話帳転送および通話履歴等の同期
PBAP（Phone Book Access Profile：フォーンブックアクセスプロファイル）

オーディオ
A2DP（Advanced Audio Distribution Profile：高度オーディオ配信プロファイル）、AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile：オーディオ/ビデオリモート制御プロファイル）

データ通信
DUN（Dial-up Networking Profile：ダイヤルアップネットワークプロファイル）

スマートフォン連携
SPP（Serial Port Profile：シリアルポートプロファイル）

※Bluetoothプロファイルに対応している機器であっても、相手機器の特性や仕様によっては接続できなかったり、表示や動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。

Bluetoothハンズフリーのマルチポイント接続でできること

従来、1台まで使用可能だったBluetooth接続の携帯電話を以下のように使用できます。

●携帯電話2台を待ち受けとして使用可能

●通話用およびオンラインなどのデータ通信用として、2台の携帯電話の使い分けが可能

※携帯電話2台を使用した同時通話は、不可（2台を待ち受けとした場合は、先に発着信した側のみで通話が可能）

MEMO

- 本機では、Bluetooth対応携帯電話（ハンズフリー）とBluetoothオーディオ機器を同時に使用できます。ただし、音声についてはハンズフリーを優先します。
- 携帯電話およびオーディオ機器は、Bluetooth方式に対応しているものを使用してください。ただし、携帯電話、オーディオ機器の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- Bluetooth対応機器の収納場所、本機との距離によっては、接続できない場合があります。本機とBluetooth対応機器との間に障害物がないようにして、ご使用ください。
- Bluetooth対応機器について詳しくは、各取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth機器の取り扱いについて

Bluetooth機器を使用される前にお読みください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機能を使用する前に、近くで移動体識別用構内無線局および、特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を移動するか、または電波の発射を停止し、電波干渉を避けてください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

Bluetooth対応機器を登録する（ペアリング）

はじめてBluetooth対応機器を利用するときは、本機に登録（ペアリング）してください。

お知らせ

- 走行中はペアリングを実行できません。
- あらかじめ機器側でもBluetooth機能をONに設定しないと、ペアリングできない場合があります。詳しくはBluetooth対応機器の取扱説明書をご覧ください。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ Bluetooth

2 機器登録

3 **各項目を選択**

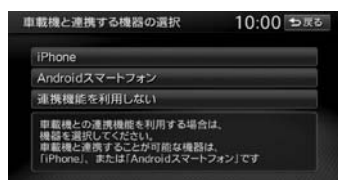
登録機器の選択：
ペアリングするBluetooth対応機器が携帯電話か、オーディオ機器かを選択する。
「オーディオ機器」を選択すると、「スマートフォン連携、またはダイアルアップ接続の利用確認」は選択できません。

登録後の機器使用確認：
ペアリングしたBluetooth対応機器を使用するかどうかを選択する。
「登録のみ」を選択すると、「スマートフォン連携、またはダイアルアップ接続の利用確認」は選択できません。

スマートフォン連携、またはダイアルアップ接続の利用確認
※携帯電話の場合のみ：
ペアリングした携帯電話を使って、データ通信を行うかどうかを選択する。
「利用する」を選択すると、スマートフォン連携機器、ハンズフリー電話およびデータ通信用機器として利用できます。「利用しない」を選択すると、ハンズフリー電話としてのみ利用できます。
スマートフォン連携について詳しくは、P.105 をご覧ください。

4 決定

「スマートフォン連携、またはダイアルアップ接続の利用確認」で 利用する を選択した場合は、手順5に進みます。 利用しない を選択した場合は、手順6に進みます。

5 本機と連携する機器を選択

iPhone：
iPhoneを使ったスマートフォン連携を行う場合に選択する。

Androidスマートフォン：
Android搭載機を使ったスマートフォン連携を行う場合に選択する。

連携機能を利用しない：
スマートフォン連携を利用しないときに選択する。
オンライン機能やWEB連携を行う場合のみ選択します。

6 Bluetooth対応機器から「NX-BT」（初期値）を選択し、パスキー「1212」（初期値)を入力

— MEMO —
- Bluetooth対応機器の機種によっては、パスキー入力は不要です。また、機種によっては、本機に入力したパスキーが機器側のパスキーと同一か、確認する画面が表示されます。登録を行う場合は、画面にしたがって操作してください。
- 携帯電話以外のBluetoothオーディオ機器を登録する場合は、「オーディオ機器」を選択後、決定 をタッチしてからパスキー「例：1212」を入力してください。

Bluetooth対応機器から本機の探索を行い、ペアリングが完了します。

— お知らせ —
- ペアリング完了後、Bluetooth設定画面の「Bluetoothで接続」がONに切り替わります。Bluetooth機能を使用する際は、本設定がONであることを確認してください。
- ハンズフリー中（発信、着信、通話）は、ほかのBluetooth対応機器の接続(通話、通信)やペアリングはできません。また、ハンズフリー中は、オーディオ音声は出力されません。
- Bluetooth対応機器は、5台までペアリングできます。6台目をペアリングするには、すでに登録されたBluetooth対応機器の情報を消去してください。→ P.93
- すでに携帯電話を接続した状態でペアリングを行った場合は、接続を解除し、最後にペアリングした携帯電話と接続します。
- Bluetooth対応機器が「接続待機中」設定時や待ち受け状態のときは、自動的に接続されます。上記以外の場合は、自動的に接続されないことがあります。詳しくは機器の取扱説明書をご覧ください。

— MEMO —
- ペアリング完了後、Bluetooth対応機器上で接続確認の操作が必要な場合があります。
- ペアリング完了後、携帯電話上で接続するプロファイルの選択が必要な場合は、「ハンズフリー」を選択してください。また、同時にオーディオプレーヤーを使用する場合は、「オーディオ」も選択してください。
- Bluetooth対応機器側の操作について詳しくは、機器の取扱説明書をご覧ください。

- 本機のBluetooth対応機器の受信感度、電池残量の表示は、接続する機器によっては、数値が一致しない場合があります。
- デバイス名、パスキーは変更可能です。
- Bluetooth対応機器と距離が離れているなど、何らかの理由で接続が切断された場合に、自動的に再接続を試みます。
- Bluetooth対応機器を再起動した場合、機器の種類によって、自動的に接続されない場合があります。自動接続されない場合はBluetooth設定画面の 接続機器の選択 をタッチしてリストから接続したいBluetooth対応機器を選択してください。→ P.93

接続するBluetooth対応機器を切り替える

本機に複数のBluetooth対応機器が登録されている場合に、接続する機器を切り替えられます。

— お知らせ

- Bluetooth対応機器は、5台までペアリング可能ですが、接続できるのは2台までです。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ Bluetooth

2 接続機器の選択

3 接続機器1 または 接続機器2

接続機器1：
メインのBluetooth対応機器を指定する。ハンズフリー電話、データ通信用機器、およびBluetoothオーディオとして利用します。

接続機器2：
サブのBluetooth対応機器を指定する。ハンズフリー電話のみ、またはBluetoothオーディオとして利用します。
メインのBluetooth対応機器でデータ通信をしながら、サブのBluetooth対応機器でハンズフリー電話やBluetoothオーディオが利用できます。

4 **切り替える機器を選択**

— MEMO

- 手順3で 接続機器1 を選択した場合、切り替える機器を選択後、スマートフォン連携で使用する機器の種類を選択する画面が表示されます。→ P.91

5 決定

— MEMO

- 現在使用中の携帯電話の切り替えを行うと、短縮ダイヤル・発着信履歴などの機器情報も選択した機器の情報に切り替わります。

登録したBluetooth対応機器を消去する

ペアリング済みのBluetooth対応機器の情報を消去します。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ Bluetooth

2 機器の消去

3 **消去したい機器を選択**

4 消去する

5 はい

— お知らせ

- 携帯電話の登録情報を消去すると、該当する携帯電話の発着信履歴、短縮ダイヤル、電話帳情報も消去されます。
- Bluetooth対応機器の登録情報を消去している最中に本機の電源を切ると、消去できない場合があります。その場合は電源を入れ、再度消去の操作を行ってください。

携帯電話を利用する

お願い

- 携帯電話を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

MEMO

- 同時に2台の携帯電話を接続しているときは、電話メニュー画面に表示されている機器名称をタッチして、使用する電話を切り替えられます。→ P.90

通話中の画面

通話中は、以下のような画面が表示されます。

通話中画面

通話中に 現在地 を押すと、以下のような画面になります。この画面のまま、目的地検索などの操作も行えます。

通話中地図画面

携帯電話の受信感度が表示されます。

携帯電話本体での通話に切り替わります。

電話を切り現在地が表示されます。

電話コントロールバーの表示／非表示を切り替えます。

通話時間、相手先の名前、または電話番号が表示されます。

お知らせ

- 携帯電話の機種によっては、通話中に第三者から着信があった場合は、自動的に着信を拒否します。その際の着信履歴は保存されません。
- 通話中に車が携帯電話のサービス圏外（電波が届かないところ）に移動したときは回線が切れます。
- ハンズフリーで通話中は、オーディオソースの選択切り替えができません。また、オンラインの一部の機能が使用できません。
- 携帯電話が待ち受け状態でないと、発着信できない場合があります。

番号を入力して電話をかける

⚠ 注意

- **走行中は、電話番号を入力して電話をかけることはできません。必ず車を安全な場所に停車させてから行ってください。**

— MEMO

- 携帯電話によっては、ダイヤル発信後、発信中の電話を切った場合、すぐに再発信できないことがあります。しばらくしてから、ダイヤル発信を行ってください。

1 メニュー ▶ 電話

2 ダイヤル入力

3 **電話番号を市外局番から入力**

4 電話をかける

電話番号が発信され、相手を呼び出します。

電話を切る：
呼び出し途中にタッチして、電話を切る。

5 **通話を終了する場合は** 電話を切る

電話を切り、電話をかける前の画面に戻ります。
発信した電話番号、名称（電話帳に登録されている場合）、発信日時が発信履歴として保存されます。同一電話番号の場合、最新の履歴のみが表示されます。

発着信履歴からかける

1 メニュー ▶ 電話

2 発着信履歴

3 着信履歴 **または** 発信履歴

4 **ダイヤルしたい相手先を選択**

着信履歴／発信履歴：
リストに表示する履歴を切り替える。

5 電話をかける

登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

— お知らせ

- 非通知着信時の着信履歴からは電話をかけられません。

— MEMO

- 発着信の履歴は、本機に記録された最新の5件が表示されます。
- 同一電話番号を異なる名称で短縮ダイヤルと電話帳に登録している場合、短縮ダイヤルの情報を優先して履歴を表示します。
- 短縮ダイヤル、または、電話帳に登録されている電話番号の場合、登録している名称を表示します。

発着信履歴を消去する

1 メニュー ▶ 設定

2 電話・オンライン ▶ 電話 ▶ メモリ消去

3 発着信履歴

4 消去する方法を選択

一括消去：
すべての発着信履歴を消去する。

履歴ごとに消去：
すべての発着信履歴から選択して消去する。

1件消去：
選択した1件の発着信履歴を消去する。
発着信履歴リストから消去したい履歴を選択し、消去する をタッチしてください。

5 はい

選択した履歴が消去されます。

電話帳を登録する

あらかじめ携帯電話の電話帳を本機に登録しておき、本機から電話をかけられます。
携帯電話の電話帳は、携帯電話側の電話帳転送機能を使用して登録します。携帯電話によっては、電話帳を転送できないものがあります。
詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

— MEMO —
- 電話帳を転送後、携帯電話の接続が切断される場合があります。その場合は、再度、電話機選択画面から接続したい携帯電話を選択してください。

1 メニュー ▶ 設定

2 電話・オンライン ▶ 電話 ▶ ハンズフリー電話帳

3 携帯メモリ一括ダウンロード または 携帯メモリ追加ダウンロード ▶ はい

電話帳転送の待ち受け画面になります。

携帯メモリ一括ダウンロード：
Bluetooth対応携帯電話から電話帳データを送信し、本機の電話帳データに上書き保存する。
前回ダウンロードしたデータは上書きされるため、利用できなくなります。

携帯メモリ追加ダウンロード：
Bluetooth対応携帯電話から電話帳データを送信し、本機の電話帳データに追加保存する。
前回ダウンロードしたデータは上書きされずに利用可能です。

ダウンロード済みリスト：
転送後の電話帳のリスト画面を表示する。
登録された電話番号は短縮ダイヤルへ登録、または消去できます。→ P.97

4 携帯電話から電話帳転送

電話機選択画面で現在選択されている携帯電話の電話帳が本機に転送されます。
追加ダウンロード完了時には、キャンセル をタッチして登録作業を終了してください。

— お知らせ —
- 電話帳の転送は、同一の電話番号でも常に追加で登録され上書きされません。必要に応じて電話番号を消去してください。

— MEMO —
- 登録可能な電話帳データは、携帯電話1台あたり1000件です。
- 電話帳の1つの名称に対して、最大5件の電話番号を表示できます。
- 電話番号リストに表示されるアイコンには以下の種類があります。
  （携帯電話）／（一般電話）／（自宅）／（会社）／（その他）
- 転送した電話帳の表示順序は、携帯電話で表示される順序とは異なります。読みがなで並べ替えるので、ダイヤルの際は発信する相手の電話番号をご確認ください。

電話帳から電話をかける

1 メニュー ▶ 電話
2 ハンズフリー電話帳
3 **名前を選択**
4 **電話番号を選択**
5 電話をかける
登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

— MEMO
• 電話帳を登録する方法は、「電話帳を登録する」をご覧ください。→ P.96

電話帳のデータを消去する

1 メニュー ▶ 設定
2 電話・オンライン ▶ 電話 ▶ メモリ消去
3 ハンズフリー電話帳
4 **消去する方法を選択**

一括消去：
電話帳データを一括消去する。
1件消去：
選択した1件の電話帳データを消去する。電話帳リストから消去したいデータを選択し、消去する をタッチしてください。

5 はい
選択した電話帳データが消去されます。

施設情報から電話をかける

施設情報画面に「電話をかける」が表示されている場合、Bluetooth対応携帯電話を接続すると画面から電話をかけられます。

1 電話をかける
登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

販売店へ電話をかける

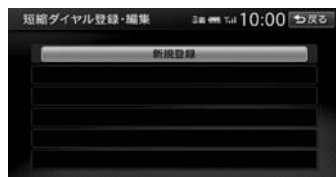
メンテナンス情報に登録されている販売店へ電話をかけます。

準 備
●販売店を登録します。→ P.87

1 メニュー ▶ 電話
2 販売店に電話する
3 電話をかける
登録されている販売店に電話がかかります。

短縮ダイヤルを登録する

本機に短縮ダイヤルを登録すれば、簡単に電話をかけられます。

1 メニュー ▶ 設定
2 電話・オンライン ▶ 電話 ▶ 短縮ダイヤル登録・編集
3 新規登録

4 登録する方法を選択

発着信履歴から登録：
発着信履歴リストから登録したい電話番号を選択する。

ハンズフリー電話帳から登録：
電話帳から登録したい電話番号を選択する。

入力して登録：
登録したい電話番号を直接入力する。
入力後は、決定 をタッチしてください。

5 登録情報を確認

短縮ダイヤルの登録番号、名称、電話番号、アイコンの種類は編集できます。それぞれの項目をタッチし、希望の設定値を入力してください。短縮ダイヤル登録後に編集することもできます。

6 決定

短縮ダイヤルが登録されます。

— MEMO

- 短縮ダイヤルの最大登録件数は携帯電話1台につき5件です。

短縮ダイヤルから電話をかける

1. メニュー ▶ 電話
2. 短縮ダイヤル
3. **ダイヤルしたい相手先を選択**
4. 電話をかける
   登録されている短縮ダイヤルが発信され、電話がかかります。

短縮ダイヤルの編集をする

登録済みの短縮ダイヤルの編集をします。

1. メニュー ▶ 設定
2. 電話・オンライン ▶ 電話 ▶ 短縮ダイヤル登録・編集
3. **編集したい短縮ダイヤルを選択**
4. 編集する
   編集したい項目を選択し、希望の設定値を入力してください。
5. 決定

短縮ダイヤルを消去する

1. メニュー ▶ 設定
2. 電話・オンライン ▶ 電話 ▶ メモリ消去
3. 短縮ダイヤル
4. **消去する方法を選択**

一括消去：
すべての短縮ダイヤルを消去する。

1件消去：
選択した1件の短縮ダイヤルを消去する。
短縮ダイヤルリストから消去したい短縮ダイヤルを選択し、消去する をタッチしてください。

5. はい
   選択した短縮ダイヤルが消去されます。

電話を受ける

本機に接続した携帯電話が着信すると、着信画面が表示されます。

⚠ 注意

- **走行中に電話を受けるときは、必ず周りの安全を十分に確認してください。**

1 **電話がかかってきたら** 電話に出る

着信拒否する：
着信中にタッチして着信を拒否する。

保留する：
応答を保留する。
通話を終了したい場合は、電話を切る をタッチします。電話を切り、着信直前の画面に戻ります。

着信した電話番号、名称（短縮ダイヤル、電話帳に登録されている場合）、着信日時が着信履歴として保存されます。

電話の設定をする

通話音量と着信音の設定をする

1 メニュー ▶ 設定

2 電話・オンライン ▶ 電話 ▶ 音量調整

3 **各項目を設定**

着信音量：
着信音量をレベル1～16に設定する。(初期値：レベル4)

受話音量：
受話音量をレベル1～16に設定する。(初期値：レベル4)

送話音量：
送話音量をレベル1 ～ 5に設定する。(初期値：レベル3)

自動応答保留：
電話着信時の2秒後に電話をつなぎ、保留状態にする。(初期値：OFF)

車載機の着信音使用：
本機からの着信音を使用するかどうかを選択する。(初期値：OFF)

— MEMO —
- 着信中、または通話中に、+ − を操作しても、音量を調整できます。
- 通話中に音量を調整した場合、ほかのオーディオソースに切り替えて音量を変更しても、次回電話を受発信したときは通話中に調整した音量で通話できます。

Bluetooth機能のON/OFFを切り替える

携帯電話によっては、携帯電話側の問題で通信異常が発生し、操作が正常にできなかったり、表示されないことがあります。その場合は、Bluetooth機能のOFF→ON切り替えを行ってください。(初期値：OFF)

— MEMO —
- 携帯電話のBluetooth機能をOFF→ONに切り替える際には、本機のBluetooth機能もOFF→ONに切り替えてください。
- Bluetooth機能をOFFにすると、本機でBluetooth機能を操作できません。また、Bluetooth対応携帯電話から本機への接続や操作もできなくなります。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ Bluetooth
2 Bluetoothで接続

パスキー・デバイス名称を変更する

Bluetoothの設定の中で、扱いを別にしたいときなどに、パスキーとデバイス名称を変更できます。（初期値：パスキー「1212」、デバイス名「NX-BT」）

1 メニュー ▶ 設定 ▶ Bluetooth
2 車載機のBluetooth情報・変更
3 パスキー または デバイス名
4 新しいパスキー、または名称を入力
5 決定

お知らせ
- デバイスアドレスは変更できません。

電話のメモリをすべて消去する

1 メニュー ▶ 設定
2 電話・オンライン ▶ 電話 ▶ メモリ消去
3 メモリ全消去
4 はい
短縮ダイヤル、電話帳および発着信履歴のすべてのデータが消去されます。

通信機器から交通情報を受信する（オンライン）

Bluetooth対応携帯電話、またはUSBデータ通信モジュールを使用して、交通情報を受信します。

お願い
- Bluetooth対応携帯電話でデータ量の多いコンテンツをご利用になると、携帯電話会社からの請求額が高額となる可能性があります。事前にご契約の携帯電話会社の料金プランやご利用方法を確認いただき、ご利用頻度によっては定額データプランなど、最適な料金プランでのご利用をおすすめします。

お知らせ
- リアルタイムで配信される情報コンテンツの提供については、当該権利を有する第三者に帰属します。当該権利を有する第三者の事由によりサービス内容が変更、停止される可能性があります。

通信機器の接続方法を設定する

オンラインでリアルタイムに交通情報を利用するには、プロバイダに接続する必要があります。接続方法は、以下の2種類です。
●指定のプロバイダを選択する
●任意のプロバイダに手動で接続の設定を行う
USBデータ通信モジュールをお使いの場合 → P.178

準 備
●Bluetooth対応携帯電話を本機に登録するか、またはUSBデータ通信モジュールを本機に接続します。→ P.91、P.178

MEMO
- はじめてオンラインの接続設定を行うときは、「オンラインサービス利用確認画面」が表示されます。内容をご確認のうえ、サービスを利用する をタッチして次の画面に進んでください。

指定のプロバイダを選択する場合

1. メニュー ▶ 設定 ▶ 電話・オンライン
2. オンライン ▶ 接続先の編集

   Bluetooth設定：
   Bluetooth設定画面を表示する。
   → P.90
3. 接続先1 または 接続先2
4. かんたん設定（通信会社を選択）

   携帯電話会社のプロバイダリストが表示されます。
5. プロバイダを選択 ▶ 決定

   選択したプロバイダが接続先として設定されます。

手動で設定する場合

1. メニュー ▶ 設定 ▶ 電話・オンライン
2. オンライン ▶ 接続先の編集
3. 接続先1 または 接続先2
4. マニュアル設定（接続先を手動入力）
5. 各項目を入力 ▶ 決定

   接続先名称：
   接続先（プロバイダ）の名称を入力する。

   接続先電話番号：
   アクセスポイントの電話番号を入力する。

   ID：
   プロバイダ入会時に発行されたIDを入力する。

   パスワード：
   上記IDに対するパスワードを入力する。

   プライマリDNS ／セカンダリDNS：
   DNSを入力する。

   接続機器：
   接続機器の種類を各種携帯電話、またはWillcomUSBから選択する。

   初期化：
   すべての項目を初期状態に戻す。

交通情報をオンラインで受信する

交通情報を受信すると、受信した情報が地図上に表示されます。
受信できる交通情報の種類および表示形式は以下のとおりです。

渋滞情報

混雑状態により、下記の色の矢印で表示されます。表示／非表示の設定は変更できます。
→ P.154

色／線種	状態／情報
赤色	渋滞
オレンジ色	混雑
黄色	規制
水色	順調
実線	VICS情報
破線	プローブ情報をもとにした交通情報※

※ご提供いただいた情報（プローブ情報）をもとに、統計的に算出して渋滞情報を割り出しています。

規制情報、SA/PA情報

アイコンで表示されます。

駐車場情報

地図をスクロールしている場合にのみ取得・アイコン表示されます。

お知らせ

- カメラ画面、メニュー画面、スクロール地図画面の表示中は、渋滞情報の自動受信および新ルートの探索は行われません。
- 情報受信中は電話の操作はできません。

1. メニュー ▶ 情報
2. 渋滞情報取得

   交通情報が受信されます。
   この後の動作は、お車および本機のご使用状況によって異なります。

   ルート走行中の場合
   地図が現在地を表示している場合、より適切なルートが見つかれば、新しいルートに変更します。

目的地が設定されていない場合
現在地周辺の交通情報を受信し、地図上に表示します。地図をスクロールしている場合は、表示中の地点周辺の交通情報が受信および表示されます。

— MEMO
- 通信中に 終了 をタッチすると、情報受信を中止します。

交通情報のダウンロード設定をする

オンラインを利用した情報受信時の動作や、受信した情報の利用に関する設定を行います。

— お知らせ
- Bluetoothオーディオを再生中に交通情報をダウンロードすると、ダウンロードが完了するまで、オーディオ音声は出力されません。

■ 交通情報の受信間隔を設定する

交通情報を自動で取得する場合に、何分ごとに受信するかを設定します。（初期値：30分ごとにダウンロード）

1. メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション
2. 交通情報・VICSの設定
3. 交通情報のダウンロード設定
4. ダウンロード時間の間隔
5. **受信時間を選択**

— MEMO
- この設定は、「オンライン探索の自動ダウンロード設定」と連動しています。

■ ルート案内時の交通情報取得を設定する

ルート案内の開始時に交通情報を自動で取得するかどうかを設定します。（初期値：ON）

1. メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション
2. 交通情報・VICSの設定
3. 交通情報のダウンロード設定
4. 行き先設定時にダウンロード

— MEMO
- この設定は、「オンライン探索の自動ダウンロード設定」と連動しています。
- この設定が「ON」のときも、以下の場合は交通情報が自動で受信されません。
  - 迂回路探索 からルートを再探索した場合
  - お車がルートを外れた、またはルート上に規制が表れた場合のオートリルート時

■ プローブ情報の利用を設定する

プローブ情報（お客様のお車の走行履歴情報）を送信するかどうかを設定します。（初期値：オンライン送信OFF、DSRC送信ON）

1. メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション
2. 交通情報・VICSの設定
3. プローブ情報設定
4. オンライン送信 、または DSRC送信 **（DSRC送信はDSRCユニット接続時のみ）**

■ プローブ情報を消去する

1. メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション
2. 交通情報・VICSの設定
3. プローブ情報設定
4. プローブ情報を消去 ▶ はい

「Smart Access」と通信連携をする

「Smart Access」の各機能を使用する場合は、本機と「Smart Access」の通信連携を行う必要があります。この通信連携のことを「WEB連携」と呼びます。

準備

- 「Smart Access」サイトで会員登録と機種登録を行います。
- プロバイダに接続します。→ P.100
- Bluetooth対応携帯電話を本機に登録するか、またはUSBデータ通信モジュールを本機に接続します。→ P.91、P.178
- GPSアンテナを接続して、地図画面上に現在時刻を表示させます。
- WEB連携を行うには、Bluetooth機能およびDUN機能対応の携帯電話、またはUSBデータ通信モジュールが必要です。
  → P.90、P.177
  ご利用可能な携帯電話の種類については、以下をご覧ください。
  http://www.clarion.com/jp/ja/support/connection/index.html

「Smart Access」について詳しくは、以下をご覧ください。
https://www.smart-acs.com/

お願い

- Bluetooth対応携帯電話でデータ量の多いコンテンツや通信機能をご利用になると、携帯電話会社からの請求額が高額となる可能性があります。事前にご契約の携帯電話会社の料金プランやご利用方法を確認いただき、ご利用頻度によっては定額データプランなど、最適な料金プランでのご利用をおすすめします。

WEB連携の認証をする

WEB連携の認証を行うには、「Smart Access」に会員登録をしたときのメールアドレスとパスワード、および本機の登録が必要です。認証を行うことで、WEB連携が確立します。

1. メニュー ▶ 設定
2. 電話・オンライン
3. WEB連携
4. メールアドレス
5. **「Smart Access」に会員登録したときのメールアドレスを入力 ▶ 決定**
   画面のリスト上に「入力済」と表示されます。
6. パスワード
7. **「Smart Access」に会員登録したときのパスワードを入力 ▶ 決定**
   画面のリスト上に「入力済」と表示されます。
8. 連携するための認証を行う
   「Smart Access」サイトに接続され、認証が確立します。
   WEB連携の認証をする場合は、
   認証を解除する をタッチします。

お願い

- GPSが受信できる場所にて接続を行ってください。建物内などでは、GPSの受信ができず通信に失敗する場合があります。
- 「Smart Access」サイト側の認証を解除する場合は、別途「Smart Access」サイトでの認証解除を行ってください。

Smart Accessを利用する

Smart Accessは、自動車ユーザーの皆様に快適・安心・便利なドライブをお楽しみいただくための、クラリオン株式会社のテレマティクスサービスです。
車とSmart Accessとをスマートフォンなどで「つなげる」ことで、クラウドをはじめとしたさまざまな技術により、エンターテインメント・ドライブ関連情報・インターネット情報など、多彩な利便性を車の中のお客様に提供します。

スマートフォンと連携する

お手持ちのスマートフォンと本機を接続して、各種アプリケーションを本機から操作できます。アプリケーションで再生する音声を本機に接続したスピーカーから出力したり、アプリケーションで表示する画像を本機に表示できます。これを「スマートフォン連携」と呼びます。

本機と連携できるスマートフォンは以下のとおりです。

●対象機種：iPhone 4、iPhone 4S、iPhone 5、Android搭載機

※上記以外のiPhoneやiPad/iPad Retinaディスプレイモデル/iPad mini/iPad2には対応しておりません。

●対象OS：iOS 6以降、
Android OS4.0以降
(2013年9月時点)

●対応Bluetoothプロファイル：
SPP(Serial Port Profile)

また、本機能では、スマートフォン連携に対応したアプリケーションのみお使いいただけます。本取扱説明書では、「連携対応アプリケーション」と呼びます。

お願い

- スマートフォン連携機能を利用する場合、スマートフォンの通信料金が発生します。通信料金は、利用されたスマートフォンの契約者のご負担となります。ご利用方法によっては、携帯電話会社からの請求額が高額となる場合があります。事前にご契約の携帯電話会社の料金プランや利用方法をご確認ください。利用頻度により定額データプランなど、最適な料金プランでのご利用をおすすめします。

お知らせ

- 走行中は、運転の妨げにならないよう、操作できないアプリケーションがあります。
- リアルタイムで配信される情報コンテンツの提供については、当該権利を有する第三者に帰属します。当該権利を有する第三者の事由によりサービス内容が変更、停止される可能性があります。

スマートフォン側での準備

スマートフォン連携には、使用するアプリケーションの種類によって、以下の連携方法があります。

●iPhone連携（iPhone 4、iPhone 4Sのみ）
別売のケーブルをiPhoneに接続して連携します。→ P.106
スマートフォンにiPhone連携対応アプリケーションをインストールして利用します。

●4Carアプリケーション連携（iPhone 4、iPhone 4S、iPhone 5、Android搭載機）
スマートフォンの種類に関係なく、Bluetooth接続で利用できるアプリケーション連携です。→ P.107
スマートフォンにアプリケーションをインストールする必要はなく、Webアプリケーション管理用ソフト「4Car」から直接Webアプリケーションを起動して利用します。

1．App StoreやGoogle Play Storeから「Smart Access」を検索して、お手持ちのスマートフォンにインストールする

2．「Smart Access」を起動する

3．（iPhone連携の場合）
オススメリストから連携対応アプリケーションをインストールする
（4Carアプリケーション連携の場合）
オススメリストから、Webアプリケーション管理用ソフト「4Car」をインストールする

お知らせ

- iPhone連携の場合でも、「4Car」をインストールして起動すれば、4Carアプリケーション連携がご利用になれます。
- スマートフォン連携中は、スマートフォン側での操作はできません。
- 本機ではスマートフォンのマルチタッチ機能には対応していません。
- 本機側でSmart Accessを利用したアプリケーションの追加や消去はできません。かならずスマートフォン側で実行してください。
- スマートフォン連携中は、スマートフォンをスリープ状態にしないでください。正常に動作しなくなります。

— MEMO
- 連携対応アプリケーションは随時追加していく予定です。
- アプリケーションの使いかたについては、起動した各アプリケーションのオンラインヘルプをご覧ください。

iPhone連携をする (iPhone 4、iPhone 4Sのみ)

別売のビデオ対応iPod接続ケーブルと、VTRケーブルを本機に接続して、iPhone連携を行います。

1 iPhone側でSmart Accessを起動する

2 iPhoneと本機を接続する

別売のビデオ対応iPod接続ケーブルのビデオ端子と音声端子を、別売のVTRケーブルに接続した状態で、iPhoneを接続します。

3 VTR機器の接続方法を「iPod Video接続」に設定する → P.177

4 メニュー ▶ Smart Access

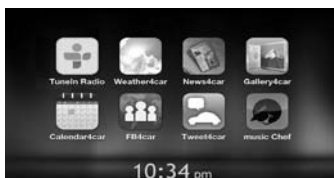
5 利用規約をお読みいただき、確認

今後表示しない：
次回から利用規約確認画面を表示したくないときに選択する。

6 本機画面内のiPhone アプリ一覧

起動中のアプリケーションがある場合は、タッチすると対象のアプリケーションに切り替わります。

— お知らせ
- iPhone側でSmart Accessを起動していない場合はエラーメッセージが表示され、本機で アプリ一覧 および 起動中アプリ を選択できません。その際は、iPhone側でSmart Accessを起動すると連携を開始できます。

7 起動したいアプリケーションを選択

アプリケーションが起動します。スマートフォンを操作するように、本機の画面からアプリケーションを操作できます。

— MEMO
- Smart Accessの最新版がある場合は、アプリケーション一覧画面の左下に「！」が表示されます。Smart Accessの更新はスマートフォンを本機から取り外し、スマートフォン側で実行してください。

4Carアプリケーション連携をする

Bluetooth接続で4Carアプリケーション連携を行います。音声検索などのWebアプリケーションをご利用になれます。→ P.42
4Carアプリケーション連携をするには、Webアプリケーション管理ソフト「4Car」を使用します。

準備

●スマートフォン側でSmart Accessを起動し、オススメリストから「4Car」アプリケーションをインストールしてください。

お願い

- 通信状況によっては、Webアプリケーションの起動に時間がかかることがあります。あらかじめご了承ください。
- はじめてご利用になる場合は、「Smart Access」から必要なデータをダウンロードするため、通信状況に関わらず、Webアプリケーションの一覧表示や、各一覧からWebアプリケーションを選択した時の表示に時間がかかることがあります。

1 スマートフォン側で4Carを起動する

2 設定メニューの機器登録画面で、車載機と連携させるスマートフォンを選択 → P.91

機器登録は一度設定するだけでかまいません。

3 スマートフォンをBluetooth接続する → P.91

4 メニュー ▶ Smart Access

5 利用規約をお読みいただき、確認

今後表示しない：
次回から利用規約確認画面を表示したくないときに選択する。

Webアプリケーションが一覧表示されます。

6 起動したいWebアプリケーションを選択

Webアプリケーションが起動します。

スマートフォン連携を終了する

iPhone連携の場合

1 現在地

2 iPhoneのHomeボタンを押す

3 ビデオ対応iPod接続ケーブルを取り外す

4Carアプリケーション連携の場合

Bluetooth接続をOFFにすれば連携が終了します。→ P.99
ご利用中のアプリケーションに 終了 がある場合は、タッチしても連携を終了できます。

オーディオ・ビジュアルを楽しむ

本機では、ラジオ、テレビ、DVDなど、視聴したい音源や映像を選んでお楽しみいただけます。詳しい操作方法は、各ソースのページをご覧ください。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ディスクやSDカードの出し入れ

オーディオ・ビジュアルのデータをお楽しみいただくには、ディスク、またはSDカードを本機にセットします。
また、ミュージックキャッチャーを利用するときも、本機にSDカードをセットします。
→ P.133

⚠ 警告

- **ディスクやSDカードは挿入口から出た状態のままにせず、完全に挿入するか、または取り出してください。**

お願い

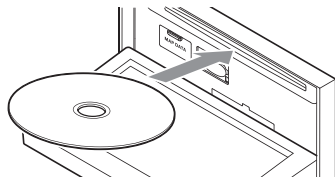
- ディスクの記録面（光沢のある面）には触れないでください。
- SDカードの端子面には触れないでください。

ディスクの入れかた

お願い

- ディスクを2枚重ねて挿入しないでください。重ねて挿入した場合、ディスクをパネルで挟み込んでしまうことがあります。

1 ⏏ ▶ パネル開／閉
操作パネルが開きます。

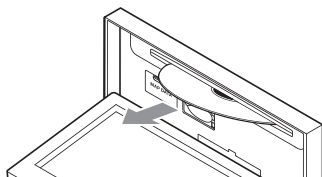
2 **ディスクの記録面（光沢のある面）を下にして、挿入口に差し込む**

ディスクが取り込まれ、操作パネルが自動的に閉じます。しばらくすると、ディスクの再生がはじまります。

お知らせ

- ある程度差し込むと、ディスクは自動的に取り込まれます。ディスクが取り込まれない場合は、すでにディスクがセットされています。ディスクを無理やり挿入せず、セットされたディスクを取り出してから、ディスクを挿入してください。

ディスクの取り出しかた

1 ⏏ ▶ ディスク排出
操作パネルが開き、ディスクが排出されます。

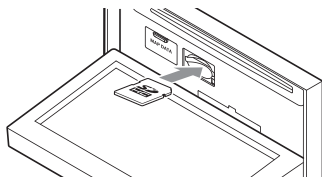
2 **ディスクを取り出す**

3 ⏏ **または** パネル開／閉
操作パネルが閉まります。

MEMO

- ⏏ を長押ししても、ディスクを排出できます。
- ディスクを取り出さないまま、しばらくすると、自動的にディスクが取り込まれ、操作パネルが閉じます。

SDカードの入れかた

1 ⏏ ▶ パネル開／閉
操作パネルが開きます。

2 **SDカードのラベル面を上にして、挿入口に差し込む**

お願い

- カチッと音がするまで、SDカードを奥にしっかりと差し込んでください。

3 ⏏ または パネル開／閉

操作パネルが閉まります。

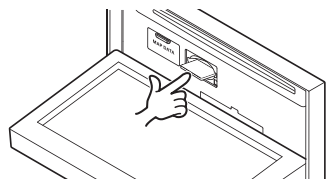
— お知らせ

- SDカードが正しく差し込まれていないと、操作パネルを閉じることはできません。

SDカードの取り出しかた

1 ⏏ ▶ パネル開／閉

操作パネルが開きます。

2 SDカードを押す

SDカードが少し飛び出します。

3 SDカードを取り出す

4 ⏏ または パネル開／閉

操作パネルが閉まります。

— お願い

- SDカードを取り出すときは、指でSDカードをしっかりつまんでください。SDカードが飛び出すおそれがあります。

ソース選択画面を表示する

1 (オーディオONの場合)
オーディオ画面で AV
(オーディオ画面以外では AV を2回押す)
(オーディオOFFの場合)
AV

2 お好みのソースを選択

以降の操作について詳しくは、各ソースのページをご覧ください。

音量を調整する

1 + または −

— MEMO

- + または − を長押しすると、連続して音量が変化します。

表示画面を切り替える

オーディオ・ビジュアルの画面には、各オーディオ専用の画面と地図画面の2種類の表示があります。オーディオ画面と地図画面は以下の手順で切り替えられます。

オーディオ画面に切り替える

1 AV

選択したソースのオーディオ画面が表示されます。

※画面はラジオの場合です。

地図画面に切り替える

1 **現在地**

地図画面が表示されます。

※画面はラジオの場合です。

オーディオをON/OFFする

ONにする

1 **AV を長押し、または AVコントロールバー表示キーをタッチ**

地図画面

オーディオ画面

地図画面では、OFFにする前に使っていたオーディオ機能がONになります。
オーディオ画面では、OFFにする前に使っていたオーディオ画面に戻り、オーディオ機能がONになります。

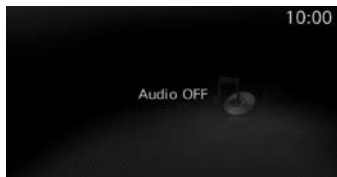
— MEMO

- ソース選択画面でソースを選択、またはディスクを挿入しても、オーディオをONにできます。

OFFにする

1 **AV を長押し、または ソース選択画面で Audio OFF**

地図画面

オーディオ画面

地図画面ではAVコントロールバー表示キーの表示が「Audio OFF」になります。
オーディオ画面ではAudio OFF画面になります。

— MEMO

- オーディオをOFFにしたときも、ナビゲーションの音声案内は出力されます。
- シンプルメニューからも同様の操作が行えます。→ P.11

ラジオを聴く

本機では、FMラジオ・AMラジオをお楽しみいただけます。

— MEMO

- シンプルメニューからも同様の操作が行えます。→ P.11

ラジオを受信する

AM/FMを切り替える

1 ソース選択画面で FM/AM

ラジオが受信されます。

2 FM/AM

タッチするたびに、AMラジオとFMラジオが切り替わります。

— MEMO

- 自宅モードの場合、「AM」→「FM1」→「FM2」→「AM」…の順で切り替わります。お出かけモードの場合、「AM（お出かけ）」と「FM（お出かけ）」が交互に切り替わります。

自動でラジオの放送局を選ぶ

1 ソース選択画面で FM/AM

2 ◀ または ▶ を長押し

受信可能な放送局を検出すると、自動的にその放送局を受信します。

— MEMO

- ◀ 、▶ を押し続けると、周波数が連続して切り替わります。指を離すと自動で受信可能な放送局を検出し、受信します。

手動でラジオの放送局を選ぶ

1 ソース選択画面で FM/AM

2 ◀ または ▶

周波数が切り替わります。

リストから選局する

登録した放送局を、リストから選局します。

1 ソース選択画面で FM/AM

2 目的の放送局を選択

選択した放送局が受信されます。

— MEMO

- AVコントロールバーの 前P.CH または 次P.CH をタッチして、放送局を切り替えられます。

ラジオのプリセットチャンネルリストを利用する

プリセットチャンネルとは

走行中のエリアで受信可能な放送局の周波数を登録（プリセット）できるチャンネルです。ワンタッチでお好みの放送局を受信できます。
プリセットチャンネルリストは、自宅モードにAM/FM1/FM2の3種類、お出かけモードにAM/FMの2種類があります。登録できる放送局は、それぞれのリストで6つまでです。
プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の2種類があります。

プリセットチャンネルリスト
（放送局リスト）

■ リストに「重複」と表示されるときは

同一周波数内で、異なる放送局名が存在するときは、リストに「重複」と表示されます。
「重複」と表示されている放送局を受信中に、そのチャンネルリストをタッチすると、表示されている放送局名を切り替えられます。

受信バンドを活用する

地域別のプリセットチャンネルを「自宅」、「お出かけ」にそれぞれ設定することで、受信バンドをワンタッチで切り替えて利用できます。
たとえば東京にお住まいで、よく大阪に出かけられる場合は、「自宅」に東京、「お出かけ」に大阪の放送局を登録します。すると、お出かけ時にもワンタッチでお好みの放送局を受信できます。

1 ソース選択画面で FM/AM

2 お出かけ

プリセットチャンネルリストの表示が切り替わります。
お出かけモード選択時には、お出かけキーがONになります。自宅モード選択時にはお出かけキーがOFFになります。

— MEMO

- 地域によっては、実際とは異なる放送局名がリストに表示される場合があります。

リストに自動で登録する（オートストア）

1 ソース選択画面で FM/AM

2 オートストア ▶ はい

受信可能な放送局が、現在のプリセットチャンネルに上書き登録されます。

キャンセル：
オートストアを中止する。

— お知らせ

- 本操作中は、放送局を選択できません。終了するまでお待ちください。
- オートストアを途中で停止させた場合、それまでに受信した放送局は登録されません。

リストに手動で登録する

1 ソース選択画面で FM/AM

2 登録したい放送局を受信

3 プリセットチャンネルリスト内の上書きをするチャンネルを、「ピーッ」という音がするまで長押し

受信中の放送局が、そのチャンネルに上書き登録されます。

ラジオの設定をする

ラジオの受信地域を選択する

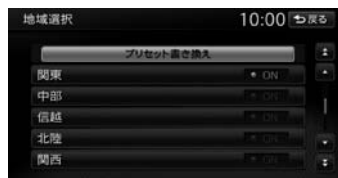
受信地域を正しく設定することで、受信中の放送局名を自動的に表示できます。自宅モードとお出かけモードでそれぞれ地域を設定できます。

— お知らせ

- 走行中は本操作を行えません。

1 ソース選択画面で FM/AM

2 地域選択

3 **地域を選択**

プリセット書き換え：
エリアごとに設定された放送局リストをプリセットチャンネルに書き換える。
以前登録したプリセットチャンネルがあれば、上書きして登録されます。
例：現在使用しているプリセットチャンネルに関東エリアの放送局リストを設定する場合、「関東」をONにして プリセット書き換え ▶ はい をタッチします。

オート：
自車位置に応じた地域の放送局を表示する。

受信地域が切り替わります。

テレビを見る

本機では、地上デジタル放送をお楽しみいただけます。

⚠ 警告

- **運転者がテレビを見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。**
- **本機は安全のため、停車時のみテレビの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。**

準備

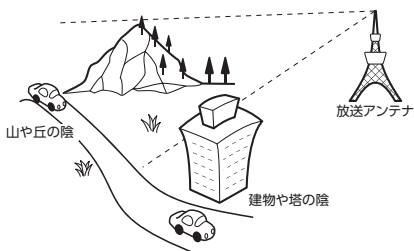
●テレビを受信するには、受信用アンテナが必要です。

— MEMO

- 本機は地上デジタル12セグ放送と1セグ放送の自動切り替えができます。12セグ放送の受信状態が悪化したときに、自動的に1セグ放送に切り替えられます。→ P.120
- テレビ受信中の音量は、ラジオ、DVDなどに切り替えて音量を変えても、次回テレビを受信したときに元の音量で見られます。
- テレビ受信時に（主に弱電界）画像が乱れることがありますが、故障ではありません。また画像が一時止まる場合がありますが、デジタル処理によるもので故障ではありません。
- シンプルメニューからも同様の操作が行えます。→ P.11

テレビ放送の受信について

テレビをご覧になるにあたって、以下のような現象が起こることがあります。

●車の移動によって、建物や山などの障害物に影響されて電波の強さが変わり、受信状態が悪くなることがあります。
●放送エリアから離れると、電波が弱くなり、受信状態が悪くなります。
●電車の架線や高圧線、信号機などの外部要因により、画像が乱れたりする場合があります。

はじめてテレビを見るときは

はじめてテレビを見るときは、受信できる放送局を探して、本機に記憶（オートストア）させます。

1 **ソース選択画面で TV**

B-CASカード使用許諾契約約款画面が表示されます。

2 **約款をお読みいただき、承諾する**

承諾しない：
1セグ放送のみ視聴できる。
B-CASカード使用許諾契約は、後で承諾することもできます。

3 **設定**

4 **テレビを受信する地域を選択**

設定しない：
テレビ画面に切り替わる。
この場合､放送局のリスト(プリセットチャンネルリスト）には何も表示されません。

5 **テレビを受信する地域の郵便番号を入力 ▶ 決定**

6 **はい**

受信できる放送局を探して、本機に自動登録します。オートストアが終了するまで、しばらくお待ちください。
オートストアが終了すると、テレビ画面に切り替わります。

画面をタッチすると、メニューキーが表示されます。
何も操作しないまま約8秒が過ぎると、画面に表示されているキーが非表示になります。

戻る：
手動でメニューキーを非表示にする。

契約約款：
B-CASカード使用許諾契約を承諾する。
手順2で「承諾しない」を選択した場合に表示されます。

— MEMO

- 手順4、手順5で「設定しない」を選択しても、オートストアを実行できます。
- 手順6で「いいえ」を選択すると、テレビ画面に切り替わります。この場合、放送局のリスト（プリセットチャンネルリスト）には何も表示されません。
- 受信する地域と郵便番号は、設定画面からも設定できます。→ P.122

テレビの選局をする

テレビ画面から選局する

1 **ソース選択画面で TV**

2 **画面をタッチ ▶ 放送局を選択**

選択した放送局に切り替わります。

— MEMO

- ◀ 、▶ を押すと、チャンネルを切り替えられます。

自動で選局する

1 **ソース選択画面で TV**

2 **◀ または ▶ を長押し**

受信可能な放送局を検出すると、自動的に終了しその放送局を受信します。

— MEMO

- 「1セグ／地デジ切替」が「自動」の場合は、12セグ放送を優先して受信します。→ P.120

受信可能な中継局／系列局を探す

走行中に受信状態が悪くなった場合などに、中継局や系列局を探して切り替えられます。
はじめに中継局を探し、中継局がなければ系列局を探します。

1 **ソース選択画面で** TV

2 **画面をタッチ**

3 メニュー ▶ 系列局サーチ

走行エリア内で、受信状態の良い中継局／系列局を探索し切り替えます。
異なる地域をまたいで走行する場合は、中継局／系列局を自動で探し出して受信できます。→ P.121

— MEMO

- 「1セグ／地デジ切替」が「自動」の場合は、12セグ放送を優先して受信します。→ P.120
- 系列局に切り替わった場合、時間帯によって番組内容が異なることがあります。
- 切り替わった中継局／系列局は、プリセットチャンネルリストに自動登録されません。

番組表（EPG）から選局する

1 **ソース選択画面で** TV

2 **画面をタッチ**

3 メニュー ▶ 番組表

4 ▲、▼、◀、▶ **で番組を選択** ▶ 決定

選択した番組の放送を受信します。

番組表切替：
番組表の表示を1セグ／ 12セグに切り替える。
※「1セグ／地デジ切替」が「自動」の場合のみ→ P.120

更新：
番組表の内容を更新する。

前日：
翌日以降の番組表を参照中に、前日の番組表を表示する。

翌日：
翌日の番組表を表示する。

表示切替：
番組表の表示を、メインチャンネルのみ／全チャンネルに切り替える。

拡大縮小：
4パターンの拡大縮小画面を表示する。

— MEMO

- 番組表は、ほかのソース選択時やオーディオパワー OFF時などに、15分ごとに自動で更新されます。
- 現在の放送時間ではない番組を選択すると、番組内容が表示されます。→ P.118

チャンネル番号を入力して選局する

12セグおよび1セグ放送のメイン／サブチャンネルを直接入力して選局できます。

1 **ソース選択画面で** TV

2 **画面をタッチ**

3 メニュー ▶ 設定

4 チャンネル番号入力

5 **チャンネル番号を入力** ▶ 決定

— お知らせ

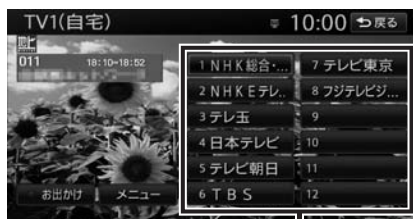
- 3桁に満たない番号を入力した場合は、決定 はタッチできません。

— MEMO

- 「1セグ／地デジ切替」が「自動」の場合は、1セグ／ 12セグのどちらの3桁チャンネル番号を入力しても放送局があれば選局されます。→ P.120
「1セグ固定」の場合は1セグ3桁チャンネル、「地デジ固定」の場合は12セグ3桁チャンネル番号のみ選局されます。

テレビのプリセットチャンネルリストを利用する

プリセットチャンネルとは

走行中のエリアで受信可能な放送局を登録（プリセット）できるチャンネルです。ワンタッチでお好みの放送局を受信できます。
プリセットチャンネルリストは、自宅モードとお出かけモードの2種類があります。登録できる放送局は、それぞれのモードで12個までです。
プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の2種類があります。

プリセットチャンネルリスト（放送局リスト）

— お知らせ

- プリセットチャンネルに登録される放送局は、メインチャンネルのみです。サブチャンネルを受信中にプリセットチャンネルを登録しても、そのメインチャンネルが登録されます。
- 1セグと12セグを切り替えても、プリセットチャンネルリストの表示は変わりません。→ P.120

受信バンドを活用する

地域別のプリセットチャンネルを「自宅」、「お出かけ」にそれぞれ設定することで、受信バンドをワンタッチで切り替えて利用できます。
たとえば東京にお住まいで、よく大阪に出かけられる場合は、「自宅」に東京、「お出かけ」に大阪の放送局を登録します。すると、お出かけ時にもワンタッチでお好みの放送局を受信できます。
12セグ放送のサブチャンネルを視聴しているときにバンドを切り替え、再度元のバンドに戻ると、視聴しているサブチャンネルに戻ります。

1 **ソース選択画面で** TV

2 **画面をタッチ**

3 お出かけ

プリセットチャンネルリストの表示が切り替わります。
お出かけモード選択時には、お出かけキーがONになります。自宅モード選択時にはお出かけキーがOFFになります。

リストに自動で登録する（オートストア）

1 **ソース選択画面で** TV

2 **画面をタッチ**

3 メニュー ▶ オートストア

受信可能な放送局が、現在のプリセットチャンネルに上書き登録されます。

— お知らせ

- 本操作中は、放送局を選択できません。終了するまでお待ちください。
- 受信状態によっては、1分ほど処理時間がかかることがあります。
- 空きプリセットチャンネル数により、オートストアした結果が全部は登録できない場合があります。

— MEMO

- お出かけモード中で、お出かけ地域を設定している場合は、手順3の後に「現在のお出かけ地域設定を考慮しますか？」と表示されます。→ P.122

  はい または いいえ をタッチして、オートストアを行います。
- オートストア中は、キャンセル をタッチして取り消せます。
- オートストアを行うと、現在のプリセットチャンネルに上書き登録されます。

  以前に手動で登録したプリセットチャンネルが消去される場合もあります。
- オートストアを途中解除した場合は、プリセットチャンネルの内容は書き換わりません。オートストア前に受信していたチャンネルが選局されます。

オーディオ・ビジュアルを楽しむ

- 地域設定で優先エリアに指定されている地域の番組は、優先的にプリセットチャンネルに登録されます。→ P.122
- 県境などでオートストアを実行時、同じチャンネルに複数の放送局が重なった場合は、オートストアしたリスト内の未登録のプリセットチャンネルに割り振られます。
- 「1セグ／地デジ切替」が「自動」の場合は、12セグ放送を優先して受信します。→ P.120
  「1セグ固定」、または「地デジ固定」の場合は、選択したモードで受信します。

リストに手動で登録する

1 **ソース選択画面で** TV

2 **画面をタッチ**

3 **登録したい放送局を受信**

4 **プリセットチャンネルリスト内の上書きするチャンネルを、「ピーッ」という音がするまで長押し**

受信中の放送局が、そのチャンネルに上書き登録されます。

メイン／サブチャンネルを選局する（12セグ放送のみ）

受信中のチャンネルにサブチャンネルがある場合、メインチャンネルからサブチャンネルに切り替えられます。サブチャンネルがある場合は、プリセットチャンネルキーに「SUB」と表示されます。

1 **ソース選択画面で** TV

2 **画面をタッチ**

3 **受信中のプリセットチャンネルを選択**

サブチャンネルに切り替わります。

テレビの便利な機能を利用する

テレビの番組内容を見る（12セグ放送のみ）

お知らせ

- 走行中は、本操作を行えません。

1 **ソース選択画面で** TV

2 **画面をタッチ**

3 メニュー ▶ 番組内容

MEMO

- 番組表（EPG）画面で現在放送中ではない番組を選択した場合も、番組内容を表示できます。→ P.116
  この場合は、番組内容の概要が表示されます。番組内容の概要は、1セグ選択中でも表示できます。

データ放送を利用する（12セグ放送のみ）

地上デジタル放送には、映像や音声によるテレビ放送のほかにデータ放送があります。データ放送では、自車位置周辺の生活情報やクイズ・ニュース・天気予報などの便利な情報をお知らせします。

MEMO

- データ放送がない番組の場合、データ放送画面は表示されません。

1 **ソース選択画面で** TV

2 **画面をタッチ**

3 メニュー ▶ データ放送操作キー呼出

4 d

データ放送画面が表示されます。
画面を操作する場合は手順5に進みます。

✥：
手順5に進み、画面を操作する。

d：
データ放送の表示／非表示を切り替える。

終了：
データ放送の表示を終了し、テレビ画面に戻る。

5 ✥

画面上に操作キーが表示されます。

戻る：
1つ前の画面に戻る。

決定：
選択している項目を決定する。

青 赤 緑 黄：
画面に表示されている説明の動作を行う。

0-9：
数字入力メニューに切り替わる。

d：
データ放送の表示／非表示を切り替える。

移動：
操作キーの位置を画面の左右に移動する。

終了：
データ放送の表示を終了し、テレビ画面に戻る。

消す：
操作キーの表示を消す。

— お知らせ —

- チャンネル選局直後には d をタッチしても動作しないことがあります。その際は、再度 d をタッチしてください。
- データ放送取得中は、画面下に「データ取得中」と表示されます。表示が消えてから d をタッチしてください。

緊急放送を見る

緊急放送とは、災害など、緊急な出来事が発生した場合に、いち早く視聴者に情報を知らせる放送システムです。
テレビを視聴中に緊急放送がはじまると、画面に「EWS」(Emergency Warning System)、または「緊急放送を受信しました」と表示されます。その後、自動で緊急放送に切り替わります。

放送が終了すると、緊急放送前のチャンネルに自動で戻ります。

— MEMO —

- 緊急放送中でもチャンネル切り替えなどの操作はできます。
- 切り替えた放送局が緊急放送中の場合も、同様に緊急放送が表示されます。

自動表示メッセージについて

テレビを視聴中に、放送局から自動配信されるメッセージがある場合は、その内容が画面上に表示されます。
テレビ画面で メッセージ消 をタッチすると、自動表示メッセージが消去されます。表示されない場合は、自動表示メッセージは消去できません。放送局側によって自動消去されるまでお待ちください。

地上デジタル放送の設定をする

地上デジタル放送で12セグと1セグ共通の各種設定・編集ができます。

1セグ／ 12セグの切り替え設定をする

本機の地上デジタルTVチューナーは、12セグ放送受信時に電波が弱くなった場合、12セグ放送から1セグ放送へ自動的に切り替える設定ができます。
「自動」に設定中は、12セグ放送視聴中に受信電波が弱くなると、視聴していたチャンネルの1セグ放送に自動的に切り替わります。（初期値：自動）
また、1セグ／ 12セグのみ受信することもできます。

— お知らせ

- B-CASカード使用許諾契約約款に承諾していない場合は、「1セグ固定」のままとなっています。

— MEMO

- 以下の場合は自動的に切り替わりません。
  - 1セグ放送の受信感度が悪い場合
  - 12セグ放送で視聴していたチャンネルに1セグ放送がない場合

  ただし放送局によっては、1セグ放送を行っていなくても、自動的に切り替わる場合があります。
- 放送局によっては、12セグ放送と1セグ放送とで番組が異なる場合があります。

1 **ソース選択画面で** TV

2 **画面をタッチ**

3 メニュー ▶ 設定

4 **［1セグ/地デジ切替］の ◀ 、▶ で項目を選択**

自動：
12セグ放送と1セグ放送を自動で切り替える。
手動で1セグ放送に切り替えても、12セグ放送の受信電波が強くなった場合は12セグ放送に切り替わります。

地デジ固定：
12セグ放送を受信する。
電波が弱くなっても1セグ放送に切り替わらずに、12セグ放送の映像が静止画で表示されます。

1セグ固定：
1セグ放送を受信する。

— MEMO

- 12セグ放送のサブチャンネルを視聴しているときに1セグ放送に切り替え、再度12セグ放送に切り替えると、視聴しているサブチャンネルに戻ります。

音声言語を切り替える

2ヶ国語放送や複数の音声がある番組で、音声を切り替えます。

1 **ソース選択画面で** TV

2 **画面をタッチ**

3 メニュー ▶ 設定

4 **[音声]の ◀ 、▶ で音声を選択**

受信される番組は、それぞれ音声種類を持っています。12セグ放送は最大16音声まで、1セグ放送は2音声まで切り替えられます。

— MEMO

• 音声を切り替えた後、ほかのチャンネルに切り替えると第1音声に戻ります。同じチャンネルのまま12セグと1セグを切り替えた場合、設定した音声は変わりません。

二重音声を切り替える

主音声／副音声がある番組で、音声を切り替えます。

1 ソース選択画面で TV

2 画面をタッチ

3 メニュー ▶ 設定

4 [主/副] の ◀ 、▶ で音声を選択

「主音声」「副音声」「主/副 音声」から選択します。(初期値：主音声)

— MEMO

• 副音声の状態でほかのチャンネルに切り替えたとき、同じく副音声で放送されていればそのまま継続されます。

字幕表示を切り替える

字幕の付いた番組受信中に字幕を表示する機能を設定します。

1 ソース選択画面で TV

2 画面をタッチ

3 メニュー ▶ 設定

4 [字幕] の ◀ 、▶ で項目を選択

「第一言語」「第二言語」「非表示」から選択します。(初期値：非表示)

放送局を自動で切り替える

高校野球中継など、時間内に放送が終わらなかったとき局が変更される番組は、放送局の切り替えを自動で行えます。(初期値：ON)

1 ソース選択画面で TV

2 画面をタッチ

3 メニュー ▶ 設定

4 イベントリレー

系列局／中継局を自動で探す

走行中に電波状態が悪化し、受信レベルが回復しない場合、放送局を自動でサーチするように設定できます。(初期値：中継局＋系列局サーチ)

1 ソース選択画面で TV

2 画面をタッチ

3 メニュー ▶ 設定

4 放送局自動サーチ設定

5 目的の項目を選択

OFF：
放送局の自動サーチを行わない。

中継局＋系列局サーチ：
走行している地域が変わった場合、その地域の中継局／系列局を自動でサーチする。
電波が弱くなり、15秒間受信できなくなると、自動サーチを開始します。

中継局スムーズサーチ：
受信中の番組が12セグから1セグに切り替わった場合、その地域の中継局を自動でサーチする。
受信中の番組が受信不可となる前に、受信状態が良好な中継局の番組に自動的に切り替わります。また、15秒間受信不可になると自動で中継局／系列局をサーチします。
「1セグ／地デジ切替」が「地デジ固定」の場合は本機能は動作しません。

— MEMO

• 中継局スムーズサーチは、放送局から送られてくる情報をもとにサーチ先を決定しています。そのため、新規に追加された中継局などは、サーチ対象とならない場合があります。

優先エリアを切り替える

県境などでオートストアを実行時、同じチャンネルに複数の放送局が重なった場合に、優先エリアのチャンネルが選択されるよう設定します。またデータ放送受信時に地域情報を取得するために郵便番号を設定します。(初期値：未設定)
優先地域と郵便番号は「自宅」と「お出かけ」でそれぞれ設定できます。

1 ソース選択画面で TV

2 画面をタッチ

3 メニュー ▶ 設定

4 自宅エリア・郵便番号設定（TV1）(自宅モード中)、または お出かけエリア・郵便番号設定（TV2）(お出かけモード中)

5 優先させたい地域を選択

設定しない：
エリアのみ設定したい場合や、その地域の郵便番号が不明な場合に選択する。

6 郵便番号を入力 ▶ 決定

7 はい

いいえ：
オートストアを行わず、テレビ画面に戻る。

オートストアが開始されます。→ P.117

放送メールを表示する

— お知らせ

- 放送メールの受信が1通もない場合、放送メール はタッチできません。

1 ソース選択画面で TV

2 画面をタッチ

3 メニュー ▶ 設定

4 放送メール

放送メール一覧画面が表示されます。
すでに表示したメールは「既読」が、まだ表示していないメールには「未読」が表示されます。

5 メールを選択 ▶ 決定

選択した放送メールの内容が表示されます。

消去：
放送メールを選択して消去する。
また、すべての放送メールを一括で消去できます。→ P.123

— MEMO

- 受信した放送メールは最大8件まで保存されます。8件以上の放送メールを受信した場合は、一番古い放送メールが自動的に消去されます。一番古いメールが未読状態でも消去されます。

mini B-CASカード情報を確認する

1 ソース選択画面で TV

2 画面をタッチ

3 メニュー ▶ 設定

4 B-CASカード情報

mini B-CASカードIDの確認画面が表示されます。

テスト：
mini B-CASカードの通信テストを行う。通信テストがエラーの場合、番組放送画面に戻るときにメッセージが表示されます。メッセージの内容にしたがって対処してください。

テレビの設定情報を初期化する

1 ソース選択画面で TV

2 画面をタッチ

3 メニュー ▶ 設定

4 設定情報初期化

5 初期化したい設定情報を選択

受信メール消去：
放送メールをすべて消去する。

自宅エリア設定消去：
自宅モードの地域と郵便番号設定を消去する。

お出かけエリア設定消去：
お出かけモードの地域と郵便番号設定を消去する。

各種設定項目の初期化：
設定メニューで設定した項目を初期化する。
プリセットチャンネルリストおよび画質調整設定の初期化、放送メールの消去は行いません。

全データの消去・初期化：
設定メニューで設定した項目およびプリセットチャンネルリストを初期化する。
また、放送メールをすべて消去する。
画質調整の設定は初期化されません。

消去の確認画面が表示されます。

6 はい

選択した各設定が初期化されます。

お願い

- 初期化メッセージ表示中には、エンジンキーをOFFにしないでください。初期化中にエンジンキーをOFFにした場合、初期化できないことがあります。

映像／音声のずれを補正する

12セグ／1セグ自動切替時の映像／音声のずれを軽減します。（初期値：ON）

1 ソース選択画面で TV

2 画面をタッチ

3 メニュー ▶ 設定

4 遅延補正

テレビの画質を調整する

1 ソース選択画面で TV

2 画面をタッチ

3 メニュー ▶ 設定

4 画質調整

5 調整する項目を選択

6 − または ＋

画面の映像を見ながら画質を調整します。

7 戻る

調整した画質に設定されます。

MEMO

- 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

オーディオ・ビジュアルを楽しむ

DVDを見る

本機では、市販されているDVDビデオ、またご家庭などで録画されたDVD-VRをお楽しみいただけます。

— お知らせ

- DVDビデオとDVD-VRでは操作方法が異なります。ご利用になるDVDの種類に該当する箇所をご覧ください。

DVDを再生する

⚠ 警告

- **運転者がDVDの映像を見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。**
- **本機は安全のため、停車時のみDVDの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。**

— MEMO

- 市販のDVD（DVDビデオ）とご家庭で録画されたDVD（DVD-VR）の画面は異なります。

1 DVDをセットする、または ソース選択画面で DVD/CD

本機にセットされたDVDが再生されます。

（DVDビデオの場合）

（DVD-VRの場合）

画面をタッチすると、メニューキーが表示されます。

何も操作しないまま約5秒が過ぎると、画面に表示されているキーが非表示になります。

戻る：

手動でメニューキーを非表示にする。

再生を停止する

1 再生中に画面をタッチ ▶ ►/II を長押し

DVDの映像が非表示となり、再生が停止します。（レジューム停止）

レジューム停止中に ►/II をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。

レジューム停止中に ►/II を長押しすると､再生が完全に停止します。（完全停止）

次に再生したときは、ディスクの先頭から再生されます。

一時停止する

— お知らせ

- DVDビデオの場合、メニュー中に一時停止や再生開始などのキー操作ができない場合があります。そのような場合は、メニュー操作 をタッチして、DVDメニューの操作キーから操作を行ってください。

1 再生中に画面をタッチ ▶ ►/II

DVDの映像が表示された状態で、再生が一時停止します。

一時停止中に ►/II をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。

一時停止中に ►/II を長押しすると、DVDの映像が非表示となり、再生が停止します。（レジューム停止）

— MEMO

- 一時停止中に交通情報を聞くと、一時停止が解除され、再生がはじまります。

前／次のチャプターを再生する

1 ◄ または ►

— MEMO

- ◄ を押すとチャプターの先頭に戻り、さらに ◄ を押すごとに前のチャプターに移動します。

早戻し／早送りする

1 **再生中に ◀ （早戻し）、または ▶ （早送り）を長押し**

— MEMO
- ◀ 、 ▶ から指を離すと、通常の再生に戻ります。

スロー再生する

1 **再生中に画面をタッチ ▶ ▶/II**

2 **▶ を長押し**

— MEMO
- ▶ から指を離すと、通常の再生に戻ります。
- スロー再生中は、再生情報表示部に「スロー再生 1/4」と表示されます。

リピート再生をする

— お知らせ
- DVD-VRでプレイリストを利用して再生している場合は、リピート再生できません。

1 **ソース選択画面で DVD/CD**

2 **画面をタッチ**

3 **リピート**

— MEMO
- 通常再生に戻す場合は、リピート を再度タッチします。

メニューから再生する（DVDビデオ）

DVDビデオディスクには、そのディスク特有のDVDメニュー（ディスクメニュー）が収録されているものがあります。ディスクメニューを利用して、本編や映像特典など、見たい映像をすぐに再生できます。

— お知らせ
- 表示されるメニューや操作方法は、各ディスクにより異なります。

1 **ソース選択画面で DVD/CD**

— MEMO
- DVDメニュー再生中にメニュートップ画面に戻るとタイトルやチャプターなどを直接タッチできます。
  ✥ をタッチすると、手順5の画面に切り替わります。

2 **画面をタッチ**

3 **メニュー操作**

4 **トップメニュー または メニュー**

トップメニュー、または再生中のチャプターのメニューが表示されます。

— お知らせ
- 「現在その操作はできません」と表示された場合は、DVDビデオのディスク自体にメニューが設定されていません。

5 **▲ 、◀ 、▶ 、▼ でメニューを選択 ▶ 決定**

選択したメニュー項目が再生されます。

戻る：
1つ前の画面に戻る。

10キー：
メニュー番号を直接入力して、メニュー項目を選択する。

左へ、右へ：
タッチキーを画面の左右に移動する。

クリア：
10キー入力した番号を消去する。

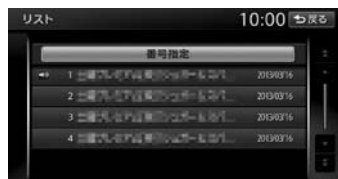
タイトルリストから再生する（DVD-VR）

1 **ソース選択画面で DVD/CD**

2 **画面をタッチ**

3 **リスト**

オーディオ・ビジュアルを楽しむ

4 見たいタイトルを選択

5 戻る

プレイリストから再生する（DVD-VR）

プレイリストとは、DVD映像をお好みのシーンだけに編集し、独自に作成したタイトルです。

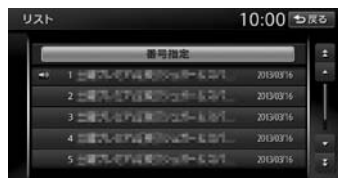
1 ソース選択画面で DVD/CD

2 画面をタッチ

3 プレイリスト **（ONになっていることを確認）**

— MEMO —
- 「プレイリスト」がONのときは、プレイリストが表示されます。「プレイリスト」がOFFのときは、タイトルリストが表示されます。

4 リスト

5 見たい項目を選択

選択した項目が再生されます。

番号指定：
プレイリスト番号を入力する。
入力した番号が先頭になったプレイリストが表示されます。

6 戻る

静止画の切り替えをする（DVD-VR）

— MEMO —
- 本機能は、音声の入っていない静止画再生時のみ使用できます。

1 ソース選択画面で DVD/CD

2 画面をタッチ

3 静止画切替

タッチするたびにチャプター内の静止画が切り替わります。

— お知らせ —
- 静止画切替 をタッチしてもほかのチャプターの静止画は再生されません。ほかのチャプターは ◀ 、▶ を押して再生してください。

— MEMO —
- チャプター内に静止画が 1 枚しか収録されていない場合などは、「現在その操作はできません」と表示されます。

タイトル・チャプター番号を入力して再生する（DVDビデオ）

1 ソース選択画面で DVD/CD

2 画面をタッチ

3 設定 ▶ 10キーダイレクト入力

4 タイトル **または** チャプター

5 番号を入力

6 決定 ▶ 戻る ▶ 戻る

入力したタイトル、またはチャプターが再生されます。

DVDの設定をする

字幕言語・音声言語・アングルを切り替える（DVDビデオ）

— お知らせ
- DVDに字幕、複数の音声およびアングルが収録されている場合のみ有効です。

1 ソース選択画面で DVD/CD

2 画面をタッチ

3 設定 ▶ 音声・字幕・アングル

4 音声 、字幕 、アングル

タッチするたびに音声言語、字幕言語、アングルの設定が切り替わります。

— お知らせ
- 設定できる言語はディスクによって異なります。

— MEMO
- 初期設定で設定できる言語以外の言語が収録されている場合は、「その他」と表示されます。
- 「OFF」で字幕を非表示にできます。

5 戻る

字幕表示•音声を切り替える（DVD-VR）

— お知らせ
- DVDに字幕、複数の音声が収録されている場合のみ有効です。

1 ソース選択画面で DVD/CD

2 画面をタッチ

3 設定 ▶ 音声・字幕

4 音声 または 字幕

タッチするたびに音声、または字幕の設定が切り替わります。

— お知らせ
- 設定できる音声はディスクによって異なります。

5 戻る

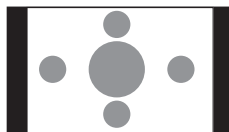
画面サイズを切り替える

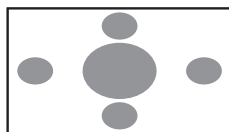
1 ソース選択画面で DVD/CD

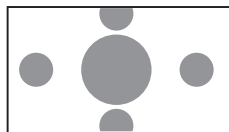
2 画面をタッチ

3 設定 ▶ 画面切替

4 画面サイズを選択

ノーマル：

映像を縦横の比率を変えずに中央に表示する。
映像と画面のサイズが異なる場合、画面の余った部分が黒く表示されます。

フルワイド：

映像を画面いっぱいに表示する。
映像と画面のサイズが異なる場合、映像の比率が変わって表示されます。

シネマ：

シネスコサイズやビスタサイズの映像を表示するときに使う。
映像と画面のサイズが異なる場合、映像の横部分と画面の横縦部分の大きさを合わせて表示されます。上下の余った部分が黒く表示されます。

5 戻る

DVDの画質を調整する

1 ソース選択画面で DVD/CD

2 画面をタッチ

3 設定 ▶ 画質調整

4 調整する項目を選択

5 − または ＋

画面の映像を見ながら画質を調整します。

6 戻る

調整した画質に設定されます。

— MEMO

- 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

DVDの状態表示を設定する

再生画面に、常にチャプター番号と再生時間を表示できます。

1 ソース選択画面で DVD/CD

2 画面をタッチ

3 (DVDビデオの場合)

設定 ▶ 初期設定

(DVD-VRの場合)

設定

4 常に状態を表示する

再生状態の表示が設定されます。

00-01 00:00:31

— MEMO

- 再生状態の表示を解除する場合は、常に状態を表示する を再度タッチします。

DVDビデオの初期設定を変更する

— MEMO

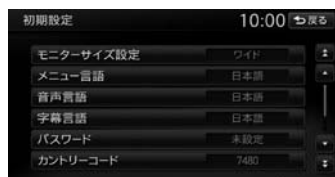
- 初期設定画面から各設定画面に移動すると、DVDの再生は停止します。設定終了後は、DVDの再生がはじまりますが、設定内容によって再生がはじまる位置が異なります。(DVDの先頭から再生されることもあれば、設定前の場所から再生がはじまることもあります)
- 以下の初期設定画面で何もせずに画面を閉じると、設定前の場所から再生がはじまります。

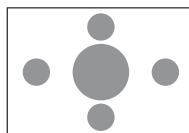
DVDのモニターサイズを設定する

1 ソース選択画面で DVD/CD

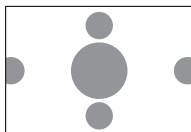
2 画面をタッチ

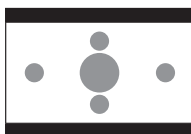
3 設定 ▶ 初期設定

4 モニターサイズ設定

5 モニターサイズを選択

ワイド：

映像を画面いっぱいに表示する。

映像と画面の比率が違う場合は、変形して表示されます。映像が切れる部分はありません。

パンスキャン：

画面の上下と映像の高さを合わせて表示する。
映像と画面の比率が違う場合は、映像の左右が切れて表示されます。

レターボックス：

画面の横幅と映像の幅を合わせて表示する。
映像と画面の比率が違う場合は、上下に黒い帯が表示されます。

— お知らせ

- 収録されているモニターサイズは、ディスクごとに異なります。モニターサイズを「パンスキャン」、または「レターボックス」に設定しても、ディスクによっては自動的にどちらかで再生される場合があります。

優先する言語を設定する

再生時に優先する言語を、メニュー言語、音声言語、字幕言語のそれぞれについて設定できます。

— お知らせ

- 本設定は、DVD再生時に優先する言語の設定です。必ずしも切り替えた言語で再生されるわけではありません。

1 **ソース選択画面で** DVD/CD

2 **画面をタッチ**

3 設定 ▶ 初期設定

4 メニュー言語 、音声言語 、字幕言語

いずれかのキーをタッチすると、言語のリストが表示され、再生時に優先する言語を選択できます。

— MEMO

- 各言語は、英語、日本語、中国語、韓国語、フランス語、スペイン語から選択できます。字幕言語では「OFF」を選択し、字幕を非表示にできます。

5 **言語を選択**

パレンタルレベルとパスワードを設定する

パレンタルレベルとは、お子様に対しDVDの視聴を制限させるために設定するものです。パレンタルレベルの設定には、パスワードが必要です。→ P.130

■ 視聴制限（パレンタルレベル）について

DVDビデオには、「視聴制限（パレンタルレベル）」が設定されているものがあります。レベルは1 ～ 8まであり、数字が小さくなるほど視聴制限が厳しくなります。視聴制限が設定されているディスクは、本機のパレンタルレベル設定によっては再生できない場合があります。

例：DVDの視聴制限がレベル3の場合
本機で設定したパレンタルレベルが、「レベル3 ～ 8」の場合のみ、再生できます。
「レベル1 ～ 2」の場合は、再生しようとすると「パレンタルレベル変更」の警告メッセージが表示されます。
また、パレンタルレベルは国によって異なります。カントリーコードを設定しないと、視聴制限がうまく機能しない場合があります。
→ P.225

— お知らせ —
- パレンタルレベルは、DVDのパッケージなどに記載されています。パッケージにパレンタルレベルの記載がないディスクは、パレンタルレベルを設定しても視聴制限はかけられません。

— MEMO —
- 視聴制限をかけない場合は、本設定は必要ありません。
- パレンタルレベルの初期値は「パレンタルレベルOFF」です。すべてのDVDビデオに対して視聴制限のない状態になっています。

■ パスワードを設定・変更する

視聴制限の設定に必要なパスワードを設定・変更します。（初期値：未設定）

1. **ソース選択画面で** DVD/CD
2. **画面をタッチ**
3. 設定 ▶ 初期設定
4. パスワード
5. **パスワードを入力 ▶** 決定
   入力されたパスワードは、「＊＊＊＊」と表示されます。
   新規パスワード設定の場合→手順8
6. パスワードの変更
   パスワードの消去：
   パスワードを消去する。
7. **新しいパスワードを入力 ▶** 決定
8. **再度同じパスワードを入力 ▶** 決定
   新しいパスワードが設定されます。

— MEMO —
- パレンタルレベルを頻繁に変更する場合は、パスワードを消去して「未設定」にしておくと、パスワード入力の手間を省けます。

■ パレンタルレベルを設定する

準備

●パレンタルレベルを設定する場合は、パスワードの設定が必要です。

1. **ソース選択画面で** DVD/CD
2. **画面をタッチ**
3. 設定 ▶ 初期設定
4. 視聴制限（パレンタルレベル）
5. **パスワードを入力 ▶** 決定
6. **パレンタルレベルを選択**
   パレンタルレベルが設定されます。
   OFF：
   すべてのDVDビデオに対して視聴制限が解除される。

カントリーコードを設定する

パレンタルレベルは国によって内容が異なります。本機でパレンタルレベルを正しくお使いになるには、DVDのカントリーコードを設定してください。（初期値：7480（JAPAN））カントリーコードは、国を識別するためのコードです。
→ P.225

1. **ソース選択画面で** DVD/CD
2. **画面をタッチ**
3. 設定 ▶ 初期設定
4. カントリーコード
5. **DVDに記録してある国、または地域のカントリーコードを入力 ▶** 決定

CD、ディスク(MP3・WMA・AAC)の音楽を聴く

本機では、音楽CDのほかに、MP3・WMA・AAC形式の音楽データを保存したディスクをお楽しみいただけます。

— MEMO

- シンプルメニューからも同様の操作が行えます。→ P.11

ディスクを再生する

— お知らせ

- 走行中は、操作できる項目が限定されます。

— MEMO

- 以下のディスクを再生すると、アーティスト名、トラックタイトルなどの情報が表示されます。
  - 本機内蔵、またはオンライン上のデータベース「Gracenote Music Recognition Service[SM]」から情報が取得できる音楽CD → P.230
  - CD-TEXTの入ったディスク
  - ID3タグ、WMAタグ、AACタグの入ったディスク

  上記以外のディスクを再生した場合は、「Track01」などの番号のみ表示されます。
- ノンストップCD（トラックとトラックがつながっているCD）を再生した場合、トラック間に2 ～ 3秒の無音部分が発生します。

CDを再生する

1 CDをセットする、または ソース選択画面で DVD/CD

本機にセットされたCDが再生されます。

— お知らせ

- 本機にSDカードがセットされている場合、操作パネルが完全に閉じるまで再生ははじまりません。

MP3・WMA・AACのディスクを再生する

1 MP3・WMA・AACディスクを セットする、または ソース選択画面で DVD/CD

本機にセットされたディスクが再生されます。

早戻し／早送りする

1 再生中に ◀ (早戻し)、または ▶ (早送り) を長押し

— MEMO

- ◀ 、▶ から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラックを再生する

1 再生中に ◀ または ▶

— MEMO

- ◀ を押すとトラックの先頭に戻り、さらに ◀ を押すごとに前のトラックに移動します。

前／次のフォルダを再生する (MP3・WMA・AAC再生時のみ)

1 再生中に 前フォルダ または 次フォルダ

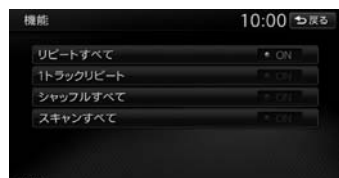
前／次のフォルダに移動し、フォルダ内の先頭のトラックが再生されます。

リピート・シャッフル・スキャン再生をする

1 ソース選択画面で DVD/CD

2 機能

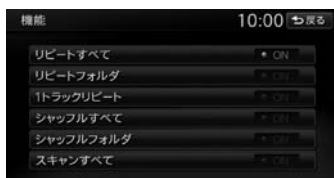
3 目的の項目を選択

(CDの場合)

リピートすべて：
ディスク内の全トラックをリピート再生する。

1トラックリピート：
現在再生中のトラックのみをリピート再生する。

シャッフルすべて：
現在再生中のCDの全トラックをランダムに再生する。

スキャンすべて：
現在再生中のCDの全トラックの出だしを10秒間ずつ再生する。

(MP3・WMA・AACの場合)

リピートすべて：
ディスク内の全トラックをリピート再生する。

リピートフォルダ：
現在再生中のフォルダ全体をリピート再生する。

1トラックリピート：
現在再生中のトラックのみをリピート再生する。

シャッフルすべて：
ディスク内の全トラックをランダムに再生する。

シャッフルフォルダ：
現在再生中のフォルダの全トラックをランダムに再生する。

スキャンすべて：
ディスク内の全トラックの出だしを10秒間ずつ再生する。

タイトルリストから再生する

— MEMO

• 走行中はフォルダリスト、トラックリストのスクロールはできません。

1 ソース選択画面で DVD/CD

2 (CDの場合)

トラックリストが表示されます。

(MP3・WMA・AACの場合)

再生中のフォルダを選択

再生中のトラックリストが表示されます。

— MEMO

• 再生中以外のフォルダを選択した場合は、トラックリストには切り替わりません。フォルダリストが表示されたまま、選択したフォルダの先頭のトラックから再生がはじまります。トラックリストを表示するには、もう一度同じフォルダを選択します。

3 トラックを選択

CD画面

MP3/WMA/AAC画面

選択したトラックから再生がはじまります。

ミュージックキャッチャーを使う

ミュージックキャッチャーに録音する

ミュージックキャッチャーとは、CDのトラックをSDカードに録音し、再生する機能のことです。CDを本機にセットしなくても、ミュージックキャッチャーに録音してあれば、そのCDのトラックを聴けます。

録音する前にお読みください

ミュージックキャッチャーを使用するにはSDカードが必要です。
録り直しのきかない録音の場合は、正しく録音されていることを確認してください。
万一、本機の故障や誤作動および不具合により録音に支障が生じた場合でも、録音内容および消失した録音データについては補償いたしかねますので、ご容赦願います。
録音したデータは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使えません。
ノンストップCD（トラックとトラックがつながっているCD）を録音に使用された場合、トラックとトラックの間に2～3秒の無音部分をはさんで録音します。

録音についてのご注意

■ 録音時の状態について

以下のような場合には、音声が途切れたり音が飛んで録音されることがあります。

●録音中にCDの音が飛んだ
●傷があるなどCDの状態が悪い
●録音中に振動の激しい悪路を走行した

■ 録音中の操作について

録音中に以下の操作を行うと、録音中止の確認メッセージが表示されます。録音を中止する場合は はい を、続行する場合は いいえ をタッチします。

● REC をタッチする
●リピート／スキャン／シャッフル再生
●SDカードを使用した操作（データの取り込み／書き出しなど）

— お知らせ —
- 録音中は早送り、早戻し、トラックのアップ／ダウン操作はできません。
- 録音中は操作パネルを開閉することはできません。録音中に [▲] ▶ パネル開／閉 をタッチすると、「SDメモリーカードにアクセス中のためオープンできません」というメッセージが表示されます。操作を継続する場合はその指示にしたがってください。

録音中にエンジンキーをOFFにすると、録音中のトラックが消えます。
次回エンジンキーを「ACC」、または「ON」にすると、前回録音していたトラックの先頭から録音がはじまります。

録音の設定をする

録音に関する設定を行います。録音モードの自動と手動を切り替えたり、オンラインで自動的にアルバム情報を取得するよう設定できます。

1 メニュー ▶ 設定

2 オーディオ ▶ その他設定 ▶ 録音設定

3 設定したい項目を選択

CD挿入時に自動録音:
CD挿入時に自動で全曲を録音する。

オンラインでアルバム情報を自動取得：
本機内蔵のデータベースやCD-TEXTディスクからアルバム情報が得られない場合、録音開始時にオンライン経由で自動的に情報を取得する。
手動で情報を取得することもできます。
→ P.138

自動で録音する

準備

●「CD挿入時に自動録音」をONにします。
→ P.134

1 SDカードを本機にセット

2 CDを再生する
自動的に録音がはじまります。

— お知らせ —
- すでにCD全曲の録音が済んでいる場合は、録音は行いません。

手動で録音する

1 CD再生中に REC

2 希望の録音方法を選択

全曲録音：
再生中のCDのすべてのトラックを録音する。
アルバムの先頭から録音されていないトラックの録音がはじまります。

現在の曲を録音：
再生中のトラックを録音する。
トラックの先頭に戻り、録音がはじまります。

曲を指定して録音：
録音したいトラックをリストから複数選択して録音する。
リストからトラックを選択して 録音開始 をタッチすると、先頭に近い曲から順に録音がはじまります。

— MEMO —
- 録音モード選択画面にディスクの情報やSDカードの情報が表示されます。SDカードの空き容量が1MB未満の場合、空き容量に「1MB未満です」と表示されます。

ミュージックキャッチャーについて

ミュージックキャッチャーの仕様は、以下のとおりです。

録音可能トラック数
最大4000トラック（アルバムは最大500枚、1つのアルバムに収録できるトラック数：最大99トラック）
※ただし、SDカードの容量により録音できるトラック数は異なります。（4GBのSDカードはおよそ1000トラックです。）

録音できる音源音楽
音楽CDのみ→ P.9

音質
AACという音声圧縮技術を採用しています。CDの音質を損なわず、容量を約1/20に圧縮できます。

本機は、SCMS（Serial Copy Management System）の規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。SCMSでは、各種デジタルオーディオ機器の間で「デジタル信号をデジタル信号のまま録音する」というデジタル信号どうしのコピーを〈1世代まで〉と規制しています。
したがって、以下の操作を本機で行えません。

- ●本機に録音したCDの曲をデジタル出力、デジタルコピーすること
- ●デジタル録音したCD-RとCD-RWおよびコピーの禁止されているCDを録音すること

タイトル表示について

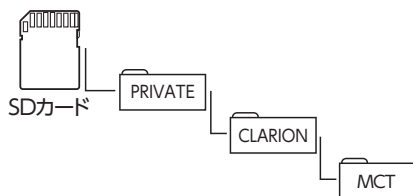
CDをミュージックキャッチャーに録音すると、本機内蔵のGracenote Music Recognition Service[SM]のデータベースからタイトル・読み・アーティスト名・ジャンルの情報が取得され、画面上に表示されます。

— お知らせ —
- 情報を取得できなかったCDには録音した日付が表示されます。また、CDや曲によっては、情報の取得ができない場合があります。

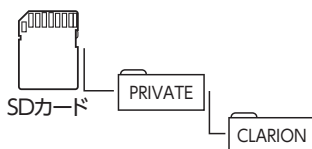
— MEMO —
- Gracenote Music Recognition Service[SM]のデータベースは、インターネット上のGracenoteデータベースから最新の情報に更新できます。→ P.138

録音した音楽データについて

■ 録音した音楽データのバックアップ

録音した音楽データはSDカード内の以下のフォルダに保存されます。

お使いのパソコンに、このフォルダをそのまま保存することでバックアップできます。

■ バックアップした音楽データの復元

バックアップした音楽データフォルダ「MCT」をSDカード内の下記フォルダに書き戻すことで復元できます。

すでに上記フォルダ内に「MCT」フォルダが存在する場合は、バックアップ、または消去してください。

— お願い —
- 「MCT」フォルダ内に存在するファイルおよびフォルダの消去や変更は絶対に行わないでください。ミュージックキャッチャーが正常に動作しなくなる可能性があります。
- SCMSでは､デジタル信号どうしのコピーを〈1世代まで〉と規制しています。→ P.134
  これらの操作は、録音データ保存以外の目的では行わないでください。

ミュージックキャッチャーを聴く

— お知らせ —
- 走行中は、操作できる項目が限定されます。
- 再生中に操作パネルを開くと、再生が停止します。
- 再生時間は、録音元のCDとは異なります。

ミュージックキャッチャーを再生する

1 **SDカードを本機にセット**

2 **ソース選択画面で MUSIC CATCHER**

ミュージックキャッチャー内のトラックが再生されます。

オーディオ・ビジュアルを楽しむ

早戻し／早送りする

1 再生中に ◀ （早戻し）、または ▶ （早送り） を長押し

— MEMO
- ◀ 、▶ から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラックを再生する

1 再生中に ◀ または ▶

— MEMO
- ◀ を押すとトラックの先頭に戻り、さらに ◀ を押すごとに前のトラックに移動します。

前／次のアルバムを再生する

1 再生中に 前アルバム または 次アルバム

前／次のアルバムに移動し、アルバム内の先頭のトラックが再生されます。

リピート・シャッフル・スキャン再生をする

1 ソース選択画面で MUSIC CATCHER

2 機能

3 目的の項目を選択

選択した動作での再生がはじまります。

リピートすべて：
全アルバムの全トラックをリピート再生する。

リピートアルバム：
現在再生中のアルバム全体をリピート再生する。

1トラックリピート：
現在再生中のトラックのみをリピート再生する。

シャッフルすべて：
全アルバムの全トラックをランダムに再生する。

シャッフルアルバム：
現在再生中のアルバムの全トラックをランダムに再生する。

スキャンすべて：
全アルバムの各トラックの出だしを10秒間ずつ再生する。

リストから再生する

1 ソース選択画面で MUSIC CATCHER

2 再生中のアルバム名を選択

トラックリストが表示されます。

— MEMO
- 再生中以外のアルバムを選択した場合は、アルバムリストが表示されたまま先頭のトラックから再生がはじまります。トラックリストを表示するには、もう一度同じアルバムを選択します。

3 トラックを選択

選択したトラックが再生されます。

アーティスト名から再生する

1 ソース選択画面で MUSIC CATCHER

2 設定 ▶ アーティスト検索

3 アーティスト名を選択

4 アルバムを選択

選択したアルバムの先頭から再生がはじまります。

— MEMO
- 選択演奏中は、選択演奏の対象となっているアーティスト、またはアルバムのみが検索対象となります。→ P.137

条件から複数のアルバムを選んで再生する

以下の方法から、複数のアルバムを指定して再生できます。
●アルバムリストからアルバムを指定する
●アーティストのすべてのアルバムを指定する

1 ソース選択画面で MUSIC CATCHER
2 設定 ▶ 選択演奏
3 アルバム選択 または アーティスト選択
　選択演奏解除：
　　選択演奏を中止する。
4 アルバム、またはアーティスト名を選択 ▶ 決定
　選択した項目が再生されます。

— お知らせ
- 決定 をタッチした直後は、SDカードに書き込み処理を行うため、操作パネルを開閉できない場合があります。

アルバム・トラック情報を編集する

— お知らせ
- 選択演奏中および録音中は、タイトル編集 は選べません。タイトルやトラック名を編集するときは、選択演奏を解除してください。
- アルバム・トラック情報の編集中や操作直後は、SDカードに書き込み処理を行うため、操作パネルを開閉できない場合があります。

アルバム名、アーティスト名を編集する

1 ソース選択画面で MUSIC CATCHER
2 設定 ▶ タイトル編集
3 アルバムを選択
4 アルバム または アーティスト
5 アルバム名、またはアーティスト名を入力 ▶ 決定

— MEMO
- アルバム名、アーティスト名は全角・半角で20文字まで入力できます。

アルバムを消去する

— お知らせ
- 一度消去したアルバムは元に戻せません。

1 ソース選択画面で MUSIC CATCHER
2 設定 ▶ 曲の消去
3 消去するアルバムをすべて選択 ▶ 決定
4 はい

アルバムの再生順序を並べ替える

1 ソース選択画面で MUSIC CATCHER
2 設定 ▶ アルバム並べ替え
3 移動させたいアルバムを選択
4 移動先を選択
　選択した位置にアルバムが移動します。
　確認メッセージが表示され、アルバムリスト画面に戻ります。
　アルバムリスト画面に戻ると、先頭のアルバムから再生がはじまります。

トラック名を編集する

1 ソース選択画面で MUSIC CATCHER
2 設定 ▶ タイトル編集
3 編集するトラックを含むアルバムの 詳細
　トラックリストが表示されます。
4 トラックを選択
5 トラック名を入力 ▶ 決定

— MEMO
- トラック名は全角・半角で20文字まで入力できます。

トラックを消去する

― お知らせ ―
- 一度消去したトラックは元に戻せません。

1 ソース選択画面で MUSIC CATCHER
2 設定 ▶ 曲の消去
3 消去するトラックを含むアルバムの 詳細
トラックリストが表示されます。
4 消去するトラックをすべて選択 ▶ 決定
5 はい

アルバム情報を更新する

新譜など、本機に内蔵のデータベースにアルバム情報が含まれていない場合は、曲名などが正しく表示されないことがあります。
その際は、SDカード経由、またはオンライン経由でGracenoteサーバーから最新のアルバム情報を取得してください。
SDカード経由でアルバム情報の更新を行う場合には、インターネットに接続できるパソコン、情報を取得するためのPC用アプリケーション「Smart Access Updater」が必要になります。
→ P.189

オンライン経由で情報を更新する

準 備
●DUN機能対応のBluetooth対応携帯電話、またはUSBデータ通信モジュールを本機に接続します。→ P.91、P.178

1 ソース選択画面で MUSIC CATCHER
2 設定 ▶ タイトル編集 ▶ タイトル取得
3 オンライン
4 情報を取得したいアルバムを選択 ▶ 決定
取得したアルバム情報が本機に取り込まれます。

SDカード経由で情報を更新する

SDカードを使用する場合は、以下の流れでアルバム情報を取得します。

1.本機にて、SDカードへアルバム情報を書き出す
2.お使いのパソコンにて、「Smart Access Updater」のCDタイトルキャッチャー機能を使用し、SDカードへアルバム情報を保存する
(CDタイトルキャッチャー画面上のヘルプボタンをクリックすると、CDタイトルキャッチャー機能の取扱説明書を参照できます。)
3.本機にて、SDカードからアルバム情報を取り込む
アルバム情報が更新されます。

■ アルバム情報を書き出す

1 ソース選択画面で MUSIC CATCHER
2 設定 ▶ タイトル編集 ▶ 未取得タイトル情報書き出し
3 アルバムを選択 ▶ 決定
4 はい
選択したアルバム情報がSDカードに書き出されます。

■ アルバム情報を取り込む

1 ソース選択画面で MUSIC CATCHER
2 設定 ▶ タイトル編集 ▶ タイトル取得
3 SDメモリーカード ▶ はい
SDカード内のアルバム情報が本機に取り込まれます。

SDカード/USBメモリーのファイルを視聴する

本機では、お手持ちのSDカードやUSBメモリーに保存した音楽やビデオを視聴できます。

SDカード/USBメモリーを再生する

SDカードやUSBメモリーを使用して、以下のファイルを再生できます。
- ●MP3/WMA/AAC形式のオーディオファイル
- ●MPEG4/WMV/H.264形式のビデオファイル

⚠警告

- **運転者がビデオを見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。**
- **本機は安全のため、停車時のみビデオの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。**

お願い
- USBメモリーを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- 接続中のUSBメモリーの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。

お知らせ
- 本機にiPodを接続している場合は、USBメモリーはご利用になれません。

MEMO
- SDカードおよびUSBメモリー内のファイルは、ファイル名順で再生されます。再生順序を変更したい場合は、ファイル名の先頭に数字を入力してください。
- シンプルメニューからも同様の操作が行えます。→ P.11

SDカードを再生する

1 **SDカードをセット**

2 **ソース選択画面で SDメモリーカード**

SDカードのファイルが再生されます。

USBメモリーを再生する

1 **USBメモリーを接続する**

2 **ソース選択画面で USB/iPod**

USBメモリーのファイルが再生されます。

オーディオモードとビデオモードを切り替える

1 **ソース選択画面で SDメモリーカード または USB/iPod**

2 **モード切替**

3 **ミュージック または ビデオ**

選択した再生モードに切り替わります。

ビデオ画面

画面をタッチすると、メニューキーが表示されます。何も操作しないまま約5秒が過ぎると、画面に表示されているキーが非表示になります。

戻る：
手動でメニューキーを非表示にする。

再生を停止する（ビデオのみ）

1 再生中に画面をタッチ ▶ ▶/II を長押し

ビデオの映像が非表示となり、再生が停止します。（レジューム停止）
レジューム停止中に ▶/II をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。

一時停止する（ビデオのみ）

1 再生中に画面をタッチ ▶ ▶/II

ビデオの映像が表示された状態で、再生が一時停止します。
一時停止中に ▶/II をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。
一時停止中に ▶/II を長押しすると、ビデオの映像が非表示となり、再生が停止します。（レジューム停止）

早戻し／早送りする

1 再生中に ◀ （早戻し）、または ▶ （早送り）を長押し

— MEMO
- ◀ 、▶ から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラックを再生する

1 再生中に ◀ または ▶

— MEMO
- ◀ を押すとトラックの先頭に戻り、さらに ◀ を押すごとに前のトラックに移動します。

フォルダリスト／トラックリストから再生する

— MEMO
- 走行中はフォルダリスト、トラックリストのスクロールはできません。

1 ソース選択画面で SDメモリーカード または USB/iPod

2 （オーディオの場合）
再生中のフォルダを選択

— MEMO
- 再生中以外のフォルダを選択した場合は、トラックリストには切り替わりません。フォルダリストが表示されたまま、先頭のトラックから再生がはじまります。トラックリストを表示するには、もう一度同じフォルダを選択します。

（ビデオの場合）
画面をタッチ ▶ フォルダリスト ▶ 再生中のフォルダを選択

トラックリストが表示されます。

— MEMO
- 手順2の画面で トラックリスト をタッチすると、再生中のフォルダのトラックリストが表示されます。

3 トラックを選択

選択したトラックから再生がはじまります。

前／次のフォルダを再生する（オーディオのみ）

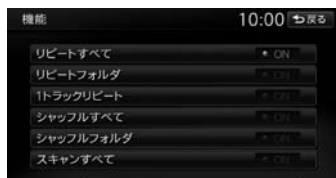
1 再生中に 前フォルダ または 次フォルダ

前／次のフォルダに移動し、フォルダ内の先頭のトラックが再生されます。

リピート・シャッフル・スキャン再生をする

1 **ソース選択画面で** SDメモリーカード **または** USB/iPod

2 機能

3 **目的の項目を選択**

※画面はオーディオの場合です。

リピートすべて：
全トラックをリピート再生する。

リピートフォルダ：
現在再生中のフォルダ内の全トラックをリピート再生する。

1トラックリピート：
現在再生中のトラックのみをリピート再生する。

シャッフルすべて（オーディオのみ）：
全フォルダからランダムにフォルダを選択する。
さらにそのフォルダ内からランダムに選択したトラックを再生する。

シャッフルフォルダ（オーディオのみ）：
現在再生中のフォルダの全トラックをランダムに再生する。

スキャンすべて（オーディオのみ）：
全トラックの出だしを10秒間ずつ再生する。

状態表示を設定する（ビデオのみ）

ビデオの再生画面に、常に再生状態（フォルダ番号、トラック番号）を表示できます。

1 **ソース選択画面で** SDメモリーカード **または** USB/iPod

2 **画面をタッチ**

3 設定 ▶ 初期設定

4 常に状態を表示する

再生状態の表示が設定されます。

MEMO

- 再生状態の表示を解除する場合は、常に状態を表示する を再度タッチします。

オーディオ・ビジュアルを楽しむ

iPodを聴く／ iPodビデオを見る

— MEMO

- シンプルメニューからも同様の操作が行えます。→ P.11

接続できるiPod

iPod®の機種やソフトウェアバージョンによっては、一部機能の制限があります。接続できる機器の最新情報については、以下をご覧ください。
http://www.clarion.com/jp/ja/support/connection/index.html

— お願い

- 車のエンジンキーをOFFにした後は、必ずiPodを取り外してください。接続したままではiPodの電源が切れない場合があるため、iPodの電源を消耗するおそれがあります。

— お知らせ

- iPad®/iPad Retinaディスプレイモデル/iPad mini/iPad2には対応しておりません。
- iPodの動作についてはすべてを保証するものではありません。
- 本機と接続するときは、iPodのヘッドフォンなどのアクセサリーを使用しないでください。

— MEMO

- iPodの動作が停止した場合、カテゴリーリストから曲やビデオを選択することで操作可能になるときがあります。
- iPodのトラックリピート機能を設定している場合は、正しく動作しないことがあります。
- iPodのシャッフル機能を設定していると正しく動作しない場合があります。その場合は、シャッフル機能の設定を解除してからご利用ください。
- iPodの機種によっては再生対象の曲数が多い場合、タイトル表示やリスト表示ができない場合があります。
- エラーメッセージが表示された場合は、一度本機からiPodを取り外して再度接続してください。
- iPod touch®、またはiPhone®をBluetooth接続している状態で、Bluetoothオーディオ再生、またはハンズフリー通話を行うと、iPodモードで音声が出力されないことがあります。iPod touch、iPhone本体から操作を行い、設定（オーディオ出力）をBluetooth（NX-BT）からDockコネクタへ切り替えてください。または、一度本機からiPodを取り外して再度接続してください。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

iPodを再生する

本機では、iPodを接続してiPod内の音楽データやビデオ映像をお楽しみいただけます。

⚠ 注意

- **走行中は、iPod本体の操作はしないでください。**
- **iPodは、安全な場所に置いてご使用ください。**

— お願い

- iPodを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- 接続中のiPodの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。
- 万一iPodが操作不能になったときはiPodをリセットし、再接続してください。iPodのリセット方法は、iPodの取扱説明書などで確認してください。

  リセット方法の例

  - iPodの場合：
    「センター」ボタンと「メニュー」ボタンをAppleのロゴが表示されるまで同時に長押しします。
  - iPod touchの場合：
    「スリープ／スリープ解除」ボタンと「ホーム」ボタンを、Appleのロゴが表示されるまで同時に長押しします。

    ※iPodをリセットして再接続しても動作しない場合は、リセット後、iPod単体で動作することを確認してから接続するようにしてください。

— お知らせ

- OSのバージョンによっては、本機とiPodを接続すると、iPodからは操作できない場合があります。
- 走行中は、操作できる項目が限定されます。

— MEMO —
- オーディオファイル再生中のiPodを本機に接続した場合、再生していた曲の続きから再生されます。ビデオ対応iPodにおいてビデオ再生中に接続した場合は、iPodにより再生位置が異なることがあります。ビデオを見る場合、再度ビデオファイルを選択してください。
- Dockコネクタ搭載のiPod ／ iPodビデオを視聴するには、別売のビデオ対応iPod接続ケーブルを使用します。

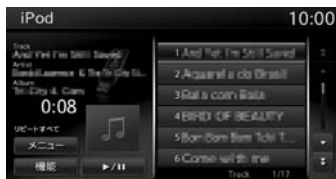
iPodを聴く

準 備

●Dockコネクタ搭載のiPodは、別売のビデオ対応iPod接続ケーブルを本機のUSB端子に接続します。
●Lightningコネクタ搭載のiPodは、iPhone、iPodに付属のケーブルを本機のUSB端子に接続します。

1 iPodを接続する

2 ソース選択画面で USB/iPod

iPod内のトラックが再生されます。

— MEMO —
- 再生を一時停止、または再開するには ►/II をタッチします。

iPodビデオを見る

⚠ 警告

- **運転者がiPodビデオを見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。**
- **本機は安全のため、停車時のみiPodビデオの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。**

準 備

●別売のビデオ対応iPod接続ケーブルを本機のUSB端子に接続します。
●別売のビデオ対応iPod接続ケーブルのビデオ端子と音声端子を、別売のVTRケーブルに接続します。
●iPodの接続方法を「USB＋VTR接続（アナログ音声）」に設定します。→ P.145

— お願い —
- iPod接続の際は、ビデオ対応iPod接続ケーブル以外は使用しないでください。

— お知らせ —
- ソフトウェアが2.0より古いiPod touchは、ビデオ再生に対応しておりません。

— MEMO —
- OSのバージョンによっては、iPodビデオ再生時に映像が表示されない場合があります。その際は、iPod側でミュージックアプリケーションをフォアグランドにすることで症状が改善される場合があります。

1 iPodを接続する

2 ソース選択画面で USB/iPod

iPodビデオが再生されます。

画面をタッチすると、メニューキーが表示されます。何も操作しないまま約5秒が過ぎると、画面に表示されているキーが非表示になります。

戻る：
手動でメニューキーを非表示にする。

— MEMO —
• オーディオモードで再生された場合は、条件を指定して再生するとiPodビデオの映像に切り替えられます。→ P.145

一時停止する（iPodビデオのみ）

1 再生中に画面をタッチ ▶ ▶/II

ビデオの映像が表示された状態で、再生が一時停止します。
一時停止中に ▶/II をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。

早戻し／早送りする

1 再生中に ◀ （早戻し）、または ▶ （早送り）を長押し

— MEMO —
• ◀ 、▶ から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラック・チャプターを再生する

1 再生中に ◀ または ▶

チャプターのあるトラックを再生中は、前、または次のチャプターの先頭トラックが再生されます。

— MEMO —
• ◀ を押すとトラックの先頭に戻り、さらに ◀ を押すごとに前のトラックに移動します。

リピート・シャッフル再生をする

1 ソース選択画面で USB/iPod

2 機能

3 シャッフル または リピート

4 目的の項目を選択

（シャッフルの場合（オーディオのみ））

オフ：
シャッフル再生を解除する。

曲：
現在再生中のアルバム内の全トラックをランダムに再生する。

アルバム：
全アルバムをランダムに再生する。
アルバム内のトラックは順番に再生されます。

（リピートの場合）

1曲：
現在再生中のトラックのみをリピート再生する。

すべて：
全アルバムの全トラックをリピート再生する。

選択した動作での再生がはじまります。

— お知らせ —
• iPodの機種によっては、リピート再生ができない場合があります。

— MEMO —
• シャッフル再生中に、iPodをビデオモードに切り替えると、シャッフル再生は自動的に解除されます。

タイトルリストから再生する（オーディオ）

1 ソース選択画面で USB/iPod

2 トラックを選択

条件を指定して再生する

1 ソース選択画面で USB/iPod

2 メニュー

— MEMO
- メニュー をタッチすると、最後に表示したリスト画面が表示されるため、手順4 ～手順5の画面に進む場合があります。手順3の画面を表示させるには メニュー を長押ししてください。

3 ミュージック または ビデオ

4 目的の項目を選択

— MEMO
- 選択できる項目例：
  （オーディオの場合）
  - プレイリスト／アーティスト／アルバム／曲／ Podcast ／ジャンル／作曲者

  （ビデオの場合）
  - ビデオプレイリスト／ムービー／ミュージックビデオ／テレビ番組／ビデオPodcast ／レンタルムービー

  など

トラックリストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。
リスト表示中に何も操作しないまま約10秒が過ぎると、iPod再生画面に戻ります。

5 トラックを選択

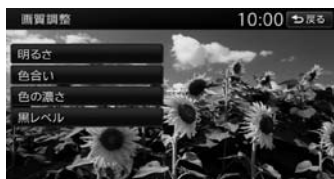
— MEMO
- 手順3 ～ 5で 再生画面 をタッチすると、iPod再生画面に切り替わります。
- 手順4 ～手順5で メニュー をタッチすると、1つ前の画面に戻ります。押し続けると、手順3の画面に戻ります。
- プレイリストが多階層になっていると、階層の深さによって不明な項目が表示されることがあります。

iPodの設定をする

iPodビデオの画質を調整する

1 ソース選択画面で USB/iPod

2 画質調整

3 調整する項目を選択

4 － または ＋

画面の映像を見ながら画質を調整します。

5 戻る

— MEMO
- 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

iPodの接続方法を切り替える

iPodの接続方法を、「USB接続」または「USB＋VTR接続（アナログ音声）」から選択します。（初期値：USB接続）

1 ソース選択画面で USB/iPod

2 機能 ▶ 接続方法

3 接続方法を選択

USB接続：
iPodではミュージックモードのみの対応にする。
iPodビデオモードへの切り替えはできません。

USB＋VTR接続（アナログ音声）：
VTR端子をiPodの映像、音声入力として使用する。
iPodでは、ミュージックモードとビデオモードの切り替えができます。
この設定を行うとソース選択画面の VTR は非表示になり、VTR機器はご利用できません。
「USB＋VTR接続（アナログ音声）」に設定している場合は、別売のビデオ対応iPod接続ケーブルのビデオ端子と音声端子を、別売のVTRケーブルに接続する必要があります。

— MEMO
- 接続方法を変更した場合は、iPodの接続を一度解除して再度接続してください。

アルバムのジャケット写真を表示する

iPodに取り込まれているアルバムのジャケット写真を表示できます。

1 **ソース選択画面で** USB/iPod

2 機能 ▶ アルバムアートワークの表示

— MEMO
- ジャケット写真の取得には、数秒かかることがあります。

Bluetoothオーディオを聴く

Bluetoothオーディオを聴くには

Bluetoothに対応しているオーディオ機器を本機に登録して、音楽を再生できます。

準備
- ●オーディオ機器を本機に登録（ペアリング）します。→ P.91

— お願い
- ポータブル機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

— お知らせ
- Bluetooth方式に対応しているオーディオ機器を使用してください。ただし、Bluetoothオーディオ機器（例 iPod/iPhoneなど）によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。機能が非対応の場合は、ボタンやキーを押すことができません。または操作不可メッセージが表示されます。ただし、オーディオ機器により操作不可メッセージも表示されないことがあります。
- Bluetoothオーディオ機器について詳しくは、各取扱説明書をご覧ください。
- Bluetoothオーディオ機器の収納場所、距離によっては、接続できない場合や音飛びが発生する場合があります。できるだけ通信状態の良い場所に置くことをおすすめします。
- 走行中はペアリングを実行できません。
- Bluetoothオーディオは、本機からの自動接続を行いません。接続したいオーディオ機器を操作し、接続を行ってください。

— MEMO
- Bluetoothオーディオ機器は、ハンズフリー機器とあわせて5台までペアリングできます。すでに5台ペアリングしている場合は、ペアリングの情報を1台分消去してから、新しく登録してください。
- iPhoneをBluetoothオーディオとして再生中、iPhone側でBluetooth画面を表示すると、音飛びが発生することがあります。このような場合は、Bluetooth画面の表示を閉じれば正常に再生されます。
- Bluetoothオーディオ対応の携帯電話によっては、ハンズフリープロファイルを接続すると同時に、携帯電話側から自動でオーディオプロファイルの接続を行う機器があります。
- 接続していても音声が出力されない場合は、オーディオ機器からプロファイル切断し、再度接続してください。

Bluetoothオーディオを再生する

— お知らせ
- Bluetoothオーディオ機器の種類によっては、本機からの再生、一時停止などの操作ができないことがあります。この場合、Bluetoothオーディオ機器側から操作してください。詳しくは、Bluetoothオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

1 ソース選択画面で Bluetooth Audio

Bluetoothオーディオが再生されます。

— MEMO
- Bluetoothオーディオ機器によっては、自動で再生が開始されないことがあります。その場合は、 ▶/II をタッチするか、またはBluetoothオーディオ機器側で再生させてください。
- 再生を一時停止、または再開するには ▶/II をタッチします。
- Bluetoothオーディオ機器によっては、 メニュー および トラックリスト が表示されない場合があります。

早戻し／早送りする

1 再生中に ◀ (早戻し)、または ▶ (早送り) を長押し

— MEMO
- ◀ 、 ▶ から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラックを再生する

1 再生中に ◀ または ▶

— MEMO
- ◀ を押すとトラックの先頭に戻り、さらに ◀ を押すごとに前のトラックに移動します。

トラックリストから再生する

— お知らせ
- この機能は、AVRCP Ver1.4に対応したBluetoothオーディオのみ使用できます。
  Bluetoothオーディオ機器によっては、本機能は使用できません。

— MEMO
- リスト操作ができないときは、Bluetoothオーディオ機器側の再生プレーヤーが起動しているかどうかを確認してください。

1 ソース選択画面で Bluetooth Audio

2 トラックリスト

3 トラックを選択

選択したトラックの再生がはじまります。

条件を指定して再生する

フォルダやカテゴリーから、再生したいトラックを探して再生できます。

— お知らせ
- この機能は、AVRCP Ver1.4に対応したBluetoothオーディオのみ使用できます。Bluetoothオーディオ機器によっては、本機能は使用できません。

— MEMO
- リスト操作ができないときは、Bluetoothオーディオ機器側の再生プレーヤーが起動しているかどうかを確認してください。

1 **ソース選択画面で** Bluetooth Audio

2 メニュー

3 **目的の項目を選択**

— MEMO —
- 選択できる項目は、Bluetoothオーディオ機器によって異なります。

トラックリストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。
リスト表示中に何もタッチしないで10秒が過ぎると、Bluetoothオーディオ再生画面に戻ります。

4 **トラックを選択**

— MEMO —
- 手順3、4で 再生画面 をタッチすると、Bluetoothオーディオ再生画面に切り替わります。
- 手順3、4で メニュー をタッチすると、1つ前の画面に戻ります。長押しすると、手順2の画面に戻ります。

リピート・シャッフル再生をする

— お知らせ —
- この機能は、AVRCP Ver1.3以上に対応したBluetoothオーディオのみ使用できます。Bluetoothオーディオ機器によっては、本機能は使用できません。

1 **ソース選択画面で** Bluetooth Audio

2 機能 ▶ シャッフル **または** リピート

3 **目的の項目を選択**

※画面はシャッフルの場合です。

(シャッフルの場合)

オフ：
全曲シャッフル、またはグループシャッフルを解除する。

すべて：
Bluetoothオーディオ内の全トラックをランダムに再生する。

グループ：
現在再生中のグループ内の全トラックをランダムに再生する。

(リピートの場合)

1曲：
現在再生中のトラックのみをリピート再生する。

すべて：
Bluetoothオーディオ内の全トラックをリピート再生する。

グループ：
現在再生中のグループ内の全トラックをリピート再生する。

接続するBluetoothオーディオ機器を切り替える

本機に複数のBluetoothオーディオ機器が登録されている場合に、接続する機器を切り替えられます。

1 **ソース選択画面で** Bluetooth Audio

2 接続機器の選択

3 **接続したい機器を選択**

接続機器の切り替えについて詳しくは、P.93をご覧ください。

— MEMO —
- Bluetoothオーディオ再生画面の「使用機器1」、または「使用機器2」をタッチしても、接続する機器を切り替えられます。

各種設定

ナビゲーションに関するさまざまな操作、オーディオの音質、画面表示などをお好みで設定できます。

設定メニュー画面から各種設定を行う

設定メニュー画面では、ナビゲーションやオーディオなどに関するさまざまな設定ができます。
この操作は、設定メニュー画面から行います。

設定メニュー画面

※走行中はタッチできる項目が限定されます。

ナビゲーションの設定をする

1 メニュー ▶ 設定
▶ ナビゲーション

登録データの編集・消去：
自宅、登録地、登録ルートの編集・消去を行う。
- 自宅→ P.18
- 登録地→ P.53
- 登録ルート→ P.55
- 登録の消去→ P.46、P.54、P.55
- SDメモリーカードに登録地をバックアップ→ P.168
- バックアップデータの取り込み → P.168
- SDメモリーカード内バックアップデータの消去→ P.168

地図表示変更：
地図表示モードの切り替えを行う。
→ P.27

アイコンの表示：
地図上に表示されるアイコンに関する設定を行う。→ P.150

軌跡の設定：
地図上に表示される軌跡（車の走行跡）に関する設定を行う。→ P.151

ルートガイドの設定：
ルート案内時の案内表示、音声案内に関する設定を行う。→ P.151

交通情報・VICSの設定：
交通情報・VICS情報に関する設定を行う。
→ P.154

ルート探索条件の設定：
ルート探索条件に関する設定を行う。
→ P.155

その他の設定：
その他、便利な設定を行う。→ P.157

地図上のアイコンの設定をする

1 メニュー ▶ 設定
▶ ナビゲーション

2 アイコンの表示

施設アイコンの表示：
地図上に表示される施設を示すアイコンの種類を選択する。(初期値:カー用品店、ガソリンスタンド、カーディーラー、レンタカーがON)
- 複数のジャンルを選択できます。
- 詳細 をタッチすると、ジャンル内のブランドまで指定できます。

検索アイコンの表示：
周辺検索で探した施設に表示されるアイコンの表示／非表示を切り替える。（初期値：ON）→ P.39

検索アイコンの消去：
検索アイコンの表示を地図上から消去する。→ P.42

交通事故多発地点の表示：
交通事故多発地点アイコン を地図上に表示するかどうかを選択する。（初期値：OFF）
200m以下のスケールで表示されます。市街地図、立体地図では表示されません。

走行軌跡の設定をする

車が走行すると、設定された間隔でポイントが置かれます。これを走行の軌跡情報といいます。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 軌跡の設定

軌跡の表示：
地図上の軌跡マークの表示／非表示を切り替える。（初期値：OFF）→ P.69

軌跡の間隔：
走行軌跡のポイントを置く間隔を設定する。（初期値：200m）
選択した間隔ごとにポイントが置かれます。走行軌跡のポイントは、3,000を超えると古いものから順に消去されます。
軌跡の間隔を長く設定すると、長い距離の軌跡を表示できるようになります。

軌跡の消去：
走行軌跡の記録（本機への保存情報）を消去する。
一度消した走行軌跡は再度表示できません。

— MEMO

- お好みのルートの軌跡情報は、SDカードへ書き出し、保存できます。→ P.84
  また、「Smart Access」サイトへの送信もできます。詳しくは、以下をご覧ください。
  http://www.smart-acs.com/

ルートガイドの設定をする

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 ルートガイドの設定

ガイド音量：
音声案内の音量を、通常走行時と高速走行時とに分けて設定する。（初期値：レベル6）

— お知らせ

- 走行速度が80km/hを超えると、高速走行時の音量設定で案内されます。

ガイド・メッセージ音声：
音声案内などのナビゲーション音声を出力するかどうかを選択する。（初期値：ON）

ルートガイド音声の詳細設定：
音声案内や案内表示に関する詳細設定を行う。

- 交差点ガイド設定→ P.152
  交差点での音声案内および案内表示を設定する。
- レーンガイド
  ルート案内中の通過交差点に対して、レーン規制に注意が必要な場合に音声で案内をする。（初期値：ON）
- 料金ガイド（初期値：ON）
- 合流ガイド（初期値：ON）
- 踏み切りガイド
  踏み切りでの音声案内および案内表示を設定する。（初期値：ガイド中に表示する）

音声ガイド時にオーディオ音量を下げる：
音声案内時、一時的にオーディオの音量を下げる。（初期値：ON）

バラエティボイス：
音声案内の言語を選択する。（初期値：通常音声）→ P.153

拡大図設定：
高速入口と高速分岐において、拡大図を表示するかどうかを、それぞれ選択する。
・高速入口の画像表示（初期値：ON）
→ P.70
・高速分岐の画像表示（初期値：ON）
→ P.71

到着予想時刻の表示切替：
到着予想時刻を表示する地点を設定する。（初期値：目的地）

AV画面での割り込み：
オーディオ画面表示中の、交差点案内の割り込み表示／非表示を切り替える。（初期値：ON）
「ON」に設定すると、オーディオOFFの画面の状態でも、交差点案内は表示されます。

到着予想時刻の速度設定：
到着予想時間を計算するための基準となる速度を設定する。→ P.153

その他の設定：
ルートガイドに関するその他の設定をする。
・一般道の方面看板表示／通過交差点の情報表示
一般道の方面看板表示と通過交差点の情報表示をするかどうかを、それぞれ選択する。（初期値：常時表示する）
・オートリルート
ルート案内中、ルートを外れてしまったときに、自動的に元のルートに戻るように再設定する。（初期値：ON）
→ P.154

交差点ガイドの設定をする

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 ルートガイドの設定

3 ルートガイド音声の詳細設定

4 交差点ガイド設定

交差点ガイド設定画面が表示されます。
現在の設定状態が、画面右側の「ジャストガイド」「交差点ガイド」「事前ガイド」に表示されます。

ジャストガイド：
交差点直前で音声案内を行う。（初期値：ON）

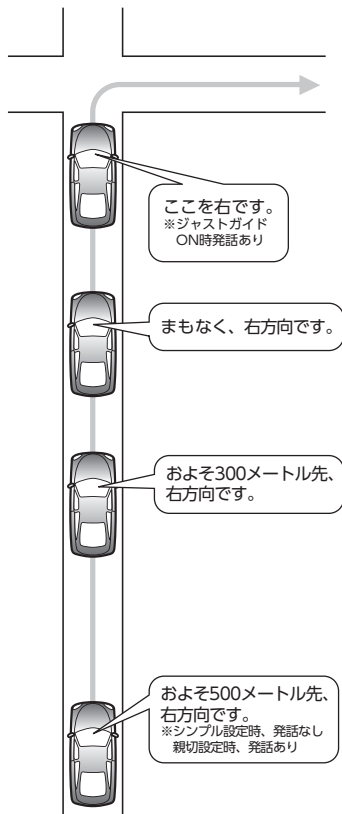
ランドマークガイド：
交差点でのランドマーク表示と、ランドマークを含めた音声案内を行う。（初期値：ON）
例：「ON」の場合
まもなく、○○○（施設名）の手前を右方向です。
「OFF」の場合
まもなく、右方向です。

親切設定：
交差点の500m手前と300m手前で、事前に音声案内を行う。

シンプル設定：
交差点の300m手前で音声案内を行う。

■ ガイド設定と音声案内回数

	シンプル設定 ON	親切設定 ON
ジャストガイド ON	音声案内3回	音声案内4回
ジャストガイド OFF	音声案内2回	音声案内3回

■ 一般道でのガイド位置と発話内容

バラエティボイスの設定をする

音声案内の声を選択できます。

— お知らせ —

• バラエティボイス使用時は、現在地 を長押ししても音声ガイドを行いません。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 ルートガイドの設定

3 バラエティボイス

4 **ボイスを選択**

選択したボイスが設定されます。

取り込み：

バラエティボイスのほかに、新しくボイスを追加する。→ P.169
以下のクラリオン株式会社のeショップ・サイトからダウンロードボイスデータを購入し、ダウンロードしてください。
http://ec.clarion.com

消去：

SDカードから取り込んだダウンロードボイスデータを消去する。

到着予想時刻の計算基準速度を設定する

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 ルートガイドの設定

3 到着予想時刻の速度設定

4 **各設定の ＋ または －**

到着予想時刻の計算基準となる速度が設定されます。（初期値：自動計算）

自動計算：

統計交通情報などを考慮して、自動で速度を設定する。
この設定がONのときは、下記、道路の種類ごとの速度設定は考慮されません。

高速道路：

高速道路走行時の速度を5 ～ 120km/hに設定する。

その他有料道路：

有料道路走行時の速度を5 ～ 100km/hに設定する。

国道・都道府県道・主要道：

国道・都道府県道・主要道走行時の速度を5 ～ 60km/hに設定する。

細街路：
細街路走行時の速度を5 ～ 30km/hに設定する。

設定を初期状態に戻す：
それぞれの設定速度を初期値に戻す。

オートリルートについて

オートリルートは、自動的に新しいルートに切り替えて案内を再開する機能です。オートリルート機能を利用しない場合は、「オートリルート」をOFFに設定してください。→ P.152
オートリルートは、以下の場合に行われます。

お車がルートを外れている場合
お車がルートから外れて一定距離以上走行しているときに、自車位置から目的地までのルートを自動的に再設定します。

ルート上を走行中に最適なルートが探索された場合
渋滞や規制など、ルート上の交通情報の変化に対して自動的に最適なルートを設定します。
この探索には以下の設定が必要な場合があります。

- 「リアルタイム交通情報を考慮」が「ON」→ P.157
- 「時間規制道路」が「規制に従う（推奨）」→ P.157

交通情報・VICS情報の設定をする

準 備

- ビーコン情報を利用するには、別売のVICS光・電波ビーコンユニットが必要です。
- DSRC情報を利用するには、別売のDSRCユニットが必要です。

1

2 交通情報・VICSの設定

交通情報のダウンロード設定※1**：**
オンラインを利用して受信する交通情報のダウンロードに関する設定を行う。
→ P.102
- 本設定は「オンライン探索の自動ダウンロード設定」と連動しています。
→ P.156

VICS表示の対象道路：
VICS情報表示の対象となる道路を選択する。（初期値：すべての道路）
設定した内容は、ビーコンVICSやDSRCにも適用されます。

地図上のVICS表示設定：
表示するVICS情報の項目を選択する。
設定した内容は、ビーコンVICSやDSRCにも適用されます。
- 渋滞・混雑（初期値：ON）
- 順調（初期値：OFF）
- 事故・規制情報（初期値：ON）
- 駐車場情報（初期値：ON）
- SA・PAの駐車場情報（初期値：ON）

FM多重情報の受信地域選択：
FM多重情報の受信地域の設定を行う。（初期値：オート選局）
- オート選局 をタッチすると、自車位置から最も適した地域を自動的に受信します。
- 都道府県選択 をタッチすると、都道府県を選択できます。

受信情報の割り込み表示※2**：**
VICS光・電波ビーコンまたはDSRCから受信する図形情報を、画面に割り込み表示させるかどうかを設定する。（初期値：ON）

割り込み表示時間※2**：**
VICS光・電波ビーコンまたはDSRCから受信する図形情報を、画面に割り込み表示させる時間を設定する。（初期値：10秒）

割り込み受信音※3**：**
DSRC情報を受信したとき、受信音を鳴らすかどうかを設定する。（初期値：ON）
緊急情報、注意警戒情報受信時は、設定に関係なく受信音で知らせます。

DSRC情報の自動音声読み上げ※3**：**
DSRC情報のTTS音声データの読み上げを行うかどうかを設定する。（初期値：ON）

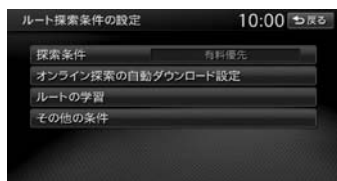
プローブ情報設定※1**：**
オンラインでプローブ情報の送信・消去を行う。（初期値：OFF） → P.102
DSRC送信の設定を行う※3。
(初期値：ON)
ONにすると、走行履歴などを送信します。

※1 オンラインを利用して交通情報を受信する場合の設定です。→ P.100
※2 別売のVICS光・電波ビーコンユニットまたはDSRCユニット接続時のみ設定できます。
※3 別売のDSRCユニット接続時のみ設定できます。

— MEMO
- 本項目で設定された内容は、オンラインを利用して受信した交通情報についても適用されます。

ルート探索条件の設定をする

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 ルート探索条件の設定

探索条件：
目的地を設定してから、ルート探索の優先路を選択する。→ P.155
- 有料（省エネ） または 一般（省エネ） を選択すると、「統計交通情報を考慮」が自動的にONになります。→ P.157

オンライン探索の自動ダウンロード設定：
オンライン探索のダウンロードに関する設定を行う。→ P.156
オンラインを利用して交通情報を受信する場合の設定です。→ P.100

— MEMO
- 本設定は「交通情報のダウンロード設定」と連動しています。→ P.154

ルートの学習：
ルートの学習に関する設定を行う。
→ P.156

その他の条件：
その他の探索条件を設定する。→ P.157

探索条件の設定をする

ルート探索時の優先路を設定します。
表示される探索条件は、「省エネルートを考慮」のON/OFFによって異なります。→ P.157

— MEMO
- 「省エネルートを考慮」をONにすると、ルート探索にかかる時間が長くなる場合があります。

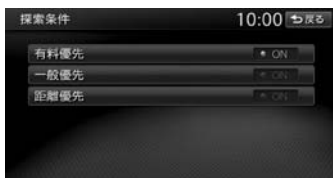
1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 ルート探索条件の設定

3 探索条件

「省エネルートを考慮」ONの場合

「省エネルートを考慮」OFFの場合

各種設定

有料優先：
有料道路を優先的に使用する。
目的地までの所要時間が短くなるルートです。

有料（省エネ）※：
有料道路を優先的に使用する。
目的地までの燃料消費量が少なくなるルートです。

一般優先：
一般道路を優先的に使用する。
目的地までの所要時間が短くなるルートです。

一般（省エネ）※：
一般道路を優先的に使用する。
目的地までの燃料消費量が少なくなるルートです。

距離優先：
一般道路を優先的に使用する。
目的地までの距離が短くなるルートです。

※「省エネルートを考慮」ONの場合のみ表示されます。

ルートが設定されているときは、選択した道路を優先して、ルートを再探索します。

オンライン探索のダウンロード条件を設定する

オンラインを利用して交通情報を受信するときの設定を行います。→ P.101

■ ルート案内時の交通情報取得を設定する

ルート案内の開始時に交通情報を自動で取得するかどうかを設定します。（初期値：ON）

1. メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション
2. ルート探索条件の設定
3. オンライン探索の自動ダウンロード設定
4. 行き先設定時にダウンロード

— お知らせ

- この設定が「ON」のときも、以下の場合は交通情報が自動で受信されません。
  - 迂回路探索 からルートを再探索した場合
  - お車がルートを外れた、またはルート上に規制が表れた場合のオートリルート時

■ 交通情報の受信間隔を設定する

交通情報を自動で取得する場合に、何分ごとに受信するかを設定します。（初期値：30分ごとにダウンロード）

1. メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション
2. ルート探索条件の設定
3. オンライン探索の自動ダウンロード設定
4. ダウンロード時間の間隔
5. **受信時間を選択**

ルートの学習の設定をする

自宅から一定範囲（半径約3km）の走行履歴を考慮するかどうかを設定します。何度も走行した道路ほどルートに採用されやすくなります。

準 備

●自宅を登録する→ P.18

1. メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション
2. ルート探索条件の設定
3. ルートの学習 ▶ 学習したルートを考慮

学習したルートをリセット：
ルートの学習をリセットする。
地図データを更新した場合も、学習内容はいったんリセットされ、再び学習が行われます。

— お知らせ
- 以下の探索条件を設定した場合、ルート探索時に学習内容は考慮されません。
  - 有料(省エネ)
  - 一般(省エネ)

— お知らせ
- ルートの学習は、走行履歴を使用していますが、お客様が想定される結果と合わない場合があります。

その他の探索条件を設定する

ルート案内に関するいろいろな探索条件が選択できます。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 ルート探索条件の設定

3 その他の条件

時間規制道路：
時間規制道路の時間規制を考慮するかどうかを選択する。（初期値:規制に従う（推奨））

冬季通行止め：
冬季通行規制を考慮するかどうかを選択する。（初期値：規制に従う（推奨））

フェリー航路を使う：
フェリー航路を使用するかどうかを選択する。（初期値：OFF）

統計交通情報を考慮：
統計交通情報を考慮するかどうかを選択する。（初期値：ON）
統計交通情報とは、過去の1年分のVICS情報から、曜日、時間により分類し、統計処理したデータです。

— お知らせ
- 「探索条件」で「有料（省エネ）」、または「一般（省エネ）」設定時は自動的にONになります。→ P.155
  選択することはできません。

リアルタイム交通情報を考慮：
オンラインを利用して受信した交通情報や、FM VICS情報、ビーコンVICS情報などの交通情報を考慮するかどうかを選択する。（初期値：ON）

スマートICを考慮：
スマートICを出入口として考慮するかどうかを選択する。（初期値：OFF）
- 設定をONにすると、ETCユニットまたはDSRCユニットの接続、ETCカードの挿入の有無にかかわらず、スマートICを利用する経路を設定します。

省エネルートを考慮：
省エネルートを考慮するかどうかを選択する。（初期値：ON）

— お知らせ
- 設定をONにすると、ルート探索にかかる時間が長くなる場合があります。

その他のナビゲーション設定をする

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 その他の設定

現在地名称プレート表示：
地図画面で、マルチインフォメーションキーを表示するかどうかを選択する。（初期値：ON）→ P.23

各種設定

スクロール地点情報表示：
スクロール先の緯度・経度、マップコードの表示／非表示、また、スクロール中にカーソルをアイコンに合わせた場合の情報の表示／非表示を切り替える。（初期値：すべてON）
- 登録地アイコン情報
- VICSアイコン情報（2D地図のみ）
- 行き先アイコン情報
- 緯度・経度情報
- マップコード

現在地修正：
自車位置を修正する。→ P.158

センサーの学習リセット：
距離係数と3Dセンサーの学習記録を初期化（リセット）する。

MEMO
- タイヤ交換時や、タイヤチェーン着脱時などに学習記録を初期化すると、学習時間が短くなります。→ P.192

接続チェック：
各機器と本機との接続状況を確認する。接続が確認されると、リスト画面に OK が表示されます。また、GPS受信状態も確認できます。→ P.85

コントロールバー自動消し：
地図上のコントロールバーの表示を自動的に非表示にするかどうかを選択する。（初期値：OFF）

自車位置を修正する

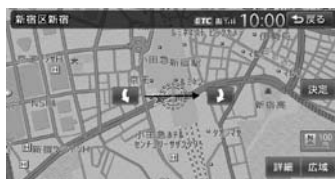
1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 その他の設定

3 現在地修正

4 **正しい自車位置に移動**→ P.33

5 **場所を確認** ▶ 決定

6 ⤹ **または** ⤸ ▶ 決定

自車位置が修正され、現在地地図画面に戻ります。

言語の選択をする

画面を選択した言語で表示したり、選択した言語で音声案内を行います。

1 メニュー ▶ 設定

2 言語選択

Text：
画面を選択した言語で表示する。（初期値：Japanese）

お知らせ
- 地図画面表示、目的地検索の施設リスト、オーディオ画面の情報表示など一部の表示は言語切り替えの対象となりません。

Voice：
音声案内の言語を選択する。（初期値：Japanese）

MEMO
- この設定は、「バラエティボイス」と連動しています。→ P.153

その他の設定をする

初期設定や盗難防止の設定など、各種の設定を行います。

1 メニュー ▶ 設定

2 その他設定

時計：
時計の表示方法を設定する。→ P.13

初期設定：
車両やオートアンテナ、およびiPodの接続方法についての設定を行う。→ P.159

盗難防止設定：
盗難防止に関する設定を行う。→ P.162

販売店：
一部の機能が正常に動かなくなるため使用しないでください。

出荷状態に戻す：
本機のデータや設定を初期値に戻す。→ P.163

カーソル表示：
画面上で選択している項目をハイライト表示する。（初期値：OFF）

オプションカメラモード：
別売のオプションカメラ接続時、カメラ映像の表示方法を自動／手動から選択する。（初期値：手動）→ P.183

初期設定をする

ナビゲーションを使用するために必要な設定をします。

お知らせ

- 走行中は本操作を行えません。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ その他設定

2 初期設定

車両設定：
本機を使用する車両を設定する。
→ P.160
ルート探索条件の「有料（省エネ)」、「一般（省エネ)」に車種情報が反映され、お乗りの車種に最適なルートを探索します。
また、エコロジー機能を利用するとき、より正確な情報を表示できます。
→ P.84

アンテナの種類：
本機を使用する車のアンテナの種類を設定する。（初期値：その他）→ P.160

VTR接続設定：
VTR機器とiPodの接続方法を選択する。（初期値：VTR機器接続）→ P.177

ステアリングスイッチ設定：
ステアリングリモコンスイッチに割り付ける機能を設定する。→ P.161

MEMO

- 車両設定が正しく設定されていないと、高速道路料金が正しく表示されない場合があります。ただし大型車両、特定車両の高速道路料金には対応していません。

車両情報を設定する

ルート探索条件の「有料（省エネ)」、「一般（省エネ)」に車種情報が反映され、お乗りの車種に最適なルートを探索します。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ その他設定

2 初期設定 ▶ 車両設定

3 **各項目を入力**

入力した車種情報が設定されます。

— MEMO —

- 「車両重量」、「排気量」、「モード燃費」は、設定値入力後、決定 をタッチしてください。

ボディタイプ：
設定値を以下の項目から選択する。（初期値：セダン）
セダン／コンパクト／ワンボックス／ステーションワゴン／ RV ／スポーティ

ナンバープレート：
設定値を以下の項目から選択する。（初期値：小型車両（5/7ナンバー））
軽車両（軽自動車）／小型車両（5/7ナンバー）／普通車両（3ナンバー）／大型車両（1ナンバー）／特定車両（8ナンバー）／大型特定車両（8ナンバー）

乗車人数：
設定値を1 ～ 10人から選択する。（初期値：2人）

車両重量：
設定値を700 ～ 2700kgの範囲で入力する。（初期値：1130kg）

排気量：
設定値を0.65 ～ 4.50Lの範囲で入力する。（初期値：1.50L）

モード燃費：
設定値を5.0 ～ 40.0km/Lの範囲で入力する。（初期値：20.0km/L）

— MEMO —

- お客様のお車により適した省エネルートをご案内するために、以下の項目をご確認ください。
  - 車両重量と排気量は、車検証記載の値に沿って設定してください。
  - モード燃費は、お車のカタログなどに記載されているJC08モードの燃費値を設定してください。10・15モードの記載しかない場合は、1割程度少ない値を設定していただくことをおすすめします。
  - ボディタイプは、外見の形状で最も近いと思われるタイプを選択してください。必ずしも車検証記載の「車体の形状」のとおりである必要はありません。

アンテナの種類を設定する

— お知らせ —

- オートアンテナの設定は、オートアンテナ車で、車両のアンテナ端子と本機のオートアンテナ端子を接続している場合に行えます。

— MEMO —

- オートアンテナとは、車載ラジオのスイッチをONにすると、自動的に出てくるアンテナのことです。
- 立体駐車場など、天井の低い場所に入るときは、オートアンテナを下げてください。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ その他設定

2 初期設定

3 アンテナの種類

4 オートアンテナ 、その他 **または** アンテナの上げ下げ

オートアンテナ：
オートアンテナ車の場合に選択する。

その他：
オートアンテナ以外のアンテナを使用する場合に選択する。

アンテナ上げ下げ：
オートアンテナを選択している場合に、アンテナの上げ下げを行う。

ステアリングリモコンを使う

本機能は、ステアリングリモコン搭載車で使用できます。お車のステアリングリモコンのスイッチに機能を割り付けることで、運転中でもステアリングから手を離さずにオーディオの操作ができます。

⚠ 注意

- **走行中、運転の妨げにならないように十分注意してください。**

準 備

●別売のステアリングリモコン対応接続ケーブルが必要です。
ご購入店にご相談のうえお買い求めください。
また、接続は販売店にご依頼ください。詳しくは、同梱の取付説明書をご覧ください。

お知らせ

- 一部のステアリングリモコン搭載車には対応しておりません。

ステアリングスイッチに機能を割り付ける

1 メニュー ▶ 設定 ▶ その他設定

2 初期設定

3 ステアリングスイッチ設定 ▶ OK

4 **割り付けたい機能を選択**

5 **機能を割り付けるステアリングリモコンのスイッチを長押し**

選択した機能がステアリングリモコンのスイッチに割り付けられます。
例：
ステアリングリモコンのボリュームアップスイッチに音量を上げる機能を割り付ける場合
手順4で VOL Up をタッチ後、ステアリングリモコンのボリュームアップスイッチを押し続ける。

設定解除：
機能を割り付けた設定をすべて解除する。

ステアリングリモコンに割り付けられる機能は以下のとおりです。

VOL Up ／ VOL Down：
オーディオ音量を調整する。
スイッチを長押しすることで、連続調整もできます。

SOURCE：
押すたびに、次のソースに切り替える。
FM/AM※→MUSIC CATCHER→SDメモリーカード→Bluetoothオーディオ→DVD/CD→TV→VTR→USB/iPod→FM/AM※
※FM/AMの切り替えはできません。
SOURCEスイッチを長押しすると、オーディオ機能はOFFになります。
オーディオ機能がOFFのときにSOURCEスイッチを押すと、直前に選択していたソースへ切り替わります。

MEMO

- 機器の接続状態や本機の設定により切り替えられない場合は、次のソースへスキップします。

TRACK Up ／ TRACK Down：
ラジオ／テレビの選局、またはDVD/CDの選曲などを行う。

MUTE：
一時的に音声を止める。

盗難防止設定をする

1 メニュー ▶ 設定 ▶ その他設定

2 盗難防止設定

盗難防止イルミ：
エンジンキーがOFFのときに操作パネルのランプを点滅させて、盗難を抑制する。（初期値：OFF）

盗難防止：
盗難時に、セキュリティ機能を作動させる。
いったん本機が取り外された後は、暗証番号を入力しないと起動できないようになります。（初期値：OFF）→ P.162

盗難防止の暗証番号変更：
盗難防止用の暗証番号を変更する。→ P.162

盗難防止用に暗証番号を設定する

— お願い —
- 本機を譲渡・転売されるときは、必ず暗証番号の設定を解除してください。

— お知らせ —
- 暗証番号は、GPSアンテナ接続時のみ設定できます。
- 暗証番号を3回間違えると一定時間入力できなくなります。設定した暗証番号は忘れないように、メモを取るなどして大切に保管しておいてください。
- 電話番号は、暗証番号を忘れてしまったときに必要となります。10桁の固定電話、または11桁の携帯電話の電話番号を入力してください。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ その他設定

2 盗難防止設定 ▶ 盗難防止

3 暗証番号についての注意事項を読む ▶ 確認

4 暗証番号を入力（4桁） ▶ 決定

5 電話番号入力についての注意事項を読む ▶ 確認

6 電話番号を入力 ▶ 決定
メッセージが表示され、暗証番号と電話番号が保存されます。電話番号は、暗証番号を忘れてしまったときに必要になります。

— MEMO —
- 盗難防止設定を解除する場合は、盗難防止 をタッチして暗証番号を入力してください。

暗証番号を変更する

— お知らせ —
- 電話番号は、暗証番号を忘れてしまったときに必要となります。10桁の固定電話、または11桁の携帯電話の電話番号を入力してください。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ その他設定

2 盗難防止設定 ▶ 盗難防止の暗証番号変更

3 暗証番号を入力 ▶ 決定

4 新しい暗証番号を入力 ▶ 決定

5 電話番号入力についての注意事項を読む ▶ 確認

6 電話番号を入力 ▶ 決定

暗証番号を忘れてしまったら…

暗証番号を忘れてしまった場合は、以下のことを行ってください。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ その他設定

2 盗難防止設定 ▶ 盗難防止

3 SDカードをセット ▶ コード発行

4 **SDカードを取り出し、「暗証番号照会申込書」を添付して、クラリオン株式会社お客様相談室宛に郵送→ P.231**

「暗証番号照会申込書」は、クラリオン株式会社ホームページ（http://www.clarion.com/jp/ja/support/password）よりダウンロードしてプリントアウトするか、またはお客様相談室に請求してください。
「暗証番号照会申込書」には、必ず暗証番号設定時に入力した電話番号をご記入ください。未記入、あるいは間違っている場合は、暗証番号のご通知はできません。
本人確認のため、「暗証番号照会申込書」には以下の事項を必ず記入してください。

・暗証番号設定時に入力した電話番号
・自宅登録している場所（自宅住所や駐車場住所など）
・解除コードの送付先（お客様の氏名、住所、電話番号）

出荷状態に戻す

各種データの消去や設定の初期化を行います。

お願い
- 本機を譲渡・転売するときは、必ずすべてのデータを消去してください。→ P.232

お知らせ
- 本操作では、SDカード内のデータも初期化されます。操作中は、SDカードを抜いたり、本機の電源を切らないでください。
- ミュージックキャッチャーの録音データは消去されません。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ その他設定

2 出荷状態に戻す

3 **項目を選択** ▶ はい

MEMO
- 「登録地情報の消去」を行うと、自宅情報も消去されます。

オーディオの音質を設定する

準備
●オーディオをONにします。→ P.111

MEMO
- シンプルメニューからも同様の操作が行えます。→ P.11

1 メニュー ▶ 設定 ▶ オーディオ

Virtual Stage Enhancer：
ボーカル成分とサラウンド成分を抽出し調整することで、臨場感のあるサラウンドサウンドを実現する。（初期値：LOW）
・Vocal Image Control
ボーカルの音量バランスを調整することで、ボーカルの音像を前後左右に移動する。（初期値：0）

Balance/Fader：
前後左右のスピーカーの音量バランスを調整する。（初期値：0）→ P.164

グラフィックEQ：
あらかじめ設定された音質効果メモリーからお好みの音質を選択する。（初期値：Flat）→ P.164
音質効果メモリーを調整することもできます。

〈ユーザーカスタマイズ〉：
音質効果メモリーを作成して保存する。→ P.165

Loudness：
音量の大きさに合わせて、高音と低音を強調する。（初期値：3）

Sound Restorer：
圧縮オーディオに対して高音域を補完することで、圧縮前の原音に音質を近づける。（初期値：LOW）

各種設定

車速連動ボリューム：
加速すると音量が自動で上昇し、減速すると音量が自動で下降するように調整する。（初期値：OFF）
レベルの数値が大きいほど、音量の上がる幅が大きくなります。

Virtual Bass：
低音域の倍音成分を付加することで重低音を増強し、豊かな低音再生を可能とする。（初期値：LOW）

Volume Smoother：
再生ソースによる音量レベル差や、テレビの番組とCMの音量レベル差、映画のシーンごとの音量レベル差などを検知し、音量レベルを自動調整する。（初期値：OFF）→ P.165

Intelligent Tune：
Virtual Stage Enhancer、Vocal Image Control、Sound Restorer、Virtual Bass、Volume Smootherを設定する。（初期値：OFF）
ONにするとそれぞれ設定を変更できます。

その他設定：
以下の設定を行う。
・録音設定→ P.134
・スピーカー設定→ P.166
・オーディオ設定の初期化→ P.166

ボーカルの音量バランスとサラウンドサウンドを調整する

Virtual Stage Enhancerは、ステレオ音源からボーカル成分とサラウンド成分を抽出し、フロント・リアスピーカーにバランス良く振り分けることで、臨場感のあるサラウンドサウンドになるよう調整します。
Vocal Image Controlは、ステレオ音源の中央に定位するボーカルや主要な楽器などの成分の音量バランスを調整します。スピーカーの構成や乗車人数などに応じて、ボーカルの左右のバランスや奥行き感を調整してください。

— お知らせ
• Virtual Stage EnhancerがOFF以外の場合は、Vocal Image Controlは「0」になり変更できません。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ オーディオ

2 Intelligent Tune （ONになっていることを確認）

3 Virtual Stage Enhancer

4 ＋、－ をタッチして設定

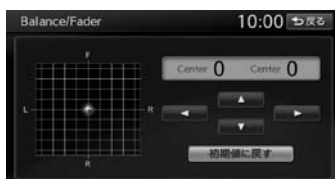
Vocal Image Control：
ボーカルの音量バランスを調整する。
初期値に戻す をタッチすると、Vocal Image Controlが初期値に戻ります。

スピーカーの音量バランスを調整する

Balance/Faderは、全体の音量バランスを調整します。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ オーディオ

2 Balance/Fader

3 ▲、▼、◀、▶ をタッチして設定

初期値に戻す：
音量バランスを初期値に戻す。

音質効果メモリーを選んで設定する

お好みの音質を選んで設定できます。

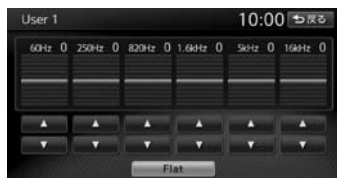
1 メニュー ▶ 設定 ▶ オーディオ

2 グラフィックEQ

3 音質を選択

Bass.B：重低音の増強
High.B：中高域の増強
Acoustic：中域（人の声）の増強
Impact：低域と高域の増強
Smooth：しっとりと落ち着いた感じ
Flat：原音、EQをOFF

お好みの音質効果を設定する

1 メニュー ▶ 設定 ▶ オーディオ
2 グラフィックEQ
3 User 1 、User 2 、または User 3
4 調整する
5 音質効果を設定

▲、▼：
低音、中音、高音それぞれの帯域の強弱を調整する。
Flat：
各帯域の設定を「0」に戻す。

— MEMO
- 次回からは手順3で同じ設定を呼び出せます。

Volume Smootherを調整する

■ Volume Smootherとは

Volume Smootherは、あらゆる音楽ソースやシーンにおける音量レベル差を自動調整し、音量補正を行う機能です。Volume SmootherをONにすると、オーディオ信号の聴感上の音量レベルを常時モニター、調整します。その結果、音量レベル差を一定の範囲に抑えて視聴できます。音量レベル差は以下のようなケースで起こります。

- ●CDを聴いているときとラジオを聴いているときの音量レベル差
- ●TVを見ているときの番組とCMの音量レベル差、または番組ごとの音量レベル差
- ●DVDなどで映画を見ているときの爆発シーンなど大きな音量のシーンと、静かなシーンとの音量レベル差

Volume SmootherをONにすると、これらのケースでも音量操作をする必要がありません。各ソースを聴こえやすい音量レベルで視聴できます。

■ Volume Smootherのレベルを調整する

Volume Smootherのレベルを調整することで、「音量補正」の効果を変えられます。「LOW」→「MID」→「HIGH」の順で、音量補正の効果が高くなります。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ オーディオ
2 Intelligent Tune **（ONになっていることを確認）**
3 Volume Smoother
4 ＋ 、－ **をタッチして設定**
Volume Smootherのレベルが調整されます。

— MEMO
- テレビやDVDなど、音量レベル差のあるソースを視聴するときは、「MID」または「HIGH」の設定をおすすめします。
- Volume Smootherは、映像ソース（テレビ、DVD）とその他のソースで、それぞれ設定できます。ソースを切り替えると、Volume Smootherも各設定値に切り替わります。

フィルター調整をする

使用するスピーカーに合わせてフィルター周波数を選択します。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ オーディオ
2 その他設定
3 スピーカー設定
4 ＋ または －

フロント/リアHPF：
フロント／リアスピーカー用ハイパスフィルターのカットオフ周波数を選択する。（初期値：スルー）

サブウーファー用LPF：
サブウーファー用ローパスフィルターのカットオフ周波数を選択する。（初期値：120Hz）

サブウーファー出力：
接続されたウーファーのゲインレベルを調整する。（初期値：0）

— MEMO
- サブウーファーを接続していなくても、「サブウーファー用LPF」、「サブウーファー出力」は表示されます。

オーディオ設定を初期値に戻す

すべてのオーディオ設定値のほか、ガイド音量、電話の音量、各オーディオソースの音量を初期値に戻します。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ オーディオ
2 その他設定
3 オーディオ設定の初期化
4 はい

画面の設定をする

昼画面と夜画面を切り替える

昼間にヘッドライトを点灯させていて、画面が見づらい場合などは、手動で昼画面に切り替えると画面が見やすくなります。

— MEMO
- スモールランプを点灯させると、自動的に夜画面に切り替わります。

1 メニュー
2 昼／夜
タッチするたびに、昼画面と夜画面が切り替わります。

ナビゲーション画面の画質を調整する

1 メニュー ▶ 設定 ▶ 画質調整
2 地図・メニュー画面

iPhone画面：
別売のケーブルを接続してスマートフォン連携を行っている時に、アプリケーション画面の画質を調整する。→ P.145

3 明るさ
4 ＋ または －
5 戻る
調整した画質に設定されます。

— MEMO
- 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。
- オーディオ映像画面（映像ソース間で共通）、カメラ画面の画質調整については、各ページの説明をご覧ください。

目的地メニュー画面をカスタマイズする

目的地メニュー画面のキーの順序を変更できます。
選択した項目を、目的地メニューの大きなキーとして割り当てます。

— お知らせ
- メニュー表示を日本語以外の言語に設定しているときは、本操作は行えません。

1 メニュー ▶ 目的地

2 ⇄

3 選択解除

4 **項目を3箇所選択**

初期に戻す：
初期設定値（名称、電話番号、住所）に戻す。

3項目を選択しないと、決定 は表示されません。

5 決定

選択した項目が、目的地メニュー画面の大きなキーに表示されます。

オープニング画面の設定をする

本機を起動したときに表示されるオープニング画面を設定します。

準 備

●SDカードを使って、オープニング画面を本機に取り込んでおきます。→ P.169

— お知らせ —

• 走行中は本操作を行えません。

1 メニュー ▶ 設定

2 オープニング画面

3 **オープニング画面を選択** ▶ 決定

消去：
SDカードから取り込んだオープニング画面データを消去する。

オリジナル：
工場出荷時の画像に戻す。

4 はい

選択したオープニング画面が設定されます。

音量を調整する

1 メニュー ▶ 設定

2 音量調整

ガイド音量※1**：**
音声案内の音量を、通常走行時と高速走行時とに分けて設定する。（初期値：レベル6）

— お知らせ —

• 走行速度が80km/hを超えると、高速走行時の音量設定で案内されます。

ガイド・メッセージ音声※1**：**
音声案内などのナビゲーション音声を出力するかどうかを選択する。（初期値：ON）

着信音量※2**：**
電話の着信音量を調整する。（初期値：レベル4）

受話音量※2**：**
電話の受話音量を調整する。（初期値：レベル4）

送話音量※2**：**
電話の送話音量を調整する。（初期値：レベル3）

操作音：
ボタンやタッチキーを操作したときに、ビープ音を鳴らすかどうかを選択する。（初期値：ON）

※1「ルートガイドの設定」と連動しています。→ P.151

※2 電話設定画面の「音量調整」と連動しています。→ P.99

— MEMO —

• 以下の項目は、シンプルメニューからも設定できます。→ P.11
ガイド音量／ガイド・メッセージ音声／操作音

SDカードのデータを編集する

操作はSDカードを本機に挿入した状態で行います。

— お願い —
- 操作中は電源を切らないでください。
- SDカードにアクセスしているときは、本機に関する一切の操作を行わないでください。

登録地点を書き出す

本機の登録リストから登録地点を選択して、SDカードに書き出せます。SDカードに保存できる登録地点の数は、1グループにつき450件、最大10グループ4500件です。

1. メニュー ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード
2. 登録地点
3. バックアップ
4. 登録地点を選択 ▶ 決定
5. グループを選択 ▶ はい

— MEMO —
- 登録地点の書き出しはバックアップデータとして保存されます。
  お気に入りスポットとして書き出す場合
  → P.83

登録地点を取り込む

SDカード内の登録地点を、本機の登録リストに取り込めます。（最大400件）

1. メニュー ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード
2. 登録地点
3. バックアップデータの取り込み
4. グループを選択
5. 登録地点を選択 ▶ 決定

登録地点のグループ名を変更する

SDカード内の登録地点グループの名称を変更できます。

1. メニュー ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード
2. 登録地点
3. SDメモリカード内グループフォルダ名の編集
4. グループを選択
5. 名称を入力 ▶ 決定

登録地点を消去する

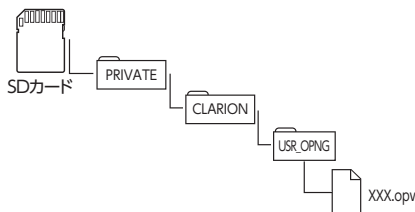
SDカード内の登録地点を消去できます。

1. メニュー ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード
2. 登録地点
3. SDメモリーカード内バックアップデータの消去
4. 登録地点が所属するグループを選択
5. 登録地点を選択 ▶ 決定
6. はい

オープニング画面の取り込み

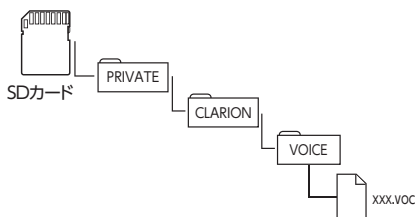
オープニング画面とは、本機起動時に画面に表示される画像のことです。デジタルカメラなどで撮影したお好みの画像ファイルをオープニング画面としてお使いいただけます。→ P.167
本機では、SDカード内のオープニング画面データを取り込めます。（最大20個）

— お知らせ —
- オープニング画面として取り込んだ画像は、ほかの用途には使えません。

オープニング画面は、以下の条件をすべて満たす必要があります。
- ●PC用アプリケーション「ナビマスターS」で作成した画像データを「opv」形式で保存したもの
- ●以下のフォルダ構造でファイルが保存されていること

1. **オープニング画面の画像を保存したSDカードを挿入**→ P.109
2. メニュー ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード
3. オープニング画面の取り込み
4. **オープニング画面を選択** ▶ 決定

ダウンロードボイスデータの取り込み

SDカード内のダウンロードボイスデータを取り込めます。（最大2つ）取り込んだダウンロードボイスデータは本機で使用できます。→ P.153
新しいダウンロードボイスデータは、以下のeショップ·サイトから購入し、ダウンロードできます。
http://ec.clarion.com

ダウンロードボイスデータを取り込むには、以下のフォルダ構成でファイルが保存されている必要があります。

1. メニュー ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード
2. バラエティボイスの取り込み
3. **ボイスを選択** ▶ 決定

— お知らせ —
- すでに取り込んだダウンロードボイスデータは上書きされません。

MYツアーの取り込み

SDカード内のMYツアーデータを1件本機に取り込めます。
クラリオン株式会社Webサイト「Smart Access」では、ご使用のお客様から投稿されたスポット（位置情報）からお好みのものを探し、SDカードに保存できます。これを「MYツアー」と呼びます。
取り込んだMYツアーデータは、ピクチャービュー画面から目的地・経由地として設定できます。→ P.30

— MEMO

- 「Smart Access」のご利用には、会員登録（無料）が必要です。本機をより便利にお使いいただくために、会員登録をおすすめします。「Smart Access」について詳しくは、以下をご覧ください。

  http://www.smart-acs.com

「Smart Access」からMYツアーを取り込むには、特定のフォルダ構成でファイルが保存されている必要があります。→ P.82

1 メニュー ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード

2 MYツアーデータの取り込み

3 **MYツアーを選択** ▶ 決定

TVサーチ情報の取り込み

SDカードとパソコンを使用してTVサーチ情報を更新できます。

準備

以下が必要です。

●インターネットに接続できるパソコン
●PC用アプリケーション「Smart Access Updater」→ P.189

— お願い

- データの取り込み中は、本機に関する一切の操作を行わないでください。データが破壊され、「TVの情報から探す」機能が正しく動作しなくなるおそれがあります。→ P.43

1 **「Smart Access Updater」のTV情報機能を使用し、SDカードへTVサーチ情報を保存**

（TV情報画面上のヘルプボタンをクリックすると、TV情報機能の取扱説明書を参照できます。）

2 メニュー ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード

3 TVサーチ情報の更新 ▶ はい

本機のTVサーチ情報が更新されます。

— お知らせ

- TVサーチ情報は最長で過去3年分を収録しています。データを更新すると、古いデータは消去され、過去3年以内の情報のみになります。消去したくない施設は、あらかじめ地点登録などをしておいてください。

OPTIONボタンの操作方法

サイドビューカメラなど、別売のオプションカメラを接続していないとき、[●] によく使う機能を割り付けられます。[●] を押すと、設定の変更や切り替えをすばやく行えます。

OPTIONボタンに機能を割り付ける

お知らせ

- 別売のカメラを接続しているときは、[●] に機能を割り付けることができません。

1 [●] を長押し

はじめて操作するときは、[●] を短く押してもOPTIONボタン割り付け画面を表示できます。

2 割り付けたい機能を選択

選択した機能が [●] に割り付けられます。

目的地自宅設定：
自宅を目的地として設定する。
あらかじめ自宅を登録しておく必要があります。→ P.18

オーディオ音量ミュート（する／しない）：
オーディオ音量ミュートのON/OFFを切り替える。

時計画面表示（する／しない）：
時計画面の表示／非表示を切り替える。→ P.13

軌跡表示（する／しない）：
地図上の軌跡マークの表示／非表示を切り替える。→ P.151

おでかけ計画表示：
SDカードに保存したお気に入りコースを表示する。→ P.82

次回から [●] を押すと、割り付けた機能が実行されます。

便利な機能（アクセサリー）を使う

さまざまなアクセサリー機器の使いかたについて説明しています。

リモコンを使う（別売）

リモコン操作時のご注意

●本機のリモコン受信部に直射日光を当てない。
操作ができない場合があります。このような場合は、直射日光をさえぎって操作してください。

●リモコンは、直射日光の当たるダッシュボードの上など、高温になる場所に放置しない。
本体の変形や電池の液漏れなど、故障の原因となります。

●以下の場合はリモコンの電池を交換する。
- リモコンの発信距離が短くなった。
- リモコンの操作可能範囲が狭くなった。

●リモコンを1 ヶ月以上使用しないときは、液漏れ防止のため、電池をリモコンから取り出す。
液漏れした場合は、液をよく拭き、電池を交換してください。

電池に関するご注意

●指定された電池以外は使用しない。
電池の破裂や液漏れにより、火災やけが、周囲を汚染する原因となることがあります。

●リモコン内に電池を入れるときは、極性（⊕極と⊖極）に注意し、指示どおりに入れる。
指示どおりに入れないと、電池の破裂や液漏れにより、けがや周囲を汚染する原因となることがあります。

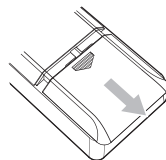
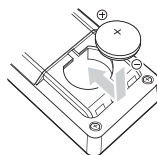
●加熱・分解したり、火・水の中に入れない。
電池の破裂や液漏れにより、火災やけがの原因となることがあります。

●金属製のボールペン・ネックレス・コインなどと一緒に携帯、または保管しない。
電池の破裂や液漏れにより、火災やけがの原因となることがあります。

●使用済みの電池は定められた方法および場所に廃棄する。

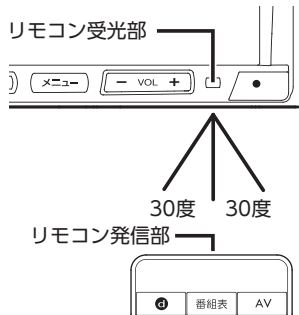
●リモコンに付属の電池は、乳幼児の手の届くところに置かない。
誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

電池を交換する

1 電池カバーを開け、電池を取り出す

2 新しいリチウム電池（CR2032）を⊕表示を上にして入れ、電池カバーを閉める

お願い

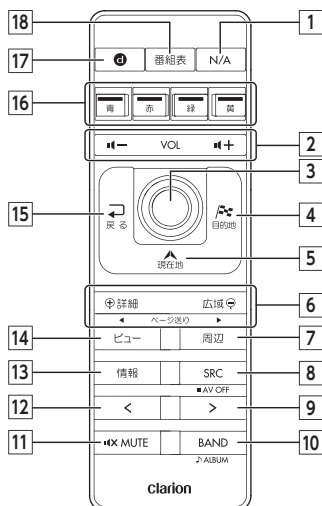
- はじめてリモコンを使用するときは、付属の電池を入れてください。

リモコンの使いかた

1 本機のリモコン受光部に向けて操作する

リモコンの発信部は、上下左右30度の範囲で、リモコン受光部に向けて操作してください。

MEMO

- 本機をリモコンで操作すると、選択された項目がハイライト表示になります。このとき自動的に「カーソル表示」設定がONに切り替わります。→ P.159

リモコンボタンの名称とはたらき

1 **N/A ボタン**
ナビゲーションモード、オーディオモードを切り替えます。

2 **VOL ＋ ボタン／ VOL − ボタン**
音量を調整します。

3 **ジョイスティック 実行 ボタン**
地図ではスクロールや地点登録、メニューでは項目などの選択と決定に使います。
DVDビデオモードのときは、上下左右いずれかの方向に操作すると、ディスクメニューを表示します。

4 **目的地 ボタン**
行き先を設定するための目的地メニューを表示します。

5 **現在地 ボタン**
現在地地図画面を表示します。

6 **詳細 ボタン／ 広域 ボタン**
地図の表示スケールを切り替えます。長押しすると拡大／縮小を細かく切り替えられます。（フリースケール）
（ページ送りには対応していません。）

7 **周辺 ボタン**
周辺検索メニューを表示します。

8 **SRC ボタン**
オーディオモードのソースを切り替えます。
長押しするとオーディオの電源をOFFにします。

9 **> ボタン**
テレビ／ラジオの場合：
　プリセットチャンネルアップ
　長押し時：
　チャンネルのシークアップ
その他のオーディオソース選択時※1：
　トラックアップ
　長押し時：
　トラックの早送り

10 **BAND ボタン**
テレビ、ラジオのバンド切り替えなどを行います。以下のソースではフォルダ／グループなどのUPボタンとして機能します。
CD、SDカード、USBメモリー、ミュージックキャッチャー

11 **MUTE ボタン**
消音（MUTE）します。消音を解除する場合は、再度押します。

12 **< ボタン**
テレビ／ラジオの場合：
　プリセットチャンネルダウン
　長押し時：
　チャンネルのシークダウン
その他のオーディオソース選択時※1：
　トラックダウン
　長押し時：
　トラックの早戻し

13 **情報 ボタン**
VICSなど、各種情報を見るための情報メニューを表示します。

14 **ビュー ボタン**
地図表示変更メニューを表示します。

15 **戻る ボタン**
前の画面に戻ります。

16 **カラーボタン**
地上デジタルTV放送のカラーキーを操作します。

17 **d ボタン**
地上デジタルTV放送のデータ放送を受信します。長押しすると、データ放送操作キー呼び出し画面を表示します。

18 **番組表 ボタン**
EPG（電子番組ガイド）を表示します。

※1 DVDでは、リモコンで操作できないメニューがあります。その場合は、本機のタッチパネルで操作してください。また、VTR選択時には操作無効となります。

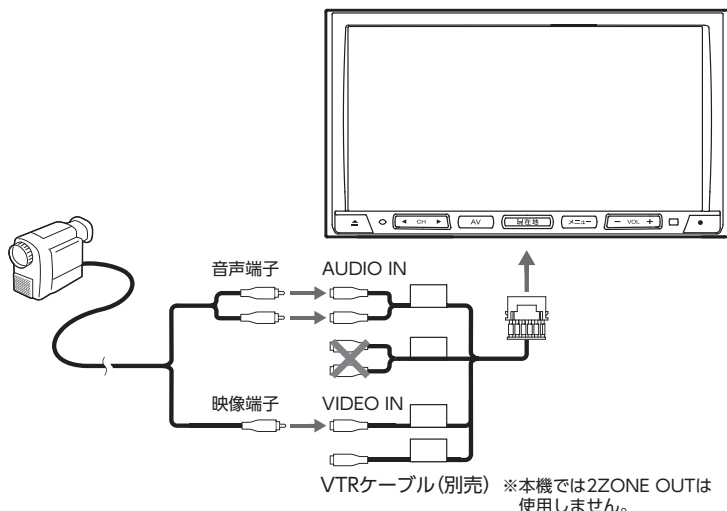
接続したビデオを見る（別売）

別売のVTRケーブル接続時のみVTR機器の視聴ができます。

⚠ 警告

- **運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。**
- **本機は安全のため、停車時のみテレビやビデオの映像を見られます。走行中は、音声だけ聴けます。**

⚠ 注意

- **接続するVTR機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。**

VTR機器を接続する

1 別売のVTRケーブルで、本機とお手持ちのVTR機器を接続する

— お願い

- オーディオ・ビジュアル映像入力端子と音声入力端子を正しく確実に接続してください。

— MEMO

- 接続したVTR機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

2 ソース選択画面で VTR

— お知らせ

- iPodの接続方法を「USB+VTR接続（アナログ音声）」に設定していると、VTR は表示されません。→ P.145
- 別売のケーブルを接続してスマートフォン連携を行っている場合はアプリケーション画面が表示されますが、タッチで操作はできません。→ P.106

3 VTR機器を操作する

VTR映像が再生されます。

VTR画面のサイズを切り替える

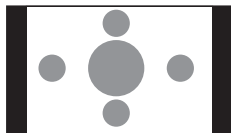
— MEMO

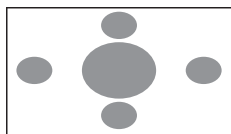
- 画面サイズを切り替えると、オリジナルの映像と見えかたが異なる場合があります。

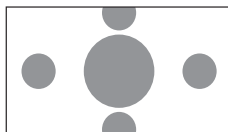
1 **ソース選択画面で** VTR

2 **画面をタッチ ▶** 画面切替

3 **画面の表示サイズを選択**

ノーマル：

映像を縦横の比率を変えずに中央に表示する。
映像と画面のサイズが異なる場合、画面の余った部分が黒く表示されます。

フルワイド：

映像を画面いっぱいに表示する。
映像と画面のサイズが異なる場合、映像の比率が変わって表示されます。

シネマ：

通常のテレビでシネスコサイズやビスタサイズの映像を表示するときに使う。
映像と画面のサイズが異なる場合、映像の横部分と画面の横縦部分の大きさを合わせて表示されます。上下の余った部分が黒く表示されます。

4 戻る

選択したサイズで画面が表示されます。

VTRの画質を調整する

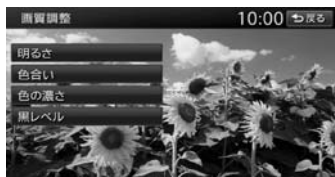
1 **ソース選択画面で** VTR

2 **画面をタッチ ▶** 画質調整

3 **調整する項目を選択**

4 ＋ **または** －

画面の映像を見ながら画質を調整します。

5 戻る

調整した画質に設定されます。

— MEMO

- 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

VTR機器の接続方法を切り替える

VTR機器の接続方法を、「VTR機器接続」または「iPod Video接続」から選択します。（初期値：VTR機器接続）

1. メニュー ▶ 設定 ▶ その他設定
2. 初期設定
3. VTR接続設定
4. **VTRの接続方法を選択**

VTR機器接続：
iPodでオーディオファイルのみ聴く場合、VTR機器を接続するときに選択する。

iPod Video接続：
iPodでビデオファイルを見る場合に選択する。
本設定を行うとソース選択画面の VTR は非表示になり、VTR機器は使用できません。

— MEMO
- 本設定は、iPod機能内の接続方法設定と連動しています。→ P.145

— MEMO
- 接続方法を変更した場合は、iPodの接続を一度解除してから再度接続してください。

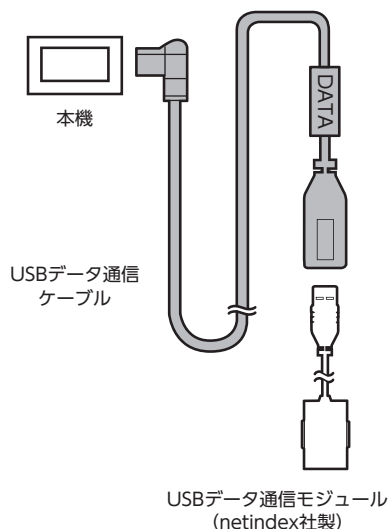
USBデータ通信モジュールを使う（別売）

別売のUSBデータ通信モジュールを接続すると、定額制通信サービスをご利用になれます。
Bluetooth対応携帯電話をハンズフリー、USBデータ通信モジュールをデータ通信用として併用することもできます。
USBデータ通信モジュールを本機に接続するには、別売のUSBデータ通信ケーブルが必要です。

⚠ 注意

- **USBデータ通信モジュールを本機に接続する場合は専門の技術者に依頼してください。誤った取り付けをすると故障の原因になります。**

●USBデータ通信モジュールは、ウィルコム社より入手するnetindex社製を使用しています。
●USBデータ通信モジュールを入手するには、USBデータ通信ケーブル同梱のお申し込みハガキで申し込む必要があります。
●USBデータ通信モジュールの取扱方法については、USBデータ通信モジュールに同梱の説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。
●USBデータ通信モジュールおよび通信に関するお問い合わせはウィルコムカーナビサポートデスクにお問い合わせください。

ウィルコムカーナビサポートデスク
電話番号：0120-440-156
受付時間:9:00 ～ 18:00（土･日･祝日を除く）

はじめてUSBデータ通信モジュールをご利用になる場合は、本機に登録する必要があります。以下の操作にしたがって登録を行ってください。設定後は必ず接続状態の確認を行ってください。

1. 本機のUSB端子部にUSBデータ通信ケーブルを接続する(販売店に依頼してください)

※接続の際は、USBデータ通信ケーブルの説明書をご確認ください。

2. USBデータ通信ケーブルに同梱の申し込みハガキに必要事項を記入し、ウィルコム社に送付する

USBデータ通信モジュールがお手元に届きます。

3.「USBデータ通信モジュールを本機に登録する」の手順にしたがって設定をする → P.178

4.「接続状態を確認する」の手順にしたがって接続の確認作業をする → P.179

USBデータ通信モジュールの動作確認ランプが点滅（点灯）したら接続完了です。

※点滅するランプの場所については、USBデータ通信モジュールに同梱の取扱説明書をご確認ください。

USBデータ通信モジュールを本機に登録する

USBデータ通信モジュールを本機に接続して、登録する必要があります。

1 USBデータ通信ケーブルにUSBデータ通信モジュールを接続する

MEMO

- 本機の拡張用USB端子はデータ通信専用のため、USBメモリーやiPodを接続しても動作しません。

2 メニュー ▶ 設定

3 電話・オンライン

4 オンライン ▶ 接続先の編集

5 接続先を選択

MEMO

- Bluetooth携帯電話を利用する場合は、「接続先1」を携帯電話のプロバイダ、「接続先2」を「WILLCOM USB」に設定すると、切り替えられます。

6 かんたん設定（通信会社を選択）

携帯電話会社のプロバイダリストが表示されます。

お知らせ

- ここで必ず「かんたん設定」を選んでください。「マニュアル設定」では接続できません。

7 WILLCOM USB ▶ 決定

接続状態を確認する

登録が完了したら、以下の操作を行い接続が正しく行われているかを確認してください。

1 メニュー ▶ 情報

2 渋滞情報取得

3 **「渋滞情報取得中」の表示中に、ランプの点滅（点灯）を確認する**

ランプが点滅（点灯）していれば、ハードウェアは正しく接続され、接続先設定も正しく設定されています。

— お知らせ —
- 正しく接続や設定をしても、通信環境により接続できない場合があります。

リア席モニターを使う（別売）

車の後席に別売のリア席モニターを増設すれば、後席で映像をお楽しみいただけます。

準 備

- ●リア席モニターを本機に接続するには、リア席モニターとリア席モニター取付アタッチメントが必要です。

— お願い —
- リア席モニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。

リア席モニターに表示できる映像

リア席モニターに表示できる映像は、以下のとおりです。走行中／停車中に関係なく映像が表示されます。

●DVDビデオ、DVD-VR
●テレビ
●VTR
●iPodビデオ

— お知らせ —
- リア席モニターにコントロールバーなどは表示されません。
- DVD、テレビ、VTR、iPodビデオ以外のソースを選択しても、リア席モニターには何も表示されません。
- 本機の画面でナビゲーション画面を表示中でも、リア席モニターには、再生中の映像が表示されます。

カメラを使う（別売）

リアカメラを使う（別売）

別売のリアカメラを接続すると、車の後方をモニターで見られます。別売のリアカメラは、ご購入店にご相談のうえ、お買い求めください。

⚠ 警告

- **モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。**

⚠ 注意

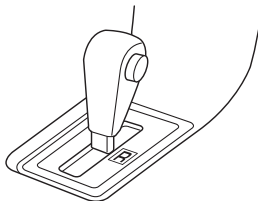
- **リアカメラが映し出す範囲には限界があります。また、リアカメラの画面上に表示されるガイドは、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります（ガイドは直線となります）。**
- **ガイドを表示する場合は、必ずお乗りのお車に合わせたガイドの調整を行ってください。**
- **リアカメラの映像は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。**
- **画質の調整やガイド表示の調整などをするときは、必ず安全なところに停車してから操作を行ってください。**

リアカメラの映像について

●カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
●リアカメラの映像は鏡像です。鏡像とは、車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。
●夜間、または暗所ではリアカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
●カメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。
●カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
●レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませたやわらかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で、乾いた布などで強くこするとレンズカバーに傷が付くことがあります。

リアカメラの映像を表示する

1 エンジンキーをONにする

2 セレクトレバーを R（リバース）にする

リアカメラの映像に切り替わります。
オーディオ関連の画像が表示されているときでも、リアカメラの映像が優先して表示されます。

— MEMO —

- カメラ表示中に操作できるボタンは以下のとおりです。
  - 操作パネルの ◀ 、▶ 、＋ 、－ 、⏏
  - リモコンの上記同機能ボタン
- セレクトレバーを R（リバース）にしているときのみ、ガイドの表示および調整ができます。
- 別売のオプションカメラを同時に接続できます。

モニターの画質を調整する（リアカメラ）

1 **リアカメラ映像表示中に画面をタッチ**

2 画質調整

— MEMO
- 何も操作しないまま約5秒が過ぎると、画質調整 は非表示になります。

3 **調整する項目を選択**

4 **＋ または －**

画面の映像を見ながら画質を調整します。

5 戻る

調整した画質に設定されます。

— MEMO
- 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

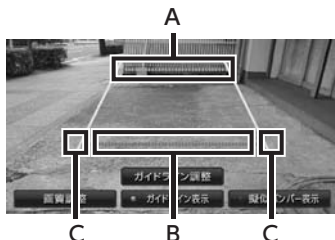
ガイドラインを表示する

1 **リアカメラ映像表示中に画面をタッチ**

2 ガイドライン表示

— MEMO
- 何も操作しないまま約5秒が過ぎると、ガイドライン表示 は非表示になります。

3 確認

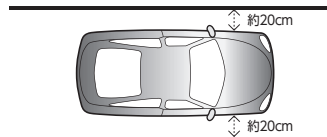
ガイドラインが表示されます。

A：車両後端から約2mの位置を示します。
B：車両後端から約50cmの位置を示します。
C：車幅＋約20cmの目安を示します。

ガイドラインを調整する

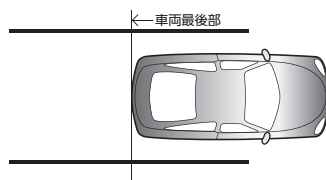
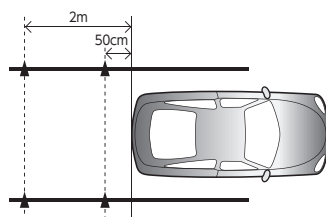
ガイドラインの調整をする場合は、地面に目印を付ける必要があります。ガムテープなど、地面に線を引くための道具をご用意ください。また、必ずお乗りの車両に合わせた調整を行ってください。

⚠ 警告

- **ガイドラインを調整する際には、安全な場所に停車して行ってください。**
- **車を降りて目印を付ける際には、必ずエンジンキーをOFFにしてください。**
- **ガイドラインはあくまで目安です。実際の運転では、必ずご自分で周囲の安全を確認してください。**

1 **車両の幅＋両側約20cmの位置（地面）に、直線の目印を付ける**

— MEMO
- 目印は、ガムテープなどで車両の両側に付けてください。
- 目印は、車両の長さより少し長めに付けてください。

便利な機能（アクセサリー）を使う

2 **車両を約2.5m直進させ、車両最後部に、直線の目印を付ける**

3 **手順2の目印から、50cmおよび2m離れた左右4箇所にマークを付ける**

— MEMO

- 運転席から見やすいように、ガムテープなどでX印を付けることをおすすめします。

4 **ガイドラインを表示****→ P.181**

5 ガイドライン調整

6 **調整したいガイドポイント（4箇所）を選択**

7 ▼、▲、◀、▶

手順3で付けたマークと合わせます。

— MEMO

- ▼、▲、◀、▶ をタッチし続けると、連続してガイドポイントを移動できます。

モニタ映像表示 をOFFにした場合

リアカメラの映像が消えます。

グリッド表示 をONにした場合

グリッド線が表示されます。

8 **手順6、7を繰り返して、すべてのガイドポイントを手順3で付けたマークに合わせる**

9 戻る

設定が保存され、通常のリアカメラの映像が表示されます。

擬似バンパーラインを表示する

リアカメラの取り付け位置によっては、リアカメラ映像にリアバンパーが表示されないことがあります。このような場合、擬似バンパーラインを表示することにより、リアバンパーの位置を擬似的に確認しながら駐車が可能となります。

1 **リアカメラ映像表示中に画面をタッチ**

2 擬似バンパー表示

3 確認

擬似バンパーラインが表示されます。

擬似バンパーラインを調整する

擬似バンパーラインの調整をする場合は、地面に目印を付ける必要があります。ガムテープなど、地面に線を引くための道具をご用意ください。また、必ずお乗りの車両に合わせた調整を行ってください。

⚠ 警告

- **擬似バンパーラインを調整する際には、安全な場所に停車して行ってください。**
- **車を降りて目印を付ける際には、必ずエンジンキーをOFFにしてください。**
- **擬似バンパーラインはあくまで目安です。実際の運転では、必ずご自分で周囲の安全を確認してください。**

1 **車両最後部+20cmの位置（地面）に、直線の目印を付ける**

2 **擬似バンパーラインを表示**

3 擬似バンパー調整

4 ▼ **または** ▲

手順1で付けた目印に合わせて擬似バンパーラインの上下位置を調整します。

5 戻る

設定が保存され、通常のリアカメラの映像が表示されます。

オプションカメラを使う（別売）

サイドビューカメラなどのオプションカメラを接続すると、車の前方やコーナーをモニターで見られます。初期状態では、オプションカメラ映像を表示させたいときに手動で映像を表示するよう設定されています。
停車時または低速走行中に自動的にオプションカメラの映像を表示するよう設定することもできます。

⚠ 警告

- **モニター画面だけを見ながら車を運転することは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。**

⚠ 注意

- **オプションカメラの映像は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。**
- **雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。**
- **画質の調整をするときは、必ず安全なところに停車してから操作を行ってください。**
- **道路端へ幅寄せするときは、直接目で周囲の安全を確認し、ゆっくりとした速度（徐行）で運転してください。**

表示方法を設定する

オプションカメラの映像は、停車時または低速走行中に表示されます。表示方法は、自動または手動から選択できます。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ その他設定

2 オプションカメラモード

3 自動 **または** 手動

自動：
停車時または低速走行中にオプションカメラ映像を自動的に表示する。

手動：
オプションカメラ映像を手動で表示する。

オプションカメラの映像を手動で表示する

停車時または低速走行中に、オプションカメラの映像を手動で表示します。停車時および低速走行時以外のときは、オプションカメラの映像表示を予約できます。

1 停車時または低速走行中に ●

オプションカメラの映像が表示されます。

— MEMO

• オプションカメラモードの設定を「自動」にしている場合やオプションカメラ表示予約時には、画面に CAM が表示されます。

オプションカメラの映像を予約表示する

速度が出ている状態から停車および低速走行になったときに、自動的にオプションカメラの映像を表示することを、「予約する」と呼びます。停車時および低速走行中以外のときに ● を押すと、予約のON/OFFが切り替えられます。

1 停車時および低速走行中以外のときに

オプションカメラ予約表示のON/OFFが切り替わります。

— MEMO

• オプションカメラを予約すると、「速度がカメラ表示条件を満たしていません。表示可能速度になると映像を表示します。」のメッセージが表示されます。

• オプションカメラの予約を解除すると、「予約モードを解除します。」のメッセージが表示されます。

モニターの画質を調整する（オプションカメラ）

1 オプションカメラ映像表示中に画面をタッチ

2 画質調整

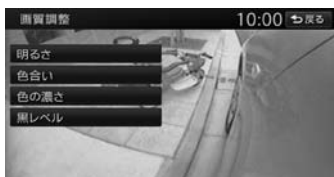
— MEMO

• 何も操作しないまま約5秒が過ぎると、画質調整 は非表示になります。

3 調整する項目を選択

4 ＋ または －

画面の映像を見ながら画質を調整します。

5 戻る

調整した画質に設定されます。

— MEMO

• 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

ナビゲーションを更新する

最新のプログラム／地図データを取り込んで、本機のソフトウェア／地図データを最新版に更新できます。

プログラムを更新する

プログラムの更新には、以下の2種類があります。

●お手持ちのパソコンと地図SDカードを使用して行う
●Bluetooth対応携帯電話、またはUSBデータ通信モジュールを接続してオンラインで行う

プログラムをパソコンと地図SDカードで更新する

お手持ちのパソコンを使用して地図SDカードに最新のプログラムをダウンロードして更新できます。
ダウンロードは、本機の地図SDカードに対して実行します。→ P.190

プログラムをオンラインで更新する

最新のプログラムをオンラインでダウンロードし、インストールすることで、本機のソフトウェアを更新できます。

準 備

●Bluetooth対応携帯電話を本機に登録するか、またはUSBデータ通信モジュールを本機に接続します。→ P.91、P.178
●プロバイダに接続します。→ P.100

— お知らせ

• Bluetoothオーディオを再生中にデータをダウンロードすると、通信開始からダウンロード完了するまでの間、オーディオ音声は出力されません。
• プログラム更新中は、本機の機能をご使用になれません。また、本機の電源を切らないでください。

1 メニュー ▶ 情報 ▶ 本体情報

2 プログラム更新

3 オンラインで更新プログラムを確認

更新可能なプログラムが存在する場合は、プログラムの更新内容が表示されます。

更新プログラムを自動で確認：
自動で更新プログラムの有無を確認するよう設定する。（初期値OFF）
この確認は、以下の条件を満たした場合に行われます。
・プログラムのオンライン更新以外の通信機能使用時
例：交通情報ダウンロード／ WEBサーチ／その他のSmart Access各機能
・手動または自動での更新プログラムの確認が7日間以上実行されていないとき
更新プログラムが存在する場合は、表示されるメッセージにしたがって、手順5の操作を行ってください。

4 ダウンロード

— お知らせ

• 更新可能なプログラムが存在しても、データのサイズなどにより、本機能でダウンロードできない場合があります。その際は、お手持ちのパソコンを使用してダウンロードし、地図SDカードにデータを保存することでプログラムの更新が可能です。
• ダウンロード中、 現在地地図に切替 をタッチすると、現在地地図画面に切り替わります。

5 **（すぐにインストールする場合）**
はい
ダウンロードしたプログラムがインストールされます。
（後でインストールする場合）
後で
プログラムのインストールは保留されます。
インストールを保留したダウンロード済みのプログラムは、以下の方法でインストールできます。
- 本機起動時のインストール確認メッセージで はい をタッチ
- プログラム更新メニューの ダウンロード済みの更新プログラムをインストール をタッチ

地図データを更新する

地図の更新方法について

地図更新には無料更新と有料更新があります。本機の利用開始日登録後は、無料で地図更新ができますのでご利用ください。
利用開始日登録→ P.12
更新処理はお客様所有のパソコンでインターネットに接続して行います。

— MEMO —
- 地図更新の方法や具体的な日程については、クラリオン株式会社ホームページおよび商品カタログもあわせてご確認ください。

■ 無料更新

本機の地図データが無料で最新のものに更新可能です。本機の利用開始日登録後にご利用になれます。
※全国の主要道路の更新ができます。
※市街地図は、無料期間中に1回のみ更新可能です。
※2 ヶ月ごとに最新のデータが配信されます。
※施設情報の一部は2 ヶ月ごとに更新されます。
※毎年4月に全更新データの更新が行えます。

■ 有料更新

無料更新期間終了後は、有料で地図更新を行えます。

地図更新の状況を確認する

地図更新を実行する前に、以下の操作を行って本機の地図データが更新可能かどうかを確認してください。

1. メニュー ▶ 情報 ▶ 本体情報
2. 地図更新情報
3. **地図データの更新状況を確認**

無料地図更新：
利用開始日を登録後、無料地図更新の有効期限を表示する。
「yyyy/mm/ddから○年間有効」と表示されます。
(yyyy/mm/dd＝年月日)

地図更新を行うには

地図更新を行う場合は、本機の地図SDカード挿入口内の地図SDカードを更新します。お手持ちのパソコンを使って、お客様自身で地図更新を行います。

準 備

- ●**パソコン本体**
- ●**本機の地図SDカード挿入口に挿入されている地図SDカード**→ P.8
- ●**PC用アプリケーション「Smart Access Updater」**

※必ず本機に挿入されている地図SDカードを使用してください。市販のSDカードでは動作しません。
※SDカードを読み書きできるパソコン環境が必要です。お使いのパソコンがSDカードに対応していない場合は、市販のUSBカードリーダーなどをご使用ください。

Smart Access Updaterについて

本機のデータを更新する際には、PC用アプリケーション「Smart Access Updater」が必要です。
「Smart Access Updater」は、以下のホームページからダウンロードできます。

http://www.clarion.com/jp/ja/support/download/sd/2012/smart_access_updater/index.html
※Webサイトのアドレスは、都合により変更させていただく場合があります。
「Smart Access Updater」の操作方法は、アプリケーションの提供とあわせてご案内します。

パソコンの推奨環境

OS	Microsoft® Windows® XP Home Edition Professional (SP3 以上、32bit 日本語版)	Microsoft Windows Vista® Home Basic Home Premium Business Ultimate (SP2 以上、32bit 日本語版)	Microsoft Windows 7 Home Premium Professional Ultimate (SP1 以上、32bit / 64bit 日本語版) ※64bit版は32bit互換モード(WOW64)で動作します。
CPU	Intel Pentium/Celeron 1.0GHz 以上を推奨	Intel Pentium/Celeron 1.0GHz 以上を推奨	Intel Pentium/Celeron 2.0GHz 以上を推奨
メモリー	512MB 以上を推奨	1GB 以上を推奨	2GB 以上を推奨
ハードディスク	• 最低 100MB 以上の空き容量(地図データ更新/プログラム更新を行わない場合) • 最低 8GB 以上の空き容量(プログラム更新を行う場合) (容量により、オープニングコンバーターで保存できる画像の枚数は変化します。) • 最低 25GB 以上の空き容量(地図データ更新およびプログラム更新を行う場合)		
インターネット接続環境	ADSL・光ファイバー等の高速接続環境を推奨		
ディスプレイ	解像度 1024×768 ピクセル/表示色24ビットカラー以上を推奨		
SDカード	• 最低 16MB 以上のメディアおよび十分な空き容量(TV情報以外) • 最低 32MB 以上のメディアおよび十分な空き容量(TV情報) • 地図データ更新およびプログラム更新は地図SDカードのみ使用可能です。		
その他	• PC用アプリケーションのダウンロードおよび使用にはインターネット接続が必要です。 • PC用アプリケーションのインストールおよび使用にはシステム管理者(Administrator)権限が必要です。 • SDカードを読み書きできるパソコン環境が必要です。お使いのパソコンがSDカードに対応していない場合は、市販のUSBカードリーダーなどをご使用ください。		

最新の推奨環境は、「Smart Access Updater」のダウンロードページをご確認ください。

プログラム更新／地図データ更新の手順

準備

PC用アプリケーション「Smart Access Updater」をお使いのパソコンにインストールします。→ P.189

お願い

- インターネット使用料金はお客様のご負担となります。

お知らせ

- 地図SDカードを本機から抜いた状態では、本機の機能をご使用になれません。
- データ更新中は、本機の機能をご使用になれません。また、本機の電源を切らないでください。

MEMO

- データのダウンロード時間や更新処理時間は、お客様のインターネット回線やパソコンによって異なります。

1 ⏏

操作パネルの開閉を行う画面が表示されます。

2 パネル開／閉

操作パネルが開きます。

3 **エンジンキーをOFFにする**

4 **地図SDカード挿入口のフタ（「MAP DATA」のフタ）を開ける**

5 **地図SDカードを取り出し、パソコンにセット**

6 **Smart Access Updaterを起動**

画面の指示にしたがって処理を進めます。

7 **地図SDカードを本機の地図SDカード挿入口に差し込み、「MAP DATA」のフタを閉じる**

MEMO

- 「MAP DATA」のフタが正しく閉じられているか再度確認してください。

8 **エンジンキーをONにする**

9 パネル開／閉

操作パネルが閉じます。
プログラム更新の場合は、本機が起動して、しばらくすると更新がはじまります。地図更新の場合、本機が起動したら処理は終了です。手順10を行う必要はありません。

10 **更新終了後、エンジンキーをOFFにして、再度ONにする**

困ったときに…

ナビゲーション・オーディオの操作方法に困ったとき、エラーメッセージが表示されたときなどの対処方法について説明しています。

自車位置がずれていたら

本機は、車が走行することにより、そのデータから車が地図を進む距離や方向を学習して認識します。（距離係数／学習機能）そのため、ある程度の走行データが必要です。
走行状態やGPS衛星の状態により、自車位置マークが実際の車の位置とずれることがありますが、故障ではありません。
そのまましばらく走行すると、自動的に現在位置を補正します。

自車位置のずれを修正するには

はじめて使用するときやセンサーの学習リセットの操作を行った後は、走行データが少ないために誤差を生じます。→ P.192
GPS衛星からの電波が良好に受信できる見通しの良い道（国道、主要地方道路、主要一般道路）をしばらく走行すると、自車位置マークが地図上を正確に進むようになります。次の方法により短時間での学習が可能です。

GPSが受信できる、下記のような道で、約5分間、法定内のスピードで定速走行を行う。

- **上空に障害物がない道**
- **周辺に高いビルがない道**

3Dセンサーによる上下道路判定について

自車が都市高速などに乗った場合（降りた場合）などに、車の高さの変動や道路の傾斜を3Dセンサーで検出し、上下道路判定による自車位置測位を行います。

- 上下道路判定は、3Dセンサー並びに高さデータを収録している地図データからの情報で行います。高さデータを収録している道路は、都市高速道路（首都・名古屋・阪神・広島・福岡・北九州）、東京外環自動車道などです。
- 高さデータ収録地域においても、道路形状や走行状況により、正しく上下移動判定ができない場合があります。（道路の傾斜が緩やかで高低差が少ない、ランプの長さが短い、センサーの学習が不十分な場合など）
- 本機を別の車に載せ替えたときや、取り付け位置・角度を変更した場合は、必ずセンサーの学習記録を初期化してください。→ P.158

自車位置の精度について

- はじめてお使いになるときや長時間お使いにならなかったとき、または通常使用中等に、現在地を測位するまで5分〜 15分ぐらいかかることがあります。
- GPS情報は、受信状態や時間帯、米国国防総省による故意の衛星精度の低下により測位誤差が大きくなることがあります。
  その他にもGPSアンテナの近くで携帯電話などの無線機器を使った場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星からの電波を受信できなくなることがあります。

以下のような走行環境やGPS衛星の状態により、自車位置を正しく表示しない場合があります。

- Y字路のように徐々に開いていく道路を走行している。
- ループ橋など、連続して大きく旋回する道路を走行している。
- 直線および緩やかなカーブを長距離走行している。
- 峠道など、つづら折れの道路を走行している。
- 碁盤目状道路を走行している。
- 高速道と側道のように、近接した似た方位の道路を走行している。
- 駐車場や新設道路など地図上にない道路や、実際の道路形状と異なる道路を走行している。
- エンジンを切った状態でターンテーブルで旋回したり、フェリー・車両運搬車などでの移動後。
- 雪道、濡れた路面、砂利道など、タイヤがスリップしやすい道路を走行している。
- 坂道での車庫入れやバンクした道路を走行している。
- タイヤチェーンを装着したり、タイヤ交換をした後。
- 長時間連続で走行している。
- ホイールスピンなど乱暴な走行をしている。
- 自車位置の移動時に車両の方位が合っていない。

10km程度走行しても正しい位置に戻らない場合は、以下の操作をしてください。

1. **「現在地修正」** → P.158
2. **「センサーの学習リセット」** → P.158
3. **「自車位置のずれを修正するには」** → P.192

故障かなと思ったら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

ナビゲーション関連

	症　　状	処　　置
表示関連	GPS受信の表示が出ない。	アンテナケーブルを接続してください。（取付説明書参照）
		障害物などがなくなれば受信できます。
		衛星の配置が悪く、測位できない場合もあります。
		走行することにより表示されるようになります。
	画面が表示されない。	画面消しの状態になっている場合は、メニュー や 現在地 を押すと解除されます。→ P.13
		ヒューズが切れている場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
	地図画面に表示されるアイコンをOFFまたは削除したい。	↓が付いているアイコンは検索アイコンです。表示をOFFにしてください。→ P.151
		表示は交通事故多発地点のアイコンです。表示をOFFにしてください。→ P.151
	電源投入後、画面が見づらい。	液晶の特性によるもので、故障ではありません。しばらくそのままでお待ちください。
	地図スクロールが遅い。目的地までのルート表示が遅い。	動画再生を行っている場合、再生を終了してください。
	マルチメーターの情報が実際の走行状態と異なる。	故障ではありません。表示された情報をリセットしてください。→ P.23
ルート案内音声関連	ルート誘導の音声が小さい（または大きい）。	音量を調整してください。→ P.167
	音声案内が出ない。	ガイド・メッセージ音声を「ON」にしてください。→ P.167
	ルート案内の音声が、交差点に入ってから聞こえる。（発声タイミングが遅い）	「ジャストガイド」設定をOFFにしてください。→ P.152
		動画再生を行っている場合、再生を終了してください。
操作関連	メニューが操作できない。	安全な場所に停車させ、サイドブレーキをかけてください。

<table>
<tr><th colspan="2">症　　状</th><th>処　　置</th></tr>
<tr><td colspan="3">●ナビゲーション関連</td></tr>
<tr><td rowspan="4">自車位置精度関連</td><td rowspan="4">自車位置が正しく表示されない。
GPSマークが表示されない。</td><td>自車位置を正しく表示するのに時間がかかる場合があります。
GPS受信可能な状態で見通しの良い道路をしばらく走行すると自車位置が修正されます。</td></tr>
<tr><td>「センサーの学習リセット」を行ってください。
→ P.158</td></tr>
<tr><td>接続チェックを行って、接続を確認してください。
→ P.158</td></tr>
<tr><td>電装品を本機およびGPSアンテナから十分離してご使用ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">VICS関連</td><td rowspan="2">FM VICSが受信されない。</td><td>オート選局の設定を「ON」にしてください。→ P.154</td></tr>
<tr><td>手動で放送局を選んでください。→ P.112</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ビーコンの簡易図形が割り込み表示されない。</td><td>特定の場所で表示されない場合、VICSセンターにお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>地図表示画面かオーディオモードの画面で割り込みが行われるかご確認ください。</td></tr>
<tr><td>情報メニューに
ビーコン情報 が表示されない。</td><td>別売のVICS光・電波ビーコンユニットを接続してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ETC関連</td><td>情報メニューに
ETC情報 が表示されない。</td><td>別売のETCユニット、またはDSRCユニットを接続してください。</td></tr>
<tr><td>画面に「ETCエラーコード：XX」と表示される。(XXは01から07、および09から11)</td><td>詳しくはETCユニットの取扱説明書をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>DSRC関連</td><td>画面に「エラーコード04」と表示される。</td><td>アンテナユニットのケーブルやカーナビ接続ケーブルの接続を確認してください。</td></tr>
</table>

オーディオ関連

	症　状	処　置
ラジオ	雑音が多い。	正しい周波数に合わせてください。→ P.112
	自動で選局できない。	手動で放送局を選んでください。→ P.112
CD／DVD／MP3／WMA／AAC	ディスクを挿入しても音が出ない、またはディスクがすぐ出てしまう。	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください。
		CD-R/RWで記録されたCDやコピーガード付きのCDは使用できない場合があります。お使いのCDをもう一度ご確認ください。
		ディスクをファイナライズしてから使用してください。
		MIX MODE CDは再生できませんのでディスクを取り出してください。
		8cmディスクは再生できませんのでディスクを取り出してください。
	イジェクトボタンを押してもディスクが取り出せない。	販売店にご相談ください。
	DVD-VRで記録した静止画の切り替えに時間がかかる。	DVD-VRで記録した静止画の切り替えには時間がかかります。
	音が飛ぶ。 ノイズなどが入る。	ディスクが汚れている可能性があります。ディスクをやわらかい布で拭いてください。
		ディスクを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後、音が悪い。	内部のレンズに水滴が付いている可能性があります。電源を入れた状態にして、約1時間乾燥させてください。
	ディスクが挿入できない。	すでにセットされているディスクを取り出してから、聴きたいディスクを挿入してください。→ P.109
	MP3/WMA/AACの音が飛ぶ。	パソコンなどで再生し、音飛びしないか確認してください。
	MP3/WMA/AACの音切れがする／音が飛ぶ。	ほかのエンコードソフトをお試しください。
	MP3/WMA/AACの音が悪い。	サンプリング周波数、ビットレートを上げて録音をお試しください。→ P.219

	症　状	処　置
●オーディオ関連		
CD／DVD／MP3／WMA／AAC	再生できないファイルやフォルダがある。	音楽データ以外のデータ部分を消去してファイルを作ってください。 以下の場合は音楽データの再生はできません。 • 8階層以上の深いフォルダに曲が収録されている場合 • フォルダが最大255（ルート含む）、ファイルが最大512（1フォルダは最大255ファイルまで）を超えた場合 また、TAG情報の中に画像やテキストファイルなど音楽データ以外の大きなデータが入っていると、ファイルが再生できない場合があります。
	正しく表示されない。	ISO9660-LV1、またはLV2に書き込み設定を変えて書き込みを行ってください。
	CD Extraに記録したMP3/WMA/AACが再生できない。	CD Extraの第1セッションにMP3/WMA/AACファイルが書き込まれたCDを再生してください。
	「ディスクが読めません」の画面が表示される。	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください。
iPod	リストが表示されない。	リスト表示件数には上限があるため、リストが表示されない場合があります。故障ではありません。
	iPodの操作ができない。	USB接続を解除し、iPod本体を再生状態にし、再度接続を行ってください。
		USB接続を解除し、iPod本体のリセットを行ったのち、再度接続を行ってください。
	iPodの音声が出力されない。	iPod本体から操作を行い、設定（オーディオ出力）をBluetooth（NX-BT）からDockコネクタへ切り替えてください。または、一度本機からiPodを取り外して再度接続してください。
ミュージックキャッチャー	タイトルが表示されない。	PC用アプリケーション「Smart Access Updater」を使った最新のアルバム情報をSDカードに保存し、アルバム情報を最新のものにしてください。→ **P.138** Smart Access Updaterについて→ **P.189** アルバム名、アーティスト名、トラック名の編集方法について→ **P.137**
	表示されたタイトル（アーティスト／アルバム／トラックの各タイトル）が間違っている。	
	「情報更新中です。しばらくお待ちください」と表示され再生しない。	ファイルの復旧処理が終わるまでお待ちください。録音されているアルバム数により時間がかかる場合があります。
	音が飛ぶ。	振動やディスクの傷により音飛びした可能性があります。ディスクに傷がないか確認して、再度録音してください。
	再生ができない。	本機で録音したSDカードを使用して、再生してください。

	症　状	処　置
ミュージックキャッチャー	録音ができない。	SDカードの容量が不足している可能性があります。録音済みの曲や、他のファイルを消してください。 → P.137、P.138
		コピー可能ディスクを使って、録音してください。
		SDカードの書き込み禁止スイッチをOFFにしてください。
		SDカードの対応フォーマット種別は、FAT32、FAT16です。お使いのパソコンでフォーマットしてください。
	音楽CDを挿入時に録音ができない。	自動録音モードに設定してください。→ P.134
	「CD挿入時に自動録音」をONに設定している場合に、録音ができない。また、CD再生時にCDのトラックが表示されない。	何らかの事情でSDカードを認識できない場合が考えられます。ご使用のSDカードに問題がないかを確認してください。
	録音したはずのアルバムが表示されない。	「設定」の「選択演奏」の「アルバム選択」でアルバムを選択してください。→ P.137
SDカード／USBメモリー	SDカードから再生できない。	本機で使えるSDカードを確認してください。→ P.10
	SDカードが挿入できない。	SDカードのラベル面を上にして挿入してください。
	USBメモリーから再生できない。	一度USBメモリーを取り外して再度挿入してください。 → P.10
	音が飛ぶ。	パソコンなどで再生し、音飛びしないか確認してください。
	音が悪い。	サンプリング周波数、ビットレートを上げて録音をお試しください。→ P.219
	再生できないファイルやフォルダがある。	パソコンを使用し、制限内に収まるよう再構成してください。 以下の場合は音楽データの再生はできません。 • 8階層以上の深いフォルダに曲が収録されている場合 • フォルダが最大512（ルート含む）、ファイルが最大8000（1フォルダは最大255ファイルまで）を超えた場合
	操作パネルを開いたら再生が停止してしまった。	操作パネルを閉じると再生が再開されます。
	MP3/WMA/AACファイルの数が違う。	MP3/WMA/AAC以外のファイルを消去してください。
	ビデオファイルが再生できない。または、映像が乱れたり音が切れる。	本機で再生可能な動画ファイルを確認してください。 → P.224
	ビデオ再生で映像がカクカクする。音が飛ぶ。	
	音声再生は継続しているが、再生時間が停止している。	ファイルサイズが1GBを超えているファイルを再生中の場合、再生時間の表示が停止することがあります。 故障ではありません。

<table>
<tr><th colspan="2">症　　状</th><th>処　　置</th></tr>
<tr><td colspan="3">●オーディオ関連</td></tr>
<tr><td rowspan="4">TV</td><td rowspan="2">放送局名が表示されない。</td><td>以下のいずれかの作業を行ってください。
• 受信できる放送局の設定をする(オートストア)
→ P.117
• 優先エリアの切り替え→ P.122</td></tr>
<tr><td>放送局の情報は放送電波より取得するものがあります。電波環境の良いところに移動してください。</td></tr>
<tr><td>映りが悪い。</td><td>フロントガラスからフィルム（アンテナ）がはがれている可能性があります。フィルムは貼り直しができませんので、販売店で新しいアンテナと交換してください。</td></tr>
<tr><td>12セグ放送が受信できない。</td><td>mini B-CASカードを読み取れない場合があります。販売店へご相談ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="8">Bluetoothオーディオ</td><td rowspan="3">接続できない。</td><td>Bluetooth対応機器を正しく接続してください。
→ P.91</td></tr>
<tr><td>オーディオ機器の電源を入れてください。</td></tr>
<tr><td>Bluetoothオーディオ機器の収納場所、距離によっては、接続できない場合や音飛びが発生する場合があります。できるだけ通信状態の良い場所に置いてください。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">再生されない。</td><td>AVRCP対応のオーディオ機器をご利用ください。</td></tr>
<tr><td>接続を解除し、再度接続してください。</td></tr>
<tr><td>接続オーディオ機器のプレーヤーを起動してください。</td></tr>
<tr><td>トラック名、アーティスト名、アルバム名が表示されない。</td><td>AVRCP1.3に対応しているオーディオ機器をご使用ください。
Bluetoothオーディオ機器側の再生プレーヤーを起動し直してください。</td></tr>
<tr><td>接続オーディオ機器から音が出なくなった。</td><td>Bluetooth設定画面から、再度Bluetoothオーディオ機器を指定してください。</td></tr>
</table>

WEB連携

症　　状	処　　置
「インターネットに接続できません。再度設定を確認してください」、または「インターネットに接続できません。しばらくしてから再度接続してください」の画面が表示される。	以下の設定を再度確認してください。 • Bluetoothの設定→ P.91 • 携帯電話会社の設定→ P.100
	クラリオン株式会社ホームページ（http://www.clarion.com/jp/ja/support/index.html）にて適合機種を確認してください。
	建物の外などに移動して接続を行ってください。
	しばらくしてから接続を行ってください。
「該当するメールアドレスがありません。サイトでユーザー登録を行ってからご利用ください」の画面が表示される。	入力したメールアドレスをご確認ください。大文字、小文字も区別しています。
「メールアドレス、あるいはパスワードが間違っています」の画面が表示される。	入力したメールアドレス、パスワードをご確認ください。大文字、小文字も区別しています。
「他の製品を登録しているため、ログインできません」の画面が表示される。	お買い上げの販売店にご相談ください。
「現在、この製品は、別会員に登録されています」の画面が表示される。	
「現在、この製品は、通信に係わる機能が使用できません」の画面が表示される。	
「現在、この製品は、譲渡のための準備中です」の画面が表示される。	
「現在、この製品は、修理中です」の画面が表示される。	

リアカメラ

症　　状	処　　置
カメラ映像が表示されない。	セレクトレバーがRの位置になっているか確認してください。
	暗いところ、または明るいところ（太陽光に反射したヘッドライトの光、蛍光灯などに照らされた場所など）を映していると、画面が見えにくいことがあります。故障ではありません。
カメラ映像の映りが悪い。	水を含ませたやわらかい布などで前面のレンズカバーを軽く拭いてください。
カメラ映像に白い光の縦線が入る。	CCDカメラ特有の現象で故障ではありません。直接状況を確認しながら運転してください。
リアカメラのガイドラインが表示されない。	停止した状態で画面をタッチし、ガイドライン表示 をタッチしてください。

オプションカメラ

症　　状	処　　置
カメラ映像が表示されない。	接続を確認してください。
	本機または接続した機器のヒューズが切れている場合があります。確認の際はお買い上げの販売店にご相談ください。
カメラ映像の映りが悪い。	水を含ませたやわらかい布などで前面のレンズカバーを軽く拭いてください。

その他

症　　状	処　　置
画面が乱れる。	電気的ノイズを発生する電装品（携帯電話、無線機マイナスイオン発生器など）は、本機からできるだけ遠ざけてお使いください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
本機使用中に画面が暗くなった（部分的に暗くなった）、または消えてしまった。	いったんお車を安全な場所に停車してエンジンキーをOFFにし、再度「ACC」または「ON」にしてください。その後も元に戻らない場合は、液晶バックライトの故障か、ナビゲーション本体の誤動作が考えられます。お買い求めの販売店にご相談ください。
起動直後に、ボタンが反応しないときがある。	しばらく待ってから操作を行ってください。
「パネルをオープンしてください」の画面が表示され、地図画面が表示されない。	⏏ ▶ パネル開／閉 をタッチして、操作パネルを開いてください。その後も同じ症状が発生する場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
「Check Map SD Memory Card.」の画面が表示される。	以下の操作を行ってください。 ① ⏏ ▶ パネル開／閉 をタッチして、操作パネルを開く ② エンジンキーをOFFにする ③「MAP DATA」のフタを開ける ④ 地図SDカードを入れ直す ⑤「MAP DATA」のフタを閉める
「地図データが読めません（＊）」の画面が表示される。	同梱の地図SDカードが正しく挿入されていることを確認してください。

よくある質問について

ナビゲーション編

Q: 目的地までの経路探索結果で、最適ではない経路を案内されました。

A: ナビゲーションは道路種別などを考慮して経路探索します。そのため、必ずしも最適な経路を引かない場合があります。経由地を設定したり探索条件を変えて探索を行ってみてください。

Q: 条件を変えても同じルートで案内されます。

A: 道路状況により、探索方法を変えても同じルートになる場合があります。ご希望のルート設定をするには、経由地を設定することをおすすめします。

Q: 探索条件が有料優先に設定されていて、他の設定に変更できません。

A: 探索条件は、前回設定した探索条件が引き継がれる仕様となっています。下記のいずれかの方法から、探索条件を変更してください。

1. 目的地を検索し、ルートを表示 ▶ 他のルートを選ぶ ▶ 複数ルートから、ご希望の探索条件を選択する
2. 目的地を検索し、ガイド開始 ▶ メニュー ▶ ルート ▶ 画面下に表示される探索条件から、ご希望の探索条件を選択する
3. 目的地を検索し、ガイド開始 ▶ メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ ルート探索条件の設定 ▶ 探索条件 ▶ご希望の探索条件を選択する

Q: 複数ルート表示で5ルート表示されません。

A: 必ずしも5ルートが表示されるとは限りません。どうしてもあるルートが最適な場合は、ほかのルートが探索できないことがあります。また、経由地設定時には、複数ルート探索をしない仕様となっています。

Q: バイパス道路を案内されません。

A: あらかじめ設定された探索条件のルートのほうの距離が短い場合は、あらかじめ設定された探索条件のルートを優先することがあります。

Q: 有料道路の料金表示はできますか？

A: 可能です。ただし、一部対応していない路線があります。
対象道路でも、開通時期などデータ整備上の問題で、料金が正しく表示されない場合があります。また、本機に収録されている高速道路・有料道路料金データは、2012年12月現在のデータを採用しております。そのため、2012年12月以降に開通した高速道路・有料道路を通るルートを探索した場合、本機に表示される料金および、本機の音声による料金ガイドは、実際の料金と異なる場合があります。このような場合には、実際の料金をお支払いください。

Q: ナビゲーション画面（地図画面）のVICS情報表示が実際と違うことがあります。

A: (1) 情報は「5分ごとに更新」ですので、渋滞状況が急激に変化した場合、実状と違うことがあります。
(2) FM多重では、電波状態が悪いとデータが受信されず、内容が更新されない場合があります。
(3) 新設された道路、細街路など、VICS情報が提供されていない道路では、渋滞情報は表示されません。

Q: 画面上にタッチキーが表示されたり、されなかったりすることがあります。

A: 画面上に表示されるタッチキーはそのときの状況により変化します。安全のため走行中に操作できないタッチキーは非表示となったり、タッチできないようになっています。

Q: 到着予想時刻の計算基準は何ですか？

A: オンラインを利用して受信した交通情報、VICS情報、または統計交通情報をもとに計算しています。統計交通情報とは、過去1年分のVICS情報を、曜日や時間帯によって分類し統計処理したデータのことです。
なお、「到着予想時刻の速度設定」で「自動計算」OFFに設定した場合は、上記の情報は使用せず、道路の種別ごとにお客様が設定された速度を適用して計算します。

Q: 一般道優先で探索したのに、高速道路に誘導されました。

A: 一般道路を使用すると極端に遠回りになるときは、有料道路を使うことがあります。これは、あくまでも一般道路「優先」であり、「使わない」とはしていないからです。また、無料で通行可能な高速道路の一部については、一般道優先でもルートが設定されることがあります。

Q: 案内がありません。案内が間違っています。

A: 収録されている地図データの形状から案内する方向を決めています。データの形状によって、案内しない場合や「右」を「斜め右」など方位が適切でない案内をする場合があります。

Q: Y字路の案内がされません。

A: 地図データが道なりの場合、誘導しない仕様です。

Q: 進入禁止の道に誘導されました。一方通行を逆に案内されました。入れない道を案内されました。

A: 地図メーカーよりデータの提供を受けていますが、メンテナンスが間に合っていない場合や、データが間違っている場合があります。実際の交通規制にしたがって走行してください。

Q: ルート情報モード（高速道路）に自動で切り替わらない。

A: 高速道路／有料道路は、データ整備上、ルート情報モード（高速道路）に切り替わらない道路を含みます。

Q: ルート情報モードが自動的に解除されます。

A: ビーコン受信時やルートを外れたときなどでリルートが発生した場合、探索が終了するまで通常地図に戻ります。探索終了後、新しいルート上を走行すれば、直前に設定していたモードに自動切り替えします。

Q:「○○のある交差点を・・・」という案内をされたが、そのような施設が見当たらなかった。

A: 地図データ上の情報をもとに案内していますが、発売後の移転や閉店などにより、当該施設がなくなっている場合があります。
さらに、現地の状況によってはお車から見えない場所にある施設を目印として案内してしまうこともあります。また、交差点の見やすさを考慮し表示を行っているので、場所によっては施設アイコンが表示されないことがあります。案内は、あくまでも参考程度にお考えくださるようお願いします。

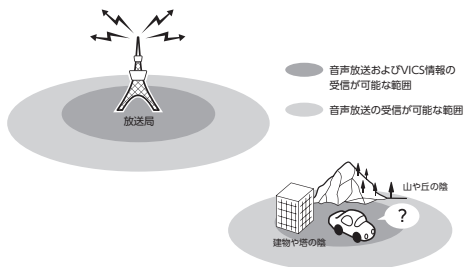
Q: ルート設定していなくてもマルチメーターが表示されます。

A: マルチメーターはルート設定をしなくても表示されます。
またマルチメーターの表示は、目的地消去や目的地設定で初期化（リセット）されます。

Q: 有料道路の料金が表示されない。

A: 無料区間のみの場合、または高速道路上からルートを探索した場合などには料金が表示されないことがあります。

Q: FM VICS情報が取得できません。

A: FM VICS情報は音声放送と比べて受信できる距離が半減するため、電波が強くなければ受信できません。受信可能範囲であっても、山、ビルなどの障害物によって電波がさえぎられ、受信できない場合もあります。また、すべてのFMラジオ放送局でFM VICS情報を放送しているわけではありません。放送状況を確認してください。

Q: ルート情報モード時にパーキングエリア（PA）にある施設情報は表示できますか？

A: ルート情報モードで表示される施設リストのPAをタッチすると、そのPAにあるガソリンスタンドやトイレなどの施設情報（施設マーク）が表示可能です。

Q: 地図上に通行止めの表示が出ている道路にルートが設定された。

A:「リアルタイム交通情報を考慮」設定がOFFになっている場合は、通行止めなどの規制についても無視してルートを探索します。
また、上記設定がONであっても、遠隔地の通行止めについてはルートに反映しない場合があります。この場合は、通行止め区間にある程度まで近づいた時点で、自動的に再探索を行い、通行止め区間を回避したルートに切り替わるようになっています。

Q: ルート案内中、インターチェンジを通過するたびに、高速道路を降りるよう案内されてしまう。

A: ナビゲーションの探索条件を「有料優先」にして、再度ルート設定をお試しください。

Q: 地図データを更新したら、ルート学習が反映されなくなった。

A: 地図データを更新すると、それまでの学習内容がリセットされます。申し訳ありませんが、再度学習させていただくようお願いします。

Q: 地図上に表示される、丸いビックリマーク（！）のアイコンは何ですか？

A: ビックリマークのアイコンは、交通事故多発地点を表します。このアイコンは200m以下のスケールで表示されます。市街地図、立体地図では表示されません。このアイコンは、メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ アイコンの表示 ▶ 交通事故多発地点の表示 をタッチして、表示／非表示を切り替えられます。

Q: 登録地点を新しいナビに移すことはできますか？

A: 可能です。移動方法については、クラリオン株式会社ホームページをご覧ください。
http://www.clarion.com/jp/ja/inquiry/products_faq/index.html

オーディオ編

■ 地上デジタル放送

Q: 地上デジタル放送受信時に表示される［系列局］キーとは何ですか？

A: 走行中に受信状態が悪くなったり現在受信中の放送局のエリアから外れた場合などに、視聴中の放送局の中継局／系列局を自動で探してそのまま視聴できるようにチャンネルを切り替えるキーです。はじめに中継局をサーチし、中継局がなければ次に系列局をサーチします。

Q: 1セグのサブチャンネルの番組は視聴できますか？

A: 視聴可能です。チャンネル番号を入力して選局、または番組表（EPG）から選局してください。

Q: 走行中、TVを見ることはできますか？

A: 安全運転のため、走行中に前席でTVを見ることは禁止されています。後部座席用モニターではテレビ・ビデオを見ることが可能です。

Q: 放送メールとは何ですか？

A: 放送メールとは、地上デジタルTV放送を利用して、ナビゲーションにメールを送るシステムです。放送局側でメール配信していれば、TVの設定メニューからメール内容をご覧いただけます。受信した放送メールは8個まで保存され、8個を超えた場合は、古いメールから自動的に消去されます。

Q: 画面が横長に見えるが直せますか？

A: 本機のTV画面は、縦横比率が家庭用のTVと違い、やや横長になっています。ナビゲーションの設定で変更はできません。

■ DVD

Q: 地上デジタル放送の番組を録画したDVD-R/RWは再生できますか？

A: 可能です。ただし、VRモードで録画されたCPRM対応のDVD-R/RWに限ります。ハイビジョン画質で録画されている場合は再生できません。通常画質のVRモードで録画し、ファイナライズしてご利用ください。

■ CD

Q: CD-Rが再生できません。

A: CD-Rの適合は書き込みソフト／ハードの組み合わせや書き込み速度に影響されます。ディスク上に凹凸のデジタル信号を書き込みますが、書き込みの深さ、幅（面積）などの規格が合わないと再生できない場合があります。書き込み速度を遅くすると、安定して書き込めます。そのため、一番遅い速度での書き込みをおすすめいたします。

Q: MP3やWMAのディスク作成方法を教えてください。

A: 下記のホームページをご覧ください。
http://www.inquiry.clarion.co.jp/inquiry/goods/faq/detailfaq.aspx?Seed=YK08007843

Q: 曲名表示するが再生できない曲がある。
A: 圧縮方式をWMAで作成した場合、著作権保護のかかった曲は、曲名表示しますが、再生はできません。CDからWMAを作成する場合には、Windows Media Playerのオプションから「音楽の取り込み」欄の「取り込んだ音楽を保護する」のチェックを外してから作成してください。詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.inquiry.clarion.co.jp/inquiry/goods/faq/detailfaq.aspx?Seed=YK08007843

■ SDカード／ USBメモリー

Q: SDカードに音楽を保存するときの注意点を教えてください。
A: 使用できるメモリーカードは、SDメモリーカードとSDHCメモリーカードとなります。また、対応可能な圧縮オーディオはMP3、WMA、AACのみとなります。
※ iTunes Storeで購入した著作権保護された音楽は再生できません。
※ SDオーディオには対応していません。
※ 著作権保護された音楽は再生できません。

Q: USBメモリーのMP3ファイルを再生中、曲が途中で停止したり、次の曲が再生されないことがあります。
A: VBR（バリアブルビットレート）で記録されたMP3ファイルの場合、USBメモリーの転送速度性能との関係で、このような症状が出ることがあります。ビットレートが一定の値で決まっているCBR（コンスタントビットレート）で記録すると安定します。CBRで記録したファイルの再生をお試しください。

■ ミュージックキャッチャー

Q: 気に入ったアルバムだけ聴きたいのですが。
A:「選択演奏」メニューより、条件を指定してお好みのアルバムを再生できます。
→ P.137

Q: 録音したアルバムのタイトルが表示されず、録音した日時が表示されます。
A: Gracenote のデータベースに該当するアルバムの情報がありません。PC用アプリケーション「Smart Access Updater」を使用して最新の情報に更新してください。
→ P.138

Q: 実際の曲名と表示される曲名が違う。
A: SDカードにトラック情報を書き出し、PC用アプリケーション「Smart Access Updater」を使用してGracenoteサーバーにアクセスしてください。そこで候補アルバムから正しい曲名を選択し、SDカードに保存し、その情報を本機に取り込んでください。この方法でも曲名が違う場合は、トラック情報編集で各トラックの情報を入力してください。

Q:「Smart Access Updater」 のCDタイトルキャッチャー機能で書き出しを行ったSDカードを使っても、アルバム情報の更新ができない。
A: 更新に必要なアルバム情報が正しくSDカードに記録されていない可能性があります。詳しくは、CDタイトルキャッチャー機能の取扱説明書をご覧ください。

Q: アーティスト／アルバム／トラックなどのタイトルが間違っている。
A: パソコンで複製したディスクを使った場合は、正しくタイトル表示されないことがあります。

Q: シャッフルおよびリピート再生は、エンジンキーをOFFにしたら解除されますか？
A: エンジンキーをOFFにしても保持されます。

Q: CD再生時は途切れがないのに、ミュージックキャッチャーに録音すると曲が途切れて聞こえる。
A: ノンストップCD（トラックとトラックがつながっているCD）を録音する場合、仕様上、トラックとトラックの間に2 ～ 3秒の無音部分が発生します。このため、曲が途切れたように聞こえます。

Q: CD再生はできるのに、録音できない。
A: 傷があるなどディスクの状態によっては、録音できない場合があります。

■ iPod/iPhone

Q: iPodのバッテリーは充電はできますか？
A: iPodをUSB端子につなぐと、iPodを再生しながら充電が可能です。バッテリーがなくなることはありません。

Q: iPodをUSB接続し再生すると、カウンターは進むが音と映像が出ない。

A: iPodのビデオを再生する場合は、ビデオ対応iPod接続ケーブル（別売）とVTRケーブル（別売）を使用して接続してください。

Q: iPhoneのビデオを再生すると画面が流れて映る。

A: iPhoneのビデオ出力が日本方式の「NTSC方式」ではなく、「PAL方式」に設定されていることが考えられます。iPhoneのメニューから「設定」→「iPod」→テレビ出力の「テレビ信号」→「NTSC」を選択し、設定を変更してください。

Q: iPhoneをUSBケーブルで接続しているがナビゲーション側で操作ができない。

A: iPhone側の設定で音声出力先をBluetooth（NX-BT）にしていると、iPhone側の操作で音楽再生は可能です。本機ではiPhoneの操作はできず、リストも表示されません。音声出力先を「Dockコネクタ」に変更してください。本機での操作およびリスト表示が可能となります。

■ Bluetoothオーディオ

Q: Bluetoothオーディオ再生時、画面に曲名が表示されない。

A: 本機は曲名表示するためのプロファイルAVRCP1.3に対応しています。Bluetooth対応機器側のプロファイルAVRCPが1.3以上でないと曲名表示はできません。Bluetooth対応機器のAVRCPバージョンをご確認ください。

■ VTR

Q: VTRの操作ができない。

A: iPodの接続方法を「USB+VTR接続」に設定している場合、VTR機器はご利用できません。VTRを操作したい場合はiPod/iPhoneを取り外してください。

その他編

■ Bluetooth接続

Q: ペアリングができない。

A: お使いのBluetooth対応機器によっては、あらかじめ機器側のBluetooth機能をONに設定しないと、ペアリングできない場合があります。詳しくはBluetooth対応機器の取扱説明書をご覧ください。

Q: 「5台のBluetooth機器が既に登録されています。」とメッセージが表示されました。どうすれば良いですか？

A: 本機に登録できるBluetooth対応機器は5台までです。さらに登録したい場合は、すでに登録された機器の設定を消し、再度登録を行ってください。

Q: 電話がかかってきたら、自動的に電話に出ることはできますか？

A: 「自動応答保留」の設定をONにすると、応答保留状態で電話に出られます。ただし、携帯電話によっては、保留機能が動作しない場合があります。

Q: 操作が正常にできない。表示されない。

A: Bluetooth対応機器により、機器側の問題で通信異常が発生する場合があります。本機とBluetooth対応機器側のBluetooth機能を、それぞれOFFからONにしてください。

Q: 電話はつながったが相手の声が聞こえない。

A: 電話画面でプライベート設定を確認してください。プライベートONの場合、プライベートOFFにしてください。

Q: 通話相手から聞こえづらいといわれた。

A: 「送話音量」の設定を調整してください。

Q: 発着信・通話中、スピーカーから異常な音が出力される。

A: 携帯電話の充電が少ないと、異常な音が出力される場合があります。携帯電話を充電してください。

Q: Bluetooth対応機器が自動で接続されません。

A: Bluetooth対応機器がBluetooth接続可能な状態に設定されているか確認してください。また、Bluetoothオーディオ再生中は、機器の自動接続を行いません。手動で接続してください。

Q: パスキーとデバイス名称を変更したい。

A: 本機に設定されているパスキーとデバイス名称は変更できます。→ P.100

Q: 走行中に電話をかけることはできますか？

A: 走行中は短縮ダイヤル、発着信履歴からのみ発信できます。安全上の配慮より、登録電話番号の名称は表示しますが、電話番号は表示しません。また、ダイヤル、電話帳からは電話をかけることはできません。なお、「自動応答保留」をONに設定しておくと、着信から2秒後に自動で保留状態となります。保留状態から通話への切り替えは可能です。

Q: Bluetooth対応携帯電話は、登録した携帯電話全部を同時に使用できますか？

A: ペアリング可能な携帯電話の登録は5台ですが、使用できる電話は2台までとなります。また、2台同時の通話はできません。通話はどちらか一方となります。ほかの携帯電話を使用する場合には、電話機選択画面から使用したい電話に切り替えてご使用ください。

Q: Bluetoothオーディオ再生中に、ハンズフリー通話を行うと、終話後に自動でオーディオが再生しない。

A: 接続している携帯電話によっては、終話後、自動再生しない場合があります。本機、または携帯電話で再生操作を行ってください。

Q: Bluetoothオーディオ機器を接続したが、スピーカーから音声が出ない。

A: 接続機器の音声出力をBluetooth側へ切り替える操作が必要な場合があります。接続しているBluetooth対応機器を操作し、設定変更を行ってください。詳しくはBluetooth対応機器の取扱説明書をご覧ください。

Q: 何もしていないのに、携帯電話のペアリングが外れる。転送して使っていた電話帳が消えている。以前はデータ通信できたのにできなくなった。

A: 携帯電話側の自動バージョンアップ、ご使用時の通信状況・電波状況、携帯電話の接続切り替えなど、さまざまな条件により事象が発生していると考えられます。お手数ですが、再度お試しください。

Q: 携帯電話をBluetooth接続しているが、着信音が小さい。

A: 電話設定メニューの 音量調整 をタッチして、着信音量を上げてください。→ P.99

Q: 携帯電話から電話帳を転送する場合、登録可能な電話帳データは300件とあるが、1人に複数の電話番号を登録している場合はどうなるのか？

A: 本機では1人を1件として登録します。複数の電話番号を登録している場合でも、300人分のデータが登録可能です。なお、1人に6件以上の電話番号が登録されている場合は5件までダウンロードされます。6件目以降はダウンロードされません。

■ Smart Access

Q: 「WEBサーチ」の SDメモリーカード・本体メモリのスポット をタッチして表示されるスポット情報に、SDカードに保存されているスポットが表示されない。

A: 本機に保存されているスポットデータと、SDカードに保存されているスポットデータは区別なくリスト表示されます。SDカードに保存されているスポットが表示されない場合は、SDカード内のデータをご確認ください。

■ 画面表示

Q: 画面を時計表示にできますか？

A: 画面全体を時計表示にすることが可能です。

Q: 常に画面に時計を表示できますか？

A: 可能です。地図・メニュー画面とオーディオ映像画面で別々に時計表示を設定できます。→ P.13

■ リアカメラ

Q: リアカメラの明るさを調整できますか？

A: 調整は可能です。

Q: リアカメラの映像は、リア席モニターに映りますか？

A: リアカメラの映像はナビゲーション本体のみ映り、リア席モニターには映りません。

■ ETC

Q: ナビゲーションのETCセットアップ情報画面に車載機器型式が表示されない。

A: ETC012（別売）を接続した場合、ETCセットアップ情報画面に車載機器型式（ETC012）は表示されませんが、ETCゲートを通過するには問題ありません。

■ スマートフォン連携

Q: iPhoneと本機をビデオ対応iPod接続ケーブルで接続して本機画面の アプリ一覧 または 起動中アプリ をタッチしたが、エラー表示されて、スマートフォン連携できない。

A: いったんビデオ対応iPod接続ケーブルを外し、iPhoneのスリープ状態を解除します。次に連携対応アプリケーションを起動してから、ビデオ対応iPod接続ケーブルを再度接続してください。

Q: iPhoneと本機をビデオ対応iPod接続ケーブルで接続後、スマートフォン連携したが「一旦接続を解除して、Smart Accessを起動し、オススメリストから利用したいアプリをインストール後、再接続してください。」とメッセージが表示される。

A: iPhoneに連携対応アプリケーションがインストールされていない場合に表示されるメッセージです。いったんビデオ対応iPod接続ケーブルを外し、iPhoneでSmart Accessを起動して、オススメリストより連携対応アプリケーションをインストールしてください。

Q:「ダウンロードに失敗しました。」とメッセージが表示される。

A: スマートフォンの電波状況が良好な場所で、iPhoneとビデオ対応iPod接続ケーブルを再度接続してください。

Q:「接続に失敗しました。」とメッセージが表示される。

A: いったんビデオ対応iPod接続ケーブルを外し、再度接続してください。

Q: スマートフォン連携中に本機の画面から「！」マークをタッチしたがSmart Accessを更新できない。

A: 安全上の理由のため、スマートフォン連携中はSmart Accessを更新できません。ビデオ対応iPod接続ケーブルを外し、iPhone側でSmart Accessの更新をしてください。

Q: iPhoneの画面に「アプリがインストールされていません。」と表示される。

A:「はい」をタッチした後、ビデオ対応iPod接続ケーブルを外し、iPhone側でApp StoreからSmart Accessをインストールしてください。

Q: スマートフォン連携中に「スマートフォン連携がご利用できません、スマートフォンを確認下さい。」とメッセージが表示され、スマートフォン連携が終了してしまう。

A: いったんビデオ対応iPod接続ケーブルを外し、iPhoneで連携対応アプリケーションを起動してから、ビデオ対応iPod接続ケーブルを再度接続してください。

Q: Smart Accessキーをタッチしてスマートフォン連携モードになったが、アプリケーションの映像が表示されず黒い画面となる。

A: ビデオ対応iPod接続ケーブルのビデオ端子の接続を確認してください。

Q: スマートフォン連携中に電話の発着信はできますか？

A: 本機にスマートフォンをBluetooth対応機器として登録し、本機のBluetooth機能をONにした後、スマートフォンのBluetooth機能もONにすると発着信ができます。

Q: 電話発信後、スマートフォン連携画面でエラー画面が表示されてしまう。

A: スマートフォンのOSのバージョンによっては、電話発信後にスマートフォン連携が解除され、本機の画面にエラーが表示される場合があります。iPhone側の操作で、Home画面からSmart Accessを起動してください。

Q: スマートフォン連携中にメールを受信できますか？

A: メールの受信はできますが、受信したことは本機画面には通知されません。

Q: アプリケーション使用中、「接続に失敗しました。」「サーバーに接続できません。」などのメッセージが表示される。

A: サーバーと連携するアプリケーションは、スマートフォンの電波状況によりサーバーに接続できなくなることがあります。電波状況の良好な場所でお使いください。

Q: 以前使えたスマートフォン連携が使えなくなった。
A: スマートフォン側の電源が入っているか、スマートフォン側が強制スリープモードになっていないかを確認してください。

Q: iPhoneが動作しないように見える。
A: 一度、ビデオ対応iPod接続ケーブルからiPhoneを取り外して再度接続してください。もしくは、iPhone側の電源をOFF→ONにしてください。

■ 修理

Q: インターネット通販で購入した製品が故障したので修理してほしい。
A: 通販会社経由でサービスセンターにご相談ください。窓口は通販会社の相談窓口になります。

Q: 部品がほしいのですが、どこで購入できますか？
A: 修理部品はサービスセンターで扱っておりますので、お近くのサービスセンターにご相談ください。ご注文は最寄りのクラリオン製品取り扱いカー用品店にてお願いします。

Q: 修理の見積もりを取るには、どこに頼めば良いですか？
A: お近くのサービスセンターで修理見積もりをお受けしております。有償見積もりとなりますが、一度ご相談ください。

Q: 購入店がなくなってしまった修理は、どこに出せば良いですか？
A: 最寄りのクラリオン商品取り扱いカー用品店または、お近くのサービスセンターにご相談ください。

■ バージョンアップ

Q: 途中のバージョンを飛ばして、最新のバージョンアップを行っても大丈夫ですか？
A: バージョンアップ可能です。バージョンの間隔をあけてバージョンアップをしても問題はありません。

■ その他

Q: 盗難防止装置は付いていますか？
A: 本機のセキュリティ機能として、暗証番号を設定する盗難防止機能があります。盗難時にはセキュリティ機能がはたらきます。いったん取り外されたナビゲーションは、暗証番号を入力しないと起動できないようになります。また、エンジンキーをOFFにするとLEDランプが点滅して車室内への侵入者を威嚇・警戒します。盗難防止機能とLED点滅のON/OFFは選択可能です。

※本機の盗難防止機能は、100%盗難を防ぐものではありません。盗難防止機能作動時における盗難については、当社は一切その責任を負いかねます。暗証番号はメモを取るなどして大切に保管してください。

付録

収録データや仕様など、本機に関する情報を記載しています。
本機を第三者に転売・譲渡するとき、または廃棄するときは、P.232をご覧ください。

収録データベースについて

■ データ取得日について

本機SD内の情報は、以下を使用しています。

●道路情報　　　：2012年9月（一般道路）／2012年12月（高速・有料道路）
●ハイウェイ情報：2012年12月現在
●ぬけみちデータ：2012年8月版データ
●交通規制情報　：2012年11月現在
●イラスト情報　：2012年9月（一般道路）／2012年12月（高速・有料道路）
●スマートIC情報：2012年8月現在
●施設検索情報　：2012年11月現在
●住所検索情報　：2012年11月現在
●市区町村合併情報：2012年11月現在
●郵便番号検索情報：2012年11月現在
●TVサーチ　　　：2012年12月現在（定期的に最新データを提供しています。→ P.170）
●個人宅電話番号：2012年8月現在

※本機SD内の各情報は、作成日の都合上、現状と異なる場合があります。

■ 地図データについて

- 本商品に収録されている地図データ（以下「地図データ」といいます。）の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベース（測量法第44条に基づく成果使用承認11-080）を基に（株）ゼンリンにて作成しております。（©2011一般財団法人日本デジタル道路地図協会）
- この地図データの作成にあたっては、（株）ゼンリンが国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しております。（承認番号平23情使、第192－814号）
- 市街地図データは、住宅地図データベースを基に（株）ゼンリンが作成したものです。
- 本商品で表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。基図の作成時期などにより、新設道路の地図データが収納されていないもの、名称や道路などが一部異なる場合があります。
- この地図データの作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。（承認番号　国地企調発第78号　平成16年4月23日）
- 3次元地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ（標高）を使用しました。（承認番号 平23情使、第768-001号）
- 交通事故多発地点データは、（財）交通事故総合分析センターが作成した交通事故多発地点の地図データに基づき作成したものを使用しています。この地図データに使用している交通事故多発地点データは、1998年11月時点の交通事故多発地点です。この地図データに使用している交通事故多発地点データは、（財）日本交通事故管理協会と（財）交通事故総合分析センターが所有権を有し、（株）ゼンリンは二次的著作物に使用実施権を取得しております。
- 地形データは、国土地理院長の承認を得て同院発行の5万分の1地形図を使用し、（株）武揚堂にて作成されたものです。（承認番号平9総使、第47号）
- 道路データは、高速道路、有料道路はおおむね2012年12月、国道、県道、主要地方道はおおむね2012年9月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
- 東日本大震災による被災地域は、国土地理院より発行されております『災害復興計画基図』に基づいて順次地図を整備しております。
  一部の地域については、地殻変動により被災前と5m以上のズレが発生しており、各検索機能で検索した地点や、過去に登録した登録地点等で、適切な位置に案内できないことがあります。
- 現在、2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、以下の地区の地図データの更新を停止しております。
  南相馬市／田村市／川俣町／浪江町／双葉町／大熊町／富岡町／楢葉町／広野町／飯舘村／葛尾村／川内村
- ルート探索用データの作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ（標高）を使用しております。（承認番号平22業使、600号）
- 昭文社MAPPLEぬけみちデータは、関東、名古屋・中部、京阪神を中心とした一部地域が対象です。

■ 交通規制データについて

- 交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。

■ 検索データについて

- 個人宅電話番号検索では、公開電話番号登録者の名字で複数の読み方が可能なものは、データ上実際とは異なった読み方で収録されている場合があります。
  また、電話番号非公開個人宅のデータは収録されておりません。
- TVサーチは、クラリオン株式会社オリジナルデータを使用しました。TVサーチの著作権は、クラリオン株式会社に帰属します。承諾なく複写、改変、本製品以外での使用等をすると、著作権法に違反し、場合によっては罰せられることがあります。
- 施設検索データは以下のデータを元に作成されています。
  ・ NTTタウンページデータ
  ・ 株式会社ゼンリン提供のデータ
  ・ 株式会社昭文社提供のデータ
- NTTタウンページデータなどの元データそのものが間違っている場合、間違った位置を表示する事があります。また、住所番地が広大な場所や、元のデータからは該当施設を特定できない場所では、指定した地区の代表地点が表示される事があります。
- 施設検索データは、その施設の住所位置（中心位置）を表示しますので、そのままルート設定をした場合、必ずしも入口や、駐車場までの案内にはなりません。

■ 注意事項

- データベース作成時点の関連で、表示される地図あるいは検索データが現状と異なることがありますが、ご了承ください。
- 自然災害による道路形状の変更等につきましては対応いたしかねます。
- 本品で表示される地図や検索結果データの内容が、誤字・脱字・位置ずれなど、現状と異なることがあっても、商品の取り替えや代金の返却は致しませんのであらかじめご了承ください。
- 本品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求などにつきましても、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本品を弊社に無断で、複製・複写・加工・解析・業務上での使用や第三者への有償での譲渡・貸与を禁じます。またネットワークや他の方法などで複数の機器での同時使用を禁止します。
- 本品の内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

株式会社ゼンリンからお客様へのお願い

本商品に格納されている地図データおよび検索情報等のデータの製作にあたって、毎年新しい情報を収集・調査していますが、膨大な情報の更新作業をおこなうため収録内容に誤りが発生する場合や情報の収集・調査時期によっては新しい情報の収録がなされていない場合など、収録内容が実際と異なる場合がありますので、ご了承ください。

重要

本使用規定（「本規定」）は、お客様と株式会社ゼンリン（「弊社」）間の「本商品」に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ（「本ソフト」）の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

■ 使用規定

- ●弊社は、お客様に対し、本取扱説明書（「取説」）の定めに従い、本ソフトを本ソフトが格納されている本商品で使用する権利を許諾します。
- ●弊社は、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内にご通知いただいた場合に限り、弊社が定める時期、方法によりこれらがないものと交換するものとします。但し、本ソフトがメーカー等の第三者（「メーカー」）の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。
- ●お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
  - ・必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
  - ・車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
- ●お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
  - ・本ソフトの著作権は、弊社または弊社に著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
  - ・本ソフトは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について弊社は何ら保証しないこと。従って、本ソフトを使用することで生じたお客様の直接または間接の損失および損害について、弊社は何ら保証しないこと。（本ソフトにおける情報の収録は、弊社の基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。）但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
  - ・本規定に違反したことにより弊社に損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
- ●お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
  - ・本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。
  - ・第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト（形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。）の全部または一部を使用させること。
  - ・本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
  - ・本ソフトに無断複製を禁止する技術的保護手段（コピープロテクション）が講じられている場合、これを除去・改変その他方法の如何を問わず回避すること。
  - ・その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

市街地図収録エリア一覧

＜95％＞ ……全面積の95％以上が収録されている都市
＜80％＞ ……全面積の80％以上が収録されている都市
それ以外 ……市街中心部、または一部地域が収録されている都市

— お知らせ

• 一部地域では、収録エリア内でも市街地図が表示されないことがあります。

収録都道府県	市街地図収録都市
北海道・東北地域	
北海道	**<95%>室蘭市** **<80%>江別市** 札幌市、函館市、小樽市、旭川市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、北広島市、石狩市、北斗市、当別町、七飯町、江差町、喜茂別町、京極町、余市町、赤井川村、南幌町、長沼町、新十津川町、鷹栖町、東神楽町、当麻町、比布町、斜里町、白老町、音更町、芽室町、幕別町、釧路町、白糠町
青森県	**<95%>三沢市** 青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、むつ市、つがる市、平川市、平内町、藤崎町、大鰐町、田舎館村、七戸町、六戸町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町
岩手県	盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、雫石町、岩手町、滝沢村、紫波町、矢巾町、平泉町、大槌町、山田町、岩泉町
宮城県	**<95%>多賀城市** **<80%>仙台市、七ヶ浜町、色麻町、加美町** 石巻市、塩竈市、気仙沼市、白石市、名取市、角田市、岩沼市、東松島市、大崎市、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、山元町、松島町、利府町、大和町、富谷町、大衡村、涌谷町、美里町、女川町
秋田県	秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、由利本荘市、潟上市、大仙市、にかほ市、仙北市、五城目町、八郎潟町、井川町
山形県	山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、中山町、最上町、高畠町、三川町
福島県	福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、大玉村、鏡石町、下郷町、西郷村、矢吹町、三春町、小野町
関東地域	
東京都	**<95%>千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町** 檜原村、奥多摩町
千葉県	**<95%>千葉市、市川市、船橋市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、佐倉市、東金市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ケ谷市、君津市、浦安市、四街道市、袖ケ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、匝瑳市、いすみ市、酒々井町、栄町、大網白里町、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、御宿町** **<80%>旭市、香取市** 銚子市、館山市、成田市、鴨川市、富津市、南房総市、山武市、神崎町、多古町、東庄町、大多喜町、鋸南町
埼玉県	**<95%>さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、所沢市、加須市、本庄市、東松山市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、白岡市、伊奈町、三芳町、滑川町、嵐山町、川島町、吉見町、鳩山町、長瀞町、美里町、上里町、宮代町、杉戸町、松伏町** **<80%>毛呂山町、小川町** 秩父市、飯能市、越生町、ときがわ町、横瀬町、皆野町、小鹿野町、東秩父村、神川町、寄居町

付録

収録都道府県	市街地図収録都市
茨城県	**<95%>取手市、つくば市、ひたちなか市、守谷市、つくばみらい市、東海村、利根町** **<80%>水戸市、日立市、龍ケ崎市** 土浦市、古河市、石岡市、結城市、下妻市、常総市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、牛久市、鹿嶋市、潮来市、那珂市、筑西市、坂東市、稲敷市、かすみがうら市、桜川市、神栖市、鉾田市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、美浦村、阿見町、河内町、八千代町、五霞町、境町
栃木県	**<95%>小山市** **<80%>宇都宮市、足利市、野木町** 栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、真岡市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、下野市、上三川町、益子町、市貝町、芳賀町、壬生町、塩谷町、高根沢町、那須町
群馬県	**<95%>玉村町** **<80%>伊勢崎市、太田市** 前橋市、高崎市、桐生市、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、榛東村、吉岡町、下仁田町、甘楽町、中之条町、嬬恋村、草津町、東吾妻町、川場村、昭和村、みなかみ町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町
神奈川県	**<95%>横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、秦野市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、松田町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、清川村** 山北町
中部地域	
静岡県	**<95%>清水町** **<80%>静岡市、沼津市、富士市、長泉町** 浜松市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、東伊豆町、河津町、松崎町、西伊豆町、函南町、小山町、吉田町、川根本町、森町
長野県	長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、安曇野市、軽井沢町、御代田町、下諏訪町、富士見町、辰野町、箕輪町、南箕輪村、中川村、松川町、高森町、阿智村、豊丘村、大鹿村、山形村、朝日村、白馬村、坂城町、小布施町、高山村、山ノ内町、飯綱町
新潟県	新潟市、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、燕市、糸魚川市、妙高市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、南魚沼市、胎内市、聖籠町、田上町、湯沢町
山梨県	**<95%>昭和町** 甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笛吹市、上野原市、甲州市、中央市、市川三郷町、早川町、身延町、南部町、富士川町、道志村、富士河口湖町
富山県	**<95%>射水市、舟橋村** **<80%>高岡市** 富山市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、上市町、立山町、入善町
石川県	**<95%>野々市市、内灘町** 金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、津幡町、志賀町、宝達志水町
岐阜県	**<95%>岐阜市、多治見市、各務原市、岐南町、笠松町、坂祝町** **<80%>羽島市、可児市、安八町** 大垣市、高山市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、山県市、瑞穂市、本巣市、下呂市、海津市、養老町、垂井町、関ケ原町、神戸町、輪之内町、揖斐川町、大野町、北方町、富加町、川辺町、御嵩町
愛知県	**<95%>名古屋市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、豊川市、津島市、碧南市、刈谷市、安城市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、清須市、北名古屋市、弥富市、みよし市、あま市、長久手市、東郷町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、幸田町** **<80%>豊橋市、西尾市、愛西市** 岡崎市、豊田市、新城市
福井県	福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、越前町、美浜町、高浜町

収録都道府県	市街地図収録都市
近畿地域	
大阪府	**<95%>大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、高槻市、貝塚市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、富田林市、寝屋川市、河内長野市、松原市、大東市、和泉市、箕面市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、島本町、豊能町、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村** **<80%>泉佐野市、泉南市、能勢町**
京都府	**<95%>宇治市、亀岡市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、精華町** **<80%>笠置町** 京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、南丹市、宇治田原町、和束町、南山城村
兵庫県	**<95%>神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、加古川市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、三田市、稲美町、播磨町、太子町** 姫路市、洲本市、相生市、豊岡市、赤穂市、西脇市、小野市、加西市、篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、多可町、福崎町、上郡町、佐用町、香美町、新温泉町
奈良県	**<95%>大和高田市、大和郡山市、橿原市、御所市、生駒市、香芝市、葛城市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町** 奈良市、天理市、桜井市、五條市、宇陀市、山添村、御杖村、高取町、明日香村、大淀町
滋賀県	**<95%>草津市** 大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町
三重県	**<95%>木曽岬町、朝日町、川越町** **<80%>津市、四日市市、鈴鹿市、東員町** 伊勢市、松阪市、桑名市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、いなべ市、志摩市、伊賀市、菰野町、多気町、明和町、玉城町、度会町、紀宝町
和歌山県	**<95%>和歌山市** **<80%>岩出市** 海南市、橋本市、有田市、御坊市、田辺市、新宮市、紀の川市、紀美野町、かつらぎ町、九度山町、湯浅町、広川町、有田川町、美浜町、日高町、日高川町、白浜町、那智勝浦町、太地町
中国・四国・九州・沖縄地域	
岡山県	**<95%>早島町、里庄町** **<80%>岡山市、倉敷市、玉野市、浅口市** 津山市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美作市、和気町、矢掛町、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町、吉備中央町
鳥取県	鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、岩美町、智頭町、八頭町、三朝町、湯梨浜町、日吉津村
島根県	松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、吉賀町
広島県	**<95%>府中町、海田町、熊野町、坂町** **<80%>広島市、福山市** 呉市、竹原市、三原市、尾道市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、安芸太田町、北広島町、神石高原町
山口県	**<95%>和木町** **<80%>周南市** 下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、光市、長門市、柳井市、美祢市、山陽小野田市、田布施町、平生町
高知県	高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、大川村、いの町、佐川町、梼原町、四万十町
香川県	**<80%>宇多津町** 高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、土庄町、小豆島町、三木町、綾川町、琴平町、多度津町、まんのう町
徳島県	**<95%>徳島市** 鳴門市、小松島市、阿南市、吉野川市、阿波市、勝浦町、佐那河内村、石井町、神山町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町
愛媛県	松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、東温市、上島町、久万高原町、松前町、砥部町、伊方町

市街地図収録エリア一覧

収録都道府県	市街地図収録都市
福岡県	**<95%>北九州市、福岡市、大牟田市、中間市、春日市、志免町、須恵町、粕屋町、芦屋町、水巻町、苅田町** **<80%>直方市、小郡市、太宰府市、新宮町、遠賀町** 久留米市、飯塚市、田川市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、行橋市、豊前市、筑紫野市、大野城市、宗像市、古賀市、福津市、うきは市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、みやま市、糸島市、那珂川町、宇美町、篠栗町、久山町、岡垣町、鞍手町、桂川町、筑前町、大刀洗町、広川町、香春町、糸田町、川崎町、大任町、福智町、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町
佐賀県	佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、嬉野市、神埼市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、みやき町、有田町、白石町
大分県	**<80%>別府市** 大分市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、由布市、日出町、玖珠町
熊本県	**<80%>菊陽町** 熊本市、八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、玉名市、山鹿市、菊池市、宇土市、阿蘇市、天草市、合志市、玉東町、南関町、大津町、南小国町、小国町、嘉島町、益城町、山江村
長崎県	**<95%>時津町** **<80%>長与町** 長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、五島市、西海市、雲仙市、川棚町、波佐見町、佐々町
宮崎県	宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、三股町、高原町、国富町、新富町、門川町
鹿児島県	鹿児島市、鹿屋市、枕崎市、阿久根市、出水市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、日置市、曽於市、霧島市、いちき串木野市、南さつま市、志布志市、奄美市、南九州市、伊佐市、姶良市
沖縄県	**<95%>那覇市、宜野湾市、浦添市、南風原町** **<80%>北谷町、北中城村、西原町、与那原町** 石垣市、名護市、糸満市、沖縄市、豊見城市、うるま市、宮古島市、南城市、本部町、恩納村、宜野座村、金武町、読谷村、嘉手納町、中城村、八重瀬町

VICS情報について

VICS情報の更新に伴う表示変更

ナビゲーションおよび地図ソフトを購入して3年ほど経過すると、地図画面で渋滞情報が表示されない場所が出る場合が次第に増えます。この現象が起きるのは、レベル3の地図情報のみで、レベル1の文字情報・レベル2の図形情報では従来どおり表示されます。
この現象の原因は、VICSセンターの採用するVICSリンク（主要交差点ごとに道路を区切った単位）というデータ方式にあります。道路の新設や改築、信号機の設置などで交通情報が変化する場合は、適宜VICSリンクの追加や変更が行われます。そのため、新しいVICSリンクによって提供された情報は、変更前のVICSリンクでは表示されなくなります。ただし、情報提供サービス維持のため、変更後の3年間は、旧VICSリンクにも従来どおりの情報を提供する仕組みになっています。
VICSリンクは毎年更新されますので、できるだけ新しい地図のご利用をおすすめいたします。
現在お使いのナビゲーション、地図ソフトの対応などにつきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。また詳しくは、以下のVICSセンターへお問い合わせください。

VICSシステムの問い合わせ先

VICSは、受信した内容をそのまま表示するレベル1（文字情報）、レベル2（図形情報）の表示と、ナビゲーション機器が地図上に表示するレベル3を提供するサービスです。
VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは（財）VICSセンターにお問い合わせください。

■（財）VICSセンター

電話番号：0570-00-8831
受付時間：9:30 ～ 17:45（土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く）
※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
※PHS、IP電話等からはご利用できません。
FAX番号：(03) 3562-1719
●インターネット・ホームページ
http://www.vics.or.jp/

VICSリンクデータベースの著作権について
VICS情報のデータの著作権は、（財）日本デジタル道路地図協会、（財）日本交通管理技術協会が有しております。

ITSスポットによる情報提供への切り替えについて

新サービスの開始や路側機の老朽化等に伴い、高速道路のVICSビーコン（2.4GHz）による情報提供は、今後、ITSスポットによる情報提供に移行します。VICS ビーコン（2.4GHz）によって行われていた情報提供は、より広域な情報や安全運転を支援する情報が加わり、ITSスポットによって情報提供されます。高速道路においてはすでにITSスポットが全線に設置されており、平成24年4月以降に開通する高速道路においては、ITSスポットが設置されます。(VICSビーコン(2.4GHz)は原則として設置されません)
既存のVICS ビーコン（2.4GHz）は当面存置されサービスが提供されますが、故障して容易に機能を回復できないなどの場合には、原則として情報は更新されません。

お問い合わせ先：
国土交通省道路局道路交通管理課ITS 推進室
03-5253-8484

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総　　　　　則

(約款の適用)
第1条　財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)
第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)
第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

（1）VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
（2）VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
（3）加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
（4）VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章　サービスの種類等

(VICSサービスの種類)
第4条　VICSサービスには、次の種類があります。

（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
（2）簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
（3）地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)
第5条　当センターは、原則として一週間に概ね１２０時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章　契　　　　　約

(契約の単位)
第6条　当センターは、VICSデスクランブラー１台毎に１のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)
第7条　VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)
第8条　VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)
第9条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第４条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)
第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)
第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。
（1）加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
（2）加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)
第12条
1　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
2　第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章　料　　　　　金

(料金の支払い義務)
第13条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章　保　　　　　守

(当センターの保守管理責任)
第14条　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)
第15条
1　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。
2　当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章　雑　　　　　則

(利用に係る加入者の義務)
第16条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)
第17条
1　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他 当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは当該変更においても変更後３年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]
視聴料金　315円（うち消費税15円）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

本機で再生可能な音声ファイルについて

本機では、以下の音声ファイルを再生できます。

●CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW、SDカード、USBメモリーに保存されたMP3、WMA、またはAACファイル
詳しくは以下をご覧ください。
- 本機で使えるSDカード／USBメモリー → P.10

MP3とは、MPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

MP3ファイルは、元の音楽データを約1/10サイズに圧縮したものです。

WMAとは、Windows Media Audioの略称で、マイクロソフト社独自の音声圧縮フォーマットです。

AACとは、Advanced Audio Codingの略称で、映像圧縮規格MPEG-2、またはMPEG-4で使用される音声圧縮方式です。MP3よりも約1.4倍圧縮効率が高く、同等の音質で再生します。

再生できるMP3・WMA・AACディスク

●記録メディア※1：
CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW

●記録フォーマット：
CD：ISO9660レベル1／レベル2、Joliet、Romeo
DVD：UDF（Ver1.02/1.5/2.0）、UDF-ブリッジ、ISO9660レベル1／レベル2、Joliet、Romeo

●パケットライトには非対応

●拡張子が.MP3、.WMA、または.M4Aのファイル（MP3・WMA・AACファイル以外には「.MP3」「.WMA」「.M4A」の拡張子を付けないでください。故障の原因となります）

※1 マルチセッション対応で記録したディスクは、最大40セッションまで再生可能です。（DVD-R/RW、DVD+R/RWはマルチセッション非対応）

MP3・WMA・AACのVBRファイルを再生、早送り・早戻しすると、再生時間の表示がずれることがあります。

MP3ファイルについて

●ID3-Tag：Ver1.x、2.xの以下の表示に対応
- album（Disc Titleとして表示）
- track（Track Titleとして表示）
- artist（Track Artistとして表示）

●エンファシス：44.1kHzのファイル再生時のみ対応

●再生可能なサンプリング周波数
MPEG1：44.1kHz/48kHz/32kHz
MPEG2：22.05kHz/24kHz/16kHz
MPEG2.5：11.025kHz/12kHz/8kHz
※音質面においては44.1kHz以上を推奨

●再生可能なビットレート
MPEG1：32kbps ～ 320kbps/VBR
MPEG2：8kbps ～ 160kbps/VBR
MPEG2.5：8kbps ～ 160kbps/VBR
※音質面においては128kbps以上を推奨

●SDカード／USBメモリーから再生する場合、以下のサンプリング周波数、ビットレートで記録されたファイルは音切れが発生することがあります。
サンプリング周波数：16kHz以下
ビットレート：8kbps以下

●MP3i（MP3 interactive）、mp3 PROフォーマット非対応

●MP3ファイルのデータ内容によっては、音飛びすることがあります。

●記録時間の短いファイルは再生できないことがあります。

●ディスク／SDカード／USBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できないことがあります。

●低ビットレートのファイルを再生、早送り・早戻しすると、再生時間の表示がずれることがあります。

●Windows Media Player、iTunes以外のTAG編集ソフトでTAG情報を変更すると、TAGが正常に表示されないことがあります。

WMAファイルについて

●作成するパソコンのソフトウェアによっては、アルバム名が文字化けすることがあります。
●WMA9 Professional、WMA9 Voice、WMA9ロスレスフォーマット非対応
●ディスク／ SDカード／ USBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できない場合があります。
●WMAファイルのデータ内容によっては、再生時間の表示がずれることがあります。また、ビットレートによって、部分的に音飛びや音切れがしたり、ノイズが生じる場合があります。
●再生可能なサンプリング周波数・ビットレートは記録バージョンによって異なります。下記の表をご覧ください。

<table>
<tr><td></td><td>ディスク</td><td>SDカード</td><td>USBメモリー</td></tr>
<tr><td>ビットレート
(kbps)</td><td>サンプリング周波数
(kHz)</td><td colspan="2">サンプリング周波数
(kHz)</td></tr>
<tr><td>384</td><td>—</td><td colspan="2">32</td></tr>
<tr><td>320</td><td>44.1</td><td colspan="2">44.1</td></tr>
<tr><td>256</td><td>44.1</td><td colspan="2">44.1</td></tr>
<tr><td>192</td><td>48/44.1</td><td colspan="2">44.1</td></tr>
<tr><td>160</td><td>48/44.1</td><td colspan="2">44.1</td></tr>
<tr><td>128</td><td>48/44.1</td><td colspan="2">44.1</td></tr>
<tr><td>96</td><td>48/44.1</td><td colspan="2">44.1</td></tr>
<tr><td>80</td><td>44.1</td><td colspan="2">44.1</td></tr>
<tr><td>64</td><td>48/44.1</td><td colspan="2">44.1/32</td></tr>
<tr><td>48</td><td>44.1/32</td><td colspan="2">44.1/32</td></tr>
<tr><td>44</td><td>—</td><td colspan="2">32</td></tr>
<tr><td>40</td><td>32</td><td colspan="2">32</td></tr>
<tr><td>36</td><td>—</td><td colspan="2">32</td></tr>
<tr><td>32</td><td>44.1/32/22.05</td><td colspan="2">48/44.1/32/22.05</td></tr>
<tr><td>22</td><td>22.05</td><td colspan="2">32/22.05</td></tr>
<tr><td>20</td><td>44.1/32/22.05/16</td><td colspan="2">44.1/32/22.05/16</td></tr>
<tr><td>16</td><td>22.05/16</td><td colspan="2">22.05/16</td></tr>
<tr><td>12</td><td>16/8</td><td colspan="2">16/8</td></tr>
<tr><td>10</td><td>16/11.025</td><td colspan="2">16/11.025</td></tr>
<tr><td>8</td><td>11.025/8</td><td colspan="2">11.025※/8※</td></tr>
<tr><td>6</td><td>8</td><td colspan="2">8※</td></tr>
<tr><td>5</td><td>8</td><td colspan="2">8※</td></tr>
<tr><td>VBR</td><td>44.1</td><td colspan="2">48/44.1</td></tr>
</table>

※　音切れが発生する場合があります。

AACファイルについて

●ディスク／ SDカード／ USBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できない場合があります。
●AACファイルのデータ内容によっては､再生時間の表示がずれることがあります。また､ビットレートによって、部分的に音飛びや音切れがしたり、ノイズが生じる場合があります。
●再生可能なサンプリング周波数・ビットレートは記録バージョンによって異なります。下記の表をご覧ください。

	ディスク	SDカード	USBメモリー
ビットレート (kbps)	サンプリング周波数 (kHz)	サンプリング周波数 (kHz)	
320	48/44.1	—	
256	48/44.1	48/44.1	
224	48/44.1	—	
192	48/44.1	48/44.1/32	
160	48/44.1	48/44.1/32	
144	ー	48/44.1/32/24	
128	48/44.1	48/44.1/32/24/22.05	
112	48/44.1	—	
96	48/44.1	48/44.1/32/24/22.05/16	
80	48/44.1	48/44.1/32/24/22.05/16	
64	48/44.1	48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025	
56	48/44.1/32	48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025	
48	44.1/32	48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025/8	
40	44.1/24	48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025/8	
32	32/22.05	48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025/8	
28	32/16	—	
24	32/16	48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025/8	
20	24/11.025	48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025/8	
16	22.05/11.025	48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025/8	
8	11.025	48/44.1/32/24/22.05/16※/12※/11.025※/8※	
VBR	48/44.1 (48/64/80/96/128/160/192/256kbpsのとき)	48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025/8	

※　音切れが発生する場合があります。

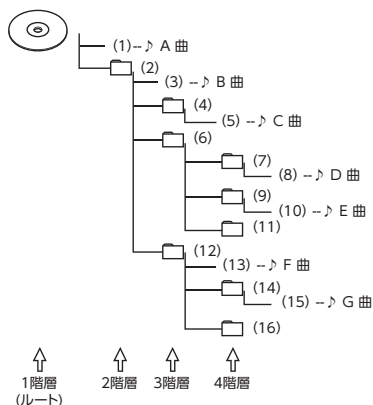
MP3・WMA・AACの記録メディアについて

本機でMP3・WMA・AACを再生するためのご注意

- ●最大数を超えてフォルダ・ファイル・トラックが記録されている場合、超過しているフォルダ・ファイル・トラックは本機では認識されません。また、本機でのフォルダおよびファイルの表示順序は、パソコンでの表示順序とは異なります。
- ●フォルダを含めたファイル名が長い場合、そのファイルは再生できないことがあります。
- ●MP3・WMA・AACのファイル名を表示する場合、ファイル名の長さによってはファイル名の最後に拡張子の一部（./.m/.mp/.W/.WMなど）が残ることがあります。その場合には、作成するファイル名の長さを調整してください。（拡張子の一部が残るファイル名の長さは使用するファイルシステムによります）
- ●SDカード、USBメモリーともに、著作権保護された音楽ファイルは本機では再生できません。

ディスクのフォルダ構成

ディスク内の最大フォルダ・ファイル・トラック数は、以下のとおりです。
　フォルダ：255（ルートを含む）
　ファイル：512
　トラック：1フォルダあたり255

MP3・WMA・AACファイルを記録したディスクのイメージ（例：1 ～ 4階層の場合）は、下図のようになります。
曲のないフォルダは飛ばして再生順序を決めます。
下図の場合の再生順序は、（1）→（3）→（5）→（8）→（10）→（13）→（15）となります。

— MEMO —
- ディスクの場合、8階層（ルートディレクトリを含む）までのファイルの再生に対応しています。多くのフォルダを持つ場合は再生がはじまるまでに時間がかかります。

SDカード／USBメモリーのフォルダ構成

音楽データを認識できる階層は、SDカード、USBメモリーともに、ルートを除く8階層までです。この階層内にあるMP3・WMA・AAC音楽データのみが認識されます。何階層目にデータを置かねばならないという指定はありません。フォルダ名、ファイル名の文字数合計は半角で250文字以内にしてください。

— お知らせ —
- MP3・WMA・AACファイルを含まないフォルダは認識されません。

— MEMO

- SDカード、USBメモリーは、8階層（ルートディレクトリを除く）までのファイルの再生に対応しています。多くのフォルダを持つ場合は再生がはじまるまでに時間がかかります。
- 1つのフォルダに255以上のトラックが入っている場合はパソコンでデータが書き込まれた順序により、認識されるトラックは変わります。
- 1つのフォルダにMP3・WMA・AACファイル以外のファイルを入れた場合、認識されるトラック数が少なくなることがあります。
- 認識可能な最大フォルダ・ファイル・トラック数は以下のとおりです。

  フォルダ：512

  ファイル：8000

  トラック：1フォルダあたり255
- 1つのSDカードでミュージックキャッチャーと共用できます。
- 第1階層にファイルがある場合は、フォルダリスト画面の「MASTER FOLDER」内に置かれます。

本機で再生可能な動画ファイルについて

本機では、以下の動画ファイルを再生できます。

- ●SDカード、USBメモリーに保存されたMPEG4、WMV、またはH.264ファイル（最大4GB）
  詳しくは以下をご覧ください。
  - 本機で使えるSDカード／USBメモリー → P.10

MPEG4とは、Moving Picture Experts Group phase 4の略称で、映像圧縮技術に関する標準フォーマットです。
WMVとは、Windows Media Videoの略称で、Windows Media Playerが標準でサポートしている動画ファイル形式の1つです。
H.264とは、動画データの圧縮符号化方式の標準の1つです。1セグ放送などの標準動画形式として採用されています。

MPEG4/WMV/H.264ファイルについて

- ●Windows Media Video 9（FOURCC code：WMV3）対応
- ●チャプター非対応
- ●DRM非対応（CPRM含む）

	MPEG4	H.264	WMV
ビデオコーデック	ISO MPEG4	H.264	VC-1
音声コーデック	AAC		WMA9
コンテナ	MP4		ASF
ビットレート(bps)	平均4M/最大8M (VBR/CBR対応)		
フレームレート(fps)	30		
最大解像度	800 x 480		

本機で動画ファイルを再生するためのご注意

- ●本機で再生動作を確認したエンコーダソフトは以下のとおりです。
  ※ エンコーダソフトにより作成可能な動画ファイルに違いがあります。
  - EDIUS 6（grass valley社）
  - EDIUS Neo 3（grass valley社）
  - VideoStudioPro X4（COREL社）
  - Roxio Creator 2011（RUNEXY社）
- ●動画ファイルの作成方法、エンコーダソフトウェアなどによっては再生できなかったり、音声・映像が乱れる場合があります。
- ●以下のファイルは、正常に再生できなかったり、再生までに時間がかかることがあります。
  - 極端にサイズの大きい、または小さいファイル
  - 極端に再生時間の長い、または短いファイル
- ●同一ファイル内に音声／映像以外の情報（画像など）が同時に収録されている動画ファイルの再生はできません。
- ●3チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データを含む映像ファイルは再生できません。
- ●ファイルはファイル名順で再生されます。再生順序を変更したい場合は、ファイル名の先頭に数字を入力してください。
- ●対応していない動画形式のファイルに再生可能な拡張子（.MP4/.M4Vなど）を付けないでください。雑音や故障の原因となります。
- ●動画ファイルの作りかたによっては、動画ファイル自体の映像にノイズが含まれるものがあります。動画作成ソフトなどでフィルタリングすることでノイズを除去できる場合があります。
- ●動画ファイルのデータ内容によっては、再生時間の表示がずれることがあります。また、ビットレートによって、部分的に音飛びや音切れがしたり、ノイズが生じる場合があります。
- ●テレビ放送や、ビデオ、DVDなど、個人で作成したものでない映像、音声を個人で楽しむ以外の目的で権利者に無断で使用することは、著作権法上制限されています。著作権保護された動画ファイルの映像は再生できません。
- ●USBメモリーのメディアにより正常に再生できない場合があります。

カントリーコード一覧

国名	国コード	入力番号
ALBANIA	AL	6576
ANDORRA	AD	6568
AUSTRIA	AT	6584
BAHRAIN	BH	6672
BELGIUM	BE	6669
BOSNIA AND HERZEGOWINA	BA	6665
BULGARIA	BG	6671
CROATIA (local name:Hrvatska)	HR	7282
CYPRUS	CY	6789
CZECH REPUBLIC	CZ	6790
DENMARK	DK	6875
EGYPT	EG	6971
FINLAND	FI	7073
FRANCE	FR	7082
FRANCE, METROPOLITAN	FX	7088
GERMANY	DE	6869
GREECE	GR	7182
HUNGARY	HU	7285
ICELAND	IS	7383
IRAN (ISLAMIC REPUBLIC)	IR	7382
IRAQ	IQ	7381
IRELAND	IE	7369
ISRAEL	IL	7376
ITALY	IT	7384
JAPAN	JP	7480
JORDAN	JO	7479
KUWAIT	KW	7587
LEBANON	LB	7666
LESOTHO	LS	7683
LIECHTENSTEIN	LI	7673
LUXEMBURG	LU	7685

国名	国コード	入力番号
MACEDONIA, THE FORMER YUGOSLAV REPUBLIC OF	MK	7775
MALTA	MT	7784
MONACO	MC	7767
NETHERLANDS	NL	7876
(NETHERLANDS ANTILLES)	AN	6578
NORWAY	NO	7879
OMAN	OM	7977
POLAND	PL	8076
PORTUGAL	PT	8084
QATAR	QA	8165
ROMANIA	RO	8279
SAN MARINO	SM	8377
SAUDI ARABIA	SA	8365
SLOVAKIA (Slovak Republic)	SK	8375
SLOVENIA	SI	8373
SOUTH AFRICA	ZA	9065
SPAIN	ES	6983
SWAZILAND	SZ	8390
SWEDEN	SE	8369
SWITZERLAND	CH	6772
SYRIAN ARAB REPUBLIC	SY	8389
TURKEY	TR	8482
UNITED ARAB EMIRATES	AE	6569
UNITED KINGDOM	GB	7166
Vatican City State	VA	8665
YEMEN	YE	8969
YOUGOSLAVIA	YU	8985
FAROE ISLANDS	FO	7079
GIBRALTAR	GI	7173
GREENLAND	GL	7176
SVALBARD AND JAN MAYEN ISLANDS	SJ	8374

お手入れ

本機や、CD・DVDなどディスク類のお手入れについて説明します。

ディスクのお手入れ

大切なディスクはきちんとお手入れして、長く楽しみましょう。

●ディスクが汚れたときは、やわらかい布でディスクの内側から外側に向かって、よく拭いてください。
●レコード用のクリーナー液やアルコールは使用しないでください。
●DVD/CD専用クリーナーは使用できますが、その場合はよく乾燥させてからお使いください。

本体のお手入れ

本体のお手入れをする際には、以下のことにご注意ください。

●本体をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽く拭いてください。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布にごく微量付けて軽く拭き取り、乾いた布で仕上げてください。機器のすきまに液体が入ると、故障の原因となりますのでご注意ください。

※本体のお手入れをする際、ベンジンやシンナー、自動車用クリーナー、つや出しスプレーなどは絶対に使用しないでください。火災の原因になる可能性があります。

●液晶表示部は、ホコリが付きやすいので、ときどきやわらかい布で拭いてください。

TVアンテナのお手入れ

●フロントウィンドウ（室内側）をお手入れする際は、アンテナをやわらかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れのひどいときは、水に薄めた中性洗剤に浸した布を固くしぼり、軽く拭いてください。
アルコール、シンナー、ベンジンなどはご使用にならないでください。
●一度貼り付けたアンテナははがさないようにしてください。機能が損なわれます。

保証書とアフターサービス

■ 保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。
なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■ 保証期間

保証書に記載の期間をご確認ください。

■ 万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。ただし、脱着にともなう工賃は、お客様のご負担となります。
お買い求めの販売店にご相談ください。

■ 保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後6年保有しています。

■ その他

アフターサービスの詳細、その他ご不明な点は、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口、あるいはお客様相談室へご相談ください。

仕様

ナビゲーション（GPS）部

受信周波数　：1575.42MHz
　　C/A コード
感度　：－160dBm以下
チャンネル数　：最大50チャンネル

LCD モニター部

画面寸法　：7型
（画面開口部）（156.4mm×81.5mm）
表示方式　：透過型TN液晶パネル
駆動方式　：TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス駆動方式
画素数　：1,152,000画素
　　［水平800×垂直480×3（RGB）］

12セグ／1セグチューナー部

受信チャンネル：UHF 13 ～ 62ch
最大感度　：－80dBm以下

CD プレーヤー部

周波数特性　：20Hz ～ 20kHz
SN比　：80dB
高調波ひずみ率：0.05%

DVD プレーヤー部

周波数特性　：20Hz ～ 20kHz
SN比　：80dB
高調波ひずみ率：0.05%

FMチューナー部

受信周波数　：76.0MHz ～ 90.0MHz
実用感度　：8dBμV

AMチューナー部

受信周波数　：522kHz ～ 1,629kHz
実用感度　：30dBμV

オーディオ部

定格出力　：18W×4（10%、4Ω）
瞬間最大出力　：47W×4
適合インピーダンス　：4Ω

Bluetooth部

受信周波数　：2402MHz ～ 2480MHz
　　（1MHzステップ）
受信感度　：－70dBm以下
規格　：バージョン2.1+EDR

共通部

電源電圧　：14.4V
　　（10.8 ～ 15.6V 許容電圧範囲）
接地方式　：マイナス接地
消費電流　：約4A（1W出力時）

商標について

●本機には、米国特許その他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、ロヴィ コーポレーションの許可が必要ですが、家庭およびその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁じられています。

●本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアモジュールを使用しています。
それらの一部にはMPL（Mozilla Public License）のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアモジュールが含まれています。
ソースコードの入手およびMPLについては以下のWEBサイトをご覧ください。
http://www.clarion.com/jp/ja/products/navigation/mpl/index.html
その他、本機には以下のソフトウェアモジュールを使用しています。

- Independent JPEG Group

●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

●DVD VIDEO はDVDフォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。

●SD,SDHC,miniSD and microSD Logos are trademarks of SD-3C,LLC.

●マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

●Gracenote®、Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および"Powered by Gracenote"ロゴは、米国および/またはその他の国におけるGracenote,Inc.の登録商標または商標です。

●VICSは、（財）道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

●「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

●「タウンページデータベース」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。

●"Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, and iTunes are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

●Bluetoothワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の所有物であり、クラリオン（株）は許可を受けて使用しています。

●MAPPLEガイドデータ、及びMAPPLEぬけみちデータは、株式会社昭文社の登録商標または商標です。

●Microsoft、WindowsおよびWindows XP ／ Windows Vista ／ Windows 7は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

●本製品の一部にRTPatchのモジュールが含まれています。RTPatchはPOCKET SOFT社の登録商標です。

●「NaviCon」は株式会社デンソーの登録商標です。

●Androidは、Google Inc.の商標です。

●DSRCは一般社団法人ITS推進機構（ISPA）の登録商標です。

●ITSスポットは国土交通省の登録商標です。

●オープンソースを適用したソースコードの入手方法について
本機ではオープンソースを適用したソフトウェアを使用しています。
このソフトウェアに関するソースコードの入手をご希望されるお客さまには、弊社ホームページよりダウンロードによる方法にて提供しております。
入手方法については、以下のサイトをご参照ください。
http://www.clarion.com/jp/ja/products/personal/navigation/gpl/index.html

付録

Gracenote® Music Recognition Service℠について

Gracenote,Inc.提供のCDおよび音楽関連データ:copyright© 2000 to present Gracenote.
Gracenote Software,copyright© 2000 to present Gracenote.本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。
適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。Gracenote、CDDB、MusicID、Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および"Powered by Gracenote"ロゴは、米国および/またはその他の国におけるGracenoteの登録商標または商標です。

※本機のデータベースは、2013年2月時点のものです。

Gracenote® エンドユーザー使用許諾契約書

バージョン 20061005

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.（以下「Gracenote」）のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote社のソフトウェア（以下「Gracenote ソフトウェア」）を使用することにより､ディスクやファイルを識別し､さらに名前､アーティスト、トラック、タイトル情報（以下「Gracenote データ」）などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenote サーバー」）から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。
お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenote サーバーをお客様個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第3者に対しても、Gracenote ソフトウェアやGracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、またはGracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。
お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenote データ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利をGracenoteとして行使できることに同意するものとします。
Gracenoteのサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより､Gracenote サービスを利用しているお客様を認識､特定しないで､クエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenote プライバシー ポリシーを参照してください。
Gracenote ソフトウェアとGracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenoteは、Gracenote サーバーにおける全てのGracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたはGracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いはGracenote ソフトウェアまたはGracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenoteは、Gracenoteが将来提供する可能性のある､新しく拡張､追加されるデータタイプまたはカテゴリを､お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。
Gracenoteは、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様によるGracenote ソフトウェアまたは任意のGracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないもとのとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

暗証番号照会申込書

盗難防止のために、本機に暗証番号を設定しておくことができます。
万が一設定した暗証番号をお忘れになった場合は、コード発行されたSDカードと、下記の「暗証番号照会申込書」をクラリオン株式会社お客様相談室宛に郵送でお送りください。→ P.162
「暗証番号照会申込書」は、クラリオン株式会社ホームページ（http://www.clarion.com/jp/ja/support/password）よりダウンロードしてプリントアウトするか、またはお客様相談室に請求してください。

暗証番号照会申込書

盗難防止機能の暗証番号を忘れてしまった場合は、本申込書に必要事項を記入の上、クラリオンお客様相談室宛に暗証番号照会の申し込みをしてください。

申込年月日　平成　　年　　月　　日

クラリオン株式会社 お客様相談室 行

1. 登録情報（本人確認するための情報になります。）

電話番号	セキュリティ機能を設定した際に入力した電話番号を記載してください。
自宅登録	ナビゲーションに自宅登録している場所（住所）をできるだけ詳しく記載してください。

2. お客様の連絡先（暗証番号の発行およびメモリーカードの返送先になります。）

氏 名	フリガナ
住 所	フリガナ 局留め等の住所表記では受け付けることはできません。 〒
電話番号	

※ 本人確認のため電話連絡させていただく場合があります。

3. 商品情報

機種名	保証書等を参考に記載してください。 例）MAX7700
購入先	☐ カー用品店　☐カーディーラー　☐ その他（　　　　　　　　）

＜申し込み手順＞
① 対応したメモリーカードをカードスロットに挿入します。
　メモリーカードを郵送していただきますので余分なデータは消去するようにしてください。
② 暗証番号入力画面から「コード発行」をタッチします。
　「コード発行」をタッチするとメモリーカードに解除コード発行に必要な情報が書き込まれます。
③ コード発行されたメモリーカードと本申込書を同封の上、クラリオンお客様相談室 宛に送付してください。
　送付先：
　〒330-6030 埼玉県さいたま市中央区新都心 11-2
　ランド・アクシス・タワー 30階
　クラリオン株式会社 お客様相談室 宛

【個人情報保護に関して】
本申込書に記入していただいた個人情報は、ご提示した目的の範囲内で利用させていただき、外部への公表、不正アクセス、紛失、漏洩、改竄、窃取、がないよう適切にセキュリティ管理いたします。

付録

製品を廃棄・譲渡・転売するときは

本機を第三者に転売・譲渡するとき、または廃棄するときのご注意について説明しています。

ナビゲーション内のデータ消去について

本機（ナビゲーション）を第三者に譲渡・転売、または廃棄される場合には以下の内容をご留意のうえ、お客様自身の適切な管理のもとにすべてのデータを消去していただきたく、お願い申し上げます。

お客様のプライバシー保護のために…

メモリーに保存された個人情報を含むすべてのデータ（登録リスト、メンテナンス情報など）を、以下に記載した内容にしたがって初期化（データの消去）してください。

著作権保護のために…

メモリー内に保存された画像データなどを、以下に記載した内容にしたがって初期化（データの消去）してください。著作権があるデータを、著作権者の同意なく本機に残存させたまま譲渡（有償および無償）・転売されますと、著作権法に抵触するおそれがあります。

※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害などに関しては、一切責任を負いかねますので、上記のとおりお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

データを消去（初期化）する

本機に保存されたデータをすべて消去（初期化）します。

1. メニュー ▶ 設定
2. その他設定
3. 出荷状態に戻す
4. 全データの消去
   確認画面が表示されます。
5. はい
   本機に保存された全データが消去されます。

お願い

- 「Smart Access」で機器登録をしている場合は、携帯電話、またはパソコンから、登録機器を必ず消去してください。

お知らせ

- 更新を行った場合の地図データやプログラムバージョンは初期化されず、更新後のデータが保持されます。

MEMO

- TVサーチ情報は、更新データのみ消去され、工場出荷時の状態に戻ります。
- 盗難防止機能が「ON」に設定されている場合は、暗証番号入力画面が表示されます。この場合は、設定した暗証番号を入力し、盗難防止機能を解除してから実行してください。

メニューマップ

●メインメニュー

●シンプルメニュー

付録

●現在地地図メニュー

現在地
自車位置マーク ▶▶ P.22
AVコントロールバー表示 ▶▶ P.23
音声検索 ▶▶ P.42
マルチインフォメーション ▶▶ P.23
詳細／広域 ▶▶ P.24
NaviCon ▶▶ P.48
方位マーク ▶▶ P.25
表示変更 ▶▶ P.27
オーディオ情報
マルチメーター情報
エコロジー運転情報
GPS&自車方位情報
追加表示しない
現在地メニュー ▶▶ P.24
周辺施設を検索
検索アイコンの消去
渋滞情報取得
ここを登録
周辺駐車場
地図をスクロールする ▶▶ P.25
決定
ここに行く
ここをルートに追加
周辺施設を検索
渋滞情報取得
消去
ここを登録
周辺駐車場
微調整

●地点メニュー

地点を検索
ガイド開始 ▶▶ P.57
ルートを表示 ▶▶ P.57
ガイド開始 ▶▶ P.59
他のルートを選ぶ ▶▶ P.59
有料優先
有料（省エネ）
有料優先（別ルート）
一般優先
一般（省エネ）
一般優先（別ルート）
距離優先
ルートの確認・登録 ▶▶ P.60
ルート情報
現在のルートを登録
地図スクロール
行き先を追加 ▶▶ P.60
入口施設名 ▶▶ P.61
出口施設名 ▶▶ P.61
位置を修正 ▶▶ P.58
ルートに追加 ▶▶ P.58
ここを登録 ▶▶ P.58
周辺駐車場 ▶▶ P.58
情報 ▶▶ P.58
QRコード
電話をかける

●表示変更メニュー

表示変更
1画面 ▶▶ P.28
2画面 ▶▶ P.28
ルート情報 ▶▶ P.29
ピクチャービュー ▶▶ P.30
＋エコロジー ▶▶ P.31
AV2画面 ▶▶ P.31
北方向を上 ▶▶ P.25
進行方向を上 ▶▶ P.25
3D ▶▶ P.28
上がる ▶▶ P.28
下がる ▶▶ P.28
ハイウェイモード ▶▶ P.29
一方通行 ▶▶ P.32
抜け道 ▶▶ P.32
施設アイコン ▶▶ P.28,P.150
VICS表示 ▶▶ P.28,P.154
渋滞・混雑
順調
事故・規制情報
駐車場情報
SA・PAの駐車場情報
その他 ▶▶ P.32
昼画面の地図色
夜画面の地図色
地図文字サイズ
自車位置マーク
目的地方向表示

●目的地メニュー

目的地
名称 ▶▶ P.36
電話番号 ▶▶ P.37
住所 ▶▶ P.37
周辺検索 ▶▶ P.39
お好み変更 ▶▶ P.40
お好みアイコンリスト ▶▶ P.40
自車周辺 ▶▶ P.39
目的地周辺 ▶▶ P.40
目的地周辺の駐車場 ▶▶ P.41
ルートサイド ▶▶ P.41
登録地 ▶▶ P.37
履歴 ▶▶ P.46
他の検索方法
ジャンル ▶▶ P.38
WEBサーチ ▶▶ P.44
自分で作成したスポット
共有しているスポット
サイトのすべてのスポット
SDメモリーカード・本体メモリのスポット
TVサーチ ▶▶ P.43
番組名
ジャンル
周辺検索
登録ルート ▶▶ P.47
緯度・経度 ▶▶ P.47
郵便番号 ▶▶ P.47
マップコード ▶▶ P.47
バックアップ登録地 ▶▶ P.47
自宅へ戻る ▶▶ P.39
音声検索 ▶▶ P.42
NaviCon ▶▶ P.48
目的地を消去 ▶▶ P.39

●ルートメニュー

ルート
ルート消去 ▶▶ P.68
ルート編集 ▶▶ P.63
行き先の追加・修正
ここに追加
地点を選択
探索条件を選択
探索開始
有料区間の修正 ▶▶ P.65
入口を変更
入口ICを元に戻す
出口を変更
出口ICを元に戻す
ルート確認・登録
ルート情報 ▶▶ P.67
ルートシミュレーション ▶▶ P.67
現在のルートを登録 ▶▶ P.67
地図スクロール ▶▶ P.68
ガイド中断／ガイド再開 ▶▶ P.68
再探索 ▶▶ P.62
迂回路探索 ▶▶ P.62
オンライン探索 ▶▶ P.63
ガイド音声・探索設定
ガイド音量 ▶▶ P.68
ガイド・メッセージ音声 ▶▶ P.68
探索条件
有料優先
有料（省エネ）
一般優先
一般（省エネ）
距離優先
オンライン探索の自動
ダウンロード設定 ▶▶ P.63
行き先設定時にダウンロード
ダウンロード時間の間隔
ルートの学習 ▶▶ P.156
学習したルートを考慮
学習したルートをリセット
その他の条件 ▶▶ P.157
時間規制道路
冬季通行止め
フェリー航路を使う
統計交通情報を考慮
リアルタイム交通情報を考慮
スマートICを考慮
省エネルートを考慮
有料優先
有料（省エネ）
一般優先
一般（省エネ）
距離優先

●情報メニュー

情報
WEB連携
お気に入りスポットを登録地へ追加 ▶▶ P.81
お気に入りコース
お気に入りコースを登録ルートへ追加 ▶▶ P.82
おでかけ計画 ▶▶ P.82
MYツアーデータの取り込み ▶▶ P.83
登録地を「Smart Access」サイトへ送信 ▶▶ P.83
走行軌跡を「Smart Access」サイトへ送信 ▶▶ P.84
WEBサーチで取得したスポットの消去 ▶▶ P.84
FM VICS ▶▶ P.77
図形情報
文字情報
所要時間
緊急情報
渋滞情報取得 ▶▶ P.101
本体情報 ▶▶ P.85
GPS現在地情報 ▶▶ P.85
バージョン情報
製品情報
地図更新情報
プログラム更新
メンテナンス情報 ▶▶ P.86
販売店情報
お店へ行く
販売店登録
名称
電話番号
担当者
位置
初期化
オイル関連
タイヤ関連
消耗品
点検・車検
免許証・保険
オリジナル1 ～ 3
ETC情報 ▶▶ P.79
最新利用履歴の読上げ ▶▶ P.79
最新利用日履歴 ▶▶ P.80
利用履歴 ▶▶ P.80
精算 ▶▶ P.80
ETC設定 ▶▶ P.81
音声ガイド
カード入れ忘れ警告
本体ブザー音
アイコン表示
セットアップ情報 ▶▶ P.80
ビーコン情報 ▶▶ P.77
図形情報
文字情報
所要時間
緊急・注意警戒情報
DSRC情報 ▶▶ P.78
図形情報
文字情報
緊急・注意警戒情報
多目的情報
電子標識情報
安全運転支援情報
長文読み上げ情報

付録

●設定メニュー

設定
ナビゲーション
登録データの編集・消去
自宅（未登録）／自宅 ▶▶ P.18
登録地 ▶▶ P.53
登録ルート ▶▶ P.55
登録の消去 ▶▶ P.54
SDメモリーカードに登録地をバックアップ
バックアップデータの取り込み ▶▶ P.168
SDメモリーカード内バックアップデータの消去 ▶▶ P.168
地図表示変更 ▶▶ P.27
1画面
2画面
ルート情報
ピクチャービュー
＋エコロジー
AV2画面
北方向を上
進行方向を上
3D
上がる
下がる
ハイウェイモード
一方通行
抜け道
施設アイコン
VICS表示
その他
アイコンの表示 ▶▶ P.150
施設アイコンの表示
検索アイコンの表示
検索アイコンの消去
交通事故多発地点の表示
軌跡の設定 ▶▶ P.151
軌跡の表示
軌跡の間隔
軌跡の消去
ルートガイドの設定 ▶▶ P.151
ガイド音量
ガイド・メッセージ音声
ルートガイド音声の詳細設定
音声ガイド時にオーディオ音量を下げる
バラエティボイス
拡大図設定
到着予想時刻の表示切替
AV画面での割り込み
到着予想時刻の速度設定
その他の設定
交通情報・VICSの設定 ▶▶ P.154
交通情報のダウンロード設定
VICS表示の対象道路
地図上のVICS表示設定
FM多重情報の受信地域選択
受信情報の割り込み表示
割り込み表示時間
DSRC情報の自動音声読み上げ
プローブ情報設定
ルート探索条件の設定 ▶▶ P.155
探索条件
オンライン探索の自動ダウンロード設定
ルートの学習
その他の条件
その他の設定 ▶▶ P.159
現在地名称プレート表示
スクロール地点情報表示
現在地修正
センサーの学習リセット
接続チェック
コントロールバー自動消し

オーディオ ▶▶ P.163
音場設定
Balance/Fader
グラフィックEQ
Loudness
Sound Restorer
車速連動ボリューム
Virtual Bass
Volume Smoother
Intelligent Tune
その他設定
SDメモリーカード
登録地点 ▶▶ P.168
バックアップ
バックアップデータの取り込み
SDメモリーカード内バックアップデータの消去
SDメモリーカード内グループフォルダ名の編集
オープニング画面の取り込み ▶▶ P.169
バラエティボイスの取り込み ▶▶ P.169
MYツアーデータの取り込み ▶▶ P.169
TVサーチ情報の更新 ▶▶ P.170
画質調整 ▶▶ P.166
地図・メニュー画面
iPhone画面
音量調整 ▶▶ P.167
ガイド音量
ガイド・メッセージ音声
着信音量
受話音量
送話音量
操作音
電話・オンライン ▶▶ P.88
電話
短縮ダイヤル登録・編集
発着信履歴
ハンズフリー電話帳
メモリ消去
音量調整
オンライン
接続先の編集
Bluetooth設定
WEB連携 ▶▶ P.103
連携するための認証を行う
メールアドレス
パスワード
本日のパケット通信量 ▶▶ P.89
Bluetooth ▶▶ P.88
Bluetoothで接続
機器登録
接続機器の選択
機器の消去
車載機のBluetooth情報・変更
オープニング画面 ▶▶ P.167
言語選択 ▶▶ P.158
Text
Voice
その他設定
時計 ▶▶ P.13
時計表示（地図・メニュー）
時計表示（オーディオ映像画面）
24時間表示
オフセット調整
初期設定 ▶▶ P.159
車両設定 ▶▶ P.160
アンテナの種類 ▶▶ P.160
VTR接続設定 ▶▶ P.177
ステアリングスイッチ設定 ▶▶ P.161
盗難防止設定 ▶▶ P.162
盗難防止イルミ
盗難防止
盗難防止の暗証番号変更
販売店
出荷状態に戻す ▶▶ P.232
カーソル表示 ▶▶ P.159
全データの消去
登録地情報の消去
軌跡データの消去
目的地履歴の消去
入力履歴の消去
TVサーチ情報の消去
プローブ情報の消去
車両ログデータの初期化（エコロジーログデータ）
4Carアプリケーションキャッシュの消去
オプションカメラモード ▶▶ P.183
自動
手動

●電話メニュー

●オーディオメニュー

- AV
  - FM/AM ▶▶ P.112
    - FM/AM ▶▶ P.112
    - 地域選択 ▶▶ P.113
      - プリセット書き換え
      - オート
      - 地域を選択
    - お出かけ ▶▶ P.113
    - オートストア ▶▶ P.113
  - DVD/CD(DVD) ▶▶ P.124
    - トップメニュー※1 ▶▶ P.125
    - メニュー※1 ▶▶ P.125
    - メニュー操作※1 ▶▶ P.125
    - プレイリスト※2 ▶▶ P.126
    - 静止画切替※2 ▶▶ P.126
    - リスト※2 ▶▶ P.126
    - 設定
      - 10キーダイレクト入力※1 ▶▶ P.126
      - 音声・字幕・アングル※1 ▶▶ P.127
      - 音声・字幕※2 ▶▶ P.127
      - 画質調整 ▶▶ P.128
      - 画面切替 ▶▶ P.127
      - 常に状態を表示する※2 ▶▶ P.128
      - 初期設定※1 ▶▶ P.128
    - リピート ▶▶ P.125
    - 再生／停止
  - DVD/CD(CD) ▶▶ P.131
    - REC ▶▶ P.134
    - 機能 ▶▶ P.132
    - 録音設定 ▶▶ P.134
      - CD挿入時に自動録音
      - オンラインでアルバム情報を自動取得
  - DVD/CD(ディスク) ▶▶ P.131
    - 機能 ▶▶ P.132
    - 前フォルダ ▶▶ P.131
    - 次フォルダ ▶▶ P.131
  - MUSIC CATCHER ▶▶ P.133
    - 設定 ▶▶ P.136
      - アーティスト検索 ▶▶ P.136
      - タイトル編集 ▶▶ P.137
      - 曲の消去 ▶▶ P.137
      - 選択演奏 ▶▶ P.137
      - アルバム並べ替え ▶▶ P.137
    - 機能 ▶▶ P.136
    - 前アルバム ▶▶ P.136
    - 次アルバム ▶▶ P.136

※1：DVDビデオ再生時のみ
※2：DVD-VR再生時のみ

※1：ビデオのみ
※2：オーディオのみ

別売品型式番号リスト

本書に掲載している別売品の形式番号一覧です。販売店でお買い求めの際に、参考にしてください。

別売品	型式番号
ETCユニット	ETC012
DSRCユニット	DSC012
ビデオ対応 iPod接続ケーブル	CCA-750-500
VTRケーブル	CCA-657-500
USBデータ通信ケーブル	CCA-764-500
リモコン	RCB-202-500
リアカメラ	RC13D
サイドビューカメラ	CC-2016A

用語集

AAC（エーエーシー）、HE-AAC

Advanced Audio Codingの略称で、音声圧縮方式の1つ。MP3よりも約1.4倍圧縮効率が高く、同等の音質で再生できます。
HE-AACは、通常のAACに比べ、より低いビットレートで高音域を再現した音声形式です。

Bluetooth（ブルートゥース）

携帯情報機器向けの短距離無線通信技術。Bluetoothに対応した機器どうしであれば、無線で通信を行えます。

Bluetoothオーディオ

Bleutoothに対応しているオーディオ機器、および機器内の音声ファイルを再生する機能。

FM多重放送

広範囲の道路交通情報を、文字・図形・アイコンでお知らせするサービス。

GPS（ジーピーエス）

Global Positioning Systemの略称で、人工衛星を利用して現在の位置を割り出すシステム。

Gracenoteデータベース
（グレースノートデータベース）

Gracenote社が提供する、CD情報データベース。再生した音楽CDを認識して、曲名やアーティスト名を表示できます。

H.264

動画データの圧縮符号化方式の標準の1つ。
1セグ放送などの標準動画形式として採用されています。

スマートフォン連携

お手持ちのスマートフォンを接続することで、スマートフォンに表示されたアプリケーションを本機で操作する機能。あらかじめアプリケーション管理ソフト「Smart Access」やWebアプリケーション管理ソフト「4Car」を、スマートフォンにインストールしておく必要があります。また「Smart Access」と「4Car」では、ご利用になれるアプリケーションが異なります。

mini B-CASカード（ミニビーキャスカード）

地デジ放送を見るために必要なICカード。

MP3（エムピースリー）

MPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮方式の1つ。元の音楽データを約1/10のサイズに圧縮できます。

MPEG4（エムペグフォー）
Moving Picture Experts Group phase 4の略称で、映像圧縮技術に関する標準フォーマット。

SA/PA（エスエーピーエー）
サービスエリア／パーキングエリアの略称。

SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード、microSDカード、mini SDカード
カード型の記憶装置。形状やデータの転送速度によって規格が異なります。
本機では、登録地点をカードに保存したり、カード内の音声ファイルの再生などが行えます。

TVサーチ情報
TV番組で紹介されたグルメスポットやレジャースポットの情報。

USBメモリー
USBコネクタに接続して使用する記憶装置。本機と接続することで、USBメモリーに保存した音声ファイルや動画ファイルを再生できます。

VICS（ビックス）、VICSアイコン、VICS情報
日本道路交通情報センターが提供する道路情報サービス。地図上のアイコン表示や、文字・図形で情報を提供します。

WMA（ダブリュエムエー）
Windows Media Audioの略称で、マイクロソフト社独自の音声圧縮フォーマット。

WMV（ダブリュエムブイ）
Windows Media Videoの略称。
Windows Media Playerが標準でサポートしている動画ファイル形式の1つ。

WEB連携
Smart Accessなど通信機能が必要な操作を行う場合に、本機とインターネットを通信連携させること。

エコロジー機能
お客様の運転がどれだけエコロジー運転になっているかを、メーターでお知らせする機能。

オーディオ・ビジュアル機能
ラジオ、地上デジタル放送、DVDなど、音源や映像源（オーディオソース）を視聴する機能。

オートリルート
より適したルートが見つかった場合やルートから外れた場合に、自動的に新しいルートに切り替えて案内する機能。

オープニング画面
本機起動時に表示される画面。SDカードに保存したオープニング画面データを表示させることもできます。

お好みアイコン
目的地検索でよく使うものとして登録されたジャンルを示すアイコン。（「ガソリンスタンド」、「コンビニエンスストア」など）

拡大図
交差点や高速道路出入口などに近づくと表示される、道路の拡大イラスト。

経由地
目的地までのルートで経由する地点。設定後、位置や順序を変更できます。

現在地
現在、自車のある位置を含めた周辺地図。

検索アイコン
周辺検索で施設を探すと表示される、矢印付きのアイコン。→ P.40

市街地図
50m以下のスケールで表示される、施設や道路をより詳細に示した地図。場所によっては、表示されない場合があります。

自車位置
現在、自車がある位置。現在地よりも範囲が狭い場合を表します。

受信バンド
本来は受信する周波数の帯域のことです。本機では「自宅」「お出かけ」に設定した地域ごとに受信できるラジオ・テレビのチャンネルを指します。受信バンドを切り替えることで、すばやく「自宅」「お出かけ」に登録したチャンネルを呼び出せます。

走行軌跡
車の走行跡をマークで表示したもの。

立寄地
目的地までのルート沿いにある施設。「立寄地点」アイコンを目印として表示できますが、ルート内に組み込むことはできません。

探索条件
ルート計算時に優先する条件のこと。

地図表示モード
地図の表示方法のこと。地図表示変更メニューから、さまざまな表示方法を選択できます。

登録地
本機に登録した地点。一度検索した地点を登録地として登録することで、次回からすぐに行き先として設定できます。

登録ルート
経由地・目的地・区間探索条件の組み合わせをセットで本機に登録したもの。登録リストから呼び出して、ルートとして設定できます。

Smart Access Updater
(スマートアクセスアップデーター)
クラリオン株式会社が提供する、PC用アプリケーション。お使いのパソコンにインストールすることで、プログラム更新や地図更新を行ったり、TV情報やアルバム情報を本機に取り込めます。

ハンズフリー
接続コードを使用しないで、無線で電話を送受信する機能。

ビーコンVICS情報
別売のビーコンユニットを接続することで受信できるVICS情報。渋滞や通行止め、所要時間などの交通情報を取得できます。また、最新の簡易図形情報や災害発生時の緊急情報を、自動的に表示します。

ピクチャービュー
地図表示モードの1つ。
自車位置周辺のグルメスポット、レジャースポットが写真で表示されます。

プリセットチャンネル
現在走行しているエリアで受信できる放送局を登録するチャンネル。お好みの放送局をすばやく選局できます。

プローブ情報
走行している車両から送信される位置情報や交通情報。これらの情報から渋滞や事故の有無が特定され、道路交通情報が生成されます。

ペアリング
お手持ちのBluetooth対応機器と本機とを接続するために行う認証手続き。

ボイスデータ
本機の案内音声を、有名人の声などお好みの音声に変更するためのデータ。クラリオン株式会社のeショップ・サイトからダウンロードできます。

放送メール
地上デジタル放送を利用して、放送局側から随時送られてくるメール。テレビの設定画面から確認できます。

細街路
道幅5メートル以内の細い道路。細街路を通るルートは暗い黄色で表示されます。

マップコード
日本全国の地図を細かく分割して番号を付けたもの。ピンポイントで位置情報を取得できるので、ナビゲーションの検索に利用されています。

目的地
ルートを設定するとき、最終的な到着地となる地点。

ランドマーク
地図画面上に表示される建物やお店などをわかりやすくアイコン化したマーク。

ルート
自車から目的地までの経路。目的地を設定し、ガイドを開始することを「ルートを設定する」と表現します。ルート上に経由地を設定したり、探索条件を変更してルートの再探索などが行えます。

割り込み表示
通常の案内画面に割り込まれる、交差点や高速道路入口の拡大イラストや、VICS情報の表示。

索引

付録

き

く

け

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

も

ゆ

よ

ら

り

る

ろ

わ

A

付録

B

C

D

E

F

G

H

I

L

M

N

O

Q

S

T

U

V

W

数字

地図に表示される色やマーク

ランドマークのデザインおよび名称などは、変更になる場合があります。
あらかじめご了承ください。

山岳
ゴルフ場・ゴルフ練習場
海水浴場・湖水浴場
空港・飛行場
公園・緑地
支庁・都道府県庁
区役所・市役所
町村役場・東京以外の区役所
警察本部・警察署
建設公共事業事務所・その他地方自治体の機関・その他国の機関
裁判所
税務署
森林管理署
交番・駐在所
消防庁・消防本部・消防署
保健所・健康相談施設・社会福祉事務所
郵便局
地方銀行
自衛隊関連施設
工場
発電所・変電所
大学院・大学
短期大学
高等専門学校
高等学校
中学校
小学校
幼稚園
養護学校・ろう・盲学校
病院・医院
神社
仏閣
展望台・タワー
灯台
城跡
名所・観光地・墓・古墳
温泉地
重要港
老人ホーム
交差点
インターチェンジ・出入口(IC)
サービスエリア（SA）
パーキングエリア（PA）
インターチェンジ･出入口 (出入口)
インターチェンジ･出入口 (出口)
料金所
冬季通行止め
事故多発地点
遊覧船発着場・フェリーターミナル
ホテル・旅館
駐車場
道の駅
各種資料館・博物館・美術館
卸売り市場
カー用品店
教会
スキー場
キャンプ場
動物園
植物園
スタジアム・野球場
水族館
図書館
霊園・墓地
遊園地（テーマパーク）
遊園地（テーマパーク）ゲート
テニス場・その他総合運動施設
文化施設
その他

凡例は、画面色が「昼画面の地図色1」の場合の色です。

一般地図凡例

凡例	内容	凡例	内容
	高速道・有料道（青）		モノレール、新交通、ケーブルカー、ロープウェイ（濃いグレー）
	国道（赤）		
	主要地方道（緑）		国境線、都道府県界・都・市（指定市含む）・町・村・支庁界
	都道府県道（茶）		
	一般道・細街路（グレー）		JR・私鉄・地下鉄(地上)路線
	抜け道（紫）		

市街地図凡例

凡例	内容	凡例	内容
	都道府県界・都・市（指定市含む）・町・村・支庁界・町名・字界/町（丁）・大字界		歩道（濃いグレー）
			有料道路（紫）
			一方通行

SA/PA図

ATM
授乳室
コイン洗車機
その他施設
FAX
飲食店
ガソリンスタンド
宿泊施設
ハイウェイ情報ターミナル
インフォメーション
コインランドリー
駐車場
郵便ポスト
レストラン
休憩所
ショッピングコーナー
コインシャワー
スナックコーナー
温泉、お風呂
ショップ
公衆電話
トイレ
自動販売機
情報元のクレジットカード情報
情報元の営業時間
情報元の電話番号
特徴情報
イベント情報

VICS情報マーク

交通障害情報

 事故
 障害物・路上障害
 工事
 故障車
 作業
 凍結

交通規制情報

 通行止・閉鎖
速度規制
 車線規制
 入口制限
 徐行
進入禁止
片側交互通行
 対面通行
 入口閉鎖
 大型通行止め
 チェーン規制

駐車場情報、SA/PA情報

 満車（赤）
 混雑（黄）
 空車（青）
 閉鎖
不明（黒）

本製品にはシリアルNo.ラベルが同梱されております。
シリアルNo.ラベルはお客様のナビゲーションであることを速やかに
判別するために、本体と同じシリアルNo.が記載されています。

ここに貼ってください

● お問い合わせの際には、品番、シリアルNo.を
確認させていただきます。

クラリオン株式会社

〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7番地2
Clarion ホームページ　http://www.clarion.com

お問い合わせはお客様相談室へ
フリーダイヤル　**0120-112-140**
（土･日･祝･祭日を除く　9:30～12:00、13:00～17:00）

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	
	TEL.

280-9243-00

QY-7440A
Printed in Japan　2013/9